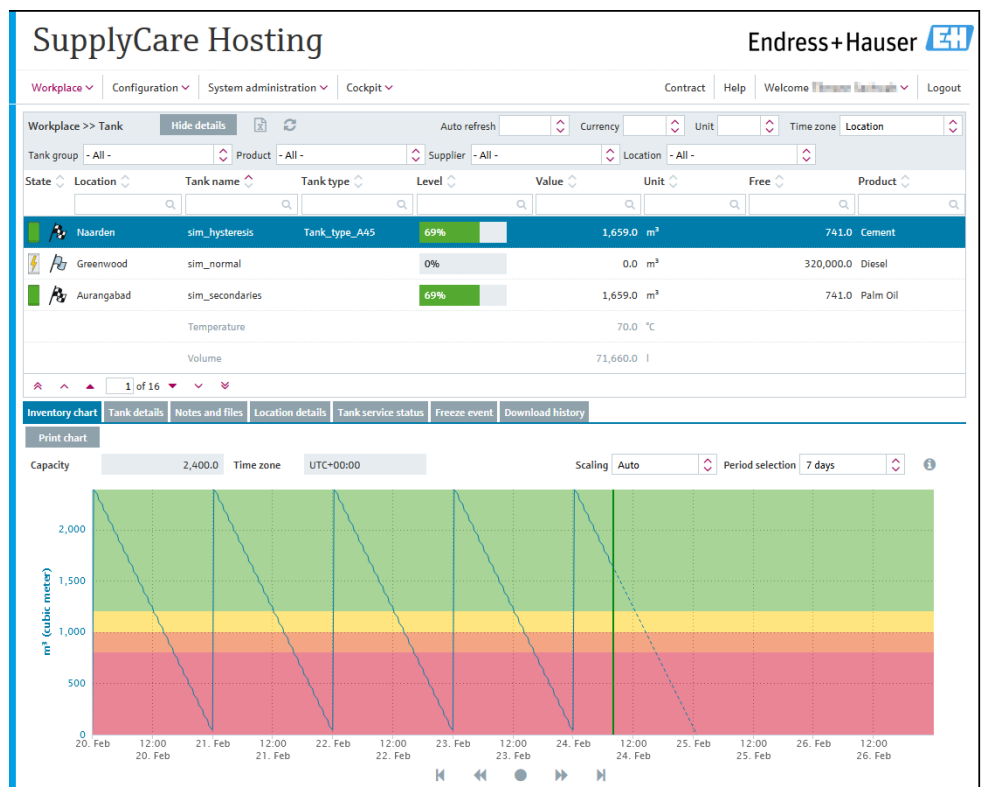


取扱説明書

SupplyCare Hosting SCH30

サプライチェーンに沿って材料と情報の流れを
コントロールするための操作プログラム



改訂履歴

資料バージョン	有効 SW バージョン	旧バージョンからの変更内容
BA00050S/18.16	3.0.xx	ユーザーインターフェースの更新。 セカンダリ値のスパン制限、許容値あり； 1日に複数の廃棄/納品を管理可能。
BA00050S/19.16	3.1.xx	タンクの静止の機能強化およびタンクの停止の実装。 ユーザー設定の機能強化：レベルのミリメートル単位の表示が可能。 レポートテンプレート セカンダリレポートの実装。
BA00050S/20.17	3.2.xx	照合レポートおよび測定点監視の実装。 受信 E メール用のオプションとして、 データプロトコル IMAP を選択可能。
BA00050S/21.18	3.3.xx	GPS 座標（位置座標）の自動更新の実装。
BA00050S/22.19	3.4.xx	E メールデータ交換用の SSL/TLS 暗号化の実装。 FTP データ伝送オプションの機能強化。
BA00050S/23.21	3.4.xx	リニアライゼーション機能の強化。 テンプレートタイプ：サイロの追加。
BA00050S/24.22-00	3.6.xx	マスターデータロールを持つユーザーは 機器マッピングを実行可能。
BA00050S/25.23-00	3.6.xx	在槽ポータルを導入。

目次

1	資料情報	5	7	カスタマイズされたタンクビューの表示 - 「マイタンクビュー」ワークプレイス .	55
1.1	資料の機能	5	7.1	セカンダリの表示	57
1.2	対象読者	5	8	イベントの編集 - 「イベント」	
1.3	シンボルおよび表記規則	5		ワークプレイス	58
1.4	関連資料	6	8.1	イベント管理 - イベントのステータスおよび	
2	安全上の基本注意事項	7		重み付け	58
2.1	作業員の要件	7	8.2	イベントメッセージの表示	59
2.2	IT セキュリティ	7	8.3	メッセージの処理	63
2.3	用途	7	8.4	再提出日の設定	64
2.4	仕様変更	7	9	納品 / 廃棄を予定 - 「スケジューリン	
2.5	本資料について	7		グ」ワークプレイス	65
3	識別情報	8	9.1	ステータス管理 - 納品および廃棄	65
3.1	製品識別表示	8	9.2	納品予定 / 廃棄予定のステータス表示と通知	66
3.2	オーダーコードおよびソフトウェアタイプ	8	9.3	納品 / 廃棄を予定 - 「スケジューリング」	
3.3	システム要件	8		ワークプレイス	68
3.4	登録商標	9	9.4	納品または廃棄のコピー	72
4	システム説明書	10	10	トータリングおよびテンプレートの管理 - 「トータリング」ワークプレイス	74
4.1	SupplyCare による在槽管理	10	10.1	トータリング	74
4.2	SupplyCare Hosting	10	10.2	選択項目をテンプレートとして保存	76
4.3	在槽データの表示	10	10.3	テンプレートの選択または削除	78
4.4	マスターデータの管理	10	10.4	特別照合レポートの作成	78
4.5	GPS 座標の自動更新	10	11	分析データの表示 - 「分析」	
4.6	レポート作成および ERP システムへの接続	10		ワークプレイス	80
4.7	イベント管理	10	11.1	「分析」概要テーブル	81
4.8	アラームメッセージ	11	11.2	KPI (主要業績評価指標)	82
4.9	測定値の取得	11	11.3	払出量 / 受入量	83
5	ユーザーインターフェース	12	11.4	毎時チャート	84
5.1	プログラムの起動	12	11.5	日次チャート	85
5.2	ページ構成	15	12	マップでのタンクの地域の表示 - 「マップ」ワークプレイス	86
5.3	要素	18	12.1	マップおよび関連情報の表示	86
5.4	アイコン	19	12.2	タンク詳細	87
5.5	説明	24	12.3	廃棄または納品を予定	88
5.6	一般的な処理機能	24	13	マスターデータの管理	89
5.7	メッセージの受信 (メッセージ)	33	13.1	会社の管理	89
6	タンクの監視 - 「タンク」ワークプレイス	34	13.2	ユーザーの管理	90
6.1	タンクおよび関連情報の表示	34	13.3	タンクの管理	94
6.2	タンクサービスのステータスの編集	42	13.4	集合タンクの管理	118
6.3	履歴のダウンロード	44	13.5	タンクタイプの管理	123
6.4	セカンダリの表示	46	13.6	地域の管理	126
6.5	在槽チャートでの履歴データと予測値の表示	50	13.7	製品の管理	129
6.6	在槽チャート内のズーム機能	53			
6.7	在槽チャートを使用した納品および廃棄の予定	54			

13.8	タンクグループの管理	131
13.9	リニアライゼーションテーブルの管理	133
13.10	リニアライゼーションルールの管理	139
13.11	単位の管理	140
13.12	レポートの管理 (CIDX および CSV レポートの使用)	141
13.13	照合レポート	150
13.14	メッセージの設定	154
13.15	ユーザープロファイルの保守	156
13.16	ユーザー設定の選択および変更	158
14	エクスポートおよびレポート形式の 区切り文字	160
15	ユーザーロールおよび権限	161
	索引	163

1 資料情報

1.1 資料の機能

本資料は SupplyCare Hosting の設定 / 操作をサポートするためのものです。

1.2 対象読者

基本的な PC 操作に関する知識を除き、サプライチェーン管理ソフトウェアを操作するために特別なトレーニングは不要です。可能な場合は、Endress+Hauser が提供するシステム関連のトレーニングの受講をお勧めします。

1.3 シンボルおよび表記規則

1.3.1 使用されるシンボル



安全シンボル

シンボル	意味
 A0011189-EN	危険！ 危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して適切な対処を怠った場合、死亡、重傷、爆発などの重大事故が発生する可能性があります。
 A0011190-EN	警告！ 危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して適切な対処を怠った場合、死亡、重傷、爆発などの重大事故が発生する可能性があります。
 A0011191-EN	注意！ 危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して適切な対処を怠った場合、軽傷または中程度の傷害事故が発生する可能性があります。
 A0011192-EN	注記 人身傷害につながらない、手順やその他の事象に関する情報を示すシンボルです。

特定情報に関するシンボル

シンボル	意味
 A0011193	ヒント 追加情報を示します。
 A0011195	ページ参照 対応するページ番号の参照指示
1., 2., 3. ...	一連のステップ
 A0018373	一連の動作の結果

図中のシンボル

シンボル	意味
1, 2, 3 ...	項目番号
1., 2., 3. ...	一連のステップ
A, B, C ...	図
 A001187	危険場所 危険場所を示します。
 A001188	非危険場所 安全区域（非危険場所）

1.3.2 本書で使用される表記規則

本書の構成を明確化して重要な情報を強調するために、字体の強調や特定のシンボルが使用されています。

テキストの強調

本書でテキストを強調するために使用される表記規則の概要を下表に示します。

テキストの強調	意味	例
太字	キーボード入力、ボタン、タブ、メニュー、命令、ディレクトリパス、コマンド	イベントの詳細 タブを選択します。 イベント メニュー項目をクリックします。

1.4 関連資料

1.4.1 取扱説明書

資料番号	製品	資料タイプ
SH00001S	SupplyCare Hosting SCH30	サービスマニュアル
TI01229S	SupplyCare Hosting SCH30	技術仕様書

2 安全上の基本注意事項

2.1 作業員の要件

設置、設定、診断、メンテナンスを実施する作業員は、以下の要件を満たす必要があります。

- 訓練を受けて資格を有する専門作業員：当該任務および作業に関する資格を取得していること
- プラント事業者の許可を得ていること
- 該当する地域/国の法規に精通していること
- 専門作業員は作業を開始する前に、取扱説明書、補足資料、および証明書（用途に応じて）の説明を熟読して理解しておくこと
- 指示および基本条件を遵守すること

オペレータ要員は、以下の要件を満たす必要があります。

- 施設所有者/事業者から、作業の要件に応じて指導および許可を受けていること
- 本取扱説明書の指示に従うこと

2.2 ITセキュリティ

当社は、本操作プログラムが取扱説明書の指示に従って設置および使用された場合にのみ保証を提供いたします。

事業者が定める IT セキュリティ規格への適合、および操作プログラムと操作プログラムデータの伝送に関する追加的な保護を目的とした IT セキュリティ対策については、事業者自身が実施する必要があります。

2.3 用途

SupplyCare Hosting はサプライチェーンに沿って材料と情報の流れをコントロールするためのウェブベースの操作プログラムです。

SupplyCare Hosting は、タンクとサイロの在槽レベルをいつでもどこでも（遠隔地であっても）完全に可視化できます。


現場で採用されている測定技術や伝送技術に基づき、現在の在槽データが記録され、SupplyCare に伝送されます。

SupplyCare を使用することで、現在のすべての在槽データの概要を常に把握できます。許容レベルが明確に示され、必要に応じてこのレベルに関するアクティブな情報を受け取ることもできます。予測計算により、補充の予定作成に関するセキュリティが向上します。

2.4 仕様変更

Endress+Hauser は、事前通知なしにハードウェアおよびソフトウェアの仕様変更を行う権利を保有します。このような仕様変更がソフトウェアの操作機能に影響を与えない場合、それが文書化されることはありません。仕様変更が操作に影響を与える場合、新しいバージョンの取扱説明書が作成されます。本書の改訂履歴をご確認ください。

2.5 本資料について

 本書に示される表示画面はサンプルであり、実際に表示されるものとは異なる場合があります。表示画面は作業員の設定と用途に応じて異なります。


3 識別情報

3.1 製品識別表示

ソフトウェアを識別するには、以下の方法があります。

- 納品書のソフトウェア仕様の明細に記載されたオーダーコード
- W@M デバイスビューワーにシリアル番号を入力します。ソフトウェアに関するすべての情報が表示されます。リンク：www.endress.com/deviceviewer

3.2 オーダーコードおよびソフトウェアタイプ

-  お使いのソフトウェアのバージョンを確認するには、ソフトウェアのオーダーコードを次のアドレスの検索画面に入力します：
www.products.endress.com/order-ident

3.3 システム要件

インターネットブラウザ：

- Microsoft® Edge 93 以降
- Mozilla Firefox 92 以降
- Google Chrome™ 93 以降

モバイル機器：

- Apple® iPhone® (Safari® 搭載) iOS 15 以降
- Apple® iPad® (Safari® 搭載) iOS 15 以降

ブラウザ設定：

- アクティブスクリプト：有効
- JavaScript：有効
- Cookie：許可

これらは SupplyCare Hosting アプリケーションを使用するための当社公式推奨ブラウザです。他のブラウザバージョンや技術を使用した場合、機能や表示が制限される場合があります。

3.4 登録商標

以下の商標は、米国および / またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Microsoft®
Windows®
Windows Server®

以下の商標は、Google LLC の登録商標または商標です。

Google™
Google Chrome™
Google Maps™

以下の商標は、米国およびその他の一部の国における Cisco Systems, Inc. および / またはその関連会社の登録商標または商標です。

IOS®

Safari®, iPhone®, iPad® は、米国および他の国々で登録された Apple® Inc. の商標です。

3.4.1 登録商標に関する法律上の表示

すべての会社名 / 製品名および / またはすべての会社ロゴは、Endress+Hauser、その関連会社、またはそれぞれの所有者の商標および / または登録商標である場合があります。

4 システム説明書

4.1 SupplyCare による在槽管理

SupplyCare Hosting は、ソフトウェアコンポーネントおよび在槽管理分野の情報で構成されます。

SupplyCare は、タンクおよびサイロの在槽、可用性、消費量、ニーズに関するデータをオンラインで収集して可視化します。これにより、ビジネス / 物流プロセスを合理化し、在槽レベルを低く抑えながらも在庫切れを低減できます。現場測定、グローバルなリモートデータ伝送、データ可視化から ERP システムへの統合まで、SupplyCare はあらゆる用途に対応する標準ベースのソリューションです。SupplyCare はモジュール設計です。

4.2 SupplyCare Hosting

SupplyCare Hosting は、世界中に分散しているタンクやサイロなどのレベルを表示および監視するためのウェブベースの操作プログラムです。

4.3 在槽データの表示

タンクおよびサイロの在槽データは SupplyCare により定期的に収集されます。現在および過去の在槽データをいつでも表示できます (→ 34 ページ、→ 86 ページ)。


4.4 マスターデータの管理

SupplyCare により、地域、会社、タンク、製品、ユーザーのマスターデータを作成して管理できます (→ 89 ページ、→ 141 ページ)。

4.5 GPS 座標の自動更新

タンクに取り付けられた GPS トラッカーおよびゲートウェイへのデータ伝送により、タンクの最新の位置情報をいつでも取得して SupplyCare に表示できます。GPS 座標は他の測定データと同様に SupplyCare で自動的に更新されます。

GPS 座標の自動更新は、特に移動タンクを使用する場合に便利です。

 タンクに割り当てられている住所の GPS 座標は、位置情報の個別のプロパティです。GPS トラッカーから送信される GPS データをタンクの位置情報として使用する場合、これらは変更されません。

GPS データを位置情報として使用する

既設タンク → 27 ページ

新規タンク → 96 ページ

4.6 レポート作成および ERP システムへの接続

SupplyCare を使用して、測定値履歴に関する Excel 形式のレポートを作成することや、CIDX レポートを介して現在のレベルおよびマスターデータを SAP などの ERP システムに提供することができます (→ 141 ページ)。

4.7 イベント管理

イベント管理システムは SupplyCare に統合されています。ここには安全在庫や予定ポイントを下回る、といったイベントが表示されます。また、所定のユーザーに通知 E メールを送信することもできます (→ 58 ページ、→ 154 ページ)。

4.8 アラームメッセージ

接続障害などの技術的な問題が発生するたびに、アラームメッセージが生成され、システム管理者にアラーム E メールが送信されます。

4.9 測定値の取得

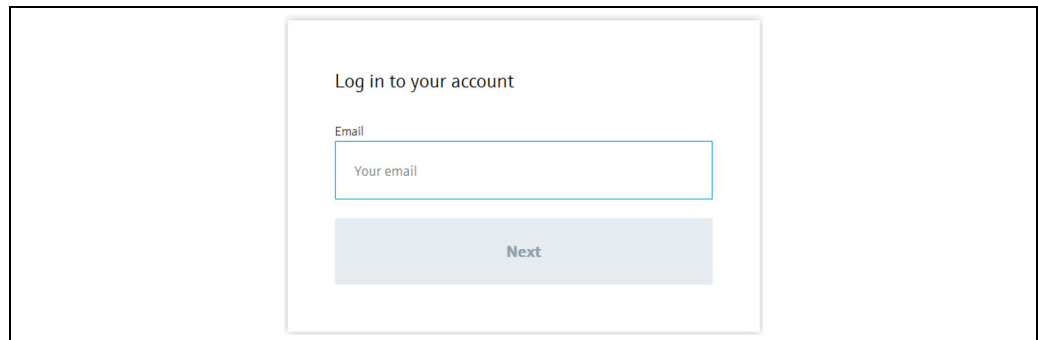
現場の計測機器がタンクおよびサイロの在槽データを取得します。ゲートウェイによって、測定値が Endress+Hauser のホスティング環境に送信されるため、SupplyCare で使用できます。

5 ユーザーインターフェース

5.1 プログラムの起動

1. ウェブブラウザを起動します。
2. Field Information Server の URL を指定します。
URL : <https://inventory.endress.com>

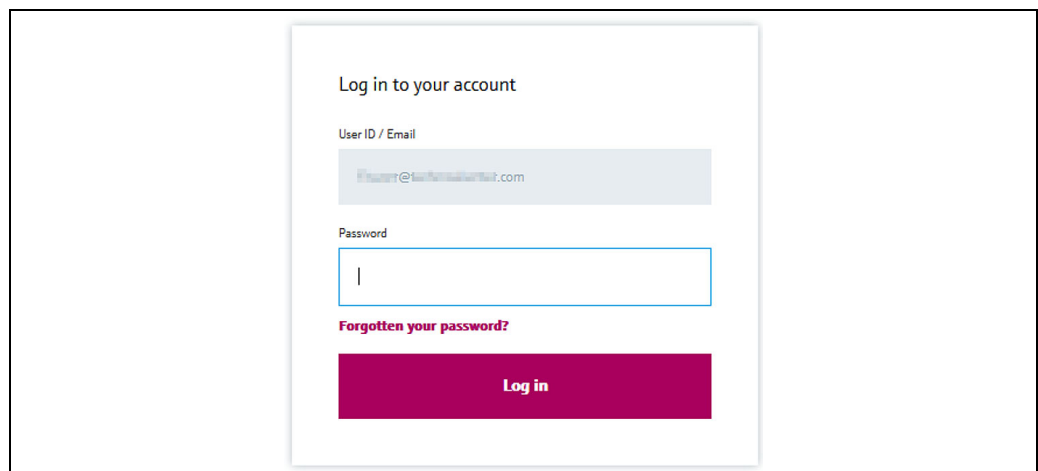
以下の画面が表示されます。



The screenshot shows a login page with the title "Log in to your account". Below the title is an "Email" label followed by a text input field containing the placeholder text "Your email". Below the input field is a grey button labeled "Next".

PS0000736aen_36

3. メールアドレスを入力して次へをクリックします。

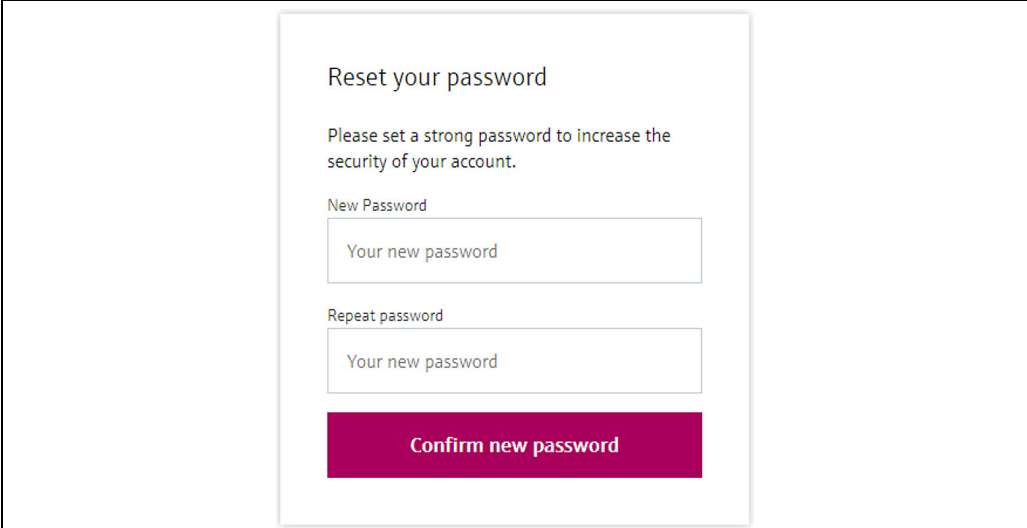


The screenshot shows a login page with the title "Log in to your account". Below the title are two input fields: "User ID / Email" and "Password". The "User ID / Email" field contains the placeholder text "username@inventory.endress.com". Below the "Password" field is a link labeled "Forgotten your password?". At the bottom is a red button labeled "Log in".

Logon_en_2

4. パスワードを入力してログインをクリックします。

初めてログオンする場合は、パスワードの再設定を求める画面が表示されます。



Reset your password

Please set a strong password to increase the security of your account.

New Password

Your new password

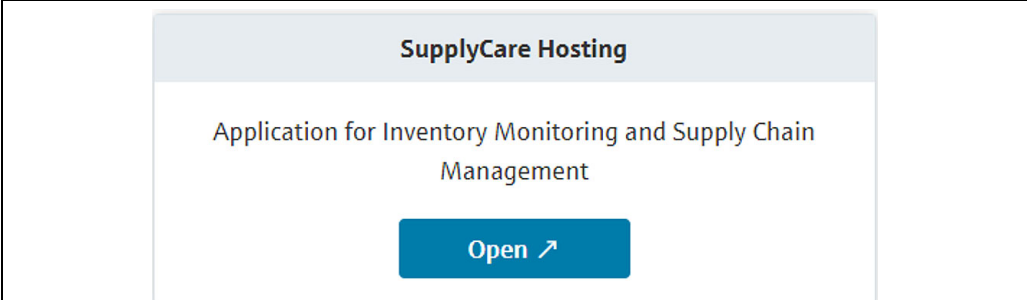
Repeat password

Your new password

Confirm new password

PS0000737aen_30

5. 新しいパスワードを**新しいパスワード**および**繰り返し**フィールドに入力します。
6. **パスワードの確認**をクリックして新しいパスワードを保存します。
7. **SupplyCare Hosting**のみを使用している場合、このアプリケーションに直接リダイレクトされます。
在槽ポータルで他のアプリケーションも使用している場合は、**SupplyCare Hosting**を選択して**開く**ボタンをクリックします。



SupplyCare Hosting

Application for Inventory Monitoring and Supply Chain Management

Open ↗

SelectApplication_SCHosting

8. ブラウザウィンドウ内にポータルウィンドウが表示されます。表示内容は、割り当てられたユーザーロールに応じて異なります。

The screenshot shows the SupplyCare Hosting web application interface. At the top, there is a navigation bar with 'Workplace', 'Configuration', 'System administration', and 'Cockpit' menus. The main content area displays a table of tank data with columns for State, Location, Tank name, Tank type, Level, Value, Unit, Free, and Product. The table lists various tanks such as 'sim_hysteresis', 'sim_normal', 'sim_secondaries', etc., with their respective levels and values. A pagination bar at the bottom indicates '1 of 16' items.

State	Location	Tank name	Tank type	Level	Value	Unit	Free	Product
	Naarden	sim_hysteresis	Tank_type_A45	66%	1,574.0	m³		826.0 Cement
	Greenwood	sim_normal		0%	0.0	m³		320,000.0 Diesel
	Aurangabad	sim_secondaries		66%	1,574.0	m³		826.0 Palm Oil
		Temperature			80.0	°C		
		Volume			71,575.0	l		
	Maulburg	sim_secondaries_2		22%	71.6	m³		248.4 Cement
		Temperature			80.0	°C		
		Volume			71,575.0	l		
	Suzhou	sim_short_term		66%	1,574.0	m³		826.0 Pellets
		Secondary[1]			80.0	K		
	Dubai	sim_tank_freeze		66%	1,574.0	m³		826.0 Diesel
	Manchester	sim_tank_recycling		25%	240,826.0	l		79,174.0 Waste Water
	Mexiko City	sim_tank_recycling_2		66%	826.0	l		1,574.0 Ammoniak
	Aurangabad	sim_temperature		67%	80.0	°C		40.0 Milk
	Krefeld-Oil	Stahitank I		0%	240,826.0	l		0.0
		Stahitank II		0%	240,826.0	l		0.0

S1_BA00050SEN_0211_36

5.1.1 パスワードを忘れてしまった場合

i パスワードを忘れてしまった場合、またはパスワードを再設定する場合は、パスワードを忘れたのリンクをクリックして指示に従います。

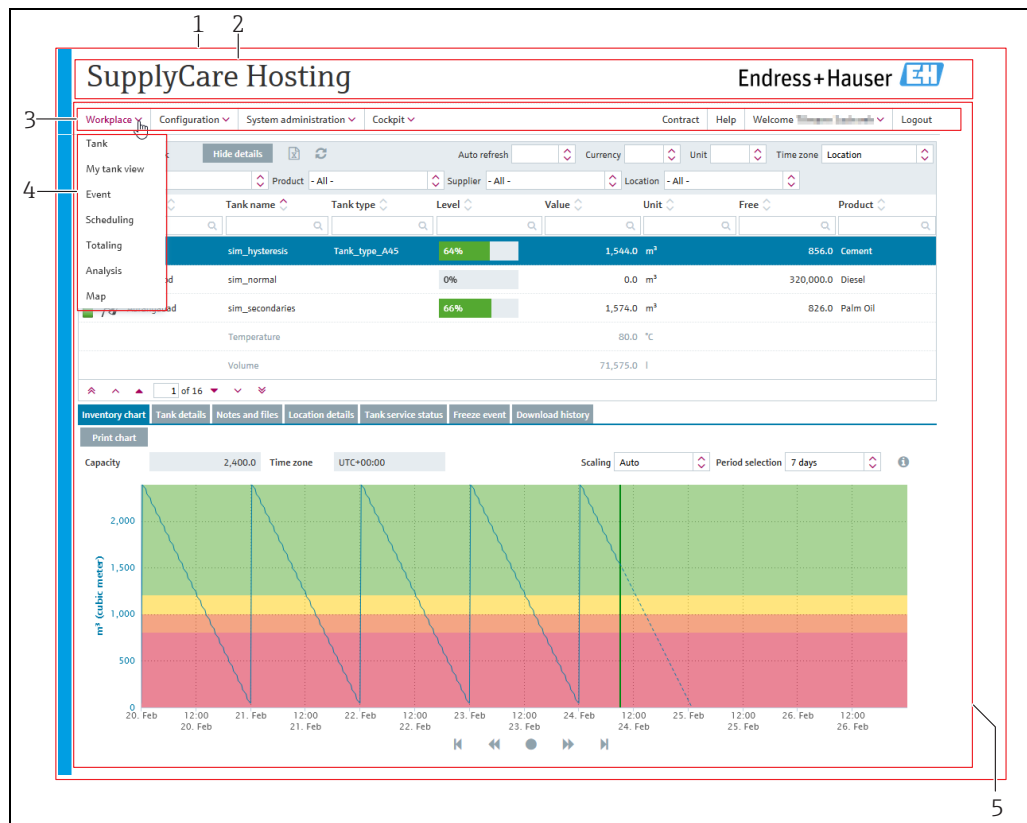
The screenshot shows a 'Reset your password' page. It includes a heading, a sub-heading 'To continue, please verify your account.', and a message 'A code was sent to the following email address:'. Below this is a text box containing the email address 'gocubec@nusa.com'. There is a 'Verification code' label and a text input field for the code. A large purple 'Verify' button is positioned below the input field. At the bottom, there is a section for 'No email received?' with a list of instructions: 1. Check your spam folder, 2. Check your email address, 3. Wait 5 minutes - it may take a few minutes to receive the code, and 4. Get in touch with us.

PS0000739aen_30

5.2 ページ構成

5.2.1 ポータルウィンドウ

ポータルウィンドウ内の個々のオブジェクトの配置を以下に示します。



- 1 ポータルウィンドウ
- 2 ヘッダー
- 3 ナビゲーションウィンドウおよびメニュー
- 4 メニュー項目
- 5 アプリケーションウィンドウ

i メニューおよびそれに対応するメニュー項目はユーザーロールに応じて異なるため、ポータルウィンドウも異なります (→ 16 ページ)。

i SupplyCare はモジュール設計です。このため、メニュー項目は異なります。さらに、ダイアログウィンドウの内容と同様に、アプリケーションウィンドウの内容も異なる場合があります。

5.2.2 ヘッダー

ヘッダーには、在槽ポータルで選択したアプリケーションの名前が表示されます。

5.2.3 ナビゲーションウィンドウ

メニューをクリックすると、そのメニューを展開または折り畳むことができます。アクティブなメニューは青色で強調表示されます。

メニュー

ユーザーロールに応じて、ここで各種メニューを使用できます。

i 1人のユーザーに複数のユーザーロールを同時に割り当てることができます。メニューツリーは、該当するユーザーロールに対応したメニューで構成されます。

メニュー項目

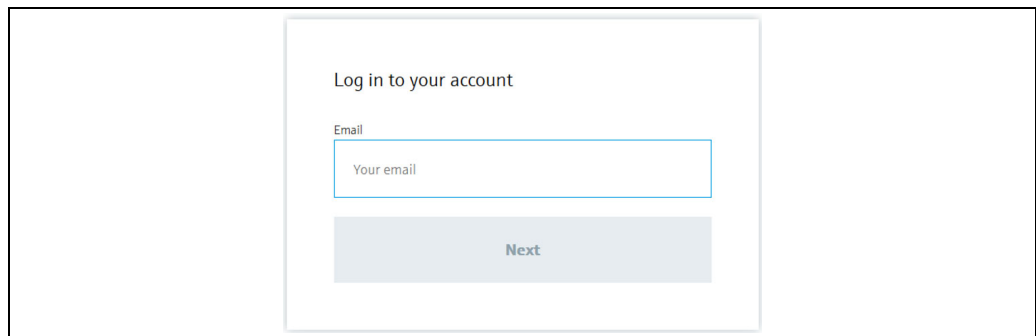
メニューは、該当するユーザーロールに対応した各種メニュー項目で構成されます。選択したユーザーロールに対応するメニュー項目を下表に示します。

i **ワークプレイス、設定、プロフィール**メニューのメニュー項目は、SupplyCare のモジュール設計に応じて異なります。**プロフィール**メニューを開くには、ユーザー名の横の矢印をクリックします。

	メニュー		
ユーザーロール	ワークプレイス	設定	プロフィール
読み取り専用	<ul style="list-style-type: none"> ■ タンク¹⁾ ■ マイタンクビュー ■ イベント²⁾ ■ トータリング ■ マッピング 	-	<ul style="list-style-type: none"> ■ ユーザープロフィール ■ ユーザー設定
オペレータ	<ul style="list-style-type: none"> ■ タンク¹⁾ ■ マイタンクビュー ■ イベント²⁾ ■ トータリング ■ 分析 ■ マッピング 	-	<ul style="list-style-type: none"> ■ ユーザープロフィール ■ ユーザー設定
スケジューラ	<ul style="list-style-type: none"> ■ タンク¹⁾ ■ マイタンクビュー ■ イベント²⁾ ■ スケジューリング ■ トータリング ■ 分析 ■ マッピング 	-	<ul style="list-style-type: none"> ■ ユーザープロフィール ■ ユーザー設定
マスターデータ	-	<ul style="list-style-type: none"> ■ ユーザー ■ タンク ■ 集合タンク ■ タンクタイプ ■ タンクグループ ■ 地域 ■ 会社 ■ 製品 ■ リニアライゼーション ■ 単位 ■ レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ユーザープロフィール
<p>1) タンクサービスのステータスを変更できるのは、ユーザーロールがオペレータであるユーザーのみです。 2) イベントのステータスを変更できるのは、ユーザーロールがスケジューラまたはオペレータであるユーザーのみです。</p>			

ログアウト

ヘッダーの右側にあるリンクを使用してログオフできます。**ログオフ**をクリックすると、以下の**ログイン**画面に戻ります。



PS0000736aen_36

5.2.4 アプリケーションウィンドウ

アプリケーションウィンドウの内容は、選択するメニュー項目に応じて異なります。アクティブなメニュー項目は青色で強調表示されます。

i SupplyCare のモジュール設計に応じて、ダイアログウィンドウの内容と同様に「概要」および「詳細ビュー」の内容も異なる場合があります。

大部分のアプリケーションウィンドウには、以下のビューが表示されます。

- 概要
- 詳細ビュー

The screenshot displays the SupplyCare Hosting application interface. At the top, there is a navigation bar with 'SupplyCare Hosting' and 'Endress+Hauser' logos. Below this, there are several tabs: 'Workplace >> Tank', 'hide details', 'Auto refresh', 'Currency', 'Unit', and 'Time zone'. A search bar and filter options for 'Tank group', 'Product', 'Supplier', and 'Location' are present. The main area contains a table with columns: State, Location, Tank name, Tank type, Level, Value, Unit, Free, and Product. The table lists three tanks: Naarden (sim_hysteresis, Tank_type_A45, 41% level, 974.0 m³, 1,426.0 Cement), Greenwood (sim_normal, 0% level, 0.0 m³, 320,000.0 Diesel), and Aurangabad (sim_secondaries, 41% level, 974.0 m³, 1,426.0 Palm Oil). Below the table, there is an 'Inventory chart' section with a 'Print chart' button. The chart shows a sawtooth pattern of inventory levels over time, with a y-axis labeled 'm³ (cubic meter)' and an x-axis showing dates from 18 Feb to 24 Feb. The chart has a capacity of 2,400.0 and a time zone of UTC+00:00. Two callout boxes labeled '1' and '2' point to the table and chart respectively.

- 1 概要
- 2 詳細ビュー

概要

概要には、ユーザーまたはデータが表形式で表示されます。

詳細ビュー

下部のセクションには、テーブルで選択した行に関する詳細情報が表示されます。**概要**で別の行を左クリックすると、その情報に関する詳細ビューが開きます。必要に応じて、詳細ビューの情報は複数のタブに分割されて表示されます。

タブ

タブを使用すると、新規オブジェクトを作成 / 変更 / 削除できます。タブには、フォームまたはテーブルが表示されます。

The screenshot displays the 'Tank details' tab of the SupplyCare Hosting SCH30 interface. It is divided into two main sections: 'Organization' and 'Limits'. The 'Organization' section includes fields for Tank name (sim_secondaries_2), Tank type, Value (100,157.0), Unit (l), Time stamp (1/21/19 10:43 PM), Product (Ethanol), Location (Maulburg), Time zone (UTC+00:00), and SDT (0). The 'Limits' section includes Capacity (320,000.0), Optimum, Plan point (120,000.0), Ship point (60,000.0), Safety stock (32,000.0), Hysteresis (0.0), Free capacity (219,843.0), and Planning type (Standard tank selected, Recycling tank unselected). A small image of a tank is visible on the right side of the interface.

A0036909-EN_300

5.3 要素

個々のビューでは、以下の要素を使用できます。

ボタン	機能
入力フィールド	1 行の入力フィールド：値（テキストまたは数値）を入力します。 複数行の入力フィールド：長いテキストを入力します。
出力フィールド	1 行の出力フィールド：値（テキストまたは数値）を表示します。 複数行の出力フィールド：長いテキストを表示します。
テーブル	複数列のテーブル：各行を選択できます。
選択リスト	所定の値から選択できます。
チェックボックス	特定の機能を有効化 / 無効化できます。

5.4 アイコン








5.4.1 標準ボタン

以下の標準ボタンを使用して、個々のオブジェクトを編集および処理します。

ボタン	機能
	新規 - 新規オブジェクトを作成して、保存  を使用して保存できます。
	編集 - 表示されているオブジェクトの内容を変更できます（ロールに応じて異なります）。
	削除 - オブジェクトの内容を削除します。削除を確認するダイアログボックスが表示されます。
	保存 - 変更した内容および新規作成したオブジェクトを保存します。
	キャンセル - 操作を取り消します。
	コピー - ユーザー、タンク、集合タンク、地域、会社、製品、タンクグループ、レポート、廃棄、納品のデータをコピーします。
	タンクの図の選択 - タンク詳細 タブのタンクおよび集合タンクの図を選択します。
	ビューの更新 - 内容を更新します。
	'マイタンクビュー'の設定 - ポップアップウィンドウが開き、そこで マイタンクビュー/マイオブジェクトビュー 画面を設定します。
	カレンダー - 期間を選択するためのボタン（例：再提出日、履歴の開始日と終了日）。
	Excel形式でダウンロード - 測定値などのデータを Excel スプレッドシートにダウンロードするためのボタン
	PDF形式でダウンロード - システム設定などのデータを PDF ファイルとしてダウンロードするためのボタン
	印刷 - チャートを印刷するためのボタン
	表示 - 内容を表示します。
	キャンセル - 操作を取り消します。





5.4.2 テーブル内のボタン

テーブル下部にある以下のボタンを使用して、テーブル内を移動できます。

ボタン	機能
	テーブルの先頭に移動します。
	上にスクロールして 1 ページ戻ります。
	テーブルを 1 行上に移動します。選択している項目は変更されません。
	テーブルを 1 行下に移動します。選択している項目は変更されません。
	下にスクロールして 1 ページ進みます。
	テーブルの終端に移動します。
	選択リストを開きます。

5.4.3 イベントに関するシンボル

ステータス表示


シンボル	意味
	開く - イベントがトリガされました。
	承認済み - イベントは承認済みですが、アクションがまだ実行されていません。
	処理中 - 材料を補充するための対策が開始されました。
	実行済み - 測定により記録されました。補充プロセスは正常に完了しました。

優先度（重要性）







シンボル	意味
	予定ポイント（緑色）
	出荷ポイント（黄色）
	安全在庫（赤色）
	イベントの凍結（「確認」 ツールチップ付きの目玉シンボル）

5.4.4 タンクに関するアイコン

SupplyCare では、テンプレートタイプを「タンク」、「サイロ」、「オブジェクト」から選択できます。これらのテンプレートタイプの機能はまったく同じです。ただし、選択するタイプに応じて、メニュー、概要、詳細ビュー内の説明が異なり、シンボル上にカーソルを合わせたときに表示されるシンボルとツールチップも異なります。




 タンク、サイロ、オブジェクトに関するシンボルを下表に示します。説明が異なる部分については、この後（→ 24 ページ）に記載されています。この取扱説明書の残りのすべてのセクションでは、テンプレートタイプとして「タンク」が使用されています。

ステータス表示

シンボル		意味
タンク / サイロ	オブジェクト	
		OK（緑色） 標準タンク / サイロ / オブジェクト：当該タンク / サイロ / オブジェクトの現在の（最後に測定された）在槽レベルは、予定ポイント / 監視限界を上回っています。 リサイクルタンク / サイロ / オブジェクト：当該容器の現在の（最後に測定された）在槽レベルは、予定ポイント / 監視限界を下回っています。
		OK（緑色） 集合標準タンク / サイロ / オブジェクト：当該集合容器の現在の（最後に測定された）在槽レベルは、予定ポイント / 監視限界を上回っています。 集まりサイクルタンク / サイロ / オブジェクト：当該集合容器の現在の（最後に測定された）在槽レベルは、予定ポイント / 監視限界を下回っています。
		予定ポイント / 監視限界に達しました（黄色） 標準タンク / サイロ / オブジェクト：当該容器の現在の（最後に測定された）在槽レベルは、予定ポイント / 監視限界を下回っています。 リサイクルタンク / サイロ / オブジェクト：当該容器の現在の（最後に測定された）在槽レベルは、予定ポイント / 監視限界を上回っています。

シンボル		意味
タンク / サイロ	オブジェクト	
		予定ポイント / 監視限界に達しました (黄色) 集合標準タンク / サイロ / オブジェクト：当該集合容器の現在の (最後に測定された) 在槽レベルは、予定ポイント / 監視限界を下回っています。 集積リサイクルタンク / サイロ / オブジェクト：当該集合容器の現在の (最後に測定された) 在槽レベルは、予定ポイント / 監視限界を上回っています。
		出荷ポイント / ポイントオブアクションに達しました (オレンジ色) 標準タンク / サイロ / オブジェクト：当該容器の現在の (最後に測定された) 在槽レベルは、出荷ポイント / ポイントオブアクションを下回っています。
		出荷ポイント / ポイントオブアクションに達しました (オレンジ色) 集合標準タンク / サイロ / オブジェクト：当該容器の現在の (最後に測定された) 在槽レベルは、出荷ポイント / ポイントオブアクションを下回っています。
		安全在庫 / 許容限界 (赤色) 標準タンク / サイロ / オブジェクト：当該容器の現在の (最後に測定された) 在槽レベルは、安全在庫 / 許容限界を下回っています。 リサイクルタンク / リサイクルサイロ / リサイクルオブジェクト：当該容器の現在の (最後に測定された) 在槽レベルは、安全在庫 / 許容限界を上回っています。
		安全在庫 / 許容限界 (赤色) 集合標準タンク / サイロ / オブジェクト：当該集合容器の現在の (最後に測定された) 在槽レベルは、安全在庫 / 許容限界を下回っています。 集積リサイクルタンク / サイロ / オブジェクト：当該集合容器の現在の (最後に測定された) 在槽レベルは、安全在庫 / 許容限界を上回っています。
		測定不良 - 通信エラー。 当該容器の測定データを取得できません。容器が稼働していない場合、表示されるセカンダリデータの状態も示されます。
		測定不良 - 通信エラー。 当該集合容器の測定データを取得できません。
		非稼働 - タンク / サイロ / オブジェクトを使用できません (例：オーバーホールなど)。容器の非稼働期間は、在槽チャートに灰色で表示されます。
		非稼働 - 集合タンク / サイロ / オブジェクトを使用できません (例：オーバーホールなど)。関連容器の非稼働期間は、在槽チャートに灰色で表示されます。
		あふれ - 測定値がタンク / サイロの容量またはオブジェクトの最大値より高くなっています。
		あふれ - 測定値が集合タンク / サイロの容量または集合オブジェクトの最大値より高くなっています。
		測定不良 - 測定値がタンク / サイロ / オブジェクトのゼロより低くなっています。
		測定不良 - 測定値が集合タンク / サイロ / オブジェクトのゼロより低くなっています。











セカンダリ値のステータス表示

シンボル	意味
	スパン上限値を超過しました (赤色) 実際の (最後に測定された) セカンダリ値が、スパン制限の設定値を上回り、許容範囲外になっています。
	許容範囲内 (緑色) 実際の (最後に測定された) セカンダリ値が、スパン制限の設定範囲内であり、許容範囲内です。
	スパン下限値を下回りました (赤色) 実際の (最後に測定された) セカンダリ値が、スパン制限の設定値を下回り、許容範囲外になっています。






5.4.5 タンクに関するアイコン（「マップワークプレイス」）

シンボル		意味
タンク / サイロ	オブジェクト	
		OK (緑色) - 納品予定 / 廃棄予定はありません。
		OK (緑色) - 納品予定 / 廃棄予定があります。
		OK (緑色) - 集合タンク / サイロ / オブジェクト : 納品予定 / 廃棄予定はありません。
		OK (緑色) - 集合タンク / サイロ / オブジェクト : 納品予定 / 廃棄予定があります。
		OK (緑色) - 地域で複数のタンク / サイロ / オブジェクトを使用できます。すべての容器のステータスがOKです。容器のスケジューリングステータス (納品予定 / 廃棄予定あり / なし) は異なる場合があります。
		予定ポイント / 監視限界に達しました (黄色) - 納品予定 / 廃棄予定はありません。
		予定ポイント / 監視限界に達しました (黄色) - 納品予定 / 廃棄予定があります。
		予定ポイント / 監視限界に達しました (黄色) - 集合タンク / サイロ / オブジェクト : 納品予定 / 廃棄予定はありません。
		予定ポイント / 監視限界に達しました (黄色) - 集合タンク / サイロ / オブジェクト : 納品予定 / 廃棄予定があります。
		出荷ポイント / ポイントオブアクションに達しました (オレンジ色) - 納品予定 / 廃棄予定はありません。
		出荷ポイント / ポイントオブアクションに達しました (オレンジ色) - 納品予定 / 廃棄予定があります。
		出荷ポイント / ポイントオブアクションに達しました (オレンジ色) - 集合タンク / サイロ / オブジェクト : 納品予定 / 廃棄予定はありません。
		出荷ポイント / ポイントオブアクションに達しました (オレンジ色) - 集合タンク / サイロ / オブジェクト : 納品予定 / 廃棄予定があります。
		安全在庫 / 許容限界に達しました (赤色) - 納品予定 / 廃棄予定はありません。
		安全在庫 / 許容限界に達しました (赤色) - 納品予定 / 廃棄予定があります。
		安全在庫 / 許容限界に達しました (赤色) - 集合タンク / サイロ / オブジェクト : 納品予定 / 廃棄予定はありません。
		安全在庫 / 許容限界に達しました (赤色) - 集合タンク / サイロ / オブジェクト : 納品予定 / 廃棄予定があります。
		測定不良 - 納品予定 / 廃棄予定はありません。
		測定不良 - 納品予定 / 廃棄予定があります。
		測定不良 - 集合タンク / サイロ / オブジェクト : 納品予定 / 廃棄予定はありません。
		測定不良 - 集合タンク / サイロ / オブジェクト : 納品予定 / 廃棄予定があります。
		非稼働 - 納品予定 / 廃棄予定はありません。
		非稼働 - 納品予定 / 廃棄予定があります。
		非稼働 - 集合タンク / サイロ / オブジェクト : 納品予定 / 廃棄予定はありません。
		非稼働 - 集合タンク / サイロ / オブジェクト : 納品予定 / 廃棄予定があります。
		多様 - 異なるステータスが表示されている複数のタンク / サイロ / オブジェクトを地域で使用できます。容器のスケジューリングステータス (納品予定 / 廃棄予定あり / なし) は異なる場合があります。
		あふれ - 納品予定 / 廃棄予定はありません。
		あふれ - 納品予定 / 廃棄予定があります。
		あふれ - 集合タンク / サイロ / オブジェクト : 納品予定 / 廃棄予定はありません。
		あふれ - 集合タンク / サイロ / オブジェクト : 納品予定 / 廃棄予定があります。
		測定不良 - 納品予定 / 廃棄予定はありません。
		測定不良 - 納品予定 / 廃棄予定があります。
		測定不良 - 集合タンク / サイロ / オブジェクト : 納品予定 / 廃棄予定はありません。
		測定不良 - 集合タンク / サイロ / オブジェクト : 納品予定 / 廃棄予定があります。









5.4.6 スケジューリングに関するアイコン

シンボル		意味
タンク / サイロ	オブジェクト	
		納品予定 / 廃棄予定 - 納品予定 / 廃棄予定は、納品用トラックのアイコンで在槽チャートおよびカレンダーに示されます。
		標準タンク / サイロ / オブジェクト - 標準タンク / サイロ / オブジェクトは、このようなアイコンでスケジューリングメニュー項目に示されます。
		集合標準タンク / サイロ / オブジェクト - 集合標準タンク / サイロ / オブジェクトは、このようなアイコンでスケジューリングメニュー項目に示されます。
		リサイクルタンク / サイロ / オブジェクト - 容器はこのようなアイコンでスケジューリングメニュー項目に示されます。
		集合リサイクルタンク / サイロ / オブジェクト - 集合リサイクル容器は、このようなアイコンでスケジューリングメニュー項目に示されます。

5.4.7 廃棄 / 納品ステータスに関するアイコン

シンボル	意味
	検出 - 検出ステータスは、以下の状況で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ スケジュールするのが早すぎる / 遅すぎる納品または廃棄がシステムで検出されました。この納品 / 廃棄は、詳細タブで確定ボタンを使用して処理できます。 ■ 失敗した納品 / 廃棄がシステムで検出されました。この納品 / 廃棄は、詳細タブで完了としてマークボタンを使用して処理できます。 ■ 測定データがないことがシステムで検出されました。この納品 / 廃棄は、詳細タブで完了としてマークボタンを使用して処理できます。
	確認済み - 確認済みステータスは、以下の状況で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 納品 / 廃棄の作成時に、スケジュールするのが早すぎる / 遅すぎる納品または廃棄が確認されました。 ■ スケジュールするのが早すぎる / 遅すぎる納品または廃棄が、詳細タブで確認されました。
	削除 - 納品または廃棄が削除されました。
	新規 - 新規納品 / 廃棄が予定されました。
	完了 - 新規納品 / 廃棄が完了しました。納品 / 廃棄が完了した場合、これに対してSupplyCareにより 完了した納品 (検出) / 完了した廃棄 (検出) のフラグが付加されます。 失敗した納品 / 廃棄または測定データなしがシステムで検出された場合、この納品 / 廃棄は 詳細 タブで 完了 として マーク ボタンを使用して処理できます。この納品 / 廃棄は、 完了した納品 (確認済み) / 完了した廃棄 (確認済み) として表示されます。

5.4.8 分析に関するアイコン

シンボル		意味
タンク / サイロ	オブジェクト	
		標準タンク / サイロ / オブジェクト - 標準容器はこのようなアイコンで分析メニュー項目に示されます。
		集合標準タンク / サイロ / オブジェクト - 集合標準容器はこのようなアイコンで分析メニュー項目に示されます。
		リサイクルタンク / サイロ / オブジェクト - リサイクル容器はこのようなアイコンで分析メニュー項目に示されます。
		集合リサイクルタンク / サイロ / オブジェクト - 集合リサイクル容器はこのようなアイコンで分析メニュー項目に示されます。

5.5 説明

テンプレートタイプとして「タンク」、「サイロ」、「オブジェクト」のどれを選択するかに応じて、メニュー、「概要」、「詳細ビュー」内の説明が異なり、シンボル上にカーソルを合わせたときに表示されるシンボルとツールチップも異なります。

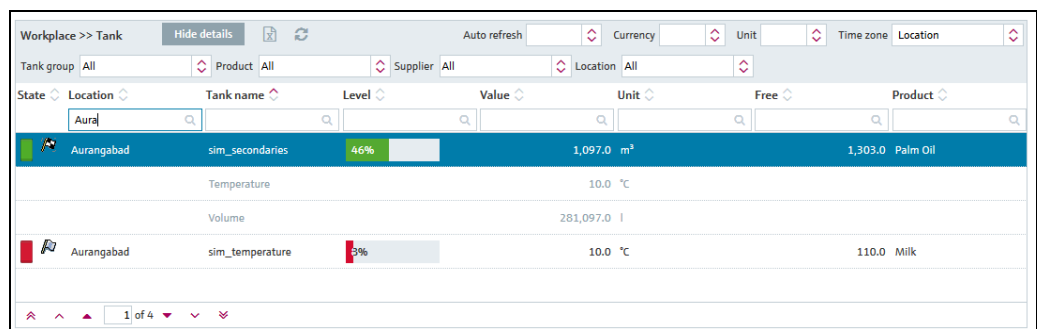
単に「タンク」/「サイロ」という言葉を「オブジェクト」に置き換えただけではない説明の違いを以下に示します。

標準テンプレートタイプ「タンク」/「サイロ」	標準テンプレートタイプ「オブジェクト」
タンク名/サイロ名	オブジェクト
タンク詳細/サイロ詳細	詳細
タンクパートナー/サイロパートナー	パートナー
タンクサービスのステータス/サイロサービスのステータス	サービスステータス
PP (予定ポイント)	OL (監視限界)
SP (出荷ポイント)	POA (ポイントオブアクション)
SST (安全在庫)	CL (許容限界)
DSST (安全在庫に達するまでの日数)	DCL (許容限界に達するまでの日数)
容量	最大値
容量制限なし	フリースペース
在槽チャート	チャート
在槽	受信した値
払出量	減少
受入量	増加
DO (1日払出量)	DD (1日減少量)
ADO (1日平均払出量)	ADD (1日平均減少量)
DI (1日受入量)	DI (1日増加量)
ADI (1日平均受入量)	ADI (1日平均増加量)
平均在槽レベル	平均レベル

5.6 一般的な処理機能

5.6.1 テーブルでのフィルタ関数の使用 (検索)

フィルタ関数を使用して、テーブルに表示されるデータセットの数を絞り込むことができます。フィルタ関数は、テーブルの先頭行に入力します。



S20_BA00050SEN_0211_30

1. テーブルの先頭行の目的のフィールドに、検索する項目の完全な名称または最初の数文字を入力します。

2. **Enter** キーを押します。
3. 一致する項目のみがテーブルに表示されます。
再びすべてのテーブルデータを表示する場合は、入力した項目を削除して **Enter** キーを押します。

個々のフィールドに対して、以下のフィルタ関数を常時使用できます。

説明	例		
グループ	関数	ユーザー入力	結果 (表示されるデータ)
文字列	* (ワイルドカード)	Tank0*	「Tank0」から始まるすべての項目。 例: 「Tank01」、「Tank02-special」など
		Tank0	「Tank0」を含むすべての項目。 例: Frankfurt_Tank0-mp1 など
整数	整数	8	値が 8 であるすべての行
	= 整数	=8	
	> 整数	>8	値が 8 より大きいすべての行
	>= 整数	>=8	値が 8 以上であるすべての行
	< 整数	<8	値が 8 より小さいすべての行
	<= 整数	<=8	値が 8 以下であるすべての行
	整数 - 整数	8-100	値が 8 ~ 100 であるすべての行
	<> 整数	<>8	値が 8 以外のすべての行
	! 整数	!8	
	整数 *	8*	値が「8」から始まるすべての行
浮動小数点数	> 浮動小数点数	>8.0	値が 8 より大きいすべての行
	< 浮動小数点数	<8.0	値が 8 より小さいすべての行
	浮動小数点数 - 浮動小数点数	8.0-100.50	値が 8.0 ~ 100.50 であるすべての行
	浮動小数点数 * (ワイルドカード)	8*	値が「8」から始まるすべての行

表示上、日付の列は文字列の列のようにフィルタ処理できるように変換されます。

5.6.2 表示されるデータレコードのフィルタ処理 (選択リスト)

選択リストを使用して、表示されるデータレコードをフィルタ処理できます。たとえば、**単位**、**タイムゾーン**、**タンクグループ**、**製品**、**供給者**、**地域**などを使用できます。選択リストの値を選択すると、フィルタ条件に一致するデータレコードが自動的に表示されます。概要を終了すると、選択リストの内容はデフォルト値にリセットされます。

The screenshot shows a software interface for managing tanks. At the top, there are navigation tabs like 'Workplace >> Tank' and various settings like 'Auto refresh', 'Currency', 'Unit', 'Time zone', and 'Location'. Below this is a filter section with dropdown menus for 'Tank group' (set to 'Chemicals'), 'Product' (set to 'All'), 'Supplier' (set to 'All'), and 'Location' (set to 'All'). A search bar is also present. The main table displays two rows of data:

State	Tank name	Level	Value	Unit	Free	Product
Food and Beverage	sim_secondarys_2	88%	281,082.0	l	38,918.0	Ethanol
Mexiko City	sim_tank_recycling_2	46%	1,300.0	l	1,100.0	Ammoniak


Additional details for the first row are shown below the table:

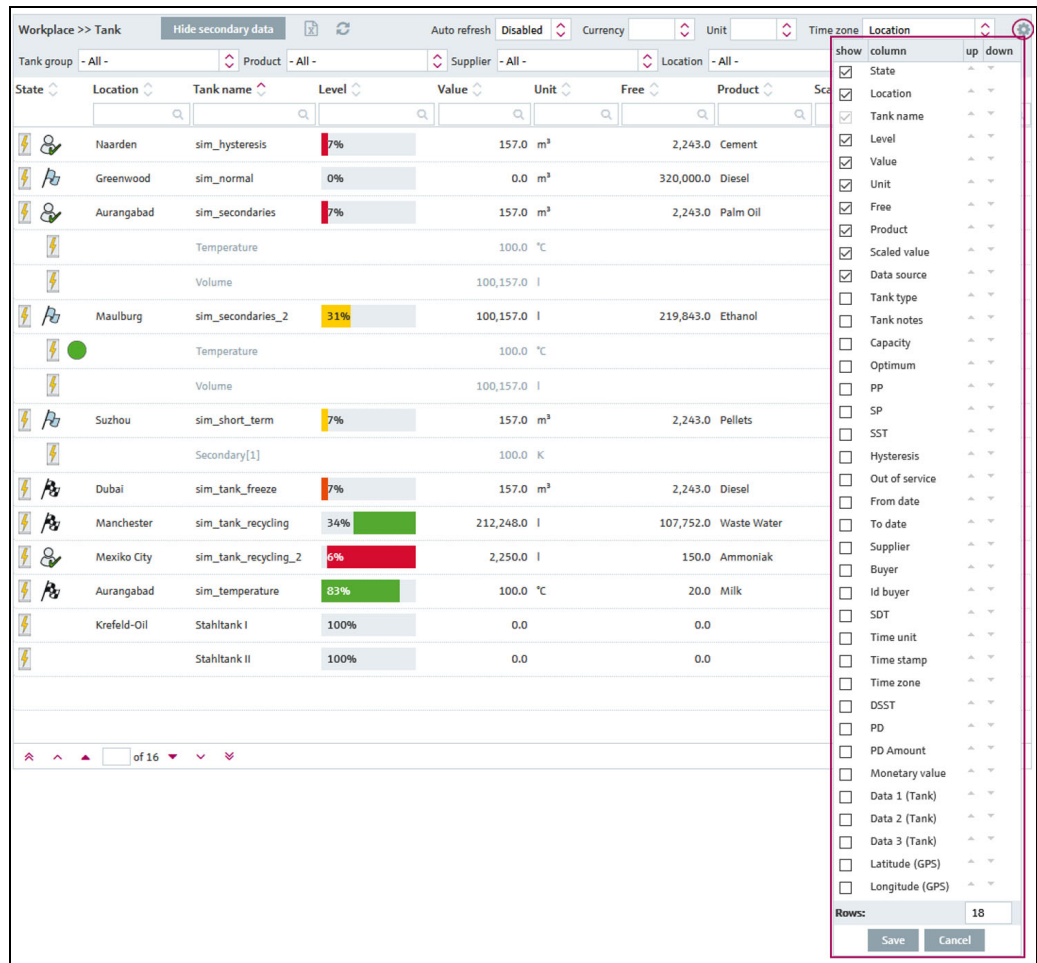
- Temperature: 10.0 °C
- Volume: 281,097.0 l

At the bottom, there is a pagination control showing '1 of 4' records.

S21_BA00050SEN_0211_30


5.6.3 概要テーブルの列表示（フィールド）の変更


概要のテーブルヘッダーにある  ボタンを押すと、コンテキストメニューが開きます。このコンテキストメニューを使用して、列の表示 / 非表示や列の順序を変更できます。



The screenshot shows a table with columns: State, Location, Tank name, Level, Value, Unit, Free, Product, and Scaled value. A context menu is open on the right, listing various fields to be shown or hidden, such as State, Location, Tank name, Level, Value, Unit, Free, Product, Scaled value, Data source, Tank type, Tank notes, Capacity, Optimum, PP, SP, SST, Hysteresis, Out of service, From date, To date, Supplier, Buyer, Id buyer, SDT, Time unit, Time stamp, Time zone, DSST, PD, PD Amount, Monetary value, Data 1 (Tank), Data 2 (Tank), Data 3 (Tank), Latitude (GPS), and Longitude (GPS). The 'Rows' section at the bottom of the menu shows 18 rows and 'Save' and 'Cancel' buttons.

A0036809-EN_300

 リストからタンクを選択した場合、ワークプレイスメニューのタンクメニュー項目には、このボタンは表示されません。

1. 詳細の非表示ボタンをクリックすると、再び  ボタンが表示されます。

5.6.4 数値（マスターデータ）の表示

1000 以上の数値には区切り文字が表示されます。ただし、これはワークプレイスメニュー内に限られます。

測定値とは異なり、マニュアル値は青色で表示され、その後に **MAN** というテキストが表示されます。データソース列には、データの取得元に関する情報（測定済みまたはマニュアル）が表示されます（詳細については、サービスマニュアルを参照）。

Arbeitsplatz_Tank_BA00050SEN_30

システムで区切り文字として使用される文字は、ブラウザで選択した言語設定に応じて異なります。以下に例を示します。

ドイツ語（ドイツ） de-DE	1.234,78
ドイツ語（スイス） de-CH	1'234.78
英語（米国） en-US	1,234.78

i ダウンロード、送信、印刷したビュー / 履歴 / レポートに表示される数値には、区切り文字が使用されません。

i 小数点以下の桁数は、設定メニューの単位メニュー項目で設定します。単位の小数点以下の桁数を変更できるのは、ユーザーロールがマスターデータに設定されているユーザーのみです。

5.6.5 マスターデータの変更

特定のユーザーロールでは、マスターデータである「会社」、「ユーザー」、「タンク」、「集合タンク」、「タンクタイプ」、「地域」、「製品」、「タンクグループ」のデータレコードを変更できます。

タンクの変更する手順例を以下に示します。その他のマスターデータに対しても同様の手順で変更できます。

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。
3. アプリケーションウィンドウに以下の詳細ビューが表示されます。


The screenshot shows the 'Configuration >> Tank' interface. At the top, there are filters for Product, Buyer, and Supplier, all set to '- All -'. Below this is a table of tanks with columns for Tank name and Location. The table lists several tanks, with 'sim_normal' at Greenwood highlighted in blue. Below the table, there are tabs for Tank details, Secondaries, Tank freeze, Tank holdup, Tank groups, Tank notes, and Tank linearization. The 'Tank details' tab is active, showing a form for the 'sim_normal' tank. The form includes fields for Tank name, Tank type, Location, Buyer, Supplier, SDT, Product, Planning type, ADI/ADO based on, and forecast settings. A 3D model of a tank is shown in the center. On the right, there are numerical values for Capacity, Optimum, Plan point, Ship point, Safety stock, and Hysteresis, along with a unit dropdown set to m³.

Konfiguration_Tank_4_BA00050EN_30

4. テーブルで、変更するタンクをクリックします。
5. **タンク詳細**タブを選択します。
6. 関連するタブがアプリケーションウィンドウの下部のセクションに表示されます。

This screenshot is identical to the previous one, but the 'Tank details' tab is now in edit mode. The 'Tank name' field is highlighted with a blue border, and a pencil icon is visible in the top left corner of the form area. The rest of the interface remains the same.

Konfiguration_Tank_2_BA00050EN_30

7.  ボタンをクリックします。
8. タブが編集モードで表示されます。

Konfiguration_Tank_3_BA00050EN_30

9. 必要な変更を行います。
10. をクリックして変更内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。
11. **タンクグループ**タブを変更する場合は、**タンク詳細**タブの説明に従います。

5.6.6 変更されたマスターデータの完全表示

入力ボックスに入力したテキストが長すぎて、テーブルの列にすべてを表示できない場合は切り捨てられます。ただし、そのテキストにカーソルを合わせると、別の情報ボックスに完全なテキストが表示されます。

Tank name	Location	Notes	Unit	Product	Capacity
sim_hysteresis	Naarden	Tank soll regelmäßig alle 3...	m³	Cement	2400
sim_normal	Greenwood	Tank soll regelmäßig alle 3 Wochen geprüft werden. Check tank regularly every 3 weeks.	m³		320000
sim_secondaries	Aurangabad		m³	Palm Oil	2400
sim_secondaries_2	Maulburg	Example note without inform...	l	Ethanol	320000
sim_short_term	Suzhou		m³	Pellets	2400

Lange_Zellinhalte_BA00050SEN_30

5.6.7 テーブル内のすべての行の選択

割り当てチェックボックスをオンにすると、テーブル内のすべての行を選択できます。


1. ボタンをクリックします。
2. 特定のタブが編集モードで表示されます。

Kontrollkaestchen_Zuordnen_BA00050SEN_30

3. **割り当て**チェックボックスをオンにします。
4. をクリックして選択内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

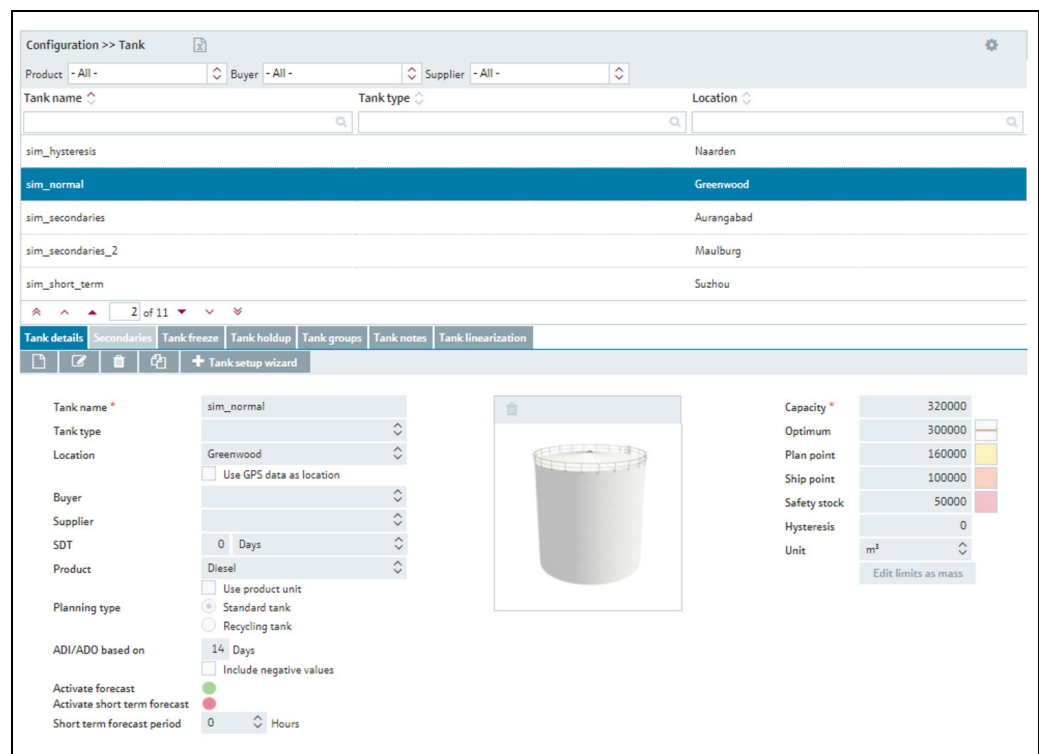
5.6.8 マスターデータの削除

特定のユーザーロールでは、マスターデータである「会社」、「ユーザー」、「タンク」、「集合タンク」、「地域」、「製品」、「タンクグループ」のデータレコードを削除できます。

i データレコードを削除できるのは、タブに  シンボルが表示されている場合のみです。シンボルが表示されていない場合、そのレコードは他の情報にリンクされています。データレコードを削除するには、これらのリンクを無効にする必要があります。

タンクのデータを削除する手順例を以下に示します。その他のマスターデータに対しても同様の手順で変更できます。


1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。
3. アプリケーションウィンドウに以下の詳細ビューが表示されます。



Konfiguration_Tank_4_BA0005OEN_30

4. 概要テーブルで、削除するタンクをクリックします。
5. 関連するタブがアプリケーションウィンドウの下部のセクションに表示されます。

Konfiguration_Tank_2_BA00050EN_30

6.  をクリックしてタンクを削除します。
7. 「本当に削除してよろしいですか？」というプロンプトが表示されます。
8. **OK** をクリックしてタンクを削除します。プロセスを中止する場合は、**キャンセル** をクリックします。

5.6.9 データレコードのコピーおよび変更

ユーザーロールに応じて、ユーザー、タンク、集合タンク、地域、会社、製品、タンクグループ、レポートの各メニュー項目で、データレコードをコピーできます。

そのデータレコード専用のデータ（フィールド）はコピーされません。これらのフィールドは、コピーされたデータレコードでは空のままです。

この機能が使用可能な場合、 ボタンが表示されます。


タンクのデータレコードをコピーする手順例を以下に示します。その他のデータレコードをコピーする場合も同じ手順を使用できます。

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。
3. 概要テーブルで、コピーするタンクをクリックします。
4. アプリケーションウィンドウに以下の詳細ビューが表示されます。

The screenshot shows the 'Configuration >> Tank' interface. At the top, there are filters for Product, Buyer, and Supplier, all set to '- All -'. Below this is a search bar for Tank name, Tank type, and Location. A list of tanks is displayed, with 'sim_normal' at Greenwood highlighted in blue. Below the list is a navigation bar with tabs for Tank details, Secondaries, Tank freeze, Tank holdup, Tank groups, Tank notes, and Tank linearization. The 'Tank details' tab is active, showing a 3D model of a tank and various configuration parameters.

Parameter	Value
Tank name	sim_normal
Tank type	Greenwood
Location	Greenwood
Buyer	
Supplier	
SDT	0 Days
Product	Diesel
Planning type	Standard tank
ADI/ADO based on	14 Days
Activate forecast	<input checked="" type="checkbox"/>
Activate short term forecast	<input checked="" type="checkbox"/>
Short term forecast period	0 Hours
Capacity	320000
Optimum	300000
Plan point	160000
Ship point	100000
Safety stock	50000
Hysteresis	0
Unit	m ³


Konfiguration_Tank_4_BA00050EN_30

5.  ボタンをクリックします。データレコードが編集モードで表示されます。

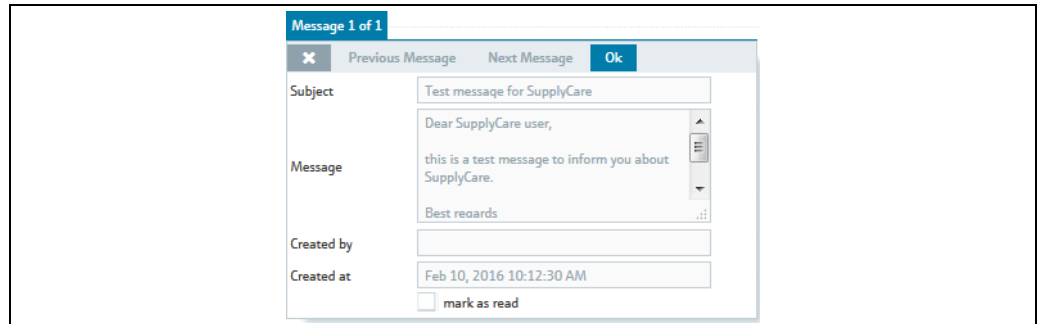
This screenshot shows the same 'Configuration >> Tank' interface, but in edit mode. The 'Tank name' field is now a text input containing 'sim norma'. The 'Planning type' section shows 'Standard tank' selected with a blue radio button. The 'Edit limits as mass' button is now highlighted in blue. The 3D model of the tank is still visible.

Konfiguration_Tank_3_BA00050EN_30

5.7 メッセージの受信（メッセージ）

 すべてのユーザーが通知メッセージを受信できます。

システム管理者からのメッセージは、ユーザーが次にログオンしたときに表示されます。








PS0000954en_30

以下の項目を選択できます。

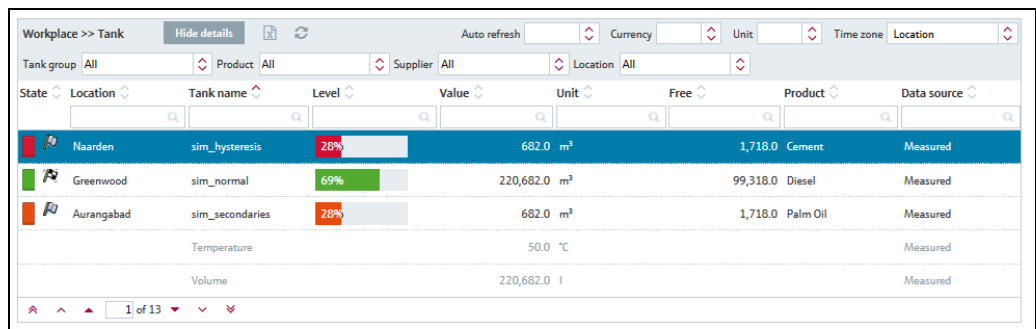
ボタン / フィールド	意味
前回のメッセージ	このボタンは複数のメッセージを選択できる場合に表示されます。 前回のメッセージ ボタンは、前回のメッセージを表示して処理する場合にクリックします。
次のメッセージ	このボタンは複数のメッセージを選択できる場合に表示されます。 次のメッセージ ボタンは、次のメッセージを表示して処理する場合にクリックします。
OK	このボタンは最後のメッセージに対して表示されます。 OK をクリックすると、ダイアログボックスが終了します。
既読としてマーク	既読としてマーク フィールドを使用すると、メッセージが既読としてマークされます。

6 タンクの監視 - 「タンク」ワークプレイス

6.1 タンクおよび関連情報の表示

-  ユーザーロールが**読み取り専用**、**スケジューラ**、または**オペレータ**に設定されているユーザーは、**タンク**メニュー項目を使用できます。
-  **メモとファイル**、**タンクパートナー**、**地域の詳細**、**イベントの詳細**、**イベント凍結の詳細**タブは、少なくとも 1 件の情報が含まれる場合にのみ表示されます。
-  **タンク**メニュー項目には、地域用に設定されたタイムゾーンが使用されます (→ 126 ページ)。デフォルト値は「標準時 +00:00」です。
-  設定内容に応じて、**タンク**の代わりに**オブジェクト**または**サイロ**が表示されます。詳細については、システム管理者用のサービスマニュアルの該当する章を参照してください。
-  **マニュアル値**は青色で表示され、その後に **MAN** というテキストが表示されます。**データソース**列には、データの取得元に関する情報 (測定済みまたはマニュアル) が表示されます。

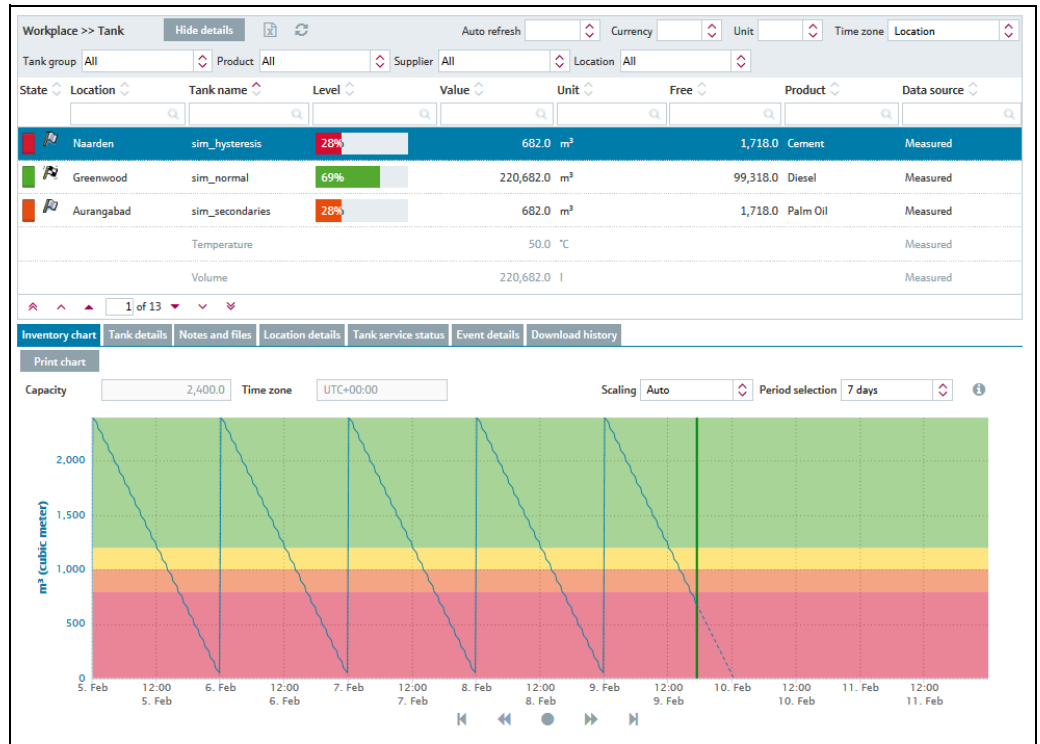
1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。ユーザーに割り当てられているタンクのリストが表示されます。



State	Location	Tank name	Level	Value	Unit	Free	Product	Data source
	Naarden	sim_hysteresis	28%	682.0	m³		1,718.0 Cement	Measured
	Greenwood	sim_normal	69%	220,682.0	m³		99,318.0 Diesel	Measured
	Aurangabad	sim_secondaries	28%	682.0	m³		1,718.0 Palm Oil	Measured
		Temperature		50.0	°C			Measured
		Volume		220,682.0	l			Measured

Arbeitsplatz_Tank2_BA00050SEN_30


3. テーブルで、詳細を表示するタンクをクリックします。
4. 選択したタンクの詳細がアプリケーションウィンドウに表示されます。



Tank_Bestandsdiagramm_BA00050SEN_30

- 別の行をクリックすると、新しく選択したタンクの詳細が表示されます。再び詳細を非表示にする場合は、**詳細の非表示**ボタンをクリックします。
 - アプリケーションウィンドウの下部では、次のタブを選択できます：
 在庫チャート、タンク詳細、メモとファイル、地域の詳細、タンクサービスのステータス、イベントの詳細、履歴のダウンロード
- i** SupplyCare では、標準タンクとリサイクルタンクが区別されます。標準タンクでは、タンクから製品が抽出されます。リサイクルタンクでは、タンクに製品が充填されます (→ 99 ページ)。
 「ワークプレイス - タンク」ビューでは、現在のレベル / 使用可能な容量が**レベル**列にグラフ形式で表示されます。標準タンクでは、レベルの増加に伴い、色付きのバーが左から右に移動します。表示されるパーセント値は現在のレベルに対応します。リサイクルタンクでは、レベルの増加に伴い、色付きのバーが右から左に移動します。表示されるパーセント値は現在使用可能な容量に対応します。

6.1.1 「タンク」概要テーブル

概要のテーブルヘッダーにある  ボタンを押すと、コンテキストメニューが開きます。このコンテキストメニューを使用して、テーブル列の表示 / 非表示の設定やテーブル列の移動を行うことができます。

概要テーブルで使用可能な列を以下に示します。

列	説明
ステータス	現在のタンクステータスに関するシンボルがディスプレイに表示されます。「タンクに関するアイコン」章の「ステータス表示」セクションも参照してください。
地域	タンクの地域を示します。地域はその地域の名前です。この名前は、設定メニューの タンク メニュー項目の 地域 フィールドで選択します。地域は 地域 メニュー項目で指定します。
タンク名	タンク名を示します。このフィールドは既存のセカンダリ値にも表示できます。 <ul style="list-style-type: none"> プライマリ値：プライマリ値のタンク名は、タンク名フィールドで入力します。パス：設定 → タンク → タンク詳細 → タンク名 セカンダリ値：セカンダリ値のタンク名は、設定メニューのタンクメニュー項目のセカンダリタブにある名前フィールドで入力します。
タンクタイプ	タンクタイプ名を示します。タンクタイプの名前は、設定されているタンクタイプを表します。タンクタイプは、設定メニューの タンク メニュー項目の タンクタイプ フィールドで選択します。タンクタイプは タンクタイプ メニュー項目で指定します。
レベル	現在のレベルがシンボルとパーセント値で示されます。
値	有効な最終プライマリ値が表示されます。このフィールドは既存のセカンダリ値にも表示できます。 <ul style="list-style-type: none"> 値フィールドは有効な最終測定値を示します。 集合タンクでは、関連するタンクの有効な測定値の合計が表示されます。ステータスが「非稼働」であるタンクは含まれません。関連するすべてのタンクが「非稼働」の場合、値として「0」が表示されます。 小数点以下の桁数は、設定メニューの単位メニュー項目で設定します。 マニュアル値が集合タンクの一部であるタンクに使用されている場合でも、マニュアル値は青色で表示され、その後に MAN というテキストが表示されます。
単位	単位を示します。このフィールドは既存のセカンダリ値にも表示できます。 <ul style="list-style-type: none"> プライマリ値の単位は、タンク詳細タブの単位フィールドを使用して選択します。その他の測定値（セカンダリ）の単位は、プロファイルメニューのユーザー設定タブで選択します。 質量単位、体積単位、長さの単位の場合、ユーザー設定メニュー項目の質量の単位、体積の単位、長さの単位フィールドで選択した単位が、タンクメニュー項目の設定よりも優先されます。
データソース	データに関する情報およびデータの取得元（測定ソースまたは手動入力値）が表示されます。
フリー	タンクの空き容量が計算されます。この計算は、最大稼働体積および製品密度に基づきます。
製品	製品名は、設定メニューの タンク メニュー項目の 製品 フィールドで選択します。製品は 製品 メニュー項目で指定します。
メモ	タンクのメモおよび / または地域のメモが使用可能かどうかを示します。
最適値	タンク容量の最適値は、設定メニューの タンク メニュー項目の 最適値 フィールドで指定します。小数点以下の桁数は、設定メニューの 単位 メニュー項目で設定します。
容量	タンクの容量は、設定メニューの タンク メニュー項目の 容量 フィールドで指定します。小数点以下の桁数は、設定メニューの 単位 メニュー項目で設定します。
PP (予定ポイント)	タンクの予定ポイント。このフィールドは既存のセカンダリ値にも表示できます。タンクの予定ポイントは、設定メニューの タンク メニュー項目の 予定ポイント フィールドで指定します。 セカンダリ タブで入力した値はセカンダリ値に使用されます。小数点以下の桁数は、設定メニューの 単位 メニュー項目で設定します。
SP (出荷ポイント)	タンクの出荷ポイントは、設定メニューの タンク メニュー項目の 出荷ポイント フィールドで指定します。 リサイクル チェックボックスがオンの場合、出荷ポイントは表示されません。小数点以下の桁数は、設定メニューの 単位 メニュー項目で設定します。
SST (安全在庫)	タンクの安全在庫。このフィールドは既存のセカンダリ値にも表示できます。タンクの安全在庫は、設定メニューの タンク メニュー項目の 安全在庫 フィールドで指定します。 セカンダリ タブで入力した値はセカンダリ値に使用されます。小数点以下の桁数は、設定メニューの 単位 メニュー項目で設定します。
ヒステリシス	ヒステリシスは、レベル変動などによりイベントメッセージが繰り返し出力されるのを回避するために役立ちます。このフィールドは既存のセカンダリ値にも表示できます。小数点以下の桁数は、設定メニューの 単位 メニュー項目で設定します。

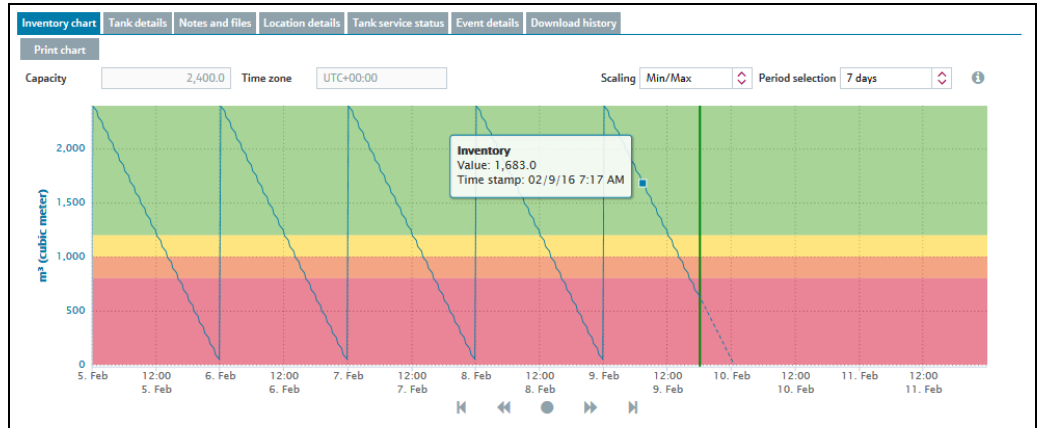
列	説明
非稼働	タンクが現在「非稼働」である場合、このフィールドが有効になります。
開始日	以前にタンクを「非稼働」にしたときの開始日、現在タンクを非稼働にしているときの開始日、または今後タンクを「非稼働」にするときの開始日を示します。
終了日	以前にタンクを「非稼働」にしたときの終了日、現在タンクを非稼働にしているときの終了日、または今後タンクを「非稼働」にするときの終了日を示します。
供給者	担当供給者を示します。供給者は会社として作成されます。
購入者	購入者を示します。購入者は会社として作成されます。
購入者 ID	会社メニュー項目の会社詳細タブの ID フィールドに対応します。
SDT (標準納期 / 標準廃棄時間)	標準タンク：タンクの標準納期は、設定メニューのタンクメニュー項目の標準納期フィールドで指定します。 リサイクルタンク：タンクの標準廃棄時間は、設定メニューのタンクメニュー項目の標準廃棄時間フィールドで指定します。
時間単位	SDT フィールド (標準納期 / 廃棄時間) に使用される時間単位。
タイムスタンプ	最終測定値のタイムスタンプ。このフィールドは既存のセカンダリ値にも表示できます。 <ul style="list-style-type: none"> 有効な最終測定値用のタイムゾーンのタイムスタンプが使用されます。タイムゾーンフィールドも参照してください。 集合タンクの場合、最新の測定値を供給した関連タンクのタイムスタンプが使用されます。
タイムゾーン	タイムスタンプのタイムゾーン。このフィールドは既存のセカンダリ値にも表示できます。地域のタイムゾーンが使用されます。
DSST (安全在庫に達するまでの日数)	安全在庫に達するまでの推定残り日数を示します。この値は 1 日の平均量を使用して計算されます。平均量の計算は「予測ベース」値に基づきます。
PD (納品予定 / 廃棄予定)	標準タンクの場合、次の納品予定の日時が表示されます。リサイクルタンクの場合、次の廃棄予定の日時が表示されます。納品 / 廃棄が予定されていない場合、このフィールドは空です。地域のタイムゾーンが使用されます。
PD 量 (納品予定量 / 廃棄予定量)	納品予定 / 廃棄予定の量。単位は、単位列の単位に対応します。
スケールされた値	スケールモードでは、タンク概要にレベル測定値を表示できます (単位付き)。
貨幣価値	設定メニューの製品メニュー項目の製品詳細タブの価格情報に基づいて計算された、タンク内容物の貨幣価値。 重要 ：単位あたりの価格における単位 (例：€ / l の場合は l) が体積単位の場合、タンク内容物も体積単位で測定する必要があります。例：価格が € / l の場合、タンク内容物の測定単位：m ³ これは各質量単位に有効：価格が € / kg の場合、タンク内容物の測定単位：t。
データ 1 (タンク) ~ データ 3 (タンク)	タンクの補足情報。これはタンクのメモタブでユーザーが編集できます。入力フィールド付きのタンクのメモタブは、設定メニューのタンクメニュー項目にあります。
緯度 (GPS)	タンク、サイロ、オブジェクトの地理座標は、緯度に表示されます (十進角、GPS)。
経度 (GPS)	タンク、サイロ、オブジェクトの地理座標は、経度に表示されます (十進角、GPS)。

6.1.2 在槽チャート

選択した期間の在槽の履歴および予測パターンが図に表示されます。表示の配分は履歴 (測定値) が 2/3 および予測 (計算値) が 1/3 です。

タンクが非稼働である場合は、在槽の履歴パターンのみが表示されます。在槽の予測パターンは表示されません。





マニュアル値は青色で表示され、その後に **MAN** というテキストが表示されます。





Bestandsdiagramm_Fenster_BA00050SEN_30

スケーリングフィールドを使用して、最小/最大スケーリングまたは自動スケーリングを選択します。「最小/最大」を選択した場合、「0」から「容量」までの在槽が表示されます。「自動」を選択した場合、表示可能な最小値から最大値までの在槽（予測値を含む）が表示されます。

在槽チャートの期間は、**期間の選択**フィールドを使用して選択します。現在の**制限値**は、さまざまな色の水平ラインで指定されます。

色	標準タンク	リサイクルタンク
 緑色	最適値から予定ポイント制限値までの範囲	空（値 0）から予定ポイント制限値までの範囲
 黄色	予定ポイントから出荷ポイント制限値までの範囲	予定ポイントから安全在庫制限値までの範囲
 橙色	出荷ポイントから安全在庫制限値までの範囲	なし
 赤色	安全在庫制限値から空（値 0）までの範囲	安全在庫から容量制限値までの範囲

 在槽チャートを印刷する場合は、**チャートの印刷**ボタンをクリックします。

 特定の期間を拡大する場合は、53 ページを参照してください。

6.1.3 タンク詳細

このタブには、タンクと制限値に関する情報が表示されます。

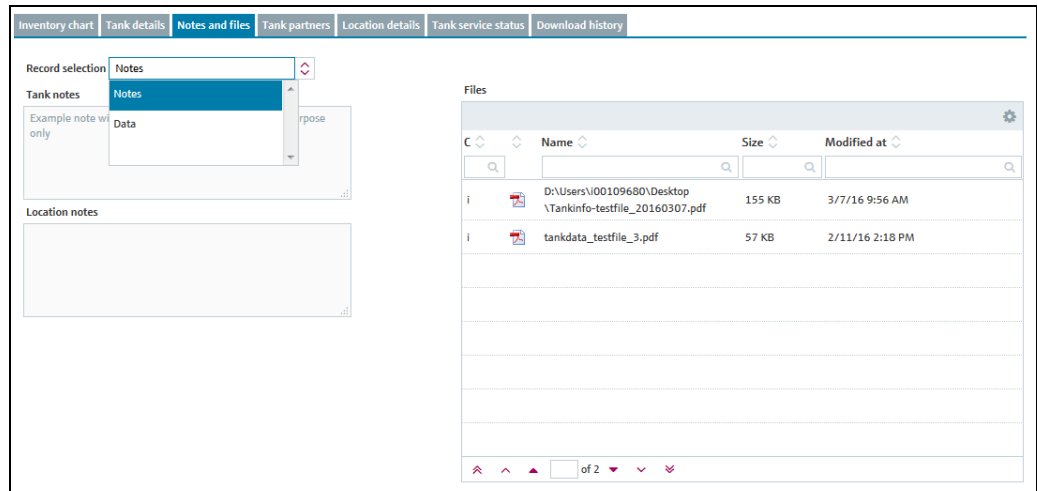
A0036909-EN_300

フィールドの説明

フィールド	説明
タンク名	タンク名は、 設定 メニューの タンク メニュー項目の タンク名 フィールドで選択します。
タンクタイプ	タンクタイプは、 設定 メニューの タンク メニュー項目の タンクタイプ フィールドで選択します。タンクタイプの設定は、 設定 メニューの タンクタイプ メニュー項目で行います。
値	最終プライマリ値 <ul style="list-style-type: none"> 値フィールドは有効な最終測定値を示します。 集合タンクでは、関連するタンクの有効な測定値の合計が表示されます。ステータスが「非稼働」であるタンクは含まれません。関連するすべてのタンクが「非稼働」の場合、値として「0」が表示されます。 小数点以下の桁数は、設定メニューの単位メニュー項目で設定します。
単位	プライマリ値の最終単位 <ul style="list-style-type: none"> 単位はタンクメニュー項目で指定します。 質量単位、体積単位、長さの単位の場合、ユーザー設定メニュー項目の質量の単位、体積の単位、長さの単位フィールドで選択した単位が、タンクメニュー項目の設定よりも優先されます。
タイムスタンプ	最終プライマリ値のタイムスタンプ <ul style="list-style-type: none"> 有効な最終測定値用のタイムゾーンのタイムスタンプが使用されます。タイムゾーンフィールドも参照してください。 集合タンクの場合、最新の測定値を供給した関連タンクのタイムスタンプが使用されます。
製品	製品名は、 設定 メニューの タンク メニュー項目の 製品 フィールドで選択します。製品は 製品 メニュー項目で指定します。
地域	地域は、 設定 メニューの タンク メニュー項目の 地域 フィールドで選択します。地域は 地域 メニュー項目で指定します。
緯度 / 経度 (GPS)	タンクの GPS 座標。十進角で表されます。これらのフィールドが表示されるのは、 設定 メニューの タンク メニュー項目の タンク詳細 タブにある GPS データを位置情報として使用する チェックボックスがオンの場合のみです。
タイムゾーン	タイムスタンプのタイムゾーン。 地域のタイムゾーンが使用されます。
SDT (標準納期 (日数または時間))	タンクの標準納期は、 設定 メニューの タンク メニュー項目の 標準納期 フィールドで指定します。
容量	タンクの容量は、 設定 メニューの タンク メニュー項目の 容量 フィールドで指定します。 小数点以下の桁数は、 設定 メニューの 単位 メニュー項目で設定します。
最適値	タンク容量の最適値は、 設定 メニューの タンク メニュー項目の 最適値 フィールドで指定します。 小数点以下の桁数は、 設定 メニューの 単位 メニュー項目で設定します。
予定ポイント	タンクの予定ポイントは、 設定 メニューの タンク メニュー項目の 予定ポイント フィールドで指定します。 小数点以下の桁数は、 設定 メニューの 単位 メニュー項目で設定します。
出荷ポイント	タンクの出荷ポイントは、 設定 メニューの タンク メニュー項目の 出荷ポイント フィールドで指定します。 リサイクル チェックボックスがオンの場合、出荷ポイントは表示されません。 小数点以下の桁数は、 設定 メニューの 単位 メニュー項目で設定します。
安全在庫	タンクの安全在庫は、 設定 メニューの タンク メニュー項目の 安全在庫 フィールドで指定します。 小数点以下の桁数は、 設定 メニューの 単位 メニュー項目で設定します。
ヒステリシス	ヒステリシスは、レベル変動などによりイベントメッセージが繰り返し出力されるのを回避するために役立ちます (→ 100 ページ)。 小数点以下の桁数は、 設定 メニューの 単位 メニュー項目で設定します。
容量制限なし	タンクの空き容量が計算されます。
計画タイプ	計画タイプとして「標準タンク」または「リサイクルタンク」が表示されます。
構成タンク	このフィールドは集合タンクの場合にのみ表示されます。 対応するすべてのタンクがこのリストに表示されます。
値 (集合タンク)	このフィールドは集合タンクの場合にのみ表示されます。 値 フィールドには、「構成タンク」リストで選択したタンクの有効な最終測定値が表示されます。 小数点以下の桁数は、 設定 メニューの 単位 メニュー項目で設定します。
非稼働	このフィールドは集合タンクの場合にのみ表示されます。 「構成タンク」リストで選択したタンクが非稼働である場合、このフィールドが有効になります。
測定不良	このフィールドは集合タンクの場合にのみ表示されます。 「構成タンク」リストで選択したタンクが不正な測定データを返した場合、このフィールドが有効になります。

6.1.4 メモとファイル

このタブには、タンクおよび地域に関連したメモ、データ、ファイルが表示されます。



S33_BA00050SEN_0211_30

レコードの選択フィールドを使用して、メモまたはデータのどちらを表示するかを選択します。

ファイルテーブルを使用すると、以下に示すようにファイルを開いて保存することができます。


1. テーブルの名前列で、**ファイル名**（ハイパーリンク）をクリックします。
2. ダイアログボックスが表示されます。ここでファイルを開くか、または保存するかを選択できます。
3. **OK** をクリックしてファイルを開くか、または保存します。プロセスを中止する場合は、**キャンセル** をクリックします。

6.1.5 タンクパートナー

このタブには、購入者と供給者に関する情報が表示されます。選択したタンクに購入者 / 供給者が現在割り当てられていない場合、このタブは表示されません。



S33-2_BA00050SEN_0211_30

 タンクパートナーとして購入者および供給者をタンクに割り当てる場合は、設定メニューの**タンク**メニュー項目の**タンク詳細**タブを使用します（→ 94 ページ）。

6.1.6 地域の詳細

このタブには、タンクの地域に関する情報が表示されます。

Location		Manager	
Company	PC Maulburg	Name	
Street	Hauptstraße 1	First name	
City	Maulburg	E-mail	
Zip code	79689	Fax	
State	Baden-Württemberg	Mobile	
Country	DE	Phone	
Name	Maulburg		

S34-1_BA00050SEN_0211_30

6.1.7 タンクサービスのステータス

このタブには、タンクサービスに関する情報が表示されます。

From date *		To date *		Comment	
+					

Out of service periods		
From date	To date	Comment

S34-2_BA00050SEN_0211_30

6.1.8 イベントの詳細

このタブには、選択したタンクに現在該当するイベントの詳細が表示されます。選択したタンクに現在該当するイベントがない場合、このタブは表示されません。**イベントの詳細**タブの説明については、60 ページを参照してください。

Message		Status
Safety stock reached, detected by measurement.	<input type="checkbox"/> Acknowledge	
Comment	<input type="checkbox"/> In process	

Planned delivery	
Amount	Unit
Time stamp	Time zone
Comment	

S34-3_BA00050SEN_0211_30

6.1.9 イベント凍結の詳細

このタブには、選択したタンクに現在該当する凍結イベントの詳細が表示されます。選択したタンクに現在該当する凍結イベントがない場合、このタブは表示されません。**イベント凍結の詳細**タブの説明については、60 ページを参照してください。

Arbeitsplatz_Tank_Freeze-Ereignis_BA00050SEN_30

6.2 タンクサービスのステータスの編集

- i** タンクのサービスステータスを指定または変更できるのは、ユーザーロールが **オペレータ** であるユーザーのみです。他のすべてのユーザーロールに対しては、このタブは読み取り専用になります。
- i** ユーザーは複数の非稼働期間を入力できますが、1日に入力できるのは1つの非稼働期間のみです。非稼働期間が重複しないようにしてください。新しい非稼働期間は、先行する非稼働期間の終了日として入力されていない日付にしか開始できません。
- i** 過去、現在、または今後予定されている非稼働期間は、**タンクメニュー項目の在槽チャート**タブに表示されます。非稼働期間中は、タンクレベルが水平ラインで表示されます。非稼働期間が表示されている部分の在槽チャートの背景は網かけ表示になります → 44 ページ。

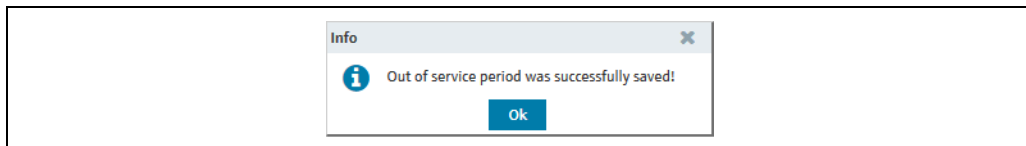
タンクが非稼働状態のとき、これを示すシンボルとして、個別タンクの場合は **✘** および集合タンクの場合は **✘✘** がタンク概要テーブルに表示されます。測定値は更新されなくなります。タンクイベントの通知も生成されなくなります。

1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。ユーザーに割り当てられているタンクのリストが表示されます。
3. 概要テーブルで、サービスステータスを編集するタンクを選択します。
4. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**タンクサービスのステータス**タブを選択します。

S34-2_BA00050SEN_0211_30

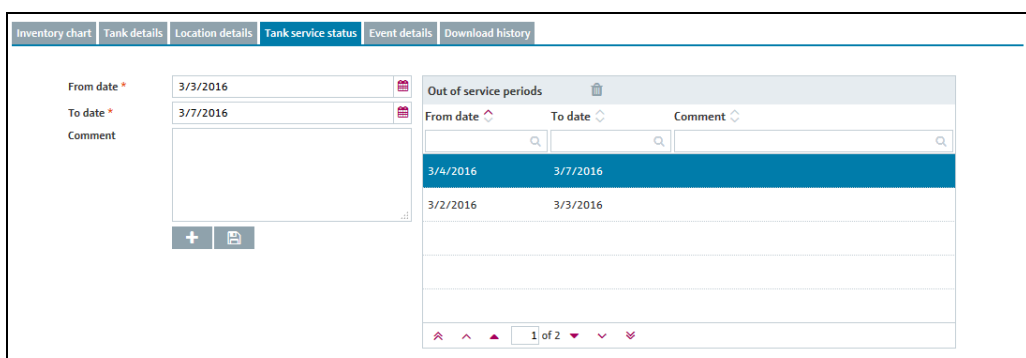
5. タンクを非稼働にする今後の日程を選択します。**開始日**および**終了日**フィールドに日付を直接入力するか、または **📅** ボタンを使用して選択することができます。日付を直接入力する場合は、「dd.mm.yy」の形式を使用してください。

6. 必要に応じて、**コメント**フィールドにコメントを入力します。
7. **+** をクリックしてリストに非稼働期間を保存します。
8. **SupplyCare** では、非稼働期間が正常に保存されたことを示すメッセージが表示されます。これを確認して **OK** ボタンをクリックします。



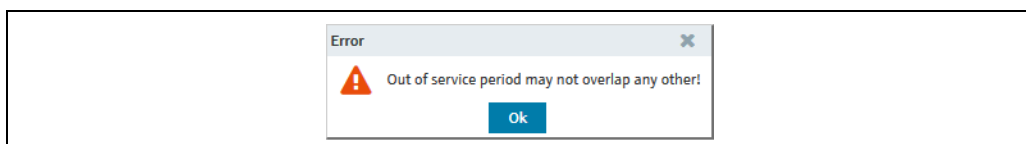
Tankservicestatus-3_BA00050SEN_30

9. 非稼働期間の編集：編集する非稼働期間をリストから選択し、**開始日**および/または**終了日**フィールドに必要な日付を入力します。入力済みの非稼働期間と重複しないよう注意してください。



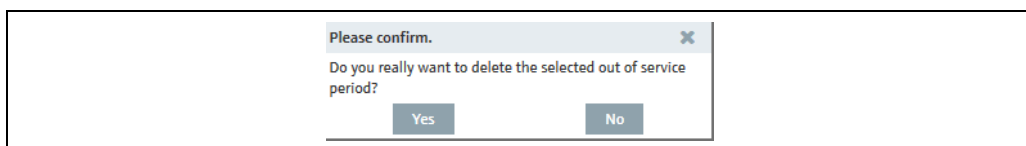
Tankservicestatus-1_BA00050SEN_30

10. **保存** をクリックして変更内容を保存します。非稼働期間が重複している場合、**SupplyCare** ではエラーメッセージが表示されます。この場合、変更内容は **SupplyCare** に保存されません。



Tankservicestatus-2_BA00050SEN_30

11. エラーメッセージを確認して **OK** ボタンをクリックします。前述の説明に従い、再び**開始日**および/または**終了日**フィールドの日付を編集します。
12. 非稼働期間の削除：削除する非稼働期間をリストから選択し、**削除** ボタンをクリックして、以下の確認メッセージが表示されたら、**はい**をクリックして削除コマンドを確定するか、または**いいえ**をクリックして中止します。



Tankservicestatus-5_BA00050SEN_30

6.2.1 在槽チャートでの非稼働期間の表示

i 過去、現在、または今後予定されている非稼働期間は、**タンク**メニュー項目の**在槽チャート**タブに表示されます。非稼働期間中は、タンクレベルが水平ラインで表示されます。非稼働期間が表示されている部分の在槽チャートの背景は網かけ表示になります → 44 ページ。

1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。
3. テーブルで、**在槽チャート**タブにセカンダリデータを表示するタンクをクリックします。
4. **在槽チャート**タブをクリックします。**在槽チャート**タブに以下の詳細ビューが表示されます。



Tankservicestatus-4_BA00050SEN_30

在槽チャートには、今後予定されている非稼働期間の中から2つが表示されます。

i 在槽チャートを印刷する場合は、**チャートの印刷**ボタンをクリックします。

6.3 履歴のダウンロード

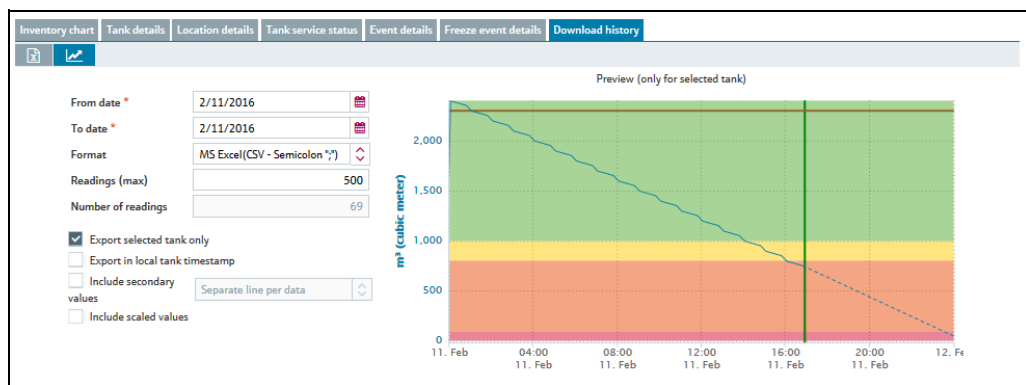
履歴のダウンロードタブでは、以下のオプションを使用できます。

- 概要に表示されているすべてのタンクの測定値履歴または概要で選択した 1 つのタンクの測定値履歴を CSV 形式で保存します。
- 概要で選択した 1 つのタンクの測定値履歴を図示します。

CSV ファイルには、次のデータが含まれます：タンク名、タイムスタンプ、値、単位、最適値、予定ポイント、出荷ポイント、安全在庫、測定点 (→ 46 ページ) 値を手動で設定した場合、値の後に **MAN** というテキストが付加されます。

1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。ユーザーに割り当てられているタンクのリストが表示されます。
3. 概要テーブルで、履歴をチャートで表示するタンクまたは CSV ファイルとして保存するタンクを選択します。
4. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**履歴のダウンロード**タブを選択します。






📄 ボタンをクリックすると、選択したタンクのプレビューが右側に表示されます。



5. データをダウンロードする過去の期間を選択します。**開始日**および**終了日**フィールドに日付を直接入力するか、または 📅 ボタンを使用して選択することができます。日付を直接入力する場合は、「dd.mm.yy」の形式を使用してください。開始日と終了日にはタイムゾーンとして「標準時+00:00」が使用されます。
6. 測定値履歴をファイルとしてダウンロードする場合は、**形式**として MS Excel (CSV - セミコロンまたは CSV - コンマ) を選択できます。
7. 選択したタンクのデータのみをダウンロードする場合は、**選択したタンクのみをエクスポート**チェックボックスをオンにします。テーブルに表示されているすべてのタンクのデータをダウンロードする場合は、このチェックボックスをオフにします。
8. セカンダリ値もダウンロードする場合は、**セカンダリ値を含む**チェックボックスをオンにします。この情報は、データを Excel ファイルとしてダウンロードする場合にのみ関係します。ドロップダウンリストから、次のいずれかの項目を選択します：**データごとに行を分割**または**全データを 1 行に表示**
9. スケーリングされた値もダウンロードする場合は、**スケーリングした値を含む**チェックボックスをオンにします。
10. タンクの地域の現地時間のタイムスタンプをエクスポートして表示する場合は、**現地タンクのタイムスタンプでエクスポート**チェックボックスをオンにします。タンクの地域の現地時間を取得できない場合、標準時でエクスポートされます。
11. **読み込み数 (最大)** フィールドを使用して、各タンクごとのプライマリ値の最大数を指定します。
12. 📈 ボタンをクリックして測定値履歴を図示します。選択したタンクが非稼働である場合は、在槽の履歴パターンのみが表示されます。在槽の予測パターンは表示されません。
13. 📄 ボタンをクリックして、測定値を Excel スプレッドシートとしてダウンロードします。

CSV ファイルの構造 :

タンク名	タイムスタンプ	値	単位	最適値	予定ポイント	出荷ポイント	安全在庫	R (リサイクル タンク)	リサイクル タンクの 予定ポイント	リサイクル タンクの 安全在庫	測定点
TANK_01	1/13/10 6:40 AM	1.76	l	0	0	0	0	1	7.0	3.0	1
TANK_01	1/13/10 6:49 AM	5	A	0	0	0	0	1	7.0	3.0	2
TANK_01	1/13/10 6:58 AM	1	V	0	0	0	0	1	7.0	3.0	3
TANK_01	1/13/10 7:07 AM	28	°C	0	0	0	0	1	7.0	3.0	4
TANK_01	1/14/10 6:43 AM	1.757	l	0	0	0	0	1	7.0	3.0	1
TANK_01	1/14/10 6:52 AM	6	A	0	0	0	0	1	7.0	3.0	2
TANK_01	1/14/10 7:01 AM	2	V	0	0	0	0	1	7.0	3.0	3
TANK_01	1/14/10 7:10 AM	29	°C	0	0	0	0	1	7.0	3.0	4
TANK_01	1/15/10 6:46 AM	1.754	l	0	0	0	0	1	7.0	3.0	1
TANK_01	1/15/10 6:55 AM	7	A	0	0	0	0	1	7.0	3.0	2
TANK_01	1/15/10 7:04 AM	3	V	0	0	0	0	1	7.0	3.0	3
TANK_01	1/15/10 7:13 AM	30	°C	0	0	0	0	1	7.0	3.0	4
TANK_02	1/13/10 6:40 AM	2.76	l	10.0	8.0	7.0	3.0	0	0	0	1
TANK_02	1/13/10 6:49 AM	2.5	A	10.0	8.0	7.0	3.0	0	0	0	2
TANK_02	1/13/10 6:58 AM	31	V	10.0	8.0	7.0	3.0	0	0	0	3
TANK_02	1/13/10 7:07 AM	2.8	°C	10.0	8.0	7.0	3.0	0	0	0	4
TANK_02	1/14/10 6:43 AM	2.757	l	10.0	8.0	7.0	3.0	0	0	0	1
TANK_02	1/14/10 6:52 AM	2.6	A	10.0	7.0	7.0	3.0	0	0	0	2
TANK_02	1/14/10 7:01 AM	32	V	10.0	7.0	7.0	3.0	0	0	0	3
TANK_02	1/14/10 7:10 AM	2.9	°C	10.0	7.0	7.0	3.0	0	0	0	4
TANK_02	1/15/10 6:46 AM	2.754	l	10.0	8.0	7.0	3.0	0	0	0	1
TANK_02	1/15/10 6:55 AM	2.7	A	10.0	8.0	7.0	3.0	0	0	0	2
TANK_02	1/15/10 7:04 AM	33	V	10.0	8.0	7.0	3.0	0	0	0	3
TANK_02	1/15/10 7:13 AM	3.0	°C	10.0	8.0	7.0	3.0	0	0	0	4

-  CSV ファイルのヘッダーの言語はブラウザの言語設定に応じて異なります。
-  テーブルは最初にタンク名でソートされ、次にタイムスタンプでソートされます。タイムスタンプにはタイムゾーンとして常に「標準時 +00:00」が使用されます。
-  **R** 列には、計画タイプに関する情報が表示されます。「0」は標準タンクを表します。「1」はリサイクルタンクを表します。
-  標準の初期設定では、日時は次のように表示されます。
yyyy-MM-dd, HH:mm:ss
-  マニュアル値の後には **MAN** というテキストが付加されます。

6.4 セカンダリの表示

多点の計測機器では、一次変数に加えて追加の測定変数 (セカンダリ) を記録できます。

タンクにセカンダリ値も割り当てられている場合、これらの値は「ワークプレイス-タンク」ビューの概要テーブル、**在槽チャート**タブ、および**タンク詳細**タブで表示できます。最大で1つのプライマリ値と8つのセカンダリ値をタンクに割り当てることができます。

- i** プライマリ値の単位は、**タンク詳細**タブの**単位**フィールドを使用して指定します。質量単位と体積単位の場合、**ユーザー設定**メニュー項目の**質量の単位**または**体積の単位**フィールドの設定が優先されます。
- i** セカンダリ値の単位は、**測定点の詳細**タブの**単位 (アプリケーション)** フィールドで指定します。

6.4.1 「タンク」メニュー項目の概要テーブルでのセカンダリの表示

- i** 標準でのセカンダリ値の表示 / 非表示は、契約のシステム設定に応じて異なります。デフォルトの標準設定では、セカンダリ値は非表示です。

1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。
3. アプリケーションウィンドウに以下の詳細ビューが表示されます。

State	Location	Tank name	Level	Value	Unit	Free	Product	Data source
	Maulburg	sim_secondaries_2	63%	200,697.0	l		Ethanol	Measured
	Mexiko City	sim_tank_recycling_2	29%	1,700.0	l		Ammoniak	Measured

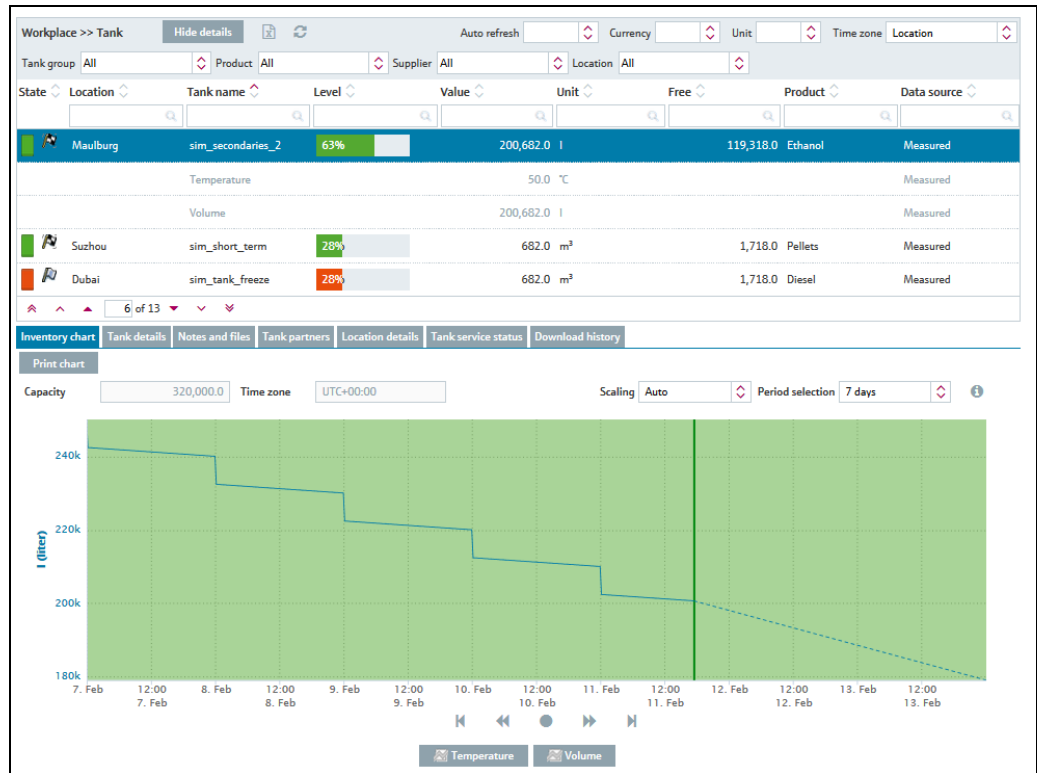
S38_BA000505EN_0211_30

4. **セカンダリデータの表示**ボタンをクリックします。
5. 特定のタンクの下に、関連するすべてのセカンダリデータが表示されます。セカンダリデータから次のデータが表示されます (取得可能な場合) : タンク名、値、単位、ヒステリシス、制限 1、制限 2。タンク名は、**タンク**メニュー項目の**セカンダリ**タブの**名前**フィールドに対応します。
6. セカンダリデータを非表示にする場合は、**セカンダリデータの非表示**ボタンをクリックします。

6.4.2 在槽チャートでのセカンダリの表示

- i** ユーザーロールが**マスターデータ**であるユーザーは、**タンク**メニュー項目の**セカンダリ**タブを使用して名前を指定できます。この名前は概要テーブルのボタンとグラフに使用されます。名前が入力されていない場合、そのセカンダリ値にはデフォルト名として、セカンダリ [1]、セカンダリ [2]、セカンダリ [3]、セカンダリ [4]、セカンダリ [5]、セカンダリ [6]、セカンダリ [7]、セカンダリ [8] という名前が付けられます。

1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。
3. テーブルで、**在槽チャート**タブにセカンダリデータを表示するタンクをクリックします。
4. アプリケーションウィンドウに以下の詳細ビューが表示されます。



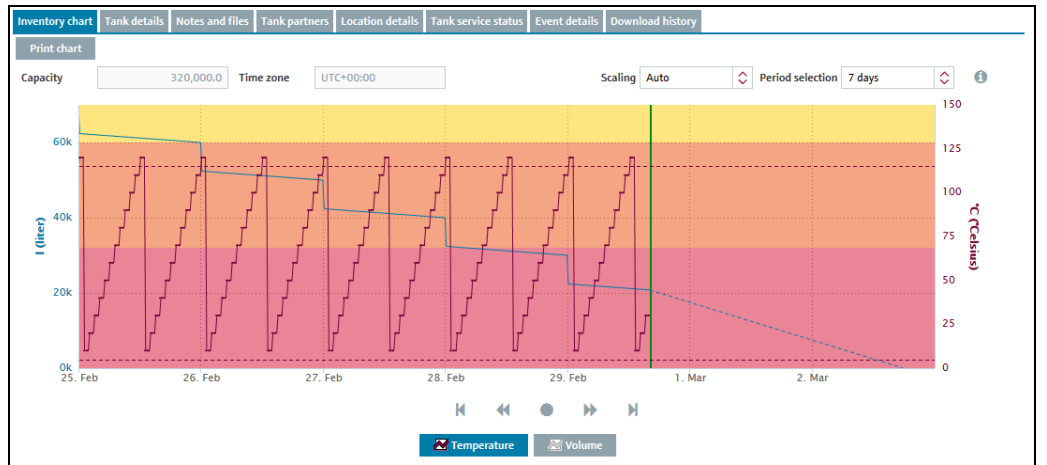
S39_BA00050SEN_0211_30

在槽チャートには、プライマリ値のグラフが表示されます。

5. チャートの下の **[セカンダリ値の名前]** ボタンをクリックします。
タンクに割り当てられているセカンダリ値の数に応じて、対応する数の **[セカンダリ値の名前 [1 ~ 8]]** ボタンが在槽チャートの下に表示されます。
 6. 特定のグラフを非表示にする場合は、その **[セカンダリ値の名前]** ボタンをクリックします。
- i** 在槽チャートを印刷する場合は、**チャートの印刷** ボタンをクリックします。
 - i** グラフ上にカーソルを合わせると、グラフ内の個々のポイントに対応した特定の値とタイムスタンプが表示されます。

6.4.3 セカンダリ値の制限またはスパン制限

1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。
3. テーブルで、セカンダリデータを表示するタンクをクリックします。





Bestandsdiagramm_Sekundaerwert_BA00050SEN_30

在槽チャートには、プライマリ値のグラフに加え、セカンダリ値のグラフとスパン制限も表示されます。

4. 在槽チャートの下の【セカンダリ値の名前】ボタンをクリックします。在槽チャートの下には、複数の【セカンダリ値の名前 [1 ~ 8]】ボタンがあり、その数は割り当てられているセカンダリ値の数に対応しています。

5. それぞれのグラフを非表示にする場合は、その【セカンダリ値の名前】ボタンをクリックします。

 在槽チャートを印刷する場合は、**チャートの印刷**ボタンをクリックします。

 グラフ上にカーソルを合わせると、グラフ内の個々のポイントに対応した特定の値とタイムスタンプが表示されます。

6.4.4 「タンク詳細」タブを使用したセカンダリデータの表示

1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。

2. **タンク**メニュー項目をクリックします。

3. テーブルで、セカンダリデータを表示するタンクをクリックします。

4. **タンク詳細**タブを選択します。

5. 値フィールドの下の  ボタンをクリックします。

6. 以下の画面が表示されます。

	Value	Unit	Time stamp
Primary	200,667.0	l	2/11/16 5:33 PM
Secondary[1]	50.0	°C	2/11/16 5:30 PM
Secondary[2]	200,667.0	l	2/11/16 5:33 PM
Secondary[3]			
Secondary[4]			
Secondary[5]			
Secondary[6]			
Secondary[7]			
Secondary[8]			

Tankdetails_Sekundaerwerte_BA00050SEN_30

虫眼鏡のボタンは、以下の場合には選択できません。

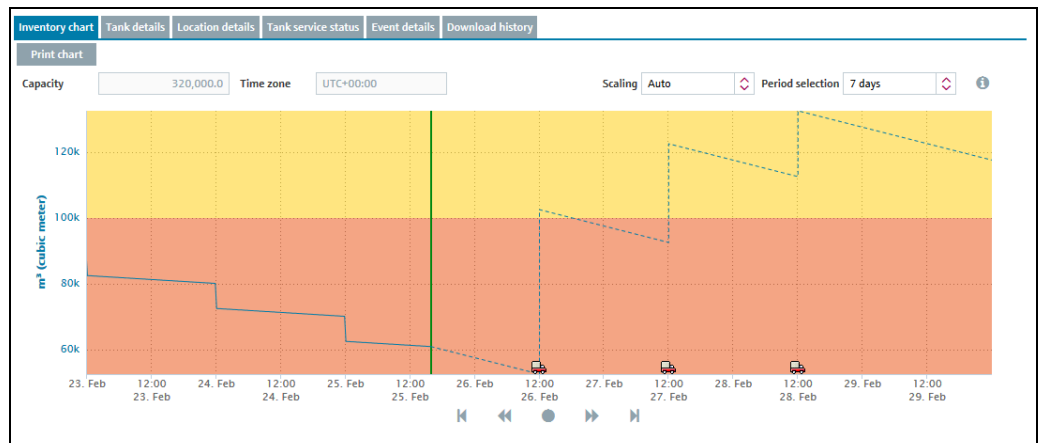
- 選択したタンクにセカンダリ値が割り当てられていない場合
- タンクが測定不良の場合
- タンクが非稼働の場合
- タンクが集合タンクに割り当てられている場合

6.5 在槽チャートでの履歴データと予測値の表示

在槽チャートには、これまでに測定された値が実線で表示され、今後の計算値が破線で表示されます。セカンダリ値の場合、予測値は取得できません。

標準タンクの場合、予測値は「1日平均払出量」の値から計算されます。リサイクルタンクの場合、予測値は「1日平均受入量」の値から計算されます。

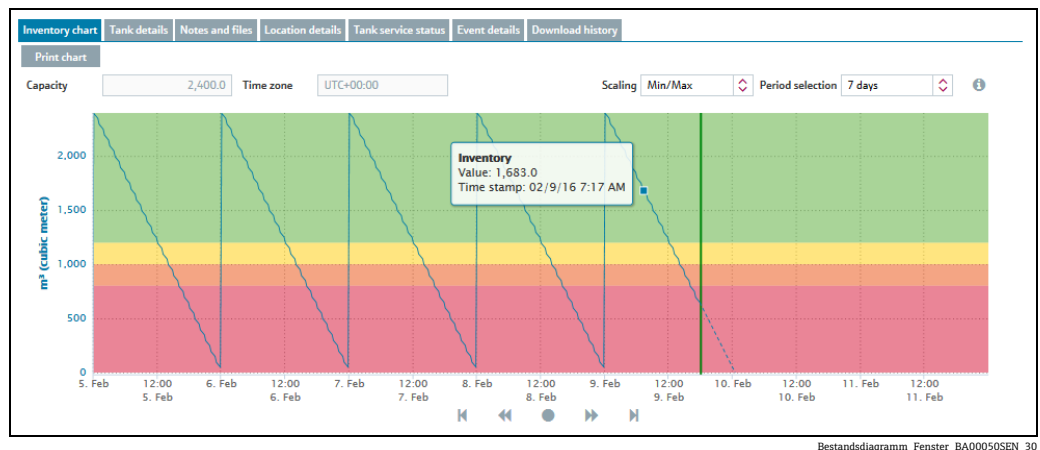
また、今後の複数の納品予定（リサイクルタンク：廃棄）も計算値（予測）に組み込まれて表示されます。



在槽チャートは以下の追加機能を備えています。

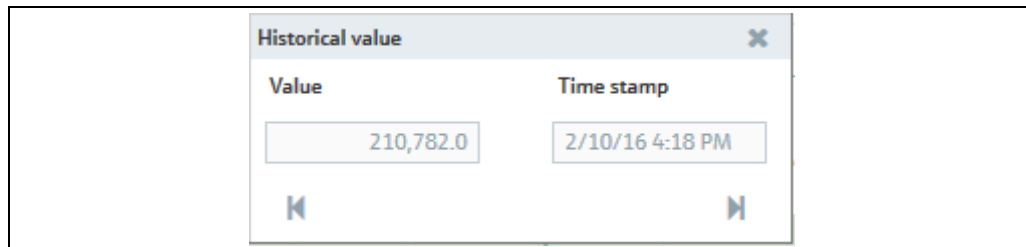
マウスオーバー機能

在槽チャートのグラフ上にカーソルを合わせると、追加情報が表示されます。グラフ内のポイントが過去である場合、その測定値とタイムスタンプに関する情報を示す「在槽」ウィンドウが表示されます。グラフ内のポイントが未来である場合、その計算値とタイムスタンプに関する情報を示す「予測」ウィンドウが表示されます。



グラフのポイントをクリック

グラフ内のポイントをクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。過去の測定値の場合は、**履歴データ**ダイアログボックスが表示されます。今後の計算値の場合は、**予測値**ダイアログボックスが表示されます。受信された最終測定値の場合は、**現在の値**ダイアログボックスが表示されます。



Bestandsdiagramm_Vergangenheitswert_BA00050SEN_30

ダイアログボックスを使用した移動

ダイアログボックスの**値**フィールドには、過去の測定値および今後の計算値が表示されます。**タイムスタンプ**フィールドには、関連する日時が表示されます。**◀** ボタンをクリックすると、以前の測定点が表示されます。**▶** ボタンをクリックすると、以後の測定点が表示されます。さらに時間をさかのぼって測定点を表示するには、**期間の選択**フィールドに表示されている日数を変更します。

6.5.1 短期予測




短期予測は、在槽チャートの第 2 予測ラインであり、過去数時間のデータに基づいて計算されます。期間は 1 ~ 12 時間の間で個別に設定できます（設定については、サービスマニュアルのパラメータ表を参照）。

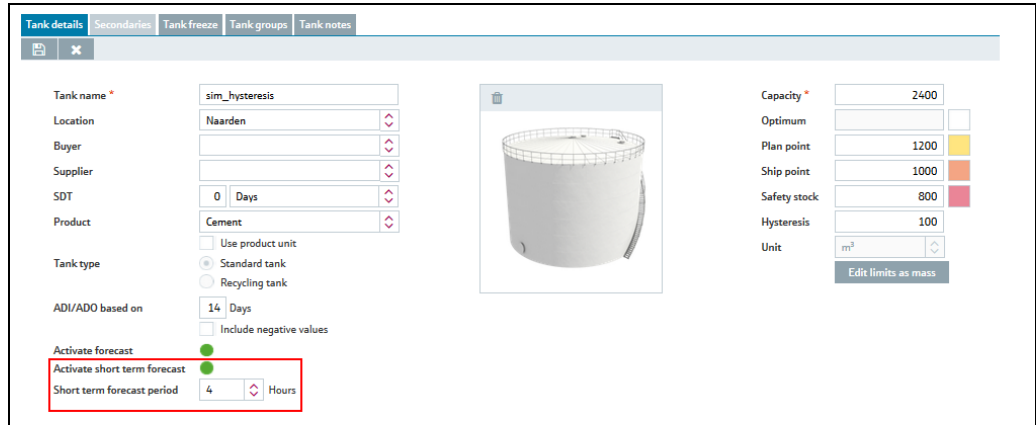
短期予測ラインでは、現在までの過去数時間（1 ~ 12 時間：個別の設定に基づきます）の測定値が赤色の点線で表示されます。

短期予測ラインは集合タンクにも使用できます。



i デフォルトでは、短期予測の表示は無効になっています。詳細については、サービスマニュアルのパラメータ表を参照してください。短期予測を表示するには、**タンク詳細**タブで**短期予測**を**有効化**する必要があります。

タンクの短期予測の有効化

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。
3. テーブルで、短期予測を有効化するタンクをクリックします。
4. **タンク詳細**タブを選択します。
5.  ボタンをクリックします。
6. タブが編集モードで表示されます。
7. **短期予測の有効化**というテキストの横にある赤色のドット  をクリックします。ドットが緑色  に変化します。これで短期予測は有効化されました。



BA00055SEN_ShortTerm_activate_30

8. **短期予測の期間** フィールドに時間数を入力します。この時間数に基づいて短期予測が計算されます。
9.  をクリックして変更内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

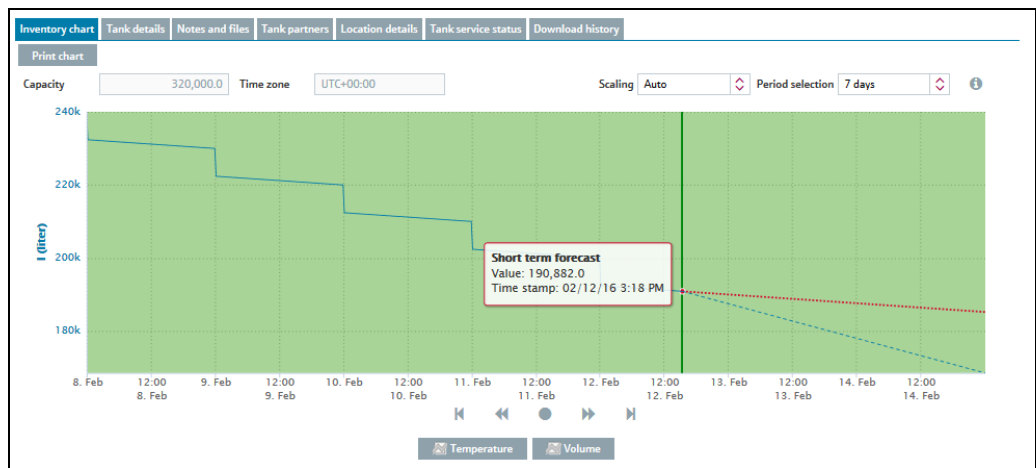


BA00055SEN_ShortTerm_DE_30

短期予測ラインは以下の追加機能を備えています。

マウスオーバー機能

在槽チャートのグラフ上にカーソルを合わせると、追加情報が表示されます。



BA00055SEN_ShortTerm_MouseOver_30

6.6 在槽チャート内のズーム機能

ズーム機能を使用すると、在槽チャート内の最大 12 時間の区間を拡大してデータをより詳細に表示できます。

1. 拡大ゾーンの始点を設定します。

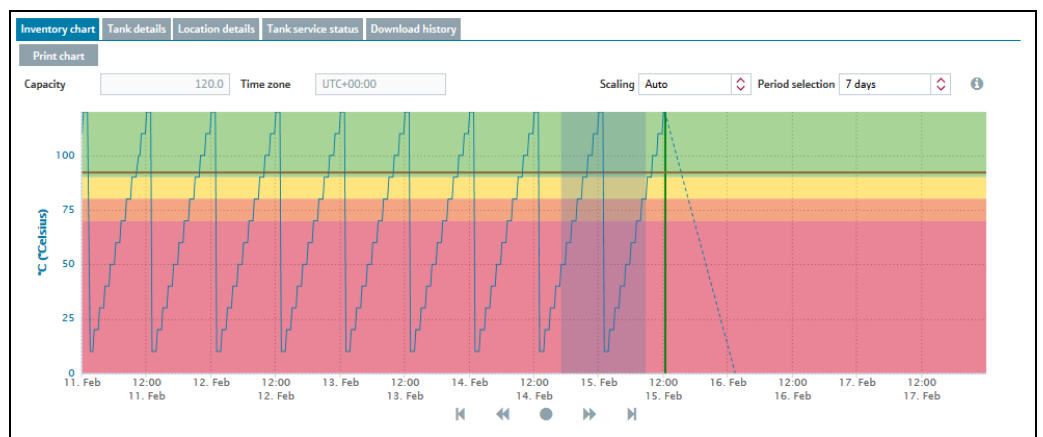
以下の手順を実行します。

- 左マウスボタンを使用して、目的の始点をクリックします。
- 左マウスボタンを押したままにして、マウスを左から右にドラッグします。
- 選択されたゾーンの背景が暗色で表示されます。マウスをドラッグすると、ゾーンを左右に移動することができます。

2. 左マウスボタンを放して拡大ゾーンの終点を選択します。


3. ゾーンが選択された在槽チャートが読み込まれます。


4. 縮小表示に戻す場合は、**ズームのリセット**をクリックします。







Bestandsdiagramm_Zoom_BA00050SEN_30

6.7 在槽チャートを使用した納品および廃棄の予定

 標準タンクの納品およびリサイクルタンクの廃棄を予定できるのは、ユーザーロールが**スケジューラ**であるユーザーのみです。

1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。
3. 概要テーブルで、納品または廃棄を予定するタンクを選択します。
4. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**在槽チャート**タブを選択します。
5. 在槽チャートで、納品または廃棄を予定する日付のグラフをクリックします。将来の予定日を指定する必要があります。
6. **予測値**ダイアログボックスが表示されます。
7. **納品を予定**ボタン（標準タンク）または**廃棄を予定**ボタン（リサイクルタンク）をクリックします。
8. 標準タンクの場合は、**納品を予定**ダイアログボックスが表示されます。リサイクルタンクの場合は、**廃棄を予定**ダイアログボックスが表示されます。
9.  ボタンをクリックします。
10. ダイアログボックスが編集モードで表示されます。
11. ここには、以下のデータを表示して入力できます。

- **値**：予測レベルが表示されます。
- **納品日時**：カレンダーで選択した日が日付として使用されます。時刻はあらかじめ設定されています。
- **量**：予定量を入力します。
- **範囲**：このフィールドには、入力した量に対して安全在庫に達するまでの日数が表示されます。標準タンクの場合、この日数は「1日平均払出量」の値から計算されます。リサイクルタンクの場合、この日数は「1日平均受入量」の値から計算されます。
- **更新範囲**： ボタンを使用すると、入力した量に応じて**範囲**フィールドが更新されます。
- **コメント**：コメントやメモを入力します。

12.  をクリックして変更内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。
13. 在槽チャートの納品用トラックのアイコン  は納品および廃棄を示します。納品用トラックのフィールドにカーソルを合わせると、納品予定 / 廃棄予定に関する情報が納品日時と一緒に表示されます。

7 カスタマイズされたタンクビューの表示 - 「マイタンクビュー」ワークプレイス

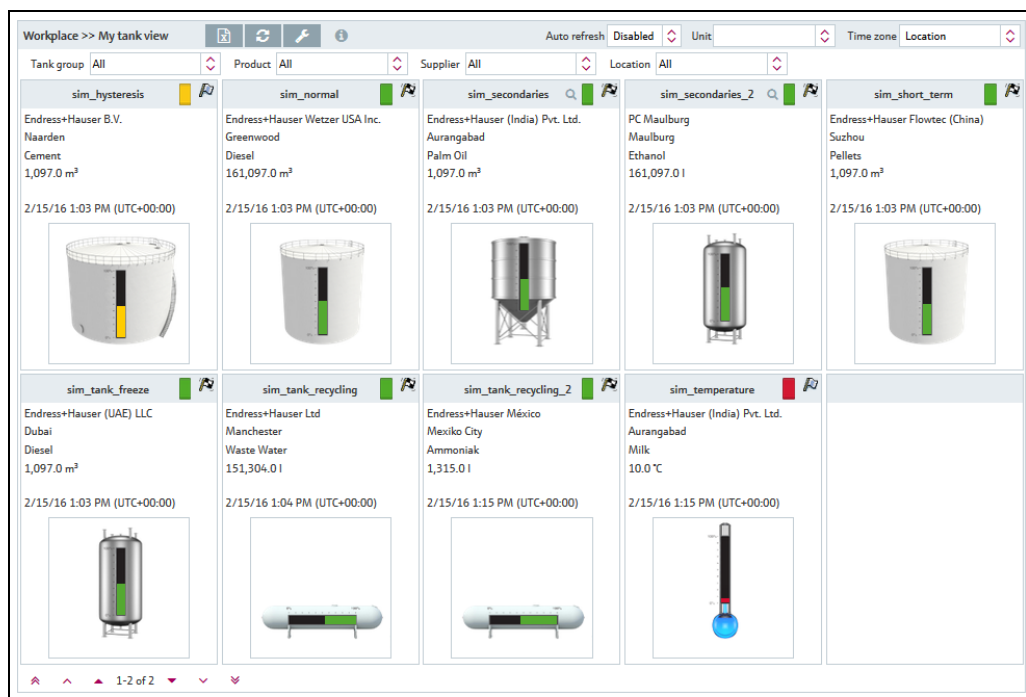
カスタマイズされたタンクビューには、ユーザーがマイタンクビュータブのユーザープロフィールで選択したタンクが表示されます (→ 156 ページ)。

i ユーザーロールが**読み取り専用**、**スケジューラ**、または**オペレータ**に設定されているユーザーは、**マイタンクビュー**メニュー項目を使用できます。

1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **マイタンクビュー**メニュー項目をクリックします。
3. ユーザープロフィールで選択したすべてのタンクのリストが表示されます。

i **マニュアル値**は青色で表示され、その後**MAN**というテキストが表示されます。**データソース**列には、データの取得元に関する情報 (測定済みまたはマニュアル) が表示されます。

i **タンクグループ**、**製品**、**供給者**、**地域**の各選択リストを使用して、タンクをフィルタ処理できます。選択を行うたびに、そのグループに当てはまるタンクのみが画面に表示されます。



Arbeitsplatz_Tankuebersicht_BA000505EN_30


4. 取得可能な場合は、各タンクごとに次のプライマリデータが表示されます: タンク名、会社名、地域、製品、値と単位、タイムスタンプとタイムゾーン。

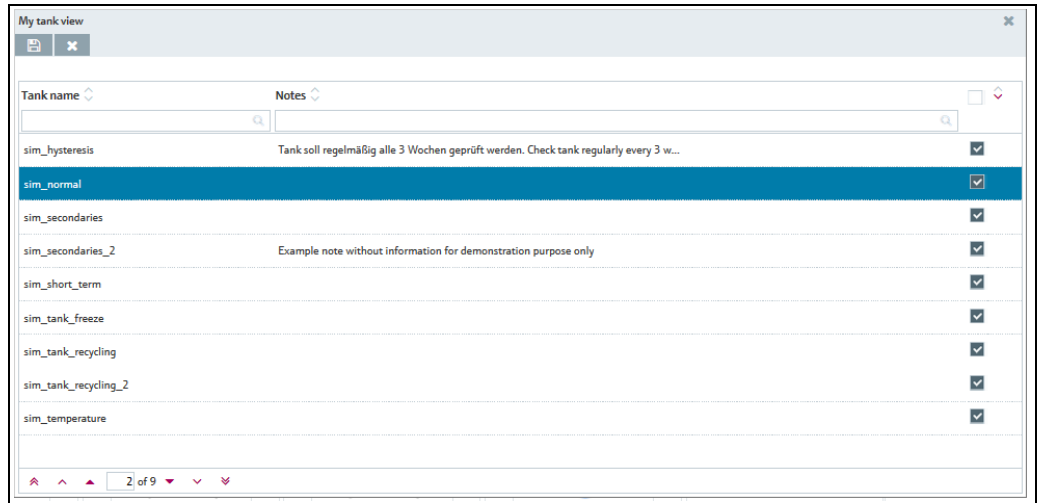
i 最終プライマリ値が表示されます。集合タンクでは、関連するタンクのすべての最終測定値の合計が表示されます。

📄 ボタンをクリックすると、表示内容が Excel ファイルにエクスポートされます。


ビューを更新して新しい測定データ呼び出すには、**🔄** ボタンをクリックします。また、ビューを自動更新することも可能です。その場合、選択リスト「**自動更新**」から再読み込みする時間間隔を選択してください。

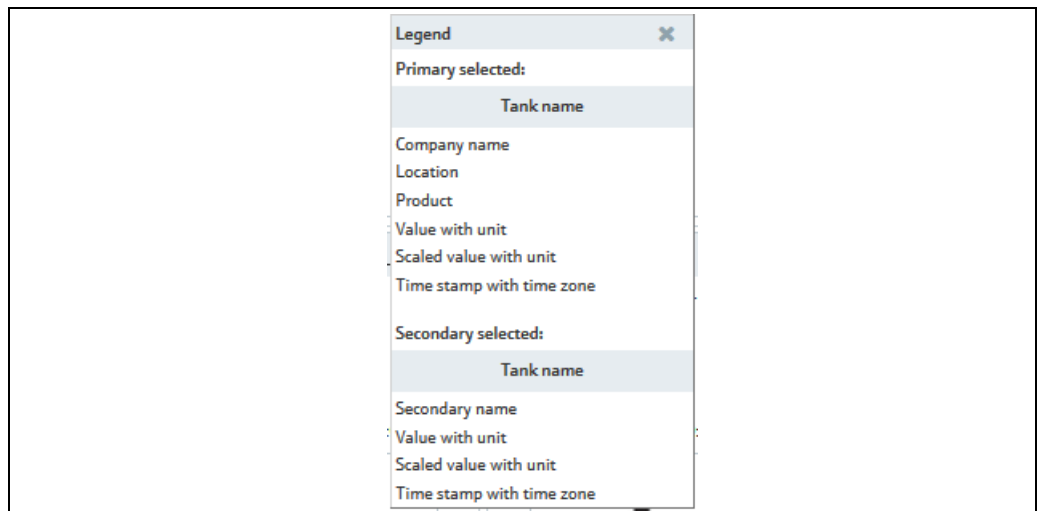
i 自動更新機能は、システムプロパティでこの機能が事前に設定されている場合のみ機能します (サービスマニュアルの該当する章を参照)。

 ボタンをクリックしてタンクビューを設定します。**マイタンクビュー**設定ウィンドウが表示されます。



Configuration_My tank view_BA00505EN_30

 ボタンをクリックすると、レジェンドが表示されます。カーソルを灰色のタイトルバーにポイントして左マウスボタンを押したままにすると、レジェンドを別の場所に移動させることができます。





Tankuebersicht_Legende_BA00505EN_30


5. タンクの詳細を確認する場合は、タンクの図をクリックします (→ 38 ページ)。

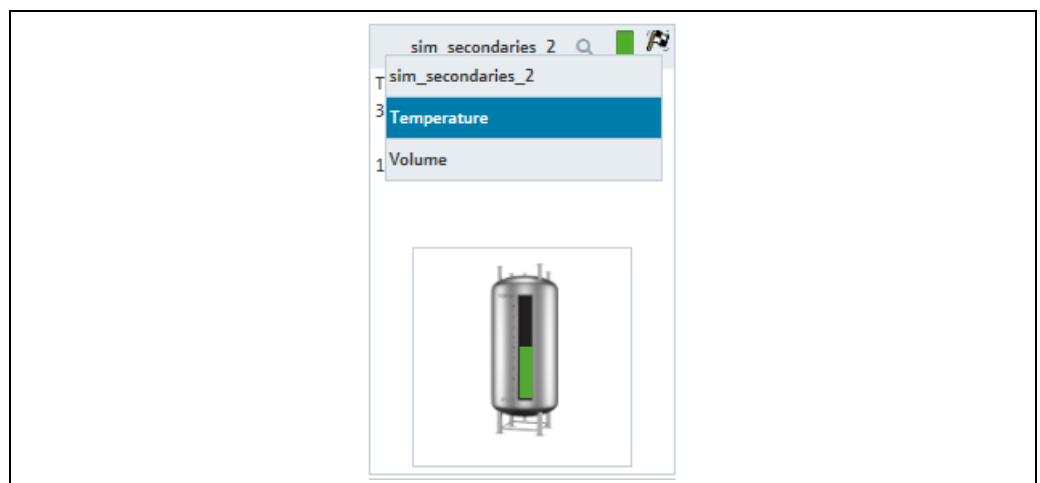


Bestandsdiagramm_Tankuebersicht_BA00050SEN_30


7.1 セカンダリの表示

 タンクのセカンダリデータを使用できる場合、 ボタンも表示されます。

1.  ボタンをクリックして、セカンダリデータを表示します。
2. サブメニューが表示されます。最初のメニュー項目にはプライマリ値のタンク名が表示されます。この後に最大 8 つのセカンダリ名が表示されます。



Sekundärwert_auswaehlen_BA00050SEN_30

3. 適切なセカンダリ名を選択します。
4. 次のセカンダリデータが表示されます：タンク名、セカンダリ名、値と単位、タイムスタンプとタイムゾーン。
再び  ボタンをクリックすると、プライマリデータに戻ります。サブメニューでプライマリ値のタンク名を選択します。

8 イベントの編集 - 「イベント」ワークプレイス

8.1 イベント管理 - イベントのステータスおよび重み付け

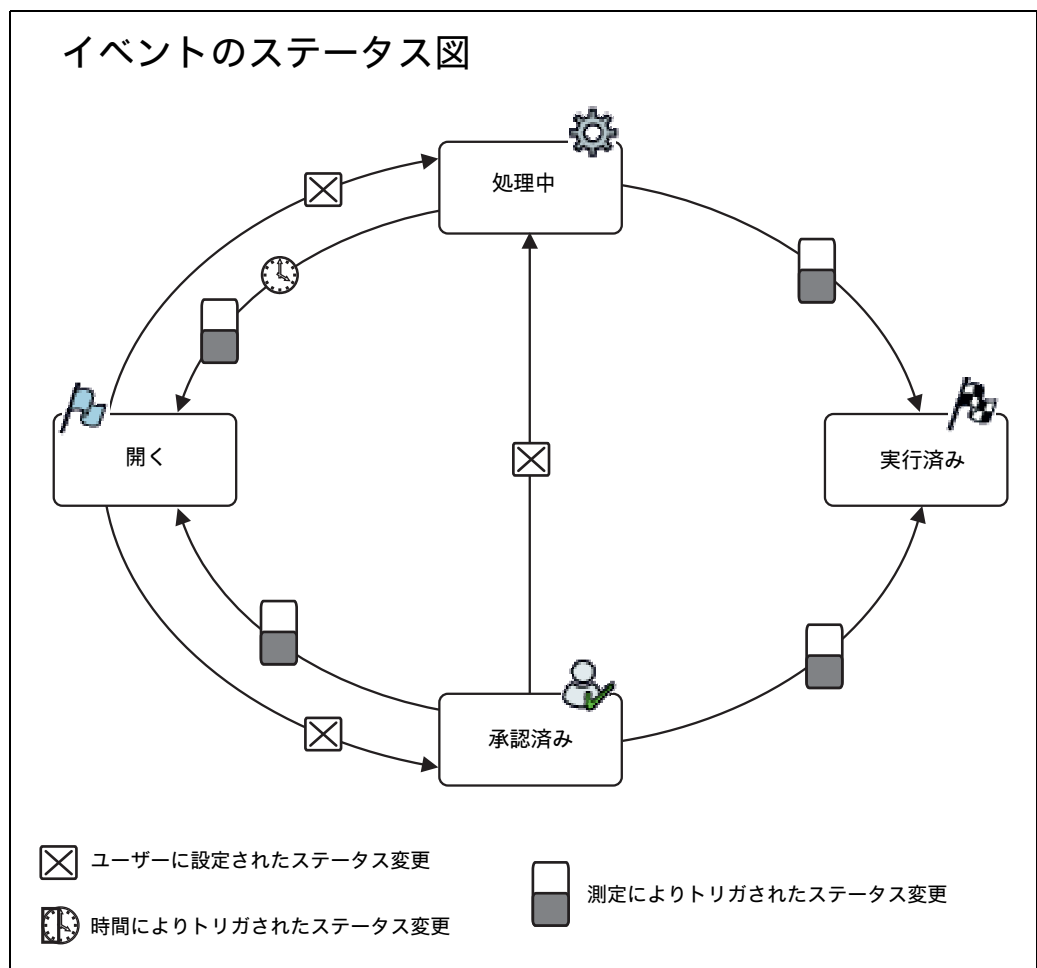
制限値を下回ると（予定ポイント、出荷ポイント、安全在庫）、イベントがトリガされます。イベントのステータスは**開く**に設定されます。重み付け（重大度）は制限値から取得されます。つまり、予定ポイントへの到達は重大ではなく（低）、安全在庫レベルへの到達は非常に重大である（高）と見なされます。

イベントが生成されると、ユーザーはそのステータスを**承認済み**または**処理中**に変更できます。後からイベントを容易に追跡できるように、この変更はタイムスタンプおよびユーザー名とともに保存されます。

別の測定により、許容限界に達したと判断された場合、イベントのステータスは**開く**に設定されます。標準タンクに対して予定ポイントを上回る在槽が検出された場合、およびリサイクルタンクに対して予定ポイントを下回る在槽が検出された場合、イベントのステータスは**実行済み**になり、他のアクティビティは必要ありません。

注意する必要があるのは、ステータスが**処理中**であるイベントです。設定された再提出日までにタンクの補充が行われなかった場合、イベントステータスは**開く**に戻ります。

以下の図は、SupplyCare Hosting のイベントのステータスを示したものです。



PS0000855en

8.2 イベントメッセージの表示

- i** ユーザーロールが**読み取り専用**、**スケジューラ**、または**オペレータ**に設定されているユーザーは、**イベント**メニュー項目を使用できます。
- i** **ユーザー設定**メニュー項目で設定されているタイムゾーンは、**イベントの詳細 / イベント凍結の詳細**および**イベント履歴**タブに使用されます (→ 158 ページ)。デフォルト値は「標準時 +00:00」です。**在槽チャート**および**タンク詳細**タブには、地域用に設定されたタイムゾーンが使用されます (→ 126 ページ)。デフォルト値は「標準時 +00:00」です。

イベントメニュー項目は、制限値を使用して補充プロセスを管理する場合に役立ちます。標準タンクでは、個々のタンクの制限値を下回った場合にイベントがトリガされ、リサイクルタンクでは、個々のタンクの制限値を超過した場合にイベントがトリガされます。**イベントの凍結**は、設定されたイベント凍結の差分を実際の測定値が超過した場合にトリガされます。画面表示に加えて、Eメールでもイベントの通知を受けることができます。

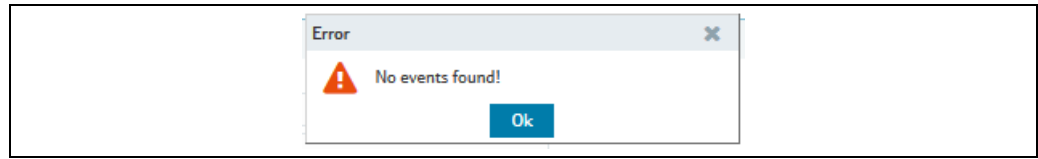
1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **イベント**メニュー項目をクリックします。
3. 以下に示すように、ポータルウィンドウに優先度順にソートされたすべてのイベントの概要が表示されます。

The screenshot shows the 'Workplace >> Event' interface. At the top, there are filters for View, Status, Severity, Unit, Time zone, and User preferences. Below the filters is a table of events with columns for Severity, Status, Tank, Location, and Supplier. The first event is 'sim_tank_freeze' in Dubai. Below the table, there are tabs for 'Freeze and holdup event details', 'Event history', 'Inventory chart', and 'Tank details'. The 'Freeze and holdup event details' tab is active, showing a message: 'Freeze event, detected by measurement.' with a value of 2,389.0 m³, a time stamp of 3/14/23, 1:11 AM, and a limit of 244.0 m³ with a delta of 10.0%.

S48_BA00050SEN_0211_36

4. 表示されるイベントをフィルタ処理する場合は、フィルタ条件を選択します。
 - **表示**：すべて、**制限イベントのみ**、**凍結イベントのみ**から選択します。
 - **ステータス**：すべて（**実行済み以外**）、**オープンのみ**、**承認済みのみ**、**処理中のみ**、**実行済みのみ**から選択します。
承認済みのみおよび**処理中のみ**のフィルタは、制限イベントにのみ適用されます。他のすべてのフィルタは両方のイベントタイプに適用されます。
 - **重大度**：すべて、**低のみ**、**中のみ**、**高のみ**から選択します。
低のみ、**中のみ**、**高のみ**のフィルタは、制限イベントにのみ適用されます。他のすべてのフィルタは両方のイベントタイプに適用されます。

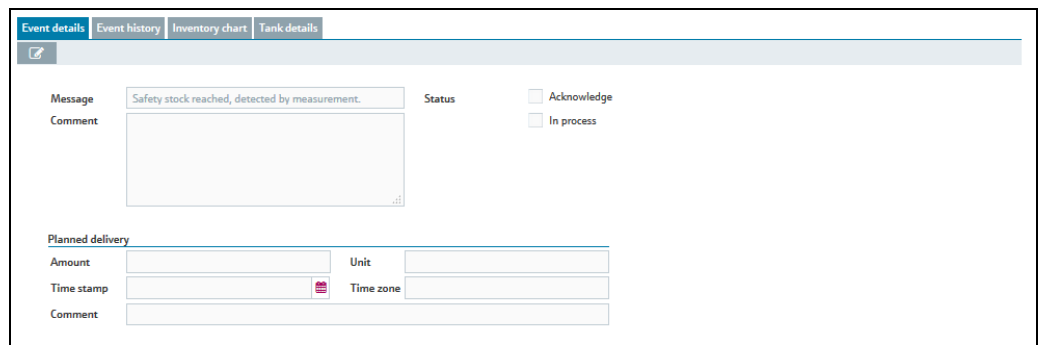
設定されたフィルタが相互に重複している場合、つまり、該当イベントが存在しない場合、前のフィルタ設定が復元されます。以下のエラーメッセージが表示されます。



Arbeitsplatz_Ereignis_Ereignis Log Fehlermeldung_BA00050SEN_30

5. 概要テーブルで、表示するイベントまたは詳細情報が必要なイベントをクリックします。
6. アプリケーションウィンドウの下部では、以下のタブを選択できます。
イベントの詳細 / イベント凍結の詳細、イベント履歴、在槽チャート、タンク詳細

8.2.1 イベントの詳細

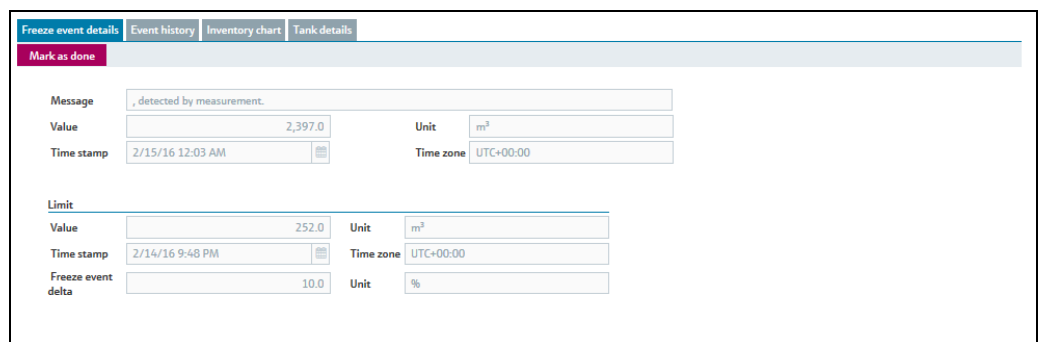


S49_BA00050SEN_0211_30

このタブには、以下のフィールドを含むフォームが表示されます。
 メッセージ、コメント、承認、処理中

さらに、標準タンクの納品予定およびリサイクルタンクの廃棄予定について、**量、タイムスタンプ、単位、タイムゾーン、コメント**の各フィールドも表示されます。

8.2.2 イベント凍結の詳細



Arbeitsplatz_Ereignis_Freeze-EreignisDetails_BA00050SEN_30

このタブには、以下のフィールドを含むフォームが表示されます。
メッセージ、受信した測定の値、タンクの単位、各タイムゾーンでの測定のタイムスタンプ、測定のタイムゾーン

さらに、下部のセクションには制限に関する以下の情報が表示されます。
値 (各単位での「凍結された測定値」)、タンクの**単位**、各タイムゾーンでの凍結された測定の**タイムスタンプ**、凍結された測定の**タイムゾーン**、**イベント凍結の差分**、タンクの**単位**

このタブには、以下のフィールドを含むフォームが表示されます。

メッセージ：イベントタイプに関する簡潔な説明

値：受信した測定の値

単位：タンクの単位

タイムスタンプ：各タイムゾーンでの「凍結された」測定の時間

タイムゾーン：測定のタイムゾーン

さらに、下部のセクションには**制限**に関する以下の情報が表示されます。

値：各単位での「凍結された」測定値

単位：タンクの単位

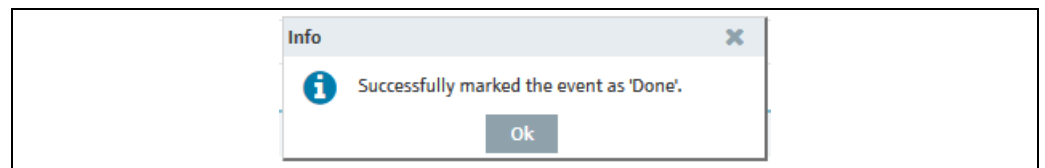
タイムスタンプ：各タイムゾーンでの「凍結された」測定の時間

タイムゾーン：「凍結された」測定のタイムゾーン

イベント凍結の差分：設定されたイベント差分の数値

単位：イベント差分の単位

1. **実行済みとしてマーク** ボタンをクリックしてイベントを承認します。以下のメッセージが表示されます。

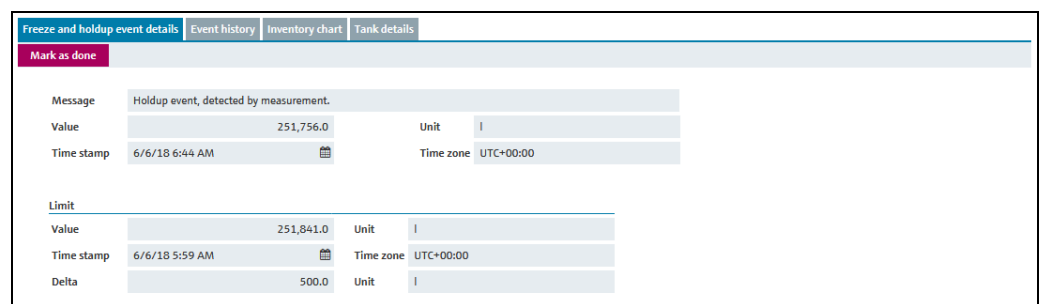


Arbeitsplatz_Ereignis_Freeze-EreignisDetails_2_BA00050SEN_30

2. **OK** をクリックします。

i イベントの凍結は、確認期間中に 1 回のみ生成されます。イベントのステータスは、実行済みとしてマークされるまで**開く**です。新しいイベントの凍結が次の確認期間に発生した場合、以前に作成されたイベントはイベント履歴に引き継がれます。

8.2.3 イベント停止の詳細



Arbeitsplatz_Ereignis_Holdup-EreignisDetails_BA00050SEN_33

このタブには、以下のフィールドを含むフォームが表示されます。

メッセージ：イベントタイプに関する簡潔な説明

値：受信した測定値

単位：タンクの単位

タイムスタンプ：各タイムゾーンでの「凍結された」測定時間

タイムゾーン：測定のタイムゾーン

さらに、下部のセクションには**制限**に関する以下の情報が表示されます。

値：各単位での「凍結された」測定値

単位：タンクの単位

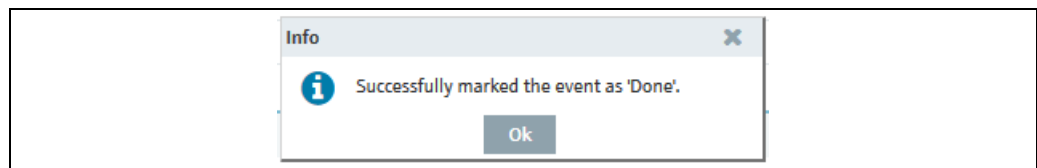
タイムスタンプ：各タイムゾーンでの「凍結された」測定時間

タイムゾーン：「凍結された」測定のタイムゾーン

差分：テキスト

単位：差分の単位

1. **実行済みとしてマーク** ボタンをクリックしてイベントを承認します。以下のメッセージが表示されます。



Arbeitsplatz_Ereignis_Freeze-EreignisDetails_2_BA00050SEN_30

2. **OK** をクリックします。

i イベントの停止は、確認期間中に 1 回のみ生成されます。イベントのステータスは、実行済みとしてマークされるまで**開く**です。新しいイベントの停止が次の確認期間に発生した場合、以前に作成されたイベントはイベント履歴に引き継がれます。

8.2.4 イベント履歴

Time stamp	Severity	Status	Message	Comment	User
2/15/16 1:00 PM	🚨	🔒	Safety stock reached, detec...		CheckTanks
2/15/16 9:00 AM	🟢	🔒	Done		CheckTanks
2/15/16 8:00 AM	🟡	🔒	Plan point reached, detecte...		CheckTanks
2/15/16 7:00 AM	🟡	🔒	Ship point reached, detecte...		CheckTanks
2/15/16 1:00 AM	🚨	🔒	Safety stock reached, detec...		CheckTanks

S49-2_BA00050SEN_0211_30

このタブには、概要テーブルで選択したイベントの履歴が表示されます。画面には、**タイムスタンプ**、**重大度**、**ステータス**、**メッセージ**、**コメント**、**ユーザー**が表示されます。

8.2.5 在槽チャート

ここでは、現在選択されているイベントについて、関連するタンクの在槽チャートが表示されます。**在槽チャート**タブの説明については、37 ページを参照してください。

8.2.6 タンク詳細


現在選択されているイベントについて、関連するタンクの詳細が表示されます。**タンク詳細**タブの説明については、38 ページを参照してください。

8.3 メッセージの処理

i イベントに関するコメントおよびステータスの割り当てを実行できるのは、ユーザーロールが**スケジューラ**または**オペレータ**であるユーザーのみです。

1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **イベント**メニュー項目をクリックします。
3. 概要テーブルで、処理するイベントを選択します。
4. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**イベントの詳細**タブを選択します。



S50_BA00050SEN_0211_30

5.  ボタンをクリックします。
6. タブが**編集モード**で表示されます。


S50-2_BA00050SEN_0211_30


7. このイベントを承認した場合は、**承認**チェックボックスをオンにします。補充対策がすでに開始された場合は、**処理中**チェックボックスをオンにして、必要に応じて再提出日を変更します。コメントセクションには、このイベントに関するコメントを入力できます。


i イベントのステータスが**処理中**に設定された場合、システムでは**再提出日**までにタンクの補充が行われるかどうかを監視されます。補充が行われなかった場合、イベントステータスは**開く**にリセットされ、適切な通知メッセージが発信されます。標準では、**再提出日**は標準納期から算出されます。ただし、これはイベントごとに個別に設定することもできます。

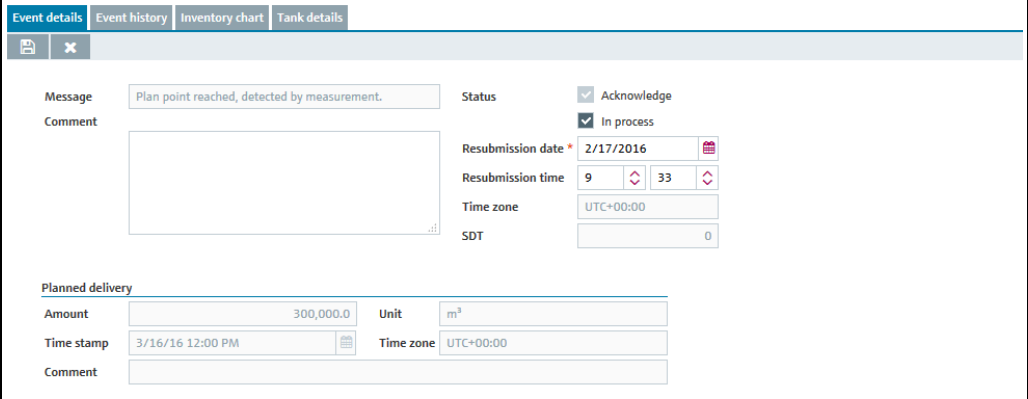
8.  をクリックして変更内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

8.4 再提出日の設定




 イベントの再提出日を設定できるのは、ユーザーロールが**スケジューラ**または**オペレータ**に設定されているユーザーのみです。


 再提出日を設定できるのは、ステータスが**処理中**の場合のみです。


1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **イベント**メニュー項目をクリックします。
3. 概要テーブルで、処理するイベントを選択します。
4. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**イベントの詳細**タブを選択します。
5.  ボタンをクリックします。
6. **処理中**チェックボックスをオンにします。
7. タブが編集モードで表示されます。



S51_BA00050SEN_0211_30

8. **再提出日**フィールドに日付を直接入力するか、または  ボタンを使用して選択することができます。
9. 必要に応じて、**再提出時間**フィールドに時間（時と分）を指定します。
10.  をクリックして変更内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

 標準タンクの補充が行われて在槽が再び予定ポイントを上回った場合、イベントのステータスは自動的に**実行済み**に変更されます。リサイクルタンクの排出が行われて在槽が再び予定ポイントを下回った場合、イベントのステータスは自動的に**実行済み**に変更されます。

 標準タンクの場合は「標準納期」が表示され、リサイクルタンクの場合は「標準廃棄時間」が表示されます。

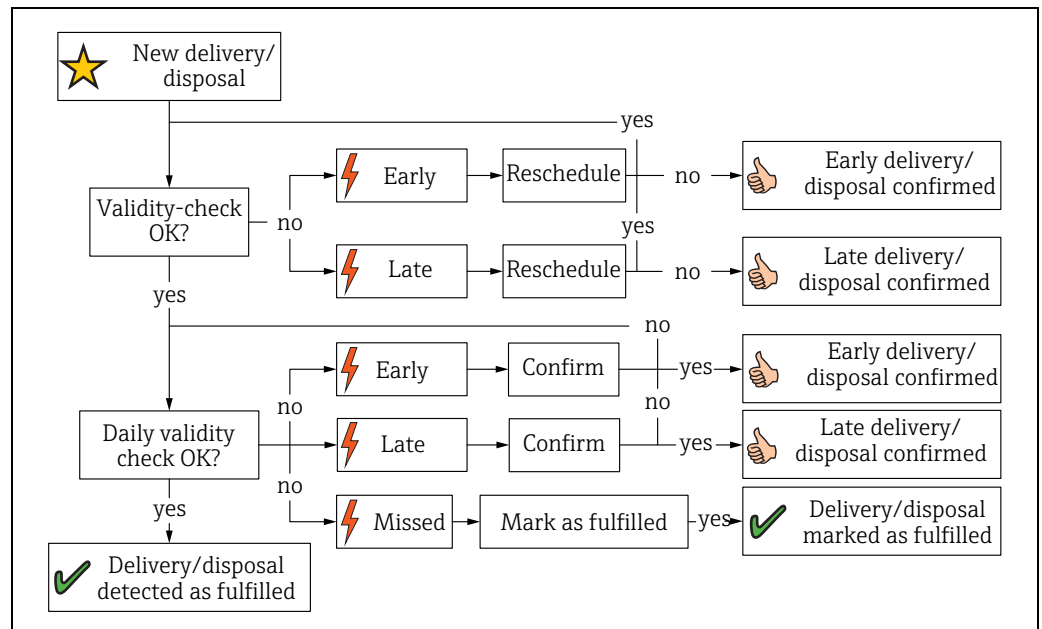
9 納品 / 廃棄を予定 - 「スケジューリング」ワークプレイス

9.1 ステータス管理 - 納品および廃棄

新規納品 / 廃棄の作成時に、システムでは納品 / 廃棄の予定が早すぎる / 遅すぎるかどうかを確認されます。この情報確認には、SupplyCare で算出された予測データが使用されます。ユーザーは早すぎる / 遅すぎる納品 / 廃棄を再スケジュールすることや、このような納品 / 廃棄を短縮 / 遅延として確定することができます。

SupplyCare では、納品および廃棄は毎日監視されます。早すぎる / 遅すぎる納品 / 廃棄が検出された場合は、この納品 / 廃棄を確定することができます。失敗した納品 / 廃棄が検出された場合、この納品 / 廃棄を完了としてマークすることができます。「失敗した納品」イベントには、設定メニューのタンクメニュー項目のタンク詳細タブで入力された値と同じヒステリシス値が適用されます (→ 94 ページ および → 100 ページ)。

以下の図は、SupplyCare Hosting の廃棄 / 納品のステータス管理を示したものです。



A0034561-EN.eps

9.2 納品予定 / 廃棄予定のステータス表示と通知

i 納品予定 / 廃棄予定の通知を受信して、その通知メッセージを処理できるのは、ユーザーロールが**スケジューラ**であるユーザーのみです。

i 通知を受信するユーザーは、タンクグループメニューのタンクグループタブにあるPDL および / または PDE チェックボックスをオンにする必要があります。

1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **スケジュールリング**メニュー項目をクリックします。
3. **概要**タブをクリックします。
4. 以下に示すように、ポータルウィンドウにすべての廃棄 / 納品のすべてのステータスの概要が表示されます。

The screenshot shows the 'Overview' tab of the 'Scheduling' workspace. It displays a table with columns for State, Message, Location, Tank name, PD, Time zone, PD Amount, Unit, and State changed at. The table contains five rows of data, with the second row highlighted in blue. Below the table, there is a 'Details' section for the selected 'New planned delivery' entry, showing its amount (217,913.4), unit (I), time stamp (8/22/17 12:00 PM), and time zone (UTC+00:00).

State	Message	Location	Tank name	PD	Time zone	PD Amount	Unit	State changed at
Early delivery (confi...		Suzhou	sim_short_term	8/3/17 6:00 PM	UTC+00:00	1,400.0	m³	8/3/17 2:07 PM
New planned delivery		Maulburg	sim_secondaries_2	8/22/17 12:00 PM	UTC+00:00	217,913.4	I	8/3/17 2:06 PM
Late delivery (confi...		Aurangabad	sim_secondaries	8/4/17 12:00 PM	UTC+00:00	1,200.0	m³	8/3/17 2:05 PM
New planned delivery		Graenwood	sim_normal	8/16/17 12:00 PM	UTC+00:00	150,000.0	m³	8/3/17 2:04 PM
Late delivery (confi...		Naarden	sim_hysteresis	8/5/17 12:00 PM	UTC+00:00	2,400.0	m³	8/3/17 2:03 PM

Details view for 'New planned delivery':






Amount	217,913.4	Unit	I
Time stamp	8/22/17 12:00 PM	Time zone	UTC+00:00

S53_BA00050SEN_0211_30

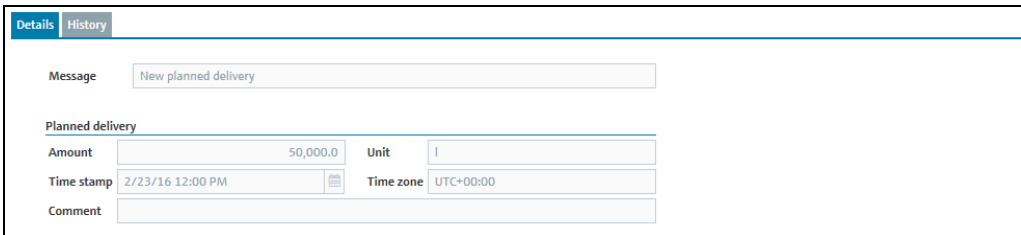
5. 概要テーブルで、変更するステータスまたは履歴を表示するステータスをクリックします。
6. アプリケーションウィンドウの下部では、以下のタブを選択できます。
詳細または**履歴**

9.2.1 ステータスの処理

以下のステータス情報を表示できます。

シンボル	意味
	検出 - 検出 ステータスは、以下の状況で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ スケジュールするのが早すぎる / 遅すぎる納品または廃棄がシステムで検出されました。この納品 / 廃棄は、詳細タブで確定ボタンを使用して処理できます。 ■ 失敗した納品 / 廃棄がシステムで検出されました。この納品 / 廃棄は、詳細タブで完了としてマークボタンを使用して処理できます。 ■ 測定データがないことがシステムで検出されました。この納品 / 廃棄は、詳細タブで完了としてマークボタンを使用して処理できます。
	確認済み - 確認済み ステータスは、以下の状況で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 納品 / 廃棄の作成時に、スケジュールするのが早すぎる / 遅すぎる納品または廃棄が確認されました。 ■ スケジュールするのが早すぎる / 遅すぎる納品または廃棄が、詳細タブで確認されました。
	削除 - 納品または廃棄が削除されました。
	新規 - 新規納品 / 廃棄が予定されました。
	完了 - 新規納品 / 廃棄が完了しました。納品 / 廃棄が完了した場合、これに対して SupplyCare により 完了した納品 (検出) / 完了した廃棄 (検出) のフラグが付加されます。 失敗した納品 / 廃棄または測定データなしがシステムで検出された場合、この納品 / 廃棄は 詳細 タブで 完了 として マーク ボタンを使用して処理できます。この納品 / 廃棄は、 完了した納品 (確認済み) / 完了した廃棄 (確認済み) として表示されます。

1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **スケジューリング**メニュー項目をクリックします。
3. 概要テーブルで、処理するステータスを選択します。
4. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**詳細**タブを選択します。以下のタブが表示されます。



S54_BA00050SEN_0211_30

完了として**マーク**ボタンを使用して、以下のステータスを処理できます。

- 失敗した納品 / 廃棄 (検出)
- 失敗した納品 / 廃棄 (測定なし)

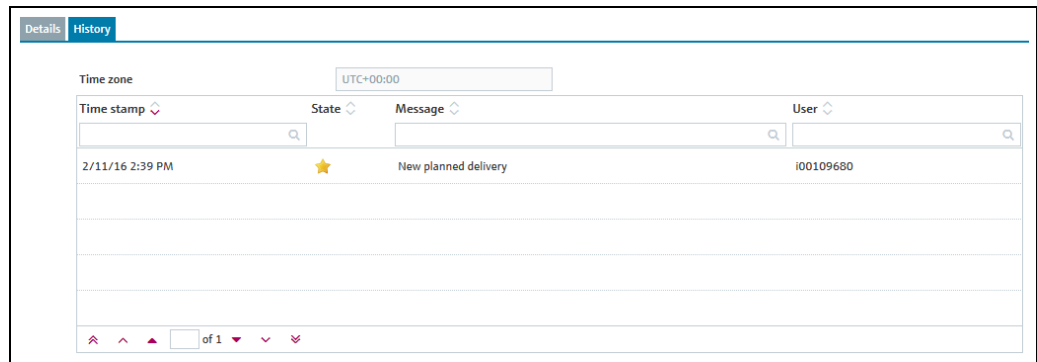
確定ボタンを使用して、以下のステータスを処理できます。

- 納品短縮 / 早期廃棄 (検出)
- 納品遅延 / 遅延廃棄 (検出)

9.2.2 ステータス履歴の表示

1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **スケジューリング**メニュー項目をクリックします。

3. 概要テーブルで、処理するステータスを選択します。
4. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**履歴**タブを選択します。以下のタブが表示されます。




SS5_BA00050SEN_0211_30

9.3 納品 / 廃棄を予定 - 「スケジュールリング」ワークプレイス

- i** 標準タンクの納品およびリサイクルタンクの廃棄を予定できるのは、ユーザーロールが**スケジューラ**であるユーザーのみです。
- i** **マニュアル値**は青色で表示され、その後に **MAN** というテキストが表示されます。**データソース列**には、データの取得元に関する情報（測定済みまたはマニュアル）が表示されます。

標準タンクごとに複数の納品（1日につき最大3回の納品）を予定できます。リサイクルタンクごとに複数の廃棄（1日につき最大3回の廃棄）を予定できます。各納品間 / 各廃棄間には30分の時間間隔が必要です。

タイムゾーンには、タンクの地域のタイムゾーンが使用されます。単位には、タンクの単位が使用されます。質量単位と体積単位の場合、**ユーザー設定**メニュー項目の**質量の単位**または**体積の単位**フィールドの設定が優先されます。

タンクが非稼働である場合、これはバー付きのカレンダーおよび  シンボルで示されます。この期間は納品 / 廃棄を予定できません。

納品予定 / 廃棄予定は、カレンダーおよび**在槽チャート**タブに納品用トラックのアイコン  で示されます。

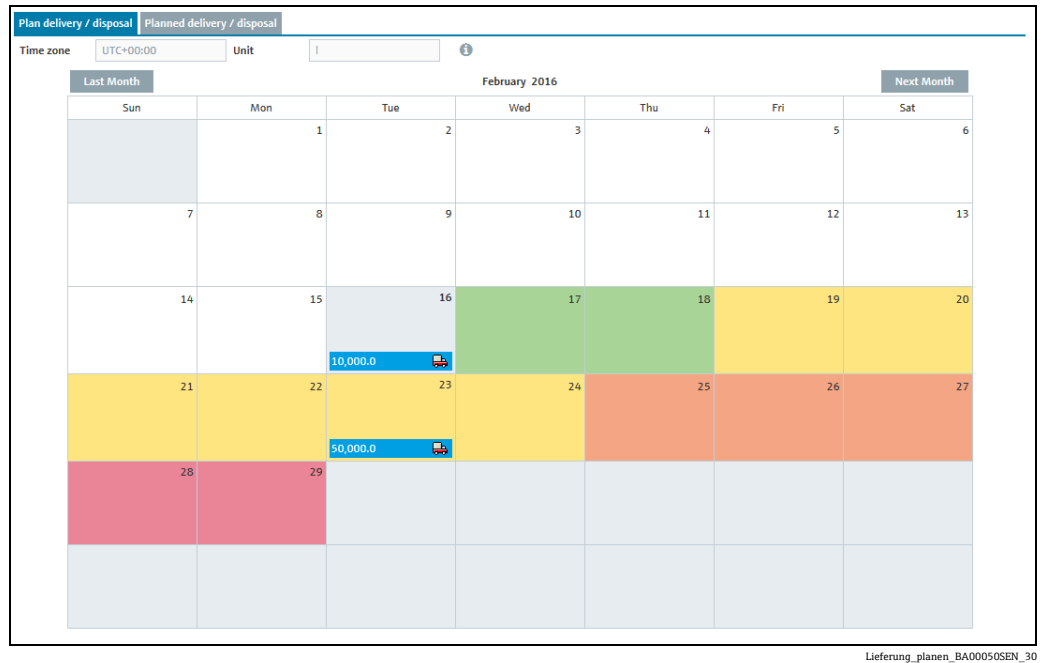
1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **スケジュールリング**メニュー項目をクリックします。
3. **予定の指定**タブをクリックします。アプリケーションウィンドウに以下のビューが表示されます。

State	Location	Tank name	Level	Value	Unit	Free	Product
	Naarden	sim_hysteresis	57%	1,366.0	m ³		1,034.0 Cement
	Greenwood	sim_normal	47%	151,366.0	m ³		168,634.0 Diesel
	Aurangabad	sim_secondaries	57%	1,366.0	m ³		1,034.0 Palm Oil

Plan_delivery_disposal_1_BA00050SEN_30

4. 概要テーブルで、廃棄または納品を予定するタンクをクリックします。

5. アプリケーションウィンドウに以下の詳細ビューが表示されます。



現在の日付はカレンダーに灰色の背景で表示されます。今後の日付はすべて色付きの背景で表示されます。この色は、その日付のタンクステータスの予測値を示します。

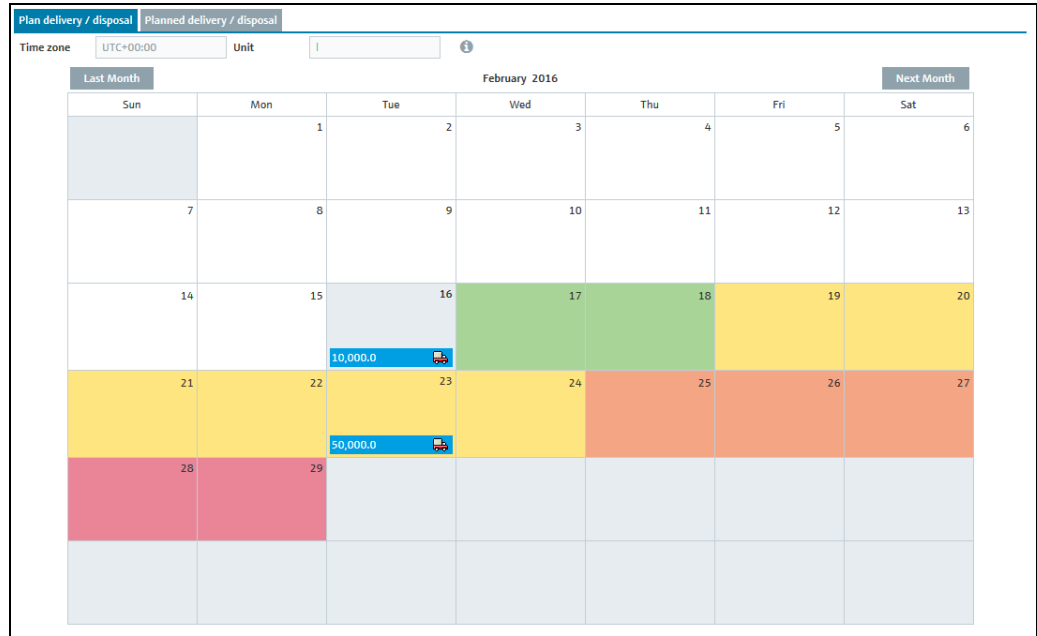
色	標準タンク	リサイクルタンク
灰色	現在の日付	現在の日付
緑色	「OK」: 予測値は予定ポイントを上回っています。	「OK」: 予測値は 0 から予定ポイントまでの範囲内です。
黄色	「予定ポイント」: 予測値は予定ポイントから出荷ポイントまでの範囲内です。	「予定ポイント」: 予測値は予定ポイントから安全在庫までの範囲内です。
オレンジ色	「出荷ポイント」: 予測値は出荷ポイントから安全在庫までの範囲内です。	非適用
赤色	「安全在庫」: 予測値は安全在庫を下回っています。	「安全在庫」: 予測値は安全在庫を上回っています。
白色	過去の日付であるか、またはタンク / 集合タンクが非稼働です。	過去の日付であるか、またはタンク / 集合タンクが非稼働です。

ボタンをクリックすると、レジェンドが表示されます。カーソルを青色のタイトルバーにポイントして左マウスボタンを押したままにすると、レジェンドを別の場所に移動させることができます。

特定の日付のタンクステータスの色が決定されるのは、00:00 (午前 0 時) です。たとえば、5 月 15 日の午前 4 時 (04:00) に「出荷ポイント」に達し、午後 8 時 30 分 (20:30) に「安全在庫」に達した場合、5 月 15 日の背景色は「安全在庫」に関連する赤色になります。

9.3.1 納品または廃棄を予定


1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **スケジュールリング**メニュー項目をクリックします。
3. **予定の指定**タブをクリックします。
4. 概要テーブルで、納品または廃棄を予定するタンクをクリックします。
5. アプリケーションウィンドウに以下の詳細ビューが表示されます。




Lieferung_planen_BA00050SEN_30




6. **納品 / 廃棄を予定**タブをクリックします。
7. 必要に応じて、カレンダーの**翌月**ボタンを使用して、納品または廃棄を予定している月を選択します。
8. カーソルを合わせた日に灰色の「+」マークが表示されます。その灰色の「+」マークをクリックします。
9. 標準タンクの場合は、**納品を予定**ダイアログボックスが表示されます。リサイクルタンクの場合は、**廃棄を予定**ダイアログボックスが表示されます。

Lieferung_planen_2_BA00050SEN_30



10.  ボタンをクリックします。
11. ダイアログボックスが編集モードで表示されます。
12. ここには、以下のデータを表示して入力できます。

- **値**：予測レベルが表示されます。
- **納品日時**：カレンダーで選択した日が日付として使用されます。時刻はあらかじめ設定されています。

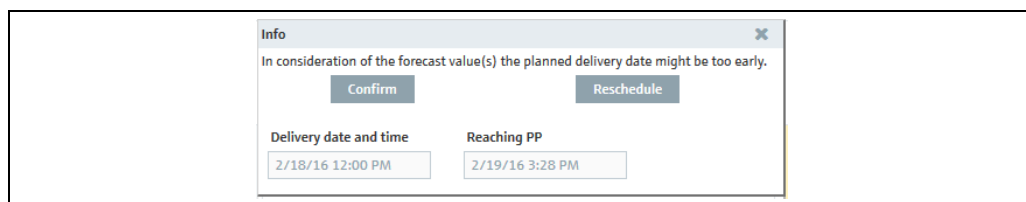
- **量** : 予定量を入力します。
- **範囲** : このフィールドには、入力した量に対して安全在庫に達するまでの日数が表示されます。標準タンクの場合、この日数は「1日平均払出量」の値から計算されます。リサイクルタンクの場合、この日数は「1日平均受入量」の値から計算されます。
- **更新範囲** :  ボタンを使用すると、入力した量に応じて**範囲**フィールドが更新されます。
- **コメント** : コメントやメモを入力します。

13.  をクリックして変更内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。
廃棄予定 / 納品予定を保存するときに、システムで妥当性チェックが実行されます。入力値に妥当性がないと判断された場合、ダイアログボックスが表示されます (→ 71 ページ)。
14. 納品 / 廃棄がカレンダーに入力されて、納品用トラックのアイコン  と予定量が表示されます。納品日時は、該当するフィールドにカーソルを合わせると表示されます。

9.3.2 妥当性チェック

-  妥当性チェックが実行されるのは、最新の納品予定 / 廃棄予定のみです。
-  妥当性チェックは、タンクの安全在庫 (SST) および予定ポイント (PP) が保存された場合にのみ実行されます。


納品予定 / 廃棄予定を保存するときに、システムで妥当性チェックが実行されます。安全在庫 (SST) および予定ポイント (PP) の計算値を使用して、予定日時がチェックされます。予定日が、予定ポイントに達すると予測される計算上の日付より前の場合、ダイアログボックスが開き、「予測値を考慮すると、予定された納品日 / 廃棄日は早すぎる可能性があります」というメッセージが表示されます。予定日が、安全在庫に達すると予測される日付より後の場合、ダイアログボックスが開き、「予測値を考慮すると、予定された納品日 / 廃棄日は遅すぎる可能性があります」というメッセージが表示されます。



S58_BA000505EN_0211_30

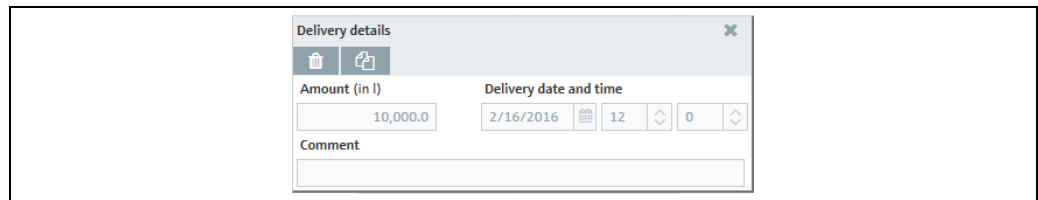
入力した納品日 / 廃棄日を確認する場合は、**確定**ボタンをクリックします。

入力内容を修正する場合は、**再スケジュール**ボタンをクリックします。


- 標準タンクの場合は、**納品を予定**ダイアログボックスが表示されます。リサイクルタンクの場合は、**廃棄を予定**ダイアログボックスが表示されます。
- 入力内容を修正します。
-  をクリックして変更内容を保存します。

9.3.3 納品または廃棄の削除

1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **スケジュールリング**メニュー項目をクリックします。
3. **予定の指定**タブをクリックします。
4. テーブルで、納品または廃棄を削除するタンクをクリックします。
5. **納品 / 廃棄を予定**タブをクリックします。
6. カレンダーで、削除する項目をクリックします。
7. 標準タンクの場合は、**納品詳細**ダイアログボックスが表示されます。
リサイクルタンクの場合は、**廃棄詳細**ダイアログボックスが表示されます。

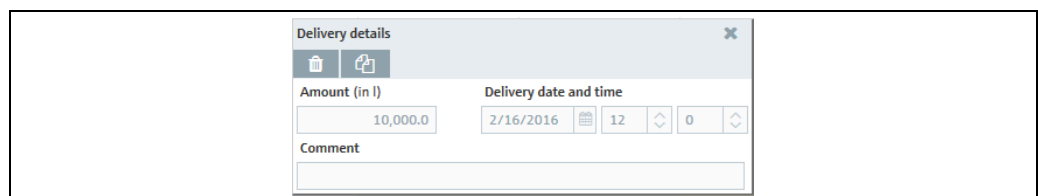


PS0000965en_30



8.  ボタンをクリックして納品または廃棄を削除します。
9. 「本当に削除してよろしいですか？」というプロンプトが表示されます。
10. **OK** をクリックして、その項目を削除します。プロセスを中止する場合は、**キャンセル** をクリックします。




9.4 納品または廃棄のコピー

1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **スケジュールリング**メニュー項目をクリックします。
3. **予定の指定**タブをクリックします。
4. 概要テーブルで、納品または廃棄をコピーするタンクをクリックします。
5. **納品 / 廃棄を予定**タブをクリックします。
6. カレンダーで、コピーする項目をクリックします。
7. 標準タンクの場合は、**納品詳細**ダイアログボックスが表示されます。
リサイクルタンクの場合は、**廃棄詳細**ダイアログボックスが表示されます。



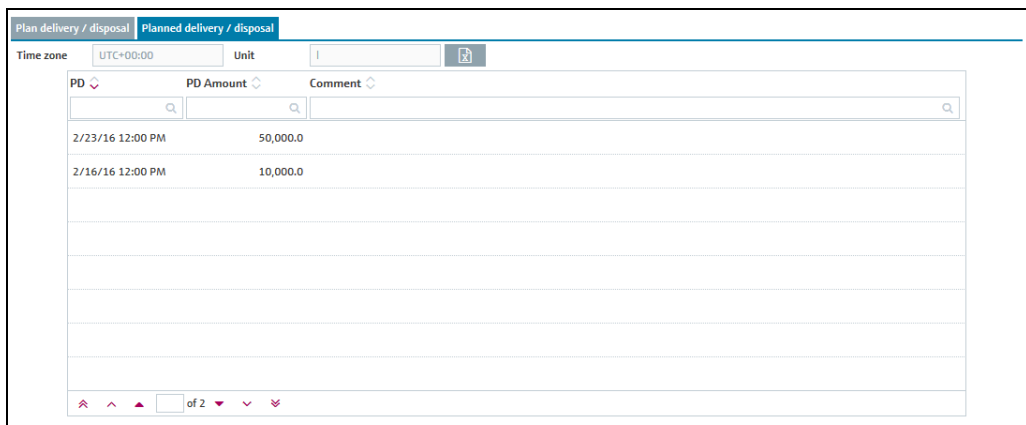
PS0000965en_30

8.  をクリックして、その項目をコピーします。
9. 標準タンクの場合は、**納品のコピー**ダイアログボックスが表示されます。
リサイクルタンクの場合は、**廃棄のコピー**ダイアログボックスが表示されます。
10.  ボタンをクリックします。
11. ダイアログボックスが編集モードで表示されます。
12. **量**フィールドに必要な量を入力します。
13. **納品日時**フィールドで、新しい日時を選択します。

14. **コメント**フィールドにコメントやメモを入力します。
15.  をクリックして変更内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。
16. 納品 / 廃棄がカレンダーに入力されて、納品用トラックのアイコン  と予定量が表示されます。納品日時は、該当するフィールドにカーソルを合わせると表示されます。


9.4.1 納品予定 / 廃棄予定の表示および Excel スプレッドシートでの保存

1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **スケジューリング**メニュー項目をクリックします。
3. **予定の指定**タブをクリックします。
4. 概要テーブルで、納品または廃棄を表示するタンクをクリックします。
5. **納品予定 / 廃棄予定**タブをクリックします。
6. アプリケーションウィンドウに以下の詳細ビューが表示されます。





PD	PD Amount	Comment
2/23/16 12:00 PM	50,000.0	
2/16/16 12:00 PM	10,000.0	

PS0000967en_30

7. 選択したタンクのすべての納品 / 廃棄が、その日付 (**PD 列**)、量 (**PD 量列**)、コメントとともに表示されます。
8.  ボタンをクリックして、このテーブルを Excel スプレッドシートとしてダウンロードします。

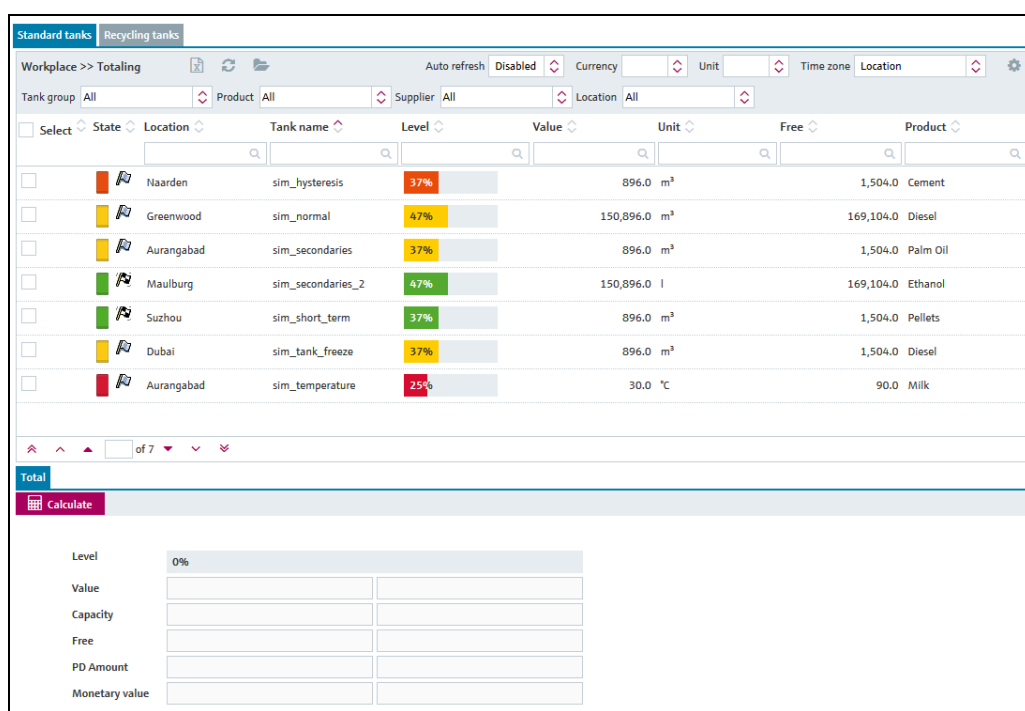
10 トータリングおよびテンプレートの管理 - 「トータリング」ワークプレイス

-  ユーザーロールが**読み取り専用**、**スケジューラ**、または**オペレータ**に設定されているユーザーは、**トータリング**メニュー項目を使用できます。
-  **マニュアル値**は青色で表示され、その後に **MAN** というテキストが表示されます。**データソース**列には、データの取得元に関する情報 (測定済みまたはマニュアル) が表示されます。

10.1 トータリング

トータリングメニュー項目では、**値**、**容量**、**フリー**、**PD 量**、**貨幣価値**フィールドの値を合計することができます。合計された**レベル**はグラフィカルに表示されます。標準タンクの値は**標準タンク**タブで合計され、リサイクルタンクの値は**リサイクルタンク**タブで合計されます。タンクおよび集合タンクを計算に含めることができます。

1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **トータリング**メニュー項目をクリックします。
3. アプリケーションウィンドウに以下のビューが表示されます。







The screenshot shows the 'Totaling' application interface. At the top, there are tabs for 'Standard tanks' and 'Recycling tanks'. Below the tabs, there are filters for 'Tank group', 'Product', 'Supplier', and 'Location'. The main table has columns for 'Select', 'State', 'Location', 'Tank name', 'Level', 'Value', 'Unit', 'Free', and 'Product'. The table contains 7 rows of data, each with a checkbox in the 'Select' column and a colored bar representing the 'Level' percentage. Below the table, there is a 'Total' section with a 'Calculate' button and a summary table with rows for 'Level', 'Value', 'Capacity', 'Free', 'PD Amount', and 'Monetary value'.

Select	State	Location	Tank name	Level	Value	Unit	Free	Product
<input type="checkbox"/>		Naarden	sim_hysteresis	37%	896.0	m³		1,504.0 Cement
<input type="checkbox"/>		Greenwood	sim_normal	47%	150,896.0	m³		169,104.0 Diesel
<input type="checkbox"/>		Aurangabad	sim_secondaries	37%	896.0	m³		1,504.0 Palm Oil
<input type="checkbox"/>		Maulburg	sim_secondaries_2	47%	150,896.0	l		169,104.0 Ethanol
<input type="checkbox"/>		Suzhou	sim_short_term	37%	896.0	m³		1,504.0 Pellets
<input type="checkbox"/>		Dubai	sim_tank_freeze	37%	896.0	m³		1,504.0 Diesel
<input type="checkbox"/>		Aurangabad	sim_temperature	25%	30.0	°C		90.0 Milk

Summierung_uebersicht_BA00050SEN_30

4. **選択**テーブル列で、合計するタンクのチェックボックスをオンにします。

-  計算対象として少なくとも 1 つのタンクを選択する必要があります。
-  貨幣価値計算の必須条件として、**設定**メニューの**製品詳細**タブで価格を入力する必要があります (→ 129 ページ)。
-  合計できるのは、換算可能な単位と通貨が設定されたタンクのみです。
-  **選択**列ヘッダーのチェックボックスをオンにすると、テーブル内のすべてのタンクが選択され、このチェックボックスをオフにすると、すべてのタンクの選択が解除されます。

Select	State	Location	Tank name	Level	Value	Unit	Free	Product
<input type="checkbox"/>	Naarden		sim_hysteresis	33%	781.0	m³	1,619.0	Cement
<input checked="" type="checkbox"/>	Greenwood		sim_normal	47%	150,781.0	m³	169,219.0	Diesel
<input type="checkbox"/>	Aurangabad		sim_secondaries	33%	781.0	m³	1,619.0	Palm Oil
<input type="checkbox"/>	Maulburg		sim_secondaries_2	47%	150.8	m³	169.2	Ethanol
<input type="checkbox"/>	Suzhou		sim_short_term	33%	781.0	m³	1,619.0	Pellets
<input checked="" type="checkbox"/>	Dubai		sim_tank_freeze	33%	781.0	m³	1,619.0	Diesel
<input type="checkbox"/>	Aurangabad		sim_temperature	33%	40.0	°C	80.0	Milk

Summierung_2_BA00050SEN_30

5. **単位**フィールドで、選択したタンクの単位を選択します。
6. **計算**ボタンをクリックします。
7. アプリケーションウィンドウに以下の詳細ビューが表示されます。



Field	Value	Unit
Level	47%	
Value	151,562.0	m³
Capacity	322,400.0	m³
Free	170,838.0	m³
PD Amount	300,000.0	m³
Monetary value		

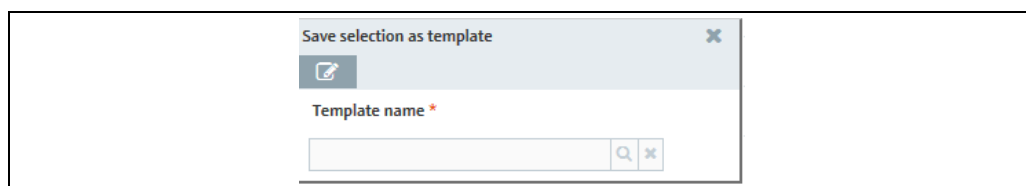
Summierung_3_BA00050SEN_30

- 計算の実行後に選択内容を変更した場合は、その変更内容を反映させるために、もう一度**計算**ボタンを押す必要があります。計算ボタンを押さなかった場合、**計算**ボタンの横に次のメッセージが表示されます:「選択を変更しました。再計算してください。」
- ボタンをクリックすると、オンになっているチェックボックスがすべてオフになり、詳細ビューの計算値が削除されます。ただし、テーブルヘッダーにある各フィールドの選択リストから選択した内容は保持されます。

10.2 選択項目をテンプレートとして保存


タンクまたは集合タンクを選択項目をテンプレートとして保存できます。

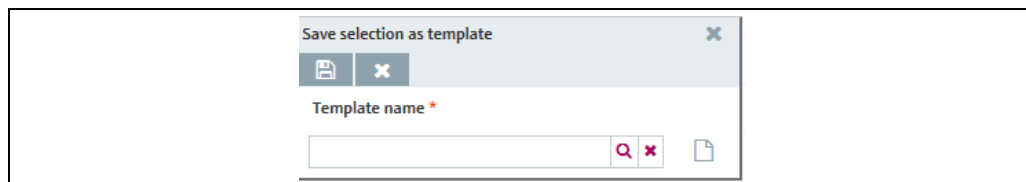
1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **トータリング**メニュー項目をクリックします。
3. **選択**テーブル列で、合計するタンクのチェックボックスをオンにします。
4. **単位**フィールドで、選択したタンクの単位を選択します。
5. **計算**ボタンをクリックします。
6. テーブルのヘッダーに  **保存**ボタンが表示されます。
7.  **保存**ボタンをクリックします。
8. **選択項目をテンプレートとして保存**ダイアログボックスが表示されます。



Summierung_5_BA00050SEN_30

 最初のテンプレートの作成時には、 ボタンと  ボタンはダイアログボックスに表示されません。


9.  ボタンをクリックします。
10. ダイアログボックスが編集モードで表示されます。





Summierung_6_BA00050SEN_30

新規テンプレートの作成または既存テンプレートの上書きのいずれかを実行できます。


10.2.1 新規テンプレートの作成

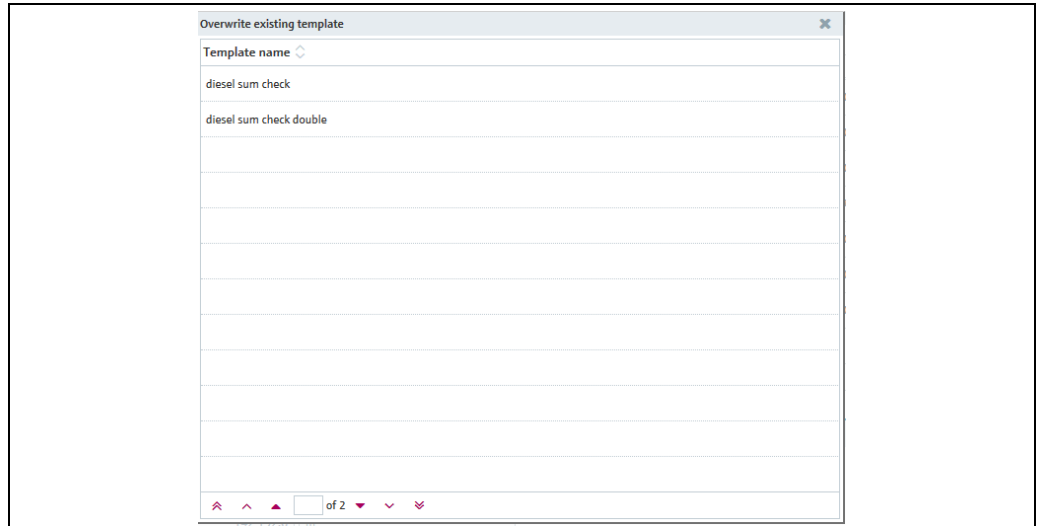
1. 「選択項目をテンプレートとして保存」の章 (→ 76 ページ) に記載される手順をすべて実行します。
2. **選択項目をテンプレートとして保存**ダイアログボックスで、 ボタンをクリックします。

 最初のテンプレートの作成時には、 ボタンはダイアログボックスに表示されません。

3. テンプレート名を入力します。テンプレート名の最大文字数は 64 文字です。
4.  をクリックして変更内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

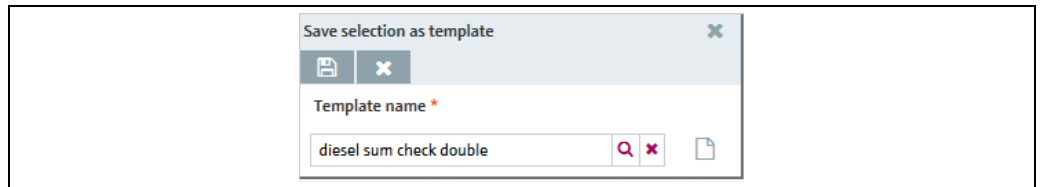
10.2.2 既存テンプレートの上書き

1. 「選択項目をテンプレートとして保存」の章 (→ 76 ページ) に記載される手順をすべて実行します。
2.  ボタンをクリックします。
3. **既存テンプレートの上書き** ダイアログボックスが表示されます。








Summierung_7_BA00050SEN_30


4. 概要テーブルで、上書きするテンプレートをクリックします。
5. **選択項目をテンプレートとして保存** ウィンドウにテンプレートが表示されます。

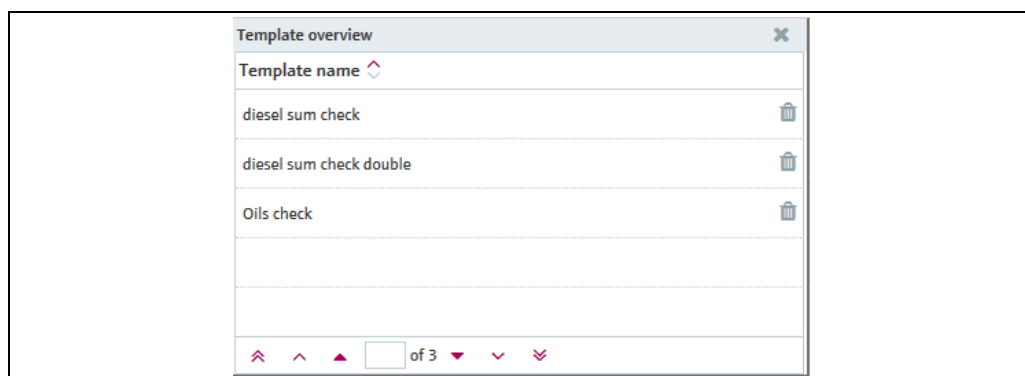


Summierung_8_BA00050SEN_30


6. 選択を取り消す場合は、 ボタンをクリックします。次に  ボタンをクリックして別のテンプレートを選択します。
 7. 選択内容を保存する場合は、 ボタンをクリックします。プロセスを中止する場合は、 ボタンをクリックします。
-  タンクが削除されるか、またはユーザーに割り当てられたタンクグループから除外された場合、そのタンクは自動的にテンプレートから削除されます。

10.3 テンプレートの選択または削除

1. 概要の  ボタンをクリックします。
2. **テンプレート概要**ウィンドウが表示されます。



Summierung_10_BA000505EN_30


3. テンプレートを選択する場合は、テーブルの対応する行をクリックします。テンプレートを削除する場合は、対応する行の  ボタンをクリックし、次に**削除の確定**ウィンドウで **OK** をクリックします。

10.4 特別照合レポートの作成

照合レポートでは、1つまたは複数のタンクの在槽状況を正確に表すレポートを作成できます。


タンクへの受入量（入力）およびタンクからの払出量（出力）の流量計の測定値を測定プロセスに追加することにより、レベル測定値のみの場合と比較して精度が向上します。

照合レポートは、これらの3つの値を関連付けて相互のバランスを比較できるため、整合性に欠けたデータが明確になります。

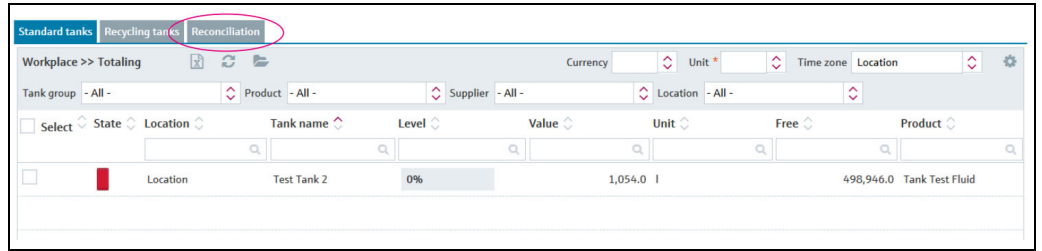
-  照合レポートの測定値は、「分析」ワークプレイスの測定から得られる値よりも高精度です。このため、照合レポートの値は「分析」ワークプレイスの値とは少し異なる場合があります。

照合レポートを作成するには、いくつかの方法があります。

- 特別レポート：SupplyCare ユーザーの必要に応じて作成
- 定期レポート：可变的に定義可能な時間間隔に基づいて作成（→ 150 ページ）

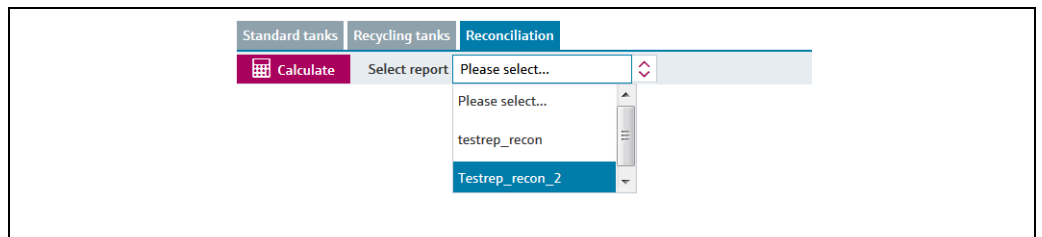
-  **特別照合レポート**を作成するには、事前に作成および設定されたレポートが少なくとも1つは必要です。レポートの作成については、150 ページを参照してください。

1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **トータリング**メニュー項目をクリックします。
3. **照合**タブを選択します。



Rep_Recoadhoc_1_BA00050SEN_31

4. レポートを選択して**計算**ボタンをクリックします。



Rep_Recoadhoc_2_BA00050SEN_31

i ここではレポートの設定を変更することはできません。レポートの変更またはレポートの新規作成を行う場合は、ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックし、**レポート**メニュー項目を選択します (→ 150 ページ)。

特別照合レポートの例

Tank name	Point name	Product	Start value	End value	Delta
Tank_UC1A	Secondary[1]	Product_A	5,000.0 l	5,000.0 l	0.0 l
Inputs					
Tank name	Point name	Product	Start value	End value	Delta
Tank_UC1A	Primary	Product_A	2,000.0 l	2,000.0 l	0.0 l
Stocks					
Tank name	Point name	Product	Start value	End value	Delta
Tank_UC1A	Secondary[2]	Product_A	3,000.0 l	3,000.0 l	0.0 l
Outputs					
Reporting period start:	1/11/17 1:44 PM	Reporting period end:	1/12/17 1:44 PM		
Input quantity delta:	0.0 l	Error delta:	0.0 l		
Stock quantity delta:	0.0 l	Error delta (%):	0.0 %		
Output quantity delta:	0.0 l	Yield:	0.00		

Rep_Recoadhoc_3_BA00050SEN_31

11 分析データの表示 - 「分析」ワークプレイス

i ユーザーロールがスケジュールラまたはオペレータに設定されているユーザーは、タンクメニュー項目を使用できます。

このメニュー項目では、各タンクの受入量 / 払出量に関する重要な指標をデータとチャートで表示できます。このデータとチャートを使用して過去の周期パターンを分析し、今後の予定作成のための基盤として活用できます。すべての情報を Excel スプレッドシートにエクスポートできます。さらに、チャートの印刷も可能です。

i この目的でタンクを輸送して水平位置に設置しても、機器は測定データを送信します。SupplyCare では、アラーム、予定データ、入力 / 出力の計算値などに基づいて、測定データを処理します。したがって、輸送前にタンクサービスのステータスを適切に設定しておく必要があります (→ 42 ページ)。

1. ナビゲーションウィンドウでワークプレイスメニューをクリックします。
2. 分析メニュー項目をクリックします。ユーザーに割り当てられているタンクのリストが表示されます。

The screenshot shows the 'Workplace >> Analysis' interface. At the top, there are filters for 'Tank group' (All) and 'Product' (All). Below this is a table with columns: Tank name, Location, Time zone, Unit, DO, ADO, DI, ADI, and Product. The table contains five rows of data, with the row for 'sim_secondaries_2' highlighted in blue. Below the table, there are tabs for 'KPIs', 'Outflow/inflow', 'Chart hourly', and 'Chart daily'. The 'KPIs' tab is active, showing several metrics with input fields and buttons:


Metric	Date	Value	Unit
Daily outflow	2/16/2016	9,914.9	l
Average daily outflow		9,984.9	l
Daily inflow	2/16/2016	0.0	l
Day(s) until reaching safety stock			10d 21h
Next planned delivery	2/23/2016	50,000.0	l

At the bottom, there are fields for 'From date' and 'To date', and a checkbox for 'Show available period'.

PS0000968en_30

3. テーブルで、分析データを表示するタンクをクリックします。
4. アプリケーションウィンドウの下部では、次のタブを選択できます :
KPI, 払出量 / 受入量, 毎時チャート, 日次チャート

11.1 「分析」概要テーブル

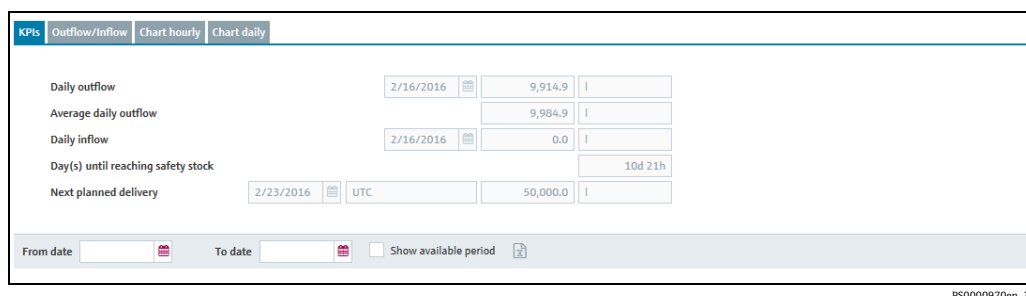
概要のテーブルヘッダーにある  ボタンを押すと、コンテキストメニューが開きます。このコンテキストメニューを使用して、テーブル列の表示 / 非表示の設定やテーブル列の移動を行うことができます。

概要テーブルで使用可能な列を以下に示します。

列	説明
地域	タンクの地域を示します。地域はその地域の名前です。この名前は、 設定 メニューの タンク メニュー項目の 地域 フィールドで選択します。地域は 地域 メニュー項目で指定します。
タンク名	タンク名を示します。タンク名は、 タンク名 フィールドで入力します (パス: 設定 → タンク → タンク詳細 → タンク名)。
単位	単位を示します。プライマリ値の単位は、 タンク詳細 タブの 単位 フィールドを使用して指定します。質量単位と体積単位の場合、 ユーザー設定 メニュー項目の 質量の単位 または 体積の単位 フィールドの設定が優先されます。
タイムゾーン	タイムスタンプのタイムゾーン。地域のタイムゾーンが使用されます。
DO (1日払出量)	最後に計算された1日払出量が表示されます。
ADO (1日平均払出量)	「1日平均払出量」の値が表示されます。この値は1日の平均量を使用して計算されます。平均量の計算は、設定された「予測ベース」値に基づきます。リサイクルタンクでは、このフィールドは空です。
DI (1日受入量)	最後に計算された1日受入量が表示されます。
ADI (1日平均受入量)	「1日平均受入量」の値が表示されます。この値は1日の平均量を使用して計算されます。平均量の計算は、設定された「予測ベース」値に基づきます。標準タンクでは、このフィールドは空です。
製品	タンク内の製品を示します。

11.2 KPI（主要業績評価指標）

このタブには、選択したタンクの受入量 / 払出量に関する重要な指標が表示されます。



PS0000970en_30

1日払出量および1日受入量フィールドには、最後に計算された値が表示されます。

開始日および終了日フィールドに期間を入力するか、または**使用可能な期間の表示**チェックボックスをオンにした場合、追加情報が表示されます。

11.2.1 フィールドの説明

フィールド	説明
1日払出量	入力したデータに対して計算された1日払出量が表示されます。
1日平均払出量 / 1日平均受入量	<ul style="list-style-type: none"> 標準タンク：1日平均払出量 リサイクルタンク：1日平均受入量 これらの値は1日の平均量を使用して計算されます。平均量の計算は、設定された「予測ベース」値に基づきます。
1日受入量	入力したデータにおける1日受入量が表示されます。
安全在庫に達するまでの日数	安全在庫に達するまでの推定残り日数を示します。この値は1日の平均量を使用して計算されます。 <ul style="list-style-type: none"> 「安全在庫」が無効化されているか、または値が「0」である場合、安全在庫に達するまでの日数フィールドは空になります。
次の納品予定 / 次の廃棄予定	<ul style="list-style-type: none"> 標準タンク：次の納品予定が表示されます。 リサイクルタンク：次の廃棄予定が表示されます。
合計払出量	入力した期間における合計払出量が表示されます。
合計受入量	入力した期間における合計受入量が表示されます。
納品回数 / 廃棄回数	<ul style="list-style-type: none"> 標準タンク：入力した期間に実施される納品回数が表示されます。 リサイクルタンク：入力した期間に実施される廃棄回数が表示されます。
納品周期 / 廃棄周期	<ul style="list-style-type: none"> 標準タンク：入力した期間における2回の納品間の平均間隔 リサイクルタンク：入力した期間における2回の廃棄間の平均間隔

11.3 払出量 / 受入量

このタブには、選択したタンクの受入量 / 払出量に関する重要な指標が表示されます。

PS000971en_30

開始日および**終了日**フィールドを使用して、値を分析する期間を入力できます。**使用可能な期間の表示**チェックボックスをオンにすると、保存されているすべての値が分析されます。

フィールドの説明

フィールド	説明
平均在庫レベル	入力した期間における平均量が表示されます。
平均納品量 / 平均廃棄量	<ul style="list-style-type: none"> 標準タンク：入力した期間における平均納品量が表示されます。 リサイクルタンク：入力した期間における平均廃棄量が表示されます。 レベルの変動により不正確な結果が出力されないように、 ヒステリシス に入力された値が計算要素に組み込まれます。
回転率	入力した期間における回転率が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 標準タンクの場合の計算：合計払出量 / 平均在庫レベル リサイクルタンクの場合の計算：合計受入量 / 平均在庫レベル
平均使用率	入力した期間における平均使用率が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 標準タンクの場合の計算：$(\text{平均在庫レベル} / \text{最適値}) * 100$ 「最適値」が無効化されているか、または値が「0」である場合、入力した容量を使用して計算されます。 リサイクルタンクの場合の計算：$(\text{平均在庫レベル} / \text{安全在庫}) * 100$ 「安全在庫」が無効化されている場合、入力した容量を使用して計算されます。
最大値	入力した期間における最大値
最小値	入力した期間における最小値
安全在庫に達しました	標準タンクの場合は、入力した期間に安全在庫を下回った回数であり、リサイクルタンクの場合は、入力した期間に安全在庫を超過した回数です。 <ul style="list-style-type: none"> 標準タンクの場合の評価基準：測定値 < 安全在庫の入力値 リサイクルタンクの場合の評価基準：測定値 > 安全在庫の入力値 設定されたヒステリシス内のすべての測定値が考慮されるわけではありません (→ 100 ページ)。 「安全在庫」が無効化されている場合、安全在庫に達しましたフィールドは空になります。 「安全在庫」の値が「0」の場合、安全在庫に達しましたフィールドは「0」になります。
平均安全在庫に達しました	標準タンク：入力した期間に安全在庫を下回った差分の平均値。 リサイクルタンク：入力した期間に安全在庫を超過した差分の平均値。 「安全在庫」が無効化されている場合、 平均安全在庫に達しました フィールドは空になります。 「安全在庫」の値が「0」の場合、 平均安全在庫に達しました フィールドは「0」になります。

11.4 毎時チャート

選択する項目に応じて、このチャートには、選択した期間の払出量、受入量、または受入量と払出量の差分が表示されます。



Diagramm_Stundenbasis_BA00050SEN_30

毎時チャートの期間は、**期間の選択**フィールドを使用して選択します。1～7日を選択できます。

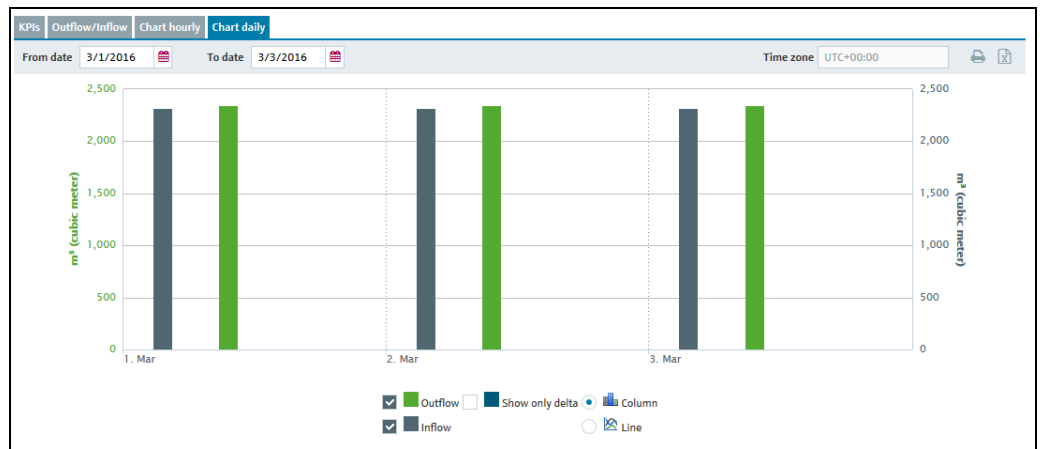
チャートのタイプは、**列**または**ライン**ボタンを使用して選択します。

チャートのグラフ上にカーソルを合わせると、ウィンドウにグラフの名前、特定の測定値、タイムスタンプが表示されます。

i 関連する測定点が追加されてから、このチャートで確実に利用できるようになるまで48時間かかります。

11.5 日次チャート

選択する項目に応じて、このチャートには、入力した期間の払出量、受入量、または受入量と払出量の差分が表示されます。



PS0000973en_30

開始日および終了日フィールドを使用して、日次チャートの期間を指定します。

チャートのタイプは、列またはラインボタンを使用して選択します。

チャートのグラフ上にカーソルを合わせると、ウィンドウにグラフの名前、特定の測定値、タイムスタンプが表示されます。



関連する測定点が追加されてから、このチャートで確実に利用できるようになるまで 48 時間かかります。

12 マップでのタンクの地域の表示 - 「マップ」 ワークプレイス

i ユーザーロールが**読み取り専用**、**スケジューラ**、または**オペレータ**に設定されているユーザーは、**マップ**メニュー項目を使用できません。

i **マニュアル値**は青色で表示され、その後に **MAN** というテキストが表示されます。

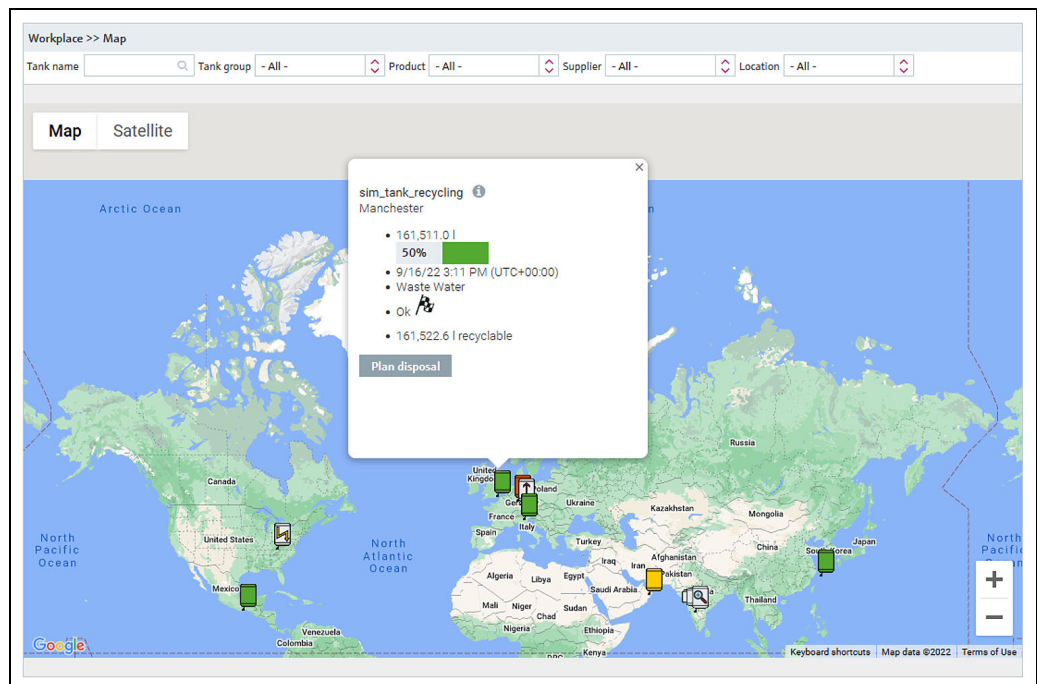
このメニュー項目を使用して、**Google Maps** 上で各タンクの地域の概要を確認できます。タンクはタンク名、タンクグループ、製品、供給者、地域でフィルタ処理できます。値や納品 / 廃棄予定などの各タンクの詳細情報を呼び出すことができます。

12.1 マップおよび関連情報の表示

i タンクまたは集合タンクをマップに表示するには、以下の条件を満たす必要があります。

- タンクまたは集合タンクを特定の地域に割り当てる必要があります。ユーザーはその地域の地理座標（緯度と経度）を把握しておく必要があります。
→ 126 ページ
- タンクまたは集合タンクをタンクグループに割り当てる必要があります。

1. ナビゲーションウィンドウで**ワークプレイス**メニューをクリックします。
2. **マップ**メニュー項目をクリックします。タンクの地域の概要を示すマップが表示されます。

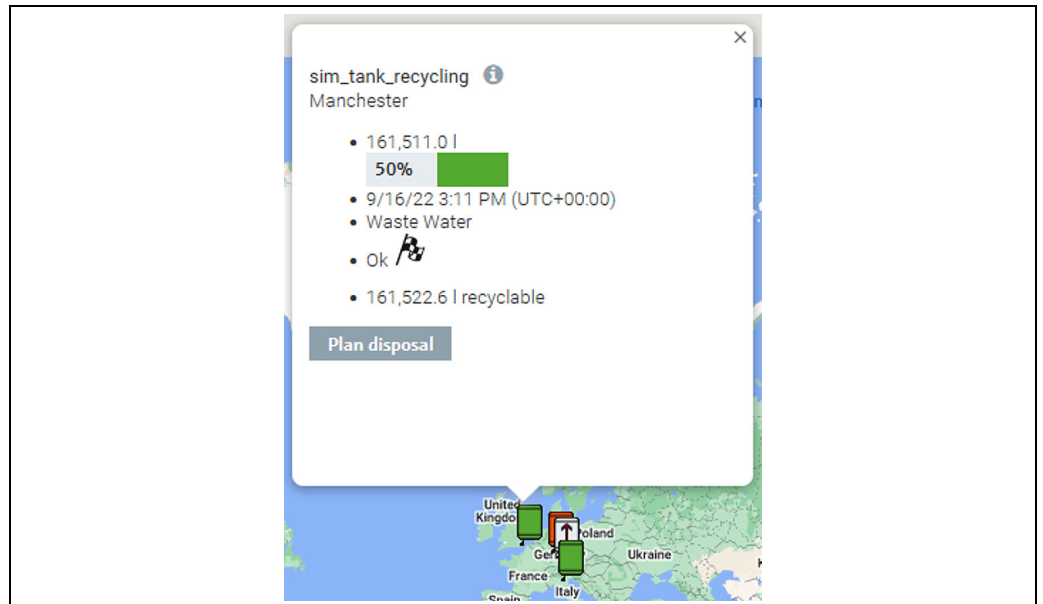


S67_BA00050SEN_0211_30

- マップビューは、当該地域のすべてのタンクが表示されるように、フィルタ条件に応じて自動的に調整されます。
- フィルタ条件に一致するタンクが見つからなかった場合、「タンクが見つかりません。」というメッセージが表示されます。フィルタ条件は、以前に使用した値にリセットされます。

12.2 タンク詳細

1. マップ上のタンクをクリックするとウィンドウが開き、詳細情報が表示されます。
2. タンクについて、以下のようなデータが表示されます。



Karte_Tankdetails_BA00050SEN_30

- スクロールアイコン (1つの地域に複数のタンクが設置されている場合)
- タンク名、タンクの数と総量 (1つの地域に複数のタンクが設置されている場合)
- ⓘ ボタン (タンク名の後) : このボタンをクリックすると、タンクに関するすべての情報を含むタブを表示できます。ここでは、タンクワークプレイスでも確認できるすべての情報にアクセスできます。
- 地域。このタンクの GPS データを利用できる場合は、タンクの名前に加えて **GPS データ**も補足情報として表示されます。
- 値および単位
- タイムスタンプおよびタイムゾーン
- 製品
- タンクのステータスおよびイベントのシンボル。
- 量、単位、納品可能 (標準タンク) / リサイクル可能 (リサイクルタンク) (納品 / 廃棄が予定されていない場合)
- PD 量、単位、PD (納品 / 廃棄の日時) (納品 / 廃棄が予定されている場合)
- **納品を予定**または**廃棄を予定**ボタン。

3. ウィンドウを閉じる場合は、右上の**閉じる**アイコンをクリックします。

12.3 廃棄または納品を予定

1. タンク詳細を示すウィンドウで、**納品を予定**または**廃棄を予定**ボタンをクリックします。
2. **納品を予定**または**廃棄を予定**ダイアログボックスが表示されます。

Plan delivery

Forecast value: 130,981.0

Amount (in l):


Comment:

Delivery date and time: [Calendar icon] 12 0

Range: n/a


Range:

S68-2_BA000505EN_0211_30

3.  ボタンをクリックします。
4. カレンダーで納品予定 / 廃棄予定の**日付**を選択するか、または日付を手動で入力します。
5. **値、量、範囲**フィールドが自動計算されます。
日付を変更すると、これらのフィールドは再計算されます。
6. 範囲を更新して、コメントを入力し、入力した量の変更を保存または拒否できます (→ 70 ページ)。

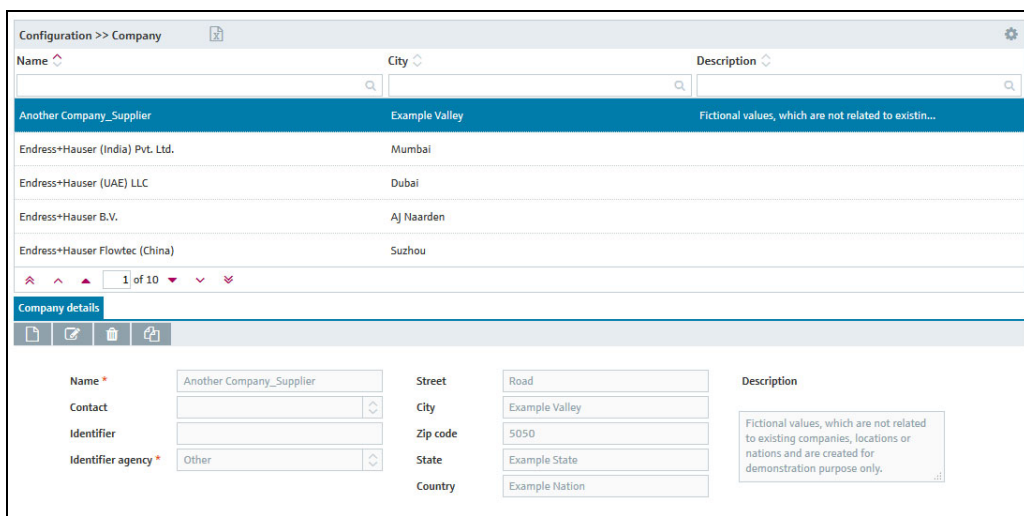
13 マスターデータの管理

13.1 会社の管理

 会社を作成、変更、削除できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されているユーザーのみです。

13.1.1 会社の作成

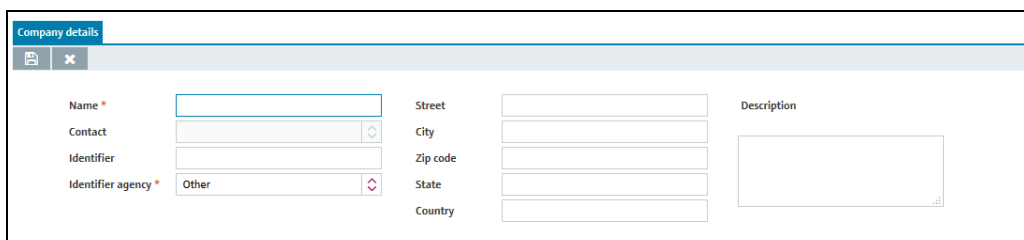
1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **会社**メニュー項目をクリックします。
3. アプリケーションウィンドウに以下の詳細ビューが表示されます。



The screenshot shows the 'Configuration >> Company' interface. At the top, there are search filters for Name, City, and Description. Below is a table listing several companies, including 'Another Company_Supplier' in Example Valley. A 'Company details' tab is active, showing a form for editing the selected company. The form includes fields for Name, Contact, Identifier, Identifier agency, Street, City, Zip code, State, and Country, along with a Description text area.

S69_BA00050SEN_0211_30

4. **会社詳細**タブの  ボタンをクリックします。
5. タブが編集モードで表示されます。





The screenshot shows the 'Company details' form in edit mode. The form is now empty, with input fields for Name, Contact, Identifier, Identifier agency, Street, City, Zip code, State, and Country, and a Description text area.

PS0000845aen_30

6. ここでは、以下に示すような会社データを入力できます。

- **名前 (必須)**：会社の名前
- **お問合せ先**：選択リストからお問合せ担当者を選択します。
ユーザーメニュー項目を使用してお問合せ担当者を事前に追加し、**会社**に割り当てておく必要があります。
- **ID**：CIDX レポートで使用される会社 ID
- **ID 発行機関**：会社の ID 管理を担当する組織を選択します。この選択は CIDX 基準に準拠したものです。CIDX レポートを作成するには、ID 発行機関が必要になります。
- **番地**

- 市町村
- 郵便番号
- 都道府県
- 国
- 説明：ここには複数行の説明を入力できます。



7.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

13.1.2 会社の変更

詳細情報：→ 26 ページ

13.1.3 会社の削除


詳細情報：→ 30 ページ

 会社を削除できるのは、その会社にユーザーが割り当てられていない場合のみです。会社をする場合は、最初にその会社に割り当てられているユーザーを削除してください。削除可能な会社にのみ  ボタンが表示されます。

13.1.4 会社のコピー

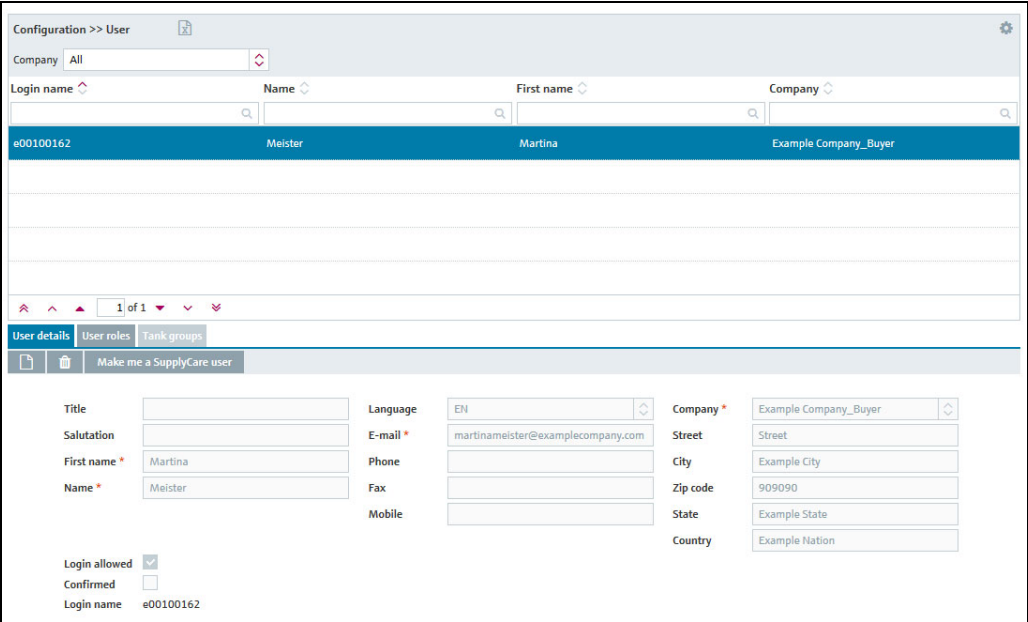
詳細情報：→ 31 ページ

13.2 ユーザーの管理

 ユーザーを作成、変更、削除できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されているユーザーのみです。

13.2.1 ユーザーの作成

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **ユーザー**メニュー項目をクリックします。
3. アプリケーションウィンドウに以下の詳細ビューが表示されます。



Configuration >> User

Company: All

Login name	Name	First name	Company
e00100162	Meister	Martina	Example Company_Buyer

1 of 1

User details | User roles | Tank groups

Make me a SupplyCare user

Title: [] Language: EN Company: Example Company_Buyer

Salutation: [] E-mail: martinameister@examplecompany.com Street: Street

First name: Martina Phone: [] City: Example City

Name: Meister Fax: [] Zip code: 909090


Mobile: [] State: Example State

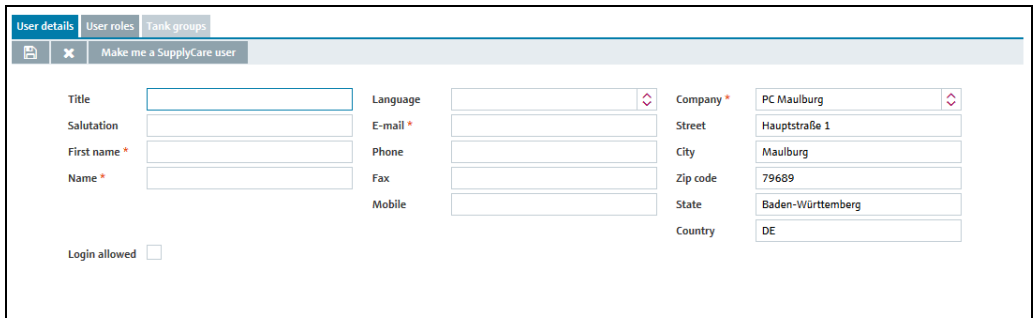
Country: Example Nation

Login allowed: Confirmed:

Login name: e00100162

Benutzerdetails_BA00050SEN_30



4. **ユーザー詳細**タブを選択します。
5.  ボタンをクリックします。
6. タブが編集モードで表示されます。



S71-2_BA00050SEN_0211_30

7. ここでは、以下に示すようなユーザーに関するデータを入力できます。

- 役職
- 挨拶の言葉
- 名 (必須)
- 名前 (必須) : ユーザーの姓
- ログイン許可 : ログイン許可チェックボックスをオンにした場合、**確認済み**チェックボックスおよび**ログイン名**フィールドが表示されます。
ユーザーが作成され、**ログイン許可**チェックボックスがオンである場合、そのユーザーが SupplyCare Hosting の使用権限を保有しているかどうかを当社側で確認いたします。そのユーザーが権限を保有している場合、ここに指定されたメールアドレスを使用して、当社からそのユーザーにログイン名が送信されます。
ログイン許可フィールドがオフである場合、**確認済み**チェックボックスおよび**ログイン名**フィールドは表示されません。
- **確認済み** (読み取り専用) : このチェックボックスは、ログイン許可チェックボックスがオンである場合にのみ表示されます。このチェックボックスは当社側でオンに設定します。
- **ログイン名** (読み取り専用) : このフィールドは、ログイン許可チェックボックスがオンである場合にのみ表示されます。**ログイン名**は、そのユーザーについて当社側で SupplyCare Hosting の使用権限の確認後に表示されます。
- 言語
- Eメール (必須)
- 電話
- ファックス
- 携帯
- 会社 (必須) : 会社は自動的に入力されます。
- 番地
- 市町村
- 郵便番号
- 都道府県
- 国


 をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

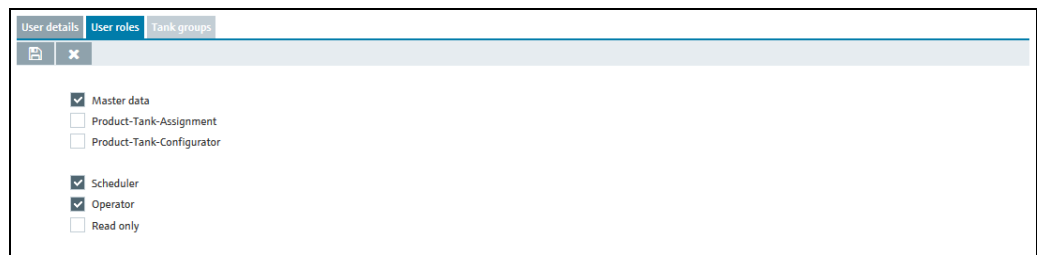
9. **ユーザーロール**タブを選択して、ユーザーにロールを割り当てます (→ 92 ページ)。
10. **タンクグループ**タブを選択して、ユーザーにタンクグループを割り当てます (→ 92 ページ)。

13.2.2 ユーザーロールの割り当て



ユーザーロールタブでは、1人のユーザーに1つまたは複数のユーザーロールを割り当てることができます。ユーザーロールに応じてさまざまな権限がユーザーに与えられます (→ 16 ページ および → 161 ページ)。

また、このタブでは、ユーザーがEメールでアラームを受信するかどうかを指定することもできます。

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **ユーザー**メニュー項目をクリックします。
3. **ユーザーロール**タブを選択します。
4.  ボタンをクリックします。
5. タブが編集モードで表示されます。



Konfiguration_Benutzer_Rollen_BA00050EN_30



6. 適切な**チェックボックス**をオンにして、ユーザーにユーザーロールを割り当てます。1人のユーザーに複数のユーザーロールを同時に割り当てることができます。
7.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

13.2.3 ユーザーの変更

詳細情報：→ 26 ページ

13.2.4 ユーザーの削除

詳細情報：→ 30 ページ

 ユーザーがタンクグループまたは (お問合せ担当者として) 会社に割り当てられていない場合にのみ、そのユーザーを削除できます。ログインしているユーザーは削除できません。タンクグループの割り当ては、**タンクグループ**タブでキャンセルできます。会社の割り当ては、**会社**メニュー項目でキャンセルできます。削除可能なユーザーにのみ  シンボルが表示されます。

13.2.5 ユーザーのコピー

詳細情報：→ 31 ページ

13.2.6 ユーザーへのタンクグループの割り当ておよびタンクイベント通知の設定

タンクグループタブを使用して、1つまたは複数のタンクグループをユーザーに割り当てることができます。また、このタブでは、ユーザーが通知を受けるタンクイベントを指定することもできます。

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **ユーザー**メニュー項目をクリックします。
3. テーブルで、割り当てを編集するユーザーをクリックします。
4. **タンクグループ**タブを選択します。

Assign	Tank group	Description	By e-mail	PP	SP	SST	TF	PDL	PDE	S.Lim 1	S.Lim 2	SpanLimit
<input checked="" type="checkbox"/>	Waste Water		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	Primarys		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	Oil/Gas		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	Chemicals		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	Food and Beverage		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

S74_EN_BA000505_0211_30

5. ボタンをクリックします。
6. タブが編集モードで表示されます。

Assign	Tank group	Description	By e-mail	PP	SP	SST	TF	PDL	PDE	S.Lim 1	S.Lim 2	SpanLimit
<input checked="" type="checkbox"/>	Waste Water		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	Primarys		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	Oil/Gas		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	Chemicals		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	Food and Beverage		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

S74-2_EN_BA000505_0211_30

7. 割り当て列の**チェックボックス**をオンにして、タンクグループをユーザーに割り当てます。
割り当てを取り消す場合は、その**チェックボックス**をオフにします。割り当てられたタンクグループは、「ワークプレイス - タンク」ビューに表示されます。
8. また、そのユーザーがタンクイベントに関する通知を E メールで受け取るように設定する場合は、**E メールによる**チェックボックスをオンにします。
9. ユーザーが通知を受け取る必要があるイベントに対応したチェックボックスをオンにします。

- **PP** (予定ポイント)
- **SP** (出荷ポイント)
- **SST** (安全在庫)
- **TF/SF/OF** (タンクの凍結 / サイロの凍結 / オブジェクトの凍結) : タンクの凍結 / サイロの凍結 / オブジェクトの凍結の各イベントに関するすべての情報で構成されます。
- **PDL** (予定された納品 / 廃棄ライフサイクル) : 予定されたまたは削除されたすべての新規納品 / 廃棄で構成されます。
- **PDE** (予定された納品 / 廃棄イベント) : すべての納品短縮 / 早期廃棄、納品遅延 / 遅延廃棄、失敗した納品 / 廃棄、完了した納品 / 廃棄で構成されます。
- **S.Lim1/S.Lim2** (セカンダリ制限 1/2)

10. をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

13.3 タンクの管理

- i** タンクを作成、変更、削除できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されているユーザーのみです。
- i** 設定内容に応じて、**タンク**の代わりに**オブジェクト**または**サイロ**が表示されます。詳細については、システム管理者用のサービスマニュアルの該当する章を参照してください。

13.3.1 タンクの作成

SupplyCare では、いくつかの方法でタンクを作成できます：**設定**メニューの**タンク**メニュー項目で、タンク設定ウィザードまたは各種タブを使用できます。

タンク設定ウィザードを使用すると、新規タンクのタンク設定（基本設定：**タンク名**、**容量**、**計画タイプ**、**タンクグループ**、その他のオプションタンク設定）を容易に選択できます。これらの設定は、上記のタブを使用して後から変更できます。

- i** ユーザーにはタンクグループしか割り当てることができないため、タンクグループにタンクを必ず割り当てておいてください。
- i** 「**地域**」、「**購入者**」、「**供給者**」、「**製品**」の要素を選択するには、まずこれらのフィールドを作成する必要があります。**購入者**および**供給者**は会社として作成します（→ 89 ページ）。

a) タンク設定ウィザードを使用したタンクの作成


1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。
3. アプリケーションウィンドウに詳細ビューが表示されます。
4. **タンク設定ウィザード**ボタンをクリックします。


i このタンクウィザードは、集合タンクの作成には使用**できません**。

5. **ステップ 1/4：基本タンク設定**ダイアログウィンドウが表示されます。

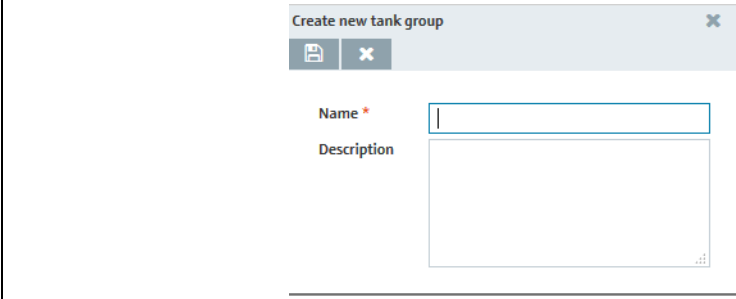
Konfiguration_Tank_Wizard_2_BA00050EN_30

6. 以下のデータを入力します。
タンク名 (必須)、**単位** (必須)、**容量** (必須)、**計画タイプ** (→ 99 ページ)

 ユーザーが質量ベースでタンクの予定作成および日常業務を行う場合、最大容量を体積単位 (m³ など) として使用する必要があります。適切な製品設定については、129 ページを参照してください。



7. **割り当て列のチェックボックス**をオンにして、既存のタンクグループにタンクを割り当てるか、または必要に応じて新規タンクグループを作成します。 ボタンをクリックして、新規タンクグループを作成します。

新規タンクグループの作成ダイアログウィンドウが表示されます。



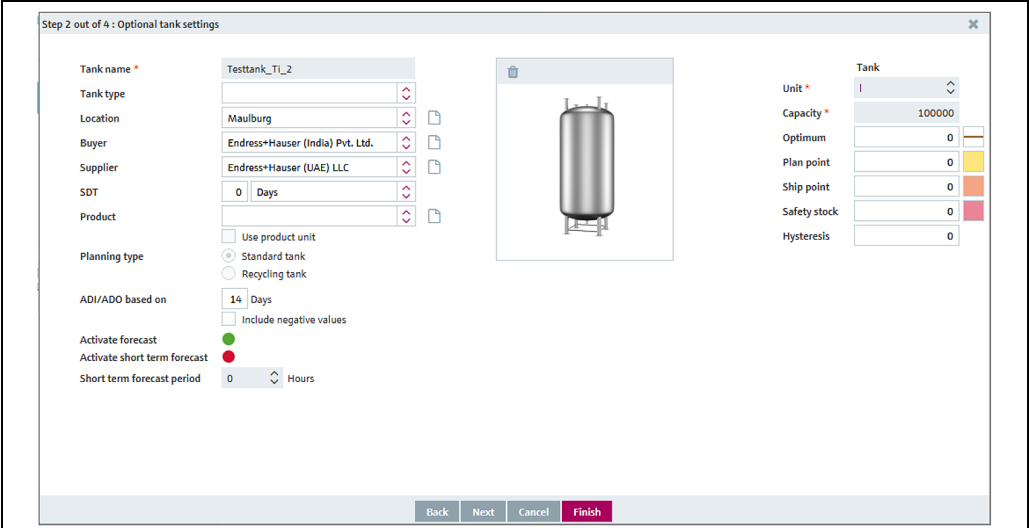
Konfiguration_Tank_Wizard_3_BA00050EN_30

8. 以下のデータを入力します。
名前 (必須)、**説明**


9.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

10. **次へ**ボタンをクリックして、オプションタンク設定を入力します。プロセスをキャンセルする場合は**キャンセル**ボタンをクリックし、タンクの作成を完了する場合は**完了**ボタンをクリックします。

次へをクリックすると、**ステップ 2/4: オプションタンク設定**ダイアログウィンドウが表示されます。



Konfiguration_Tank_Wizard_4_BA00050EN_30


11. 下記の説明 (→ 97 ページ) に従い、データを入力します。
12. 対応する  ボタンをクリックして、新しい地域、購入者、供給者、製品を作成します。
13. 適切なタンク形状を示す図を選択します (→ 101 ページ)。

14. **ステップ 1/4 : 基本タンク設定**ダイアログウィンドウに戻る場合は、**戻る**ボタンをクリックします。プロセスをキャンセルする場合は**キャンセル**ボタンをクリックし、タンクの作成を完了する場合は**完了**ボタンをクリックします。タンクに機器を割り当て、リニアライゼーションタイプを選択する場合は、**次へ**をクリックして、次の設定ステップに進むことができます。

Tank parameter	Serial number	Device	Measurepoint	Unit (from device)	Unit (for application)
Primary		Dev-4	Sen-1	l	l
Secondary[1]					
Secondary[2]					
Secondary[3]					
Secondary[4]					
Secondary[5]					
Secondary[6]					
Secondary[7]					
Secondary[8]					
Latitude (GPS)					
Longitude (GPS)					

Konfiguration_Tank_Wizard_5_BA00050EN_30

15. **ステップ 3/4 : 機器マッピング (オプション)** : 機器および測定点をタンクパラメータに割り当てます (→ 113 ページ)。

 機器マッピングは、選択した SupplyCare 契約で当該機能が有効である場合にのみ提供されます。機器マッピングが無効であり、これを有効にする必要がある場合は、当社にお問い合わせください :


www.addresses.endress.com。

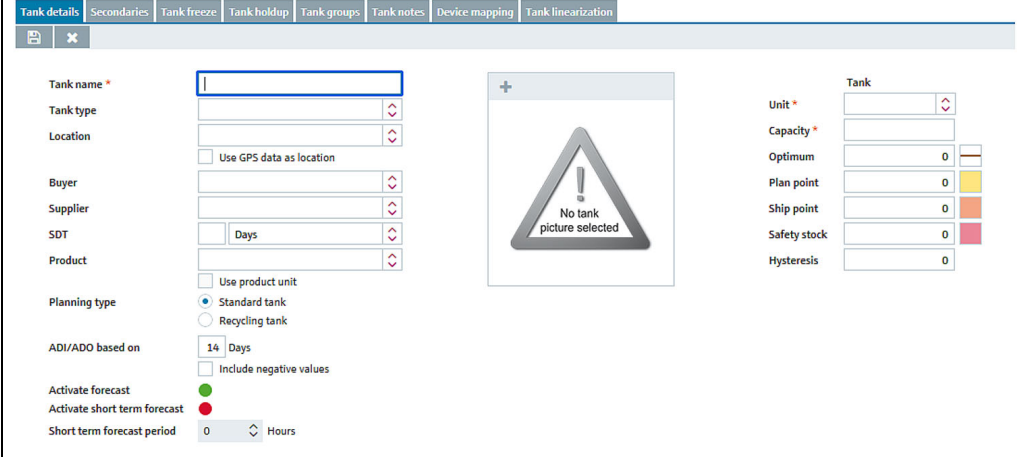
16. **次へ**ボタンをクリックして、オプションタンク設定を入力します。プロセスをキャンセルする場合は**キャンセル**ボタンをクリックし、タンクの作成を完了する場合は**完了**ボタンをクリックします。

Konfiguration_Tank_Wizard_6_BA00050EN_30

b) 設定メニューのタンクメニュー項目にあるタブを使用したタンクの作成

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。




3. アプリケーションウィンドウに詳細ビューが表示されます。下部のセクションで **タンク詳細** タブを選択します。
4.  ボタンをクリックします。
5. タブが編集モードで表示されます。

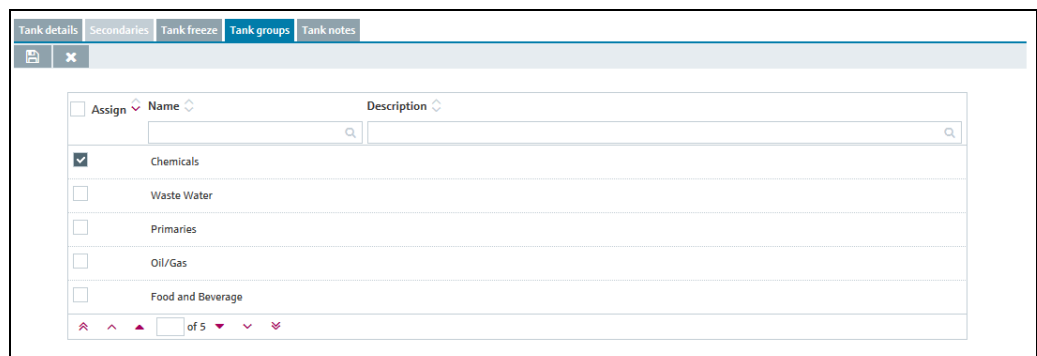


Konfiguration_Tank_5_BA00050EN_30



6. ここでは、以下に示すようなタンクに関するデータを入力できます。

- **タンク名** (必須)
- **タンクタイプ**: 選択リストからタンクタイプを選択します。
- **地域**: 選択リストから地域を選択します。
- **GPS データを位置情報として使用する**: このチェックボックスをオンにすると、タンクの GPS トラッカーが生成した GPS データが表示されます。**注意**: このオプションは、タンクを作成して必要な測定点を割り当てるまで使用できません。詳細: サービスハンドブック (SH00001S)、章: **GPS データを位置情報として使用する**
- **購入者**: 選択リストから購入者 (会社) を選択します。
- **供給者**: 選択リストから供給者 (会社) を選択します。
- **SDT** (標準納品 / 廃棄時間)
- **製品**: 選択リストから製品を選択します。
- **製品単位の使用**: このオプションを有効にすると、選択した製品の単位が自動的に **単位** フィールドで使用されます。**容量、最適値、予定ポイント、出荷ポイント、安全在庫、ヒステリシス**の各フィールドの値は、その製品用に入力した密度に基づいて換算されます。
ユーザーが質量ベースでタンクの予定作成および日常業務を行う場合、最大容量を体積単位 (m³ など) として使用する必要があります。適切な製品設定については、129 ページを参照してください。
- **計画タイプ**: **標準タンク** チェックボックスをオンにすると、そのタンクは標準タンクとして指定され、**リサイクルタンク** チェックボックスをオンにすると、そのタンクはリサイクルタンクとして指定されます。イベントメッセージおよび在槽チャートとレベルの表示方法は、この **計画タイプ** に応じて調整されます (→ 99 ページ)。
- **次の項目に基づく ADI/ADO**: ここには標準値として 14 日が指定されています。この期間は、在槽チャートの予測に使用されます (→ 37 ページ)。
- **マイナス値を含む**: このオプションを有効にすると、ADI/ADO の計算に負の測定値が含まれます。
- **予測の有効化**: このオプションを有効にすると、在槽の予測が **在槽チャート** タブに表示されます。
予測が有効な場合は緑色のボタンが表示され、予測が無効な場合は赤色のボタンが表示されます。編集モードでこの緑色 / 赤色のボタンをクリックすると、このオプションを変更できます。
- **短期予測の有効化**: 51 ページを参照してください。
- **単位**

- **容量**：ユーザーが質量ベースでタンクの予定作成および日常業務を行う場合、最大容量を体積単位 (m³ など) として使用する必要があります。適切な製品設定については、129 ページを参照してください。
 - **最適値** (標準タンク専用)
 - **予定ポイント**
 - **出荷ポイント** (標準タンク専用)
 - **安全在庫**
 - **ヒステリシス**：ヒステリシスは、レベル変動などによりイベントメッセージが繰り返し出力されるのを回避するために役立ちます (→ 100 ページ)。
7. 標準タンクの場合は、**最適値**、**予定ポイント**、**出荷ポイント**、**安全在庫**の各入力フィールドを個別に無効化でき、リサイクルタンクの場合は、**安全在庫**および**予定ポイント**フィールドを無効化できます。これを行うには、各入力フィールドの右側にあるボタンをクリックします。そのフィールドはボタンと同様に灰色の表示になり、情報を入力できなくなります。これらの入力フィールドを有効化するには、灰色のボタンをクリックします。
 8. 適切なタンク形状を示す図を選択します (→ 101 ページ)。
 9.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。
 10. **タンクグループ**タブを選択します。
 11.  ボタンをクリックします。
 12. タブが編集モードで表示されます。

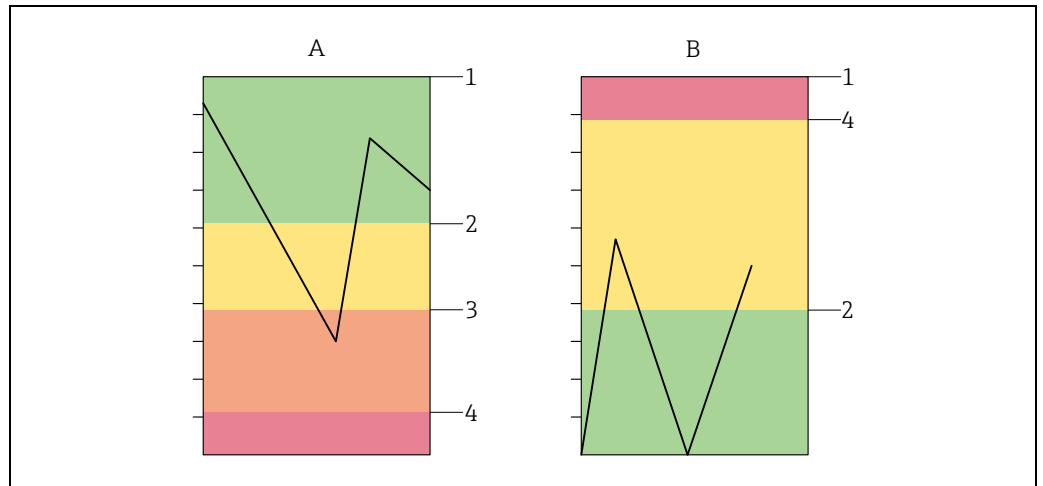


S77_BA00050SEN_0211_30

13. **割り当て**列の**チェックボックス**をオンにして、タンクをタンクグループに割り当てます。
14.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

標準タンクおよびリサイクルタンク

SupplyCare では、標準タンクとリサイクルタンクが区別されます。標準タンクでは、タンクから製品が抽出されます。リサイクルタンクでは、タンクに製品が充填されます。**リサイクル**チェックボックスをオンにすると、標準タンクがリサイクルタンクに変更されます。在庫チャートの表示ロジックおよび通知ロジックは、以下の図に基づいて変更されます。

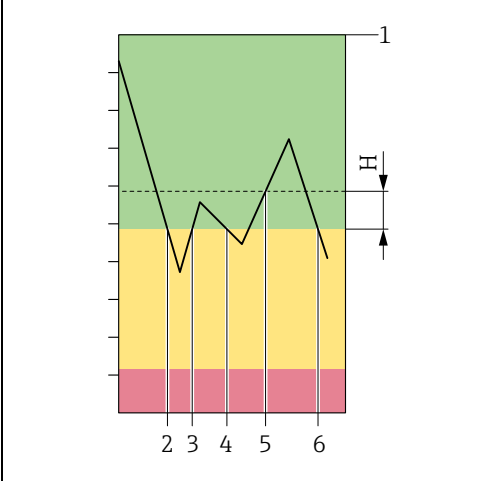
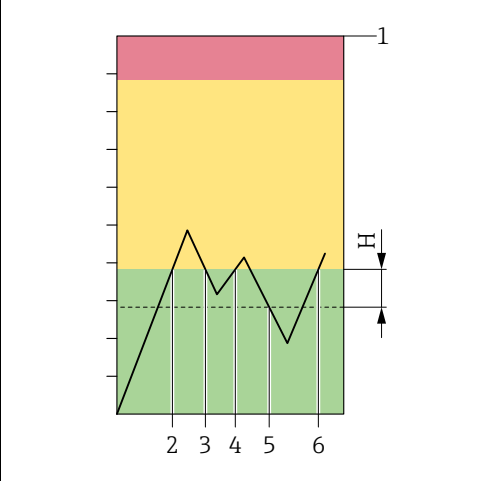


- A 標準タンク
 B リサイクルタンク
 1 容量
 2 予定ポイント
 3 出荷ポイント
 4 安全在庫

A0029411

ヒステリシス




ヒステリシスはイベント通知にのみ関連します。ヒステリシスにより、レベル変動などでイベント通知が何度も発信されるのを回避できます。ヒステリシスは、予定ポイント、出荷ポイント、安全在庫のイベントに適用されます。



標準タンク	リサイクルタンク
 <p>標準タンクのヒステリシス動作図。縦軸はレベル、横軸は時間（2-6）。制限値は1、ヒステリシスはH。レベルが制限値を下回り、イベント発生（開く）。レベルが制限値+ヒステリシスを上回り、イベント発生（OK）。レベルが制限値+ヒステリシスを下回り、イベント発生（開く）。レベルが制限値+ヒステリシスを再び上回り、イベント発生（OK）。</p>	 <p>リサイクルタンクのヒステリシス動作図。縦軸はレベル、横軸は時間（2-6）。制限値は1、ヒステリシスはH。レベルが制限値を上回り、イベント発生（開く）。レベルが制限値-ヒステリシスを下回り、イベント発生（OK）。レベルが制限値-ヒステリシスを再び上回り、イベント発生（OK）。レベルが制限値-ヒステリシスを再び下回り、イベント発生（OK）。</p>
<p>A0029409</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 容量 2. レベルが予定ポイントの制限値を下回ります。「予定ポイントに達しました」イベントがトリガされます。イベントのステータスは開くに設定されます。 3. レベルが予定ポイントの制限値を再び上回ります。イベント2のステータスは開くのままです。タンクステータスは「OK」（緑色）に切り替わります。 4. レベルが予定ポイントの制限値を再び下回ります。新しいイベントはトリガされません。イベント2のステータスは開くのままです。タンクステータスは「予定ポイントに達しました」（黄色）に切り替わります。レベルが予定ポイントの制限値 + ヒステリシスを最初に上回らなかったため、新しいイベントはトリガされません。 5. レベルが予定ポイントの制限値 + ヒステリシスを上回ります。ここでイベント2のステータスが実行済みになります。 6. レベルが予定ポイントの制限値を再び下回ります。新しい「予定ポイントに達しました」イベントがトリガされます。イベントのステータスは開くに設定されます。 	<p>A0029410</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 容量 2. レベルが予定ポイントの制限値を上回ります。「予定ポイントに達しました」イベントがトリガされます。イベントのステータスは開くに設定されます。 3. レベルが予定ポイントの制限値を下回ります。イベント2のステータスは開くのままです。タンクステータスは「OK」（緑色）に切り替わります。 4. レベルが予定ポイントの制限値を再び上回ります。新しいイベントはトリガされません。イベント2のステータスは開くのままです。タンクステータスは「予定ポイントに達しました」（黄色）に切り替わります。レベルが予定ポイントの制限値 - ヒステリシスを最初に下回らなかったため、新しいイベントはトリガされません。 5. レベルが予定ポイントの制限値 - ヒステリシスを下回ります。ここでイベント2のステータスが実行済みになります。 6. レベルが予定ポイントの制限値を再び上回ります。新しい「予定ポイントに達しました」イベントがトリガされます。イベントのステータスは開くに設定されます。



13.3.2 タンク形状図の選択および削除



タンク形状図の選択

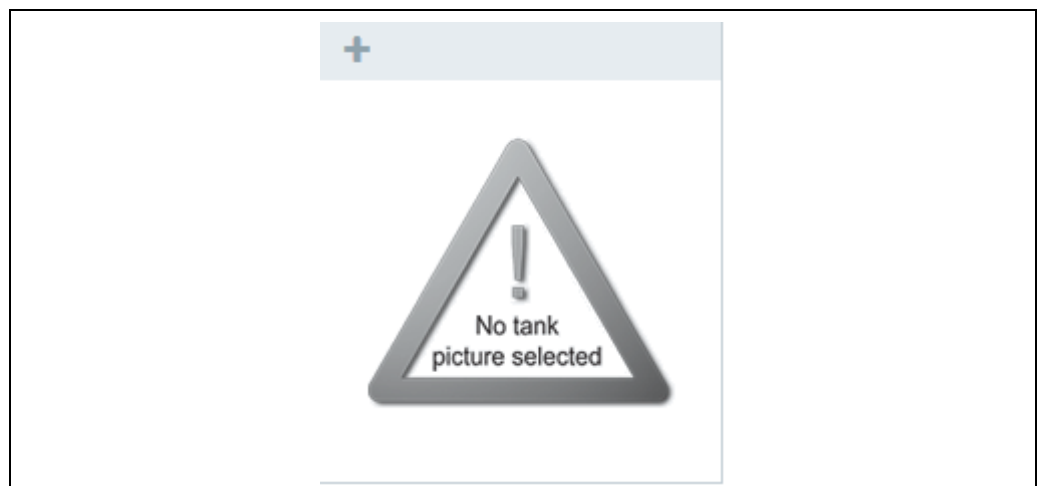
タンク詳細タブで、作成したタンクの適切な形状を示した図を選択できます。選択した図は、「ワークプレイス-タンク」ビューの**タンク詳細**タブにも表示されます。

 一般的なシンボルを使用する場合は、「垂直バー」 および「水平バー」 のタンクの図を使用できます。



 デジタル形式で値を表示する場合は、「デジタル表示」のタンクの図  を使用できます。
デジタル表示では、コンマと千の位を表す区切り文字を含む最大 17 桁の数値を表示できます。17 桁を超える値は、一部または全部の小数点桁数が非表示になります。小数点桁数を除外しても値を 17 桁で表示できない場合は、次のように表示されます：#####

 また、速度計やゲージ  をタンク以外のアセット（圧力計など）の表示に使用することもできます。

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。
3. **タンク詳細**タブを選択します。
4.  ボタンをクリックします。
5. タブが編集モードで表示されます。
6.  ボタンをクリックします。









Konfiguration_Tank_Bild_BA00050EN_30

7. **タンクの図の選択**ダイアログボックスが表示されます。
8. 作成したタンクに適用するタンク形状の図をクリックします。
9. 選択した図が**タンク詳細**タブに追加されます。
10.  をクリックして選択内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。


タンク形状図の削除

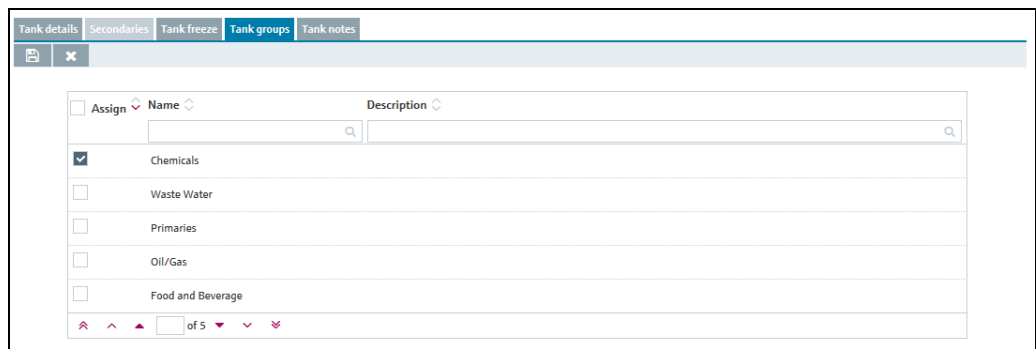
1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。

3. **タンク詳細**タブを選択します。
4.  ボタンをクリックします。
5. タブが編集モードで表示されます。
6. **タンク形状図**の  ボタンをクリックします。
7. 「本当に削除してよろしいですか？」というプロンプトが表示されます。
8. **OK** をクリックして、図を削除します。「タンクの図が選択されていません」という図が表示されます。プロセスを中止する場合は、**キャンセル** をクリックします。
9.  をクリックして変更内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。



  ボタンを使用して変更内容を保存した場合にのみ、図は削除されます。

13.3.3 タンク - タンクグループの割り当ての変更

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。
3. テーブルで、割り当てを変更するタンクをクリックします。
4. **タンクグループ**タブを選択します。
5.  ボタンをクリックします。
6. タブが編集モードで表示されます。




S80_BA000505EN_0211_30

7. **割り当て**列のチェックボックスをオンにして、タンクをタンクグループに割り当てます。割り当てを取り消す場合は、そのチェックボックスをオフにします。
8.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

13.3.4 セカンダリの設定


「ゲートウェイの設定」メニュー項目の「測定点をタンクに割り当てる」タブを使用して、タンクにセカンダリ値を割り当てた場合、そのセカンダリ値は「セカンダリ」タブに表示されます。


1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。
3. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**セカンダリ**タブを選択します。
4.  ボタンをクリックします。
5. タブが編集モードで表示されます。

Sekundaerwerte_BA00050SEN_30

6. ここでは、以下に示すようなセカンダリ値に関する追加情報を入力できます。

- **名前**: この名前は、「ワークプレイス-タンク」ビューの**タンク名列**および**在槽チャート**タブに表示されます。
- **制限 1**: 次のセクションを参照: 「下降制限」 および 「上昇制限」 の表示
- **制限 2**: 次のセクションを参照: 「下降制限」 および 「上昇制限」 の表示
- **ヒステリシス**
- **単位** (読み取り専用)
- **上昇**: 下降制限 / 上昇制限を切り替えます。
- スパン制限の有効化
- **スパン上限値**
- スパン下限値

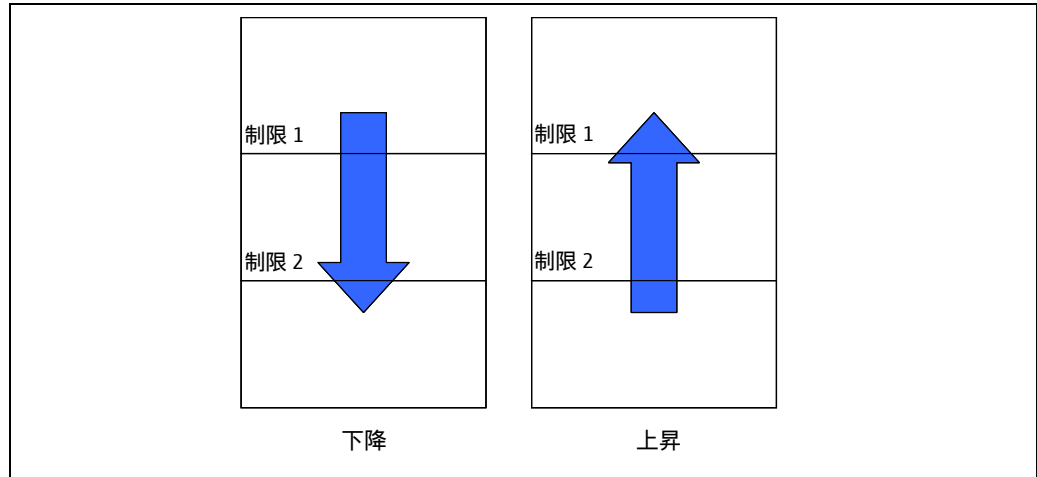
 **推奨**: 制限またはスパン制限を適用して、セカンダリ値を監視することをお勧めします。2 つの制限を同時に使用しないでください。使用することは可能ですが、誤解を生む可能性があります。

 スパン制限内に、イベントをリセットするためのヒステリシスがあります。ヒステリシス範囲はスパン制限内に設定されます。セカンダリ値が、設定されたスパン制限の範囲外になると、タンク概要のステータスが変更されてイベントがトリガされます。イベントがリセットされるのは、セカンダリ値がヒステリシス範囲を超えてからスパン内に戻った場合のみです (→ 100 ページ)。

「下降制限」および「上昇制限」の表示

上昇チェックボックスを使用して、「下降制限」 / 「上昇制限」 の表示を選択します。

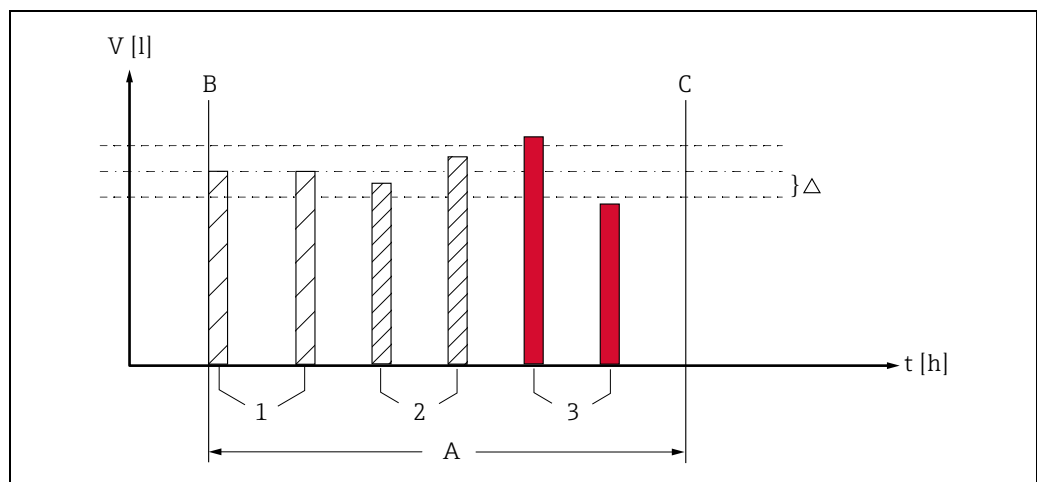
「上昇」チェックボックス	説明	「ワークプレイス-タンク」ビューの列
下降制限: 「上昇」チェックボックス: オフ	制限 1	PP (予定ポイント)
	制限 2	SST (安全在庫)
上昇制限: 「上昇」チェックボックス: オン	制限 2	PP (予定ポイント)
	制限 1	SST (安全在庫)



PS000993en

13.3.5 タンクの凍結イベントの設定


タンクの凍結イベントは、設定された時間スパンにおいて、受信したタンクの最終測定値に基づく内部制限を使用して生成されます。このイベントの目的は、材料の盗難、漏れ、故障などを把握することです。



Tankfreeze_scheme


図 1:



- A 設定された監視時間
- B 監視時間の開始
- C 監視時間の終了
- 1 開始レベル、変化なし
- 2 レベルは変化しましたが、設定されたイベント凍結の差分の範囲内です。タンクの凍結イベントは作成されません。
- 3 レベルが変化し、設定されたイベント凍結の差分の範囲外です。タンクの凍結イベントが作成されます。


1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。
3. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**タンクの凍結**タブを選択します。
4.  ボタンをクリックします。
5. タブが編集モードで表示されます。

6. ここでは、以下に示すようなタンクの凍結イベントの設定データを入力できます。

- **有効化**：このオプションを有効にすると、タンクの凍結イベントが有効になります。タンクの凍結イベントが有効な場合は緑色のボタンが表示され、タンクの凍結イベントが無効な場合は赤色のボタンが表示されます。編集モードでこの緑色 / 赤色のボタンをクリックすると、このオプションを変更できます。このオプションのデフォルト設定は「無効」です。
- **差分の計算**：絶対値を選択すると、イベント凍結の差分がタンクの単位で固定値として指定されます。パーセンテージを選択すると、イベント凍結の差分が、設定されたタンク容量の割合（パーセント値）として指定されます。このオプションのデフォルト設定は絶対値です。絶対値とパーセンテージは、いつでも切り替えることができます。差分の計算モードを変更すると、関連する監視時間の差分値は無効になり、再入力が必要になります。繰り返しルールとして毎日を設定した場合、差分はゼロに設定されます。
- **イベント凍結の差分**：(必須) 正の数値を入力します。
監視時間の開始時に、最後に測定されたタンクの値（タンクレベルなど）が保存（「凍結」）されます。監視時間内は、この「凍結された」測定値が現在の測定値と比較されます。凍結された測定値と現在の測定値の差がイベント凍結の差分を超過した場合（正または負）、タンクの凍結イベントが生成されます。イベント凍結の差分は、監視時間ごとに個別に設定できます。
- **単位**：差分の計算を絶対値に設定した場合、タンクの容量用に設定されている単位が表示されます。そうでない場合は「%」が表示されます。
- **タイムゾーン**：繰り返しルールで設定した監視時間に使用するタイムゾーンを選択します。
- **繰り返しルール**：(必須) 監視時間の繰り返しのルールを選択します。
毎日：毎日の監視時間の開始時刻（開始時間）と終了時刻（終了時間）を選択します。開始時刻には、終了時刻より前の時刻を設定する必要があります。毎日の監視時間が午前 0 時より前に始まり、午前 0 時以降に終わる場合、繰り返しルールを毎週各 ... に設定してください。
毎週各 ...：毎平日のタンクの凍結イベントの監視時間を個別に設定します。
毎週各 ...：繰り返しルールの設定の詳細については、「毎週各 ... 繰り返しルールの設定」の章（→ 106 ページ）を参照してください。

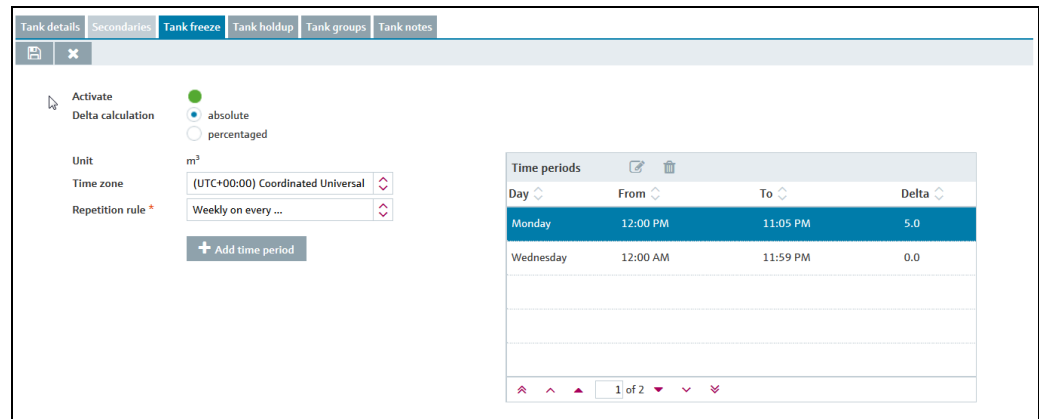
 1 つのタンクに設定できるのは、1 種類の繰り返しルールのみです（毎日 ... または毎週 ...）。設定して最後に保存した繰り返しルールが常に有効になります。

7.  をクリックして設定内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

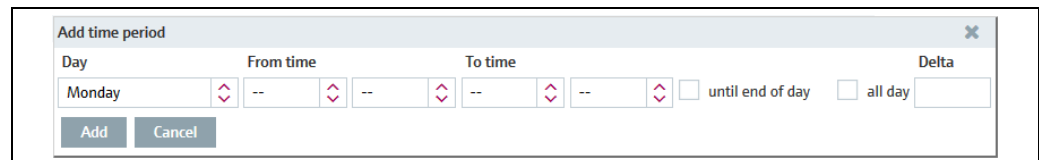
 **他のタンクにコピー**ボタンを使用すると、タンクの凍結設定を他のタンクにコピーできます。詳細については、「タンクの凍結設定を他のタンクにコピー」の章（→ 107 ページ）を参照してください。

毎週各 ... 繰り返しルールの設定

毎平日のタンクの凍結イベントの監視時間を個別に設定します。1週間に最大25個の監視時間を設定できます。



Konfiguration_Tank_Tank-Freeze_2_BA00050SEN_31



Konfig_Tank-Freeze_5_BA00050SEN_31

- 期間の追加ボタンをクリックして、以下のウィンドウで監視時間を設定する平日を選択します。
- タンクの凍結イベントの監視の開始時刻（開始時間）と終了時刻（終了時間）を選択します。開始時刻には、終了時刻よりも小さい値を設定する必要があります。
- 選択した平日に対して日付の終わりまでを選択すると、監視の終了時刻が23:59に設定されます。つまり、終了時刻を23:59に設定するのと同じです。日付の終わりまでを選択すると、終了時刻は無効になり、非表示になります。
- 1日の監視時間を翌日の午前まで延長して設定する場合は、開始時刻を選択して日付の終わりまでを選択し、監視の終了時刻を23:59（11:59 PM）に設定します。この設定を保存し、さらに翌平日の監視時間を1つ追加して、それが0:00に始まり、設定した終了時刻に終了するように設定します。同じ差分を選択します。これで監視時間全体にわたって、最初の日の開始時刻用に取得された測定値が参照されます。
- 終日を選択すると、監視時間が0:00～23:59に設定されます。つまり、開始時刻を0:00に設定し、終了時刻を23:59に設定するのと同じです。終日を選択した場合、開始時刻と終了時刻は無効になり、非表示になります。
- イベント凍結の差分を選択します。
- 追加ボタンをクリックすると、有効な監視期間のリストに設定が追加されます。プロセスを中止する場合は、キャンセルをクリックします。
- タンクの凍結タブの [保存] をクリックして設定を保存します。プロセスを中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。

監視期間が重複しないようにしてください。

監視期間の変更

1. タンクの凍結タブの [編集] をクリックします。タブが編集モードで表示されます。
2. リストから必要な監視時間を選択します。リストのヘッダーにある [編集] をクリックします。

Time periods			
Day	From	To	Delta
Wednesday	12:00 AM	11:59 PM	0.0
Monday	12:00 PM	11:05 PM	5.0

2 of 2



Konfig_Tank-Freeze_6_BA00050SEN_31

Edit selected time period

Day	From time	To time	Delta
Monday	12 0	23 5	5

until end of day
 all day

Konfig_Tank-Freeze_7_BA00050SEN_31

3. ウィンドウが開き、最後に保存されたタンクの凍結設定が表示されます。必要に応じて設定を変更します。
4. **変更を保存** ボタンをクリックして新しい設定を保存するか、または**キャンセル** をクリックしてプロセスを中止します。
5. **タンクの凍結** タブの  をクリックして設定を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

タンクの凍結設定を他のタンクにコピー

1. **タンクの凍結** タブの **他のタンクにコピー** ボタンをクリックします。
2. **ステップ 1/2: 'タンクの凍結' 設定を他のタンクにコピー** ダイアログウィンドウが表示されます。

Step 1 out of 2 : Copy 'Tank freeze' configuration to other tanks

Configuration to copy

Activate

Delta calculation absolute percentaged

Unit m³

Time zone (UTC+00:00) Coordinated Universal

Repetition rule * Daily

From time 10 0

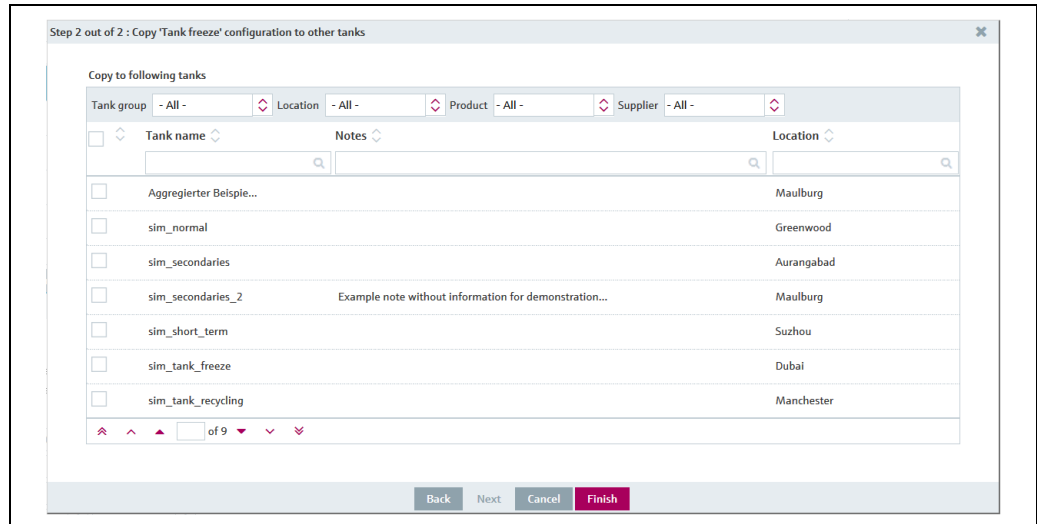
To time 11 0

Delta 7

Konfiguration_Tank_Tank-Freeze_3_BA00050SEN_31

3. ウィンドウが開き、最後に保存されたタンクの凍結設定が表示されます。必要に応じて設定を変更します。
有効化：このオプションのデフォルト設定は「無効」です。赤色のボタンをクリックすると、オプションが有効になります。タンクの凍結イベントが有効な場合は緑色のボタンが表示されます。

4. 次のステップに進む場合は**次へ**をクリックし、プロセスをキャンセルする場合は**キャンセル**をクリックします。
5. **次へ**をクリックした場合、**ステップ 2/2: 'タンクの凍結' 設定を他のタンクにコピー**ダイアログウィンドウが表示されます。

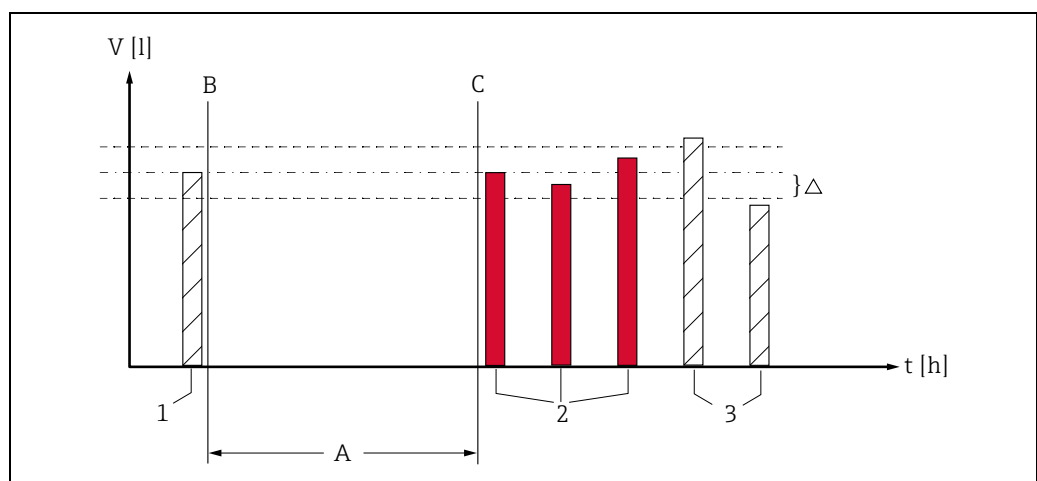


Konfiguration_Tank_Tank-Freeze_4_BA00050SEN_31

6. タンクの前にあるチェックボックスをオンにして、タンクの凍結設定をコピーするタンクを選択します。
表示するタンクを**タンクグループ**、**地域**、**製品**、**供給者**でフィルタ処理できます。
7. 前のステップに戻る場合は**戻る**をクリックし、プロセスをキャンセルする場合は**キャンセル**をクリックします。タンクの凍結設定を選択したタンクにコピーする場合は**完了**をクリックします。

13.3.6 タンクの停止イベントの設定

タンクの停止イベントは、タンクの凍結イベントと同様に設定された時間スパンにおいて、受信したタンクの最終測定値に基づく内部制限を使用して生成されます。この監視機能の目的は、材料の盗難、異常、故障などを把握することです。




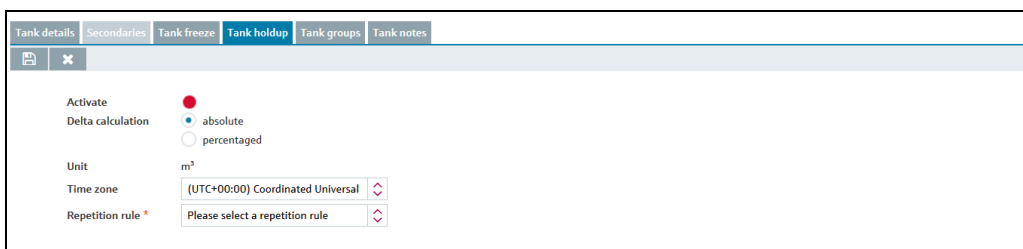
Tankholdup_scheme

- 図 2:
- A 設定された監視時間
 - B 監視時間の開始
 - C 監視時間の終了
 - 1 開始レベル
 - 2 レベルの変化なし、またはレベルは変化しましたが、設定されたイベントの差分の範囲内です。タンクの停止イベントが作成されます。
 - 3 レベルが変化し、設定されたイベントの差分の範囲外です。タンクの停止イベントは作成されません。

コンセプト


タンクの凍結イベントとは異なり、タンクの条件として、中身の取出しまたは補充が行われ、レベルがそれぞれ変化することが想定されています。さらに、2つの測定間の期間に最小量（イベントの差分）の移動があることが、通常の想定される稼働状態を示します。設定された差分に達していない場合、イベントが作成されます。したがって、タンクの停止機能は、一定量の取出しがあるセルフサービスのガソリンスタンドなどに適しており、これを監視することで今後の予測を立てることができます。



1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。
3. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**タンクの停止**タブを選択します。
4.  ボタンをクリックします。
5. タブが編集モードで表示されます。



6. ここでは、以下に示すようなタンクの停止イベントの設定データを入力できます。

- **有効化**：このオプションのデフォルト設定は「無効」です。このオプションを有効にすると、タンクの停止イベントが有効になります。タンクの停止イベントが有効な場合は緑色のボタンが表示されます。
- **差分の計算**：絶対値を選択すると、**イベントの差分**がタンクの単位で固定値として指定されます。パーセンテージを選択すると、**イベントの差分**が、設定されたタンク容量の割合（パーセント値）として指定されます。このオプションのデフォルト設定は絶対値です。
- **タンクの停止イベントの差分**：(必須) 正の数値を入力します。
監視時間の開始時に、最後に測定されたタンクの値（タンクレベルなど）が保存（「凍結」）されます。監視時間内は、この「凍結された」測定値が現在の測定値と比較されます。凍結された測定値と現在の測定値の差が**イベントの差分**を超過した場合（正または負）、タンクの停止イベントが生成されます。
- **単位**：差分の計算を絶対値に設定した場合、タンクの容量用に設定されている単位が表示されます。そうでない場合は「%」が表示されます。
- **タイムゾーン**：繰り返しルールで設定した監視時間に使用するタイムゾーンを選択します。
- **繰り返しルール**：(必須) 監視時間の繰り返しのルールを選択します。
毎日：毎日のタンクの停止イベント監視時間の**開始時刻**（開始時間）と**終了時刻**（終了時間）を選択します。
開始時刻には、**終了時刻**より前の時刻を設定する必要があります。毎日の監視時間が午前0時より前に始まり、午前0時以降に終わる場合、繰り返しルールを**毎週各 ...**に設定してください。
毎週各 ...：毎平日のタンクの停止イベントの監視時間を個別に設定します。
毎週各 ... 繰り返しルールの設定の詳細については、「毎週各 ... 繰り返しルールの設定」の章（→ 110 ページ）を参照してください。

 1つのタンクに設定できるのは、1種類の繰り返しルールのみです（毎日 ... または毎週 ...）。設定して最後に保存した繰り返しルールが常に有効になります。

7.  をクリックして設定内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

i 他のタンクにコピーボタンを使用すると、**タンクの停止**設定を他のタンクにコピーできます。詳細については、「タンクの停止設定を他のタンクにコピー」の章（→ 110 ページ）を参照してください。

毎週各 ... 繰り返しルールを設定

毎平日のタンクの停止イベントの監視時間を個別に設定します。

Konfiguration_Tank_holdup_2_BA00050SEN_31

Konfig_Tank-Freeze_5_BA00050SEN_31

- 期間の追加ボタンをクリックして、以下のウィンドウで監視時間を設定する平日を選択します。
- タンクの停止イベントの監視の**開始時刻**（開始時間）と**終了時刻**（終了時間）を選択します。**開始時刻**には、**終了時刻**よりも小さい値を設定する必要があります。
- 選択した平日に対して**日付の終わりまで**を選択すると、監視の終了時刻が 23:59 に設定されます。つまり、**終了時刻**を 23:59 に設定するのと同じです。**日付の終わりまで**を選択すると、終了時刻は無効になり、非表示になります。
- 1 日の監視時間を翌日の午前まで延長して設定する場合は、**開始時刻**を選択して**日付の終わりまで**を選択し、監視の終了時刻を 23:59 (11:59 PM) に設定します。この設定を保存し、さらに翌平日の監視時間を 1 つ追加して、それが 0:00 に始まり、設定した終了時刻に終了するように設定します。同じ差分を選択します。これで監視時間全体にわたって、最初の日の開始時刻用を取得された測定値が参照されます。
- **終日**を選択すると、監視時間が 0:00 ~ 23:59 に設定されます。つまり、**開始時刻**を 0:00 に設定し、**終了時刻**を 23:59 に設定するのと同じです。**終日**を選択した場合、**開始時刻**と**終了時刻**は無効になり、非表示になります。
- **イベントの差分**を選択します。
- **追加**ボタンをクリックすると、有効な監視期間のリストに設定が追加されます。プロセスを中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。
- **タンクの停止**タブの **保存** をクリックして設定を保存します。プロセスを中止する場合は、**閉じる** をクリックします。

i 監視期間が重複しないようにしてください。

タンクの停止設定を他のタンクにコピー

1. **タンクの停止**タブの **他のタンクにコピー**ボタンをクリックします。
2. **ステップ 1/2: 'タンクの停止' 設定を他のタンクにコピー**ダイアログウィンドウが表示されます。

Step 1 out of 2: Copy 'Tank holdup' configuration to other tanks

Configuration to copy

Activate

Delta calculation absolute percentaged

Unit m³

Time zone (UTC+00:00) Coordinated Universal

Repetition rule * Daily

From time 8 0

To time 18 0

Delta 3

Back Next Cancel Finish

Konfiguration_Tank_holdup_5_BA00050SEN_31

3. ウィンドウが開き、最後に保存されたタンクの停止設定が表示されます。必要に応じて設定を変更します。
有効化：このオプションのデフォルト設定は「無効」です。赤色のボタンをクリックすると、オプションが有効になります。タンクの停止イベントが有効な場合は緑色のボタンが表示されます。
4. 次のステップに進む場合は**次へ**をクリックし、プロセスをキャンセルする場合は**キャンセル**をクリックします。
5. **次へ**をクリックした場合、**ステップ 2/2: 'タンクの停止' 設定を他のタンクにコピー** ダイアログウィンドウが表示されます。

Step 2 out of 2: Copy 'Tank holdup' configuration to other tanks

Copy to following tanks

Tank group - All - Location - All - Product - All - Supplier - All -

<input type="checkbox"/>	Tank name	Notes	Location
<input type="checkbox"/>	Aggregierter Beisple...		Maulburg
<input type="checkbox"/>	sim_hysteresis	Tank soll regelmäßig alle 3 Wochen geprüft werden...	Naarden
<input type="checkbox"/>	sim_secondaries		Aurangabad
<input checked="" type="checkbox"/>	sim_secondaries_2	Example note without information for demonstration...	Maulburg
<input checked="" type="checkbox"/>	sim_short_term		Suzhou
<input type="checkbox"/>	sim_tank_freeze		Dubai
<input type="checkbox"/>	sim_tank_recycling		Manchester

of 9

Back Next Cancel Finish

Konfiguration_Tank_holdup_6_BA00050SEN_31

6. タンクの前にあるチェックボックスをオンにして、タンクの停止設定をコピーするタンクを選択します。
表示するタンクを**タンクグループ**、**地域**、**製品**、**供給者**でフィルタ処理できます。
i 注記：完了をクリックすると、ここで入力した監視時間によって、実際のタンクおよび選択したすべてのタンクに関して以前に設定した監視時間が上書きされます。
7. 前のステップに戻る場合は**戻る**をクリックし、プロセスをキャンセルする場合は**キャンセル**をクリックします。タンクの停止設定を選択したタンクにコピーする場合は**完了**をクリックします。


13.3.7 タンクに関するファイルおよび他の情報の追加、オープン、削除

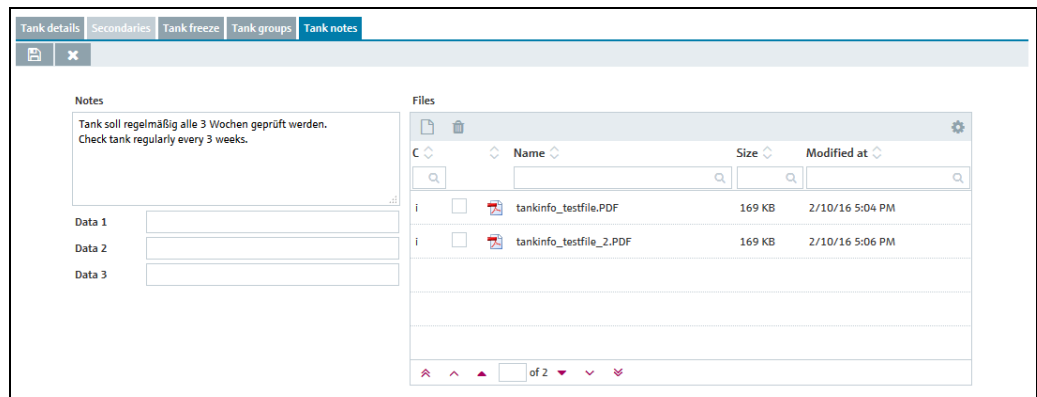
タンクのメモタブを使用して、タンクの追加情報および最大 5 つのファイルを追加できます。ここで入力した情報および添付したファイルは、「ワークプレイス - タンク」ビューのメモとファイルタブにも表示されます。

ファイルは、以下の要件を満たす必要があります。


- サポートされるファイル形式：doc、xls、pdf、ppt、jpg、gif、png、bmp、txt
- 最大ファイルサイズ：5 MB

ファイルの追加

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。
3. テーブルで、ファイルを追加するタンクをクリックします。
4. **タンクのメモ**タブを選択します。
5.  ボタンをクリックします。







S82_BA000505EN_0211_30





6. **タンクのメモ**タブが編集モードで表示されます。
7. **メモ**、**データ 1**、**データ 2**、**データ 3** フィールドの説明を入力します。
8. テーブルの  ボタンをクリックします。
9. **新規ファイルのアップロード**ダイアログボックスが表示されます。
10. **検索**ボタンをクリックします。
11. ディレクトリ内の**ファイル**を選択します。テーブルの**名前**列にファイル名が表示されます。
12. **新規ファイルのアップロード**ボタンをクリックします。
13. ファイル形式、ファイル名、ファイルサイズ、ファイルが最後に変更された日付に関する情報とともに、ファイルがテーブルに表示されます。

ファイルのオープン / 保存

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。
3. **タンクのメモ**タブを選択します。
4. テーブルの**名前**列で、**ファイル名** (ハイパーリンク) をクリックします。
5. ダイアログボックスが表示されます。ここでファイルを開くか、または保存するかを選択できます。
6. **OK** をクリックしてファイルを開くか、または保存します。プロセスを中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。


ファイルの削除







1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。
3. **タンクのメモ**タブを選択します。
4.  ボタンをクリックします。
5. **タンクのメモ**タブが編集モードで表示されます。
6. テーブルで、削除するファイルのチェックボックスをオンにします。
7.  ボタンをクリックします。
8. 「本当に削除してよろしいですか？」というプロンプトが表示されます。
9. **OK** をクリックして、ファイルを削除します。プロセスを中止する場合は、**キャンセル** をクリックします。
10.  をクリックして変更内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

-   ボタンを押して変更内容を保存した場合にのみ、ファイルは削除されます。
-  編集モードでは、**メモ**、**データ 1**、**データ 2**、**データ 3** フィールドの説明を変更または削除できます。 をクリックして変更内容を保存します。

13.3.8 機器マッピング

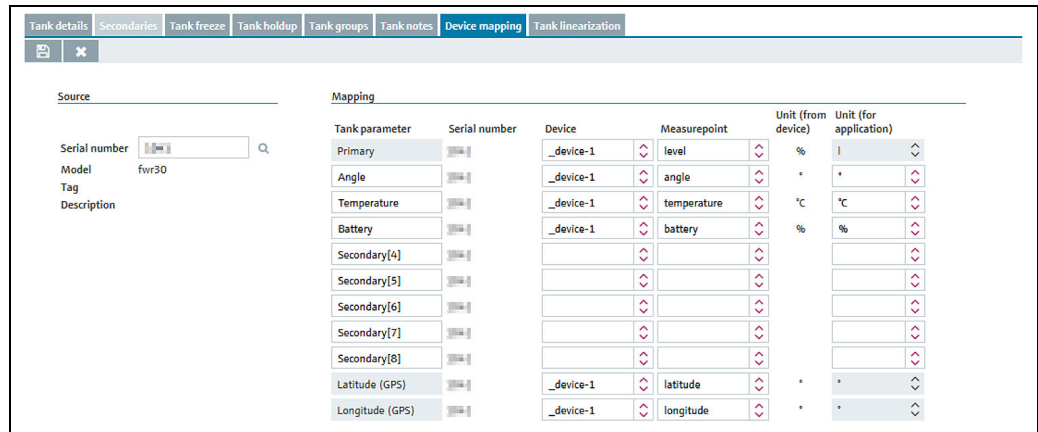
機器マッピングを使用して機器をタンクにマップし、関連する測定点を持つゲートウェイへのタンクパラメータのマッピングの概要を把握できます。

-  機器マッピングは、選択した **SupplyCare** 契約で当該機能が有効である場合にのみ提供されます。機器マッピングが無効であり、これを有効にする必要がある場合は、当社にお問い合わせください：
www.addresses.endress.com。

Source		Mapping					
Serial number	Model	Tank parameter	Serial number	Device	Measurepoint	Unit (from device)	Unit (for application)
		Primary		_device-1	level	%	l
		Angle		_device-1	angle	°	°
		Temperature		_device-1	temperature	°C	°C
		Battery		_device-1	battery	%	%
		Secondary[4]					
		Secondary[5]					
		Secondary[6]					
		Secondary[7]					
		Secondary[8]					
		Latitude (GPS)		_device-1	latitude	°	°
		Longitude (GPS)		_device-1	longitude	°	°

Konfig_Tank-DeviceMapping_EN_2

また、設定された単位と測定単位も表示されます。**プライマリ**、**緯度 (GPS)**、**経度 (GPS)** の各タンクパラメータおよび測定に関連付けられた単位を除き、すべてのフィールドを編集できます (編集モード)。



Konfig_Tank-DeviceMapping_EN_1


- **ソース**：このソースからデータが供給されます。
- **シリアルナンバー**：ゲートウェイのシリアル番号を使用して、タンクに割り当てるゲートウェイを指定できます。有効な契約に割り当てられ、現在有効であるゲートウェイの中から、入力したシリアル番号が検索されます。
- **モデル、タグ、説明**：検出されたゲートウェイの既知のデータが自動的に入力されます。
- **マッピング**：ここでは、データがタンクおよびそのパラメータに割り当てられます。
- **タンクパラメータ**：ここに表示されるタンクパラメータを、選択したゲートウェイが提供する測定点に割り当てることができます。一部の例外を除き、タンクパラメータの名前は自由に選択できます。個々のテキストは入力された各言語で複製され、翻訳されません。
- **シリアルナンバー**：選択したゲートウェイのシリアル番号
- **機器**：データフィールドのドロップダウンリストに、ゲートウェイに属する機器が表示されます。
- **測定点**：ゲートウェイが提供する機器を選択すると、ドロップダウンリストから関連する測定点を選択できるようになります。測定点を割り当てると、その測定点は他のタンクパラメータではドロップダウンリストで選択できなくなります。
- **単位 (機器)**：機器および測定点をタンクパラメータに割り当てると、その機器から転送された単位が**単位列**に表示されます。
- **単位 (アプリケーション)**：他の単位が手動で設定されなかった場合、機器から転送された単位がデフォルト値として自動的に入力されます。必須条件：機器から転送された単位が SupplyCare で認識されていること。
- **🗑️ ボタン (行端)**：このボタンをクリックすると、その行の割り当てを削除できます。
- **ℹ️ ボタン**：このボタンをクリックするとウィンドウが開き、割り当てられた測定点の過去 15 件の測定値が、**タイムスタンプ (UTC)**、**値**、**単位**とともに表示されます。

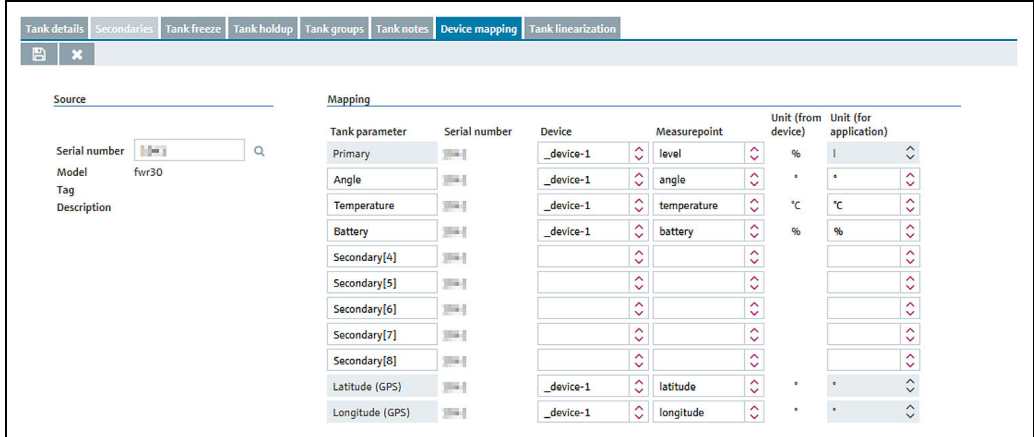
i タンクパラメータ**プライマリ**の例外事項：
 このタンクパラメータに測定点を割り当てると、**単位 (アプリケーション)** フィールドのタンクの単位が、この測定点に使用されます。この割り当てを再びキャンセルした場合、この測定点は再び機器から転送された単位を取得します。
 物理量が同じである単位は換算されません (例：mm と m、°C と °F)。
 タンクパラメータ**プライマリ**は恒久的な名前であり、このテキストを編集することはできません。ユーザーインターフェースの言語を変更すると、それに応じてテキストが調整されます。

i タンクパラメータ**緯度 (GPS)** および**経度 (GPS)** の例外事項：
 これらのタンクパラメータは恒久的な名前であり、このテキストを編集することはできません。
単位 (アプリケーション) フィールドの単位は常に度 (°) です。ここに測定点を割り当てた場合、この単位を自動的に受信します。

機器マッピングの表示および変更




1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。

3. テーブルで、機器マッピングを表示または変更するタンクをクリックします。
4. **機器マッピング**タブを選択します。
5.  ボタンをクリックします。




Tank parameter	Serial number	Device	Measurepoint	Unit (from device)	Unit (for application)
Primary		_device-1	level	%	l
Angle		_device-1	angle	°	°
Temperature		_device-1	temperature	°C	°C
Battery		_device-1	battery	%	%
Secondary[4]					
Secondary[5]					
Secondary[6]					
Secondary[7]					
Secondary[8]					
Latitude (GPS)		_device-1	latitude	°	°
Longitude (GPS)		_device-1	longitude	°	°

Konfig_Tank-DeviceMapping_EN_1


6. **機器マッピング**タブが編集モードで表示されます。
7. シリアルナンバーフィールドにゲートウェイのシリアル番号を入力し、 をクリックして検索を開始します。
8. 各フィールド内をクリックして変更内容を入力するか、またはリストから選択します。一部のゲートウェイ (Micropilot FWR30 など) では、あらかじめ入力されているフィールドがあります。
9.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

機器マッピングの削除

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。
3. テーブルで、機器マッピングを削除するタンクをクリックします。
4. **機器マッピング**タブを選択します。
5.  **すべてのマッピングを消去**ボタンをクリックします。
6. 「本当にこのタンクのすべてのマッピングを消去しますか？」という確認メッセージが表示されます。
7. **はい**をクリックしてマッピングを削除します。操作をキャンセルする場合は、**いいえ**ボタンをクリックします。

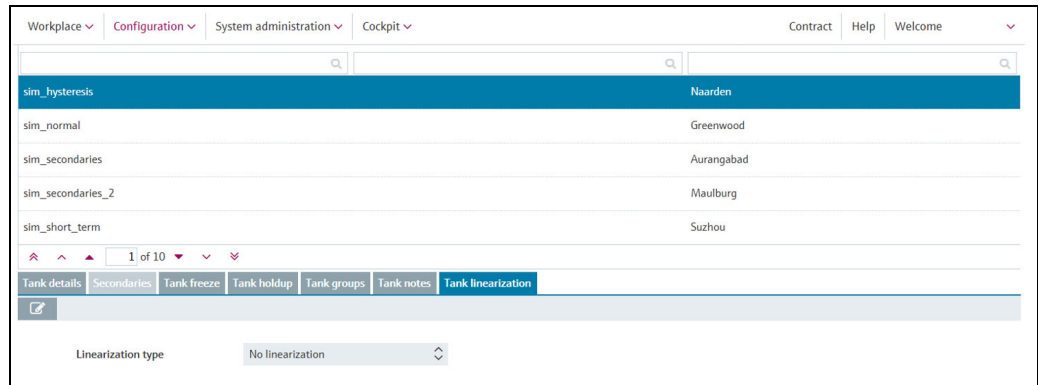
13.3.9 タンクへのリニアライゼーションマッピング

タンクのリニアライゼーションタブを使用して、既存のリニアライゼーションを削除することや、タンクのプライマリ値に直接マップすることができます。


 リニアライゼーションマッピングは、集合タンクでは使用できません。

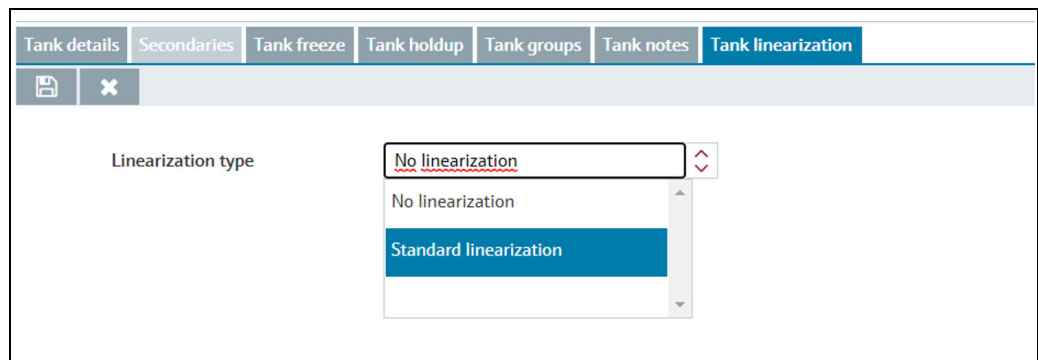
リニアライゼーションマッピング

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンク**メニュー項目をクリックします。
3. テーブルで、リニアライゼーションを追加するタンクをクリックします。
4. **タンクのリニアライゼーション**タブを選択します。



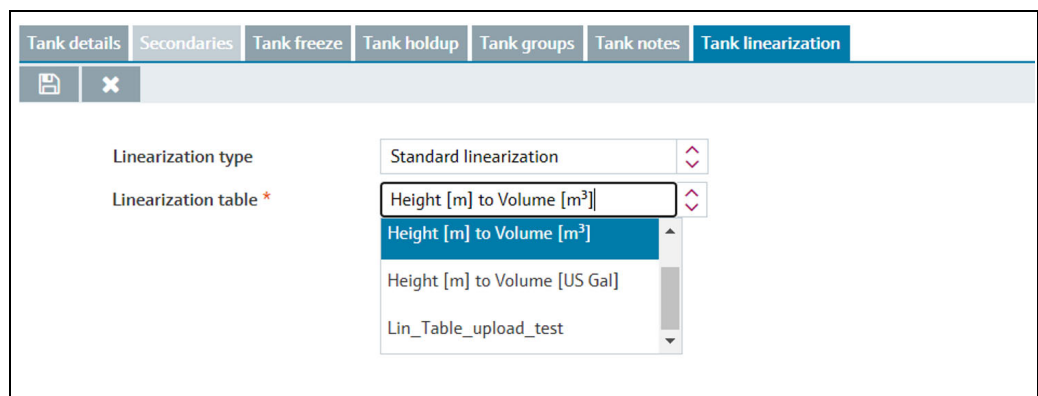
Tank_Linearisierung_zuordnen1_BA00050SEN_2321_V3_4_3_EN

5.  ボタンをクリックします。
6. **タンクのリニアライゼーションタブ**が編集モードで表示されます。
7. リストから必要な**リニアライゼーションタイプ**を選択します。




Tank_Linearisierung_zuordnen2_BA00050SEN_2321_V3_4_3_EN

8. **リニアライゼーションテーブル**が表示されます。
9. **リニアライゼーションテーブル (必須)** から必要なリニアライゼーションテーブルを選択します。必須条件：リニアライゼーションテーブルが選択可能であること。「リニアライゼーションテーブルの管理」に関する追加情報 (→ 133 ページ)



Tank_Linearisierung_zuordnen3_BA00050SEN_2321_V3_4_3_EN

 契約内容に応じて:標準的なリニアライゼーションに加えて、別のリニアライゼーションタイプとして**製品ベースのリニアライゼーション**も選択できます。このリニアライゼーションタイプを使用すると、タンクの製品選択によってリニアライゼーションを自動的に設定できます。お求めの場合は、当社にお問い合わせください。

ここでは、以下のデータを選択または確認できます。

- **タンクタイプ**：(必須) 契約内で設定されているすべてのタンクタイプを含むドロップダウンリスト
- **製品**：(必須) 契約内で現在設定されているすべての製品を含むドロップダウンリスト
- **使用中のリニアライゼーション**：選択した製品およびタンクタイプに対して、現在選択されているリニアライゼーション名 (リニアライゼーションページ内のリニアライゼーションルールタブの設定に応じて異なる) が表示されます。

Tank details	Secondaries	Tank freeze	Tank holdup	Tank groups	Tank notes	Tank linearization
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 📄 ✖ </div>						
Linearization type	Product dependent linearization					⌵
Tank type *	Tank_ABD					⌵
Product *	virtual_product_A					⌵
Linearization in use	LinearizationShift+100					

Tank_Linearisierung_zuordnen4_BA00050SEN_2321_V3_4_3_EN

- i** 契約内容に応じて: 標準的なリニアライゼーションに加えて、別のリニアライゼーションタイプとして**イベントベースのリニアライゼーション**も選択できます。必要なプライマリ値またはセカンダリ値 (差分を含む) に基づいて、リニアライゼーションの2つの状態を切り替えることができます。どちらの状態でも、選択されるリニアライゼーションテーブルは異なります。お求めの場合は、当社にお問い合わせください。

ここでは、以下に示すような**状態 B に切り替え**と**状態 A に切り替え**の入力を選択または追加できます。

- **現在の状態**：状態が有効な場合は緑色のボタンが表示され、状態が無効な場合は赤色のボタンが表示されます。編集モードでこの赤色のボタンをクリックすると、このオプションを変更できます。現在の状態を変更すると (赤色 → 緑色)、もう一方の状態が自動的に変更されます (緑色 → 赤色)。
- **ベース**：トリガのベースとなる値を選択します。プライマリ値またはいずれかのセカンダリ値を選択できます。
- **差分 (必須)**：差分は、状態を変化させるために、選択した値が超過する必要がある差分量です。浮動小数点値を入力します。負の値を入力する場合は、マイナス記号を入力してください。

Tank details	Secondaries	Tank freeze	Tank holdup	Tank groups	Tank notes	Tank linearization
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 📄 ✖ </div>						
Linearization type	Event dependent linearization					⌵
Tank type *	Tank_ABD					⌵
Product *	virtual_product_A					⌵
Switch to state B:						
Current state	●					
Based on	Primary					⌵
Delta *	100.0					m ³
Switch to state A:						
Current state	●					
Based on	Secondary[1]					⌵
Delta *	45.0					m ³
Linearization in use	LinearizationShift+100					

Tank_Linearisierung_zuordnen5_BA00050SEN_2321_V3_4_3_EN

10. **📄** をクリックして変更内容を保存します。プロセスを中止する場合は、**✖** をクリックします。

13.3.10 タンクの変更

詳細情報：→ 26 ページ

13.3.11 タンクの削除

詳細情報：→ 30 ページ

13.3.12 タンクのコピー

詳細情報：→ 31 ページ

13.4 集合タンクの管理

i 集合タンクを作成、変更、削除できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されているユーザーのみです。

i 設定内容に応じて、**集合タンク**の代わりに**集合オブジェクト**または**集合サイロ**が表示されます。詳細については、システム管理者用のサービスマニュアルの該当する章を参照してください。

13.4.1 集合タンクの作成

i **地域、購入者、供給者、製品**の要素を選択するには、まずこれらのフィールドを作成する必要があります。**購入者**および**供給者**は会社として作成します(→ 89 ページ)。

i タンクを集合タンクに割り当てると、そのタンクは**タンク、タンクグループ、レポート**メニュー項目の**タンクの割り当て**タブから削除されます。


i 集合タンクに割り当てられているタンクを変更する場合は、最初にそのタンクをタンクリストから削除する必要があります。

i すでにタンクグループに割り当てられているタンクを集合タンクに割り当てる場合は、そのタンクをタンクグループから削除する必要があります。

i ユーザーにはタンクグループしか割り当てることができないため、タンクグループに集合タンクを必ず割り当てておいてください。

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **集合タンク**メニュー項目をクリックします。
3. アプリケーションウィンドウに以下の詳細ビューが表示されます。

Konfiguration_Agg_Tank_BA00050SEN_30




4. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**タンク詳細**タブを選択します。
5.  ボタンをクリックします。
6. タブが編集モードで表示されます。

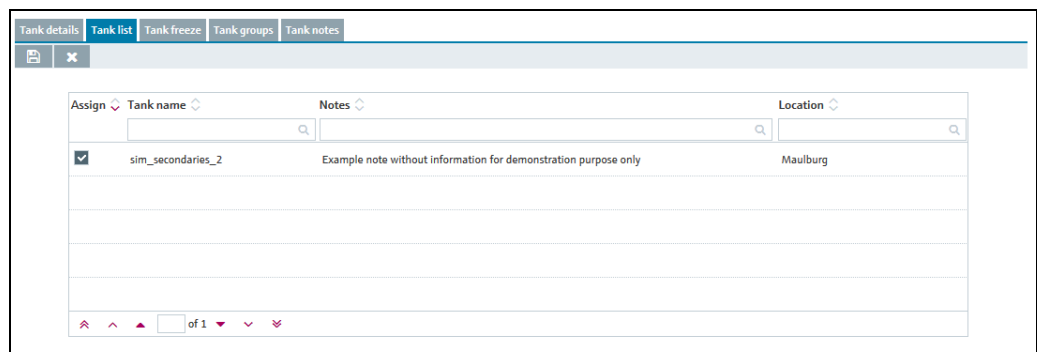
Konfiguration_Agg_Tank_2_BA00050SEN_30

7. ここでは、以下に示すような集合タンクに関するデータを入力できます。




- **タンク名** (必須)
- **タンクタイプ**: 選択リストからタンクタイプを選択します。
- **地域**: 選択リストから地域を選択します。
- **購入者**: 選択リストから購入者 (会社) を選択します。
- **供給者**: 選択リストから供給者 (会社) を選択します。
- **SDT** (標準納品 / 廃棄時間)
- **製品**: 選択リストから製品を選択します。
- **製品単位の使用**: このオプションを有効にすると、選択した製品の単位が自動的に単位フィールドで使用されます。


- **計画タイプ**：標準タンクチェックボックスをオンにすると、その集合タンクは標準タンクとして指定され、リサイクルタンクチェックボックスをオンにすると、その集合タンクはリサイクルタンクとして指定されます。イベントメッセージおよび在槽チャートとレベルの表示方法は、この計画タイプに応じて調整されます (→ 99 ページ)。
- **次の項目に基づく ADI/ADO**：ここには標準値として 14 日が指定されています。この期間は、在槽チャートの予測に使用されます (→ 37 ページ)。
- **マイナス値を含む**：このオプションを有効にすると、ADI/ADO の計算に負の測定値が含まれます。
- **予測の有効化**：このオプションを有効にすると、在槽の予測が**在槽チャート**タブに表示されます。
予測が有効な場合は緑色のボタンが表示され、予測が無効な場合は赤色のボタンが表示されます。編集モードでこの緑色 / 赤色のボタンをクリックすると、このオプションを変更できます。
- **容量** (読み取り専用)
- **最適値**
- **予定ポイント**
- **出荷ポイント**
- **安全在庫**
- **ヒステリシス** : (→ 100 ページ)
- **単位** (必須)

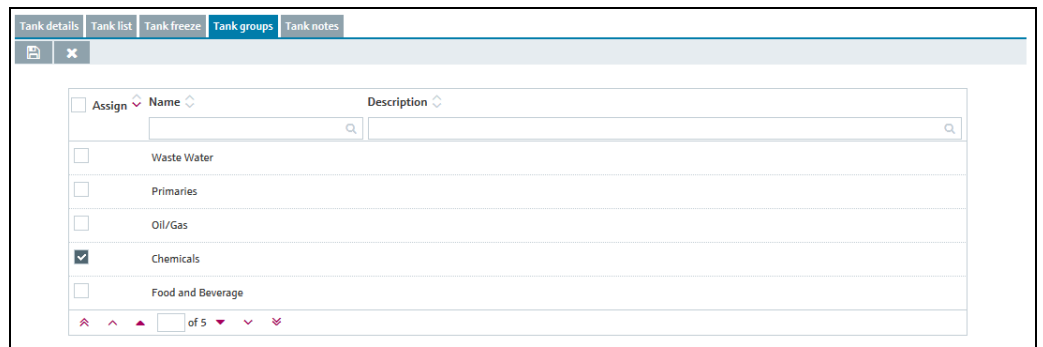
8. 標準タンクの場合は、**最適値**、**予定ポイント**、**出荷ポイント**、**安全在庫**の各入力フィールドを個別に無効化でき、リサイクルタンクの場合は、**安全在庫**および**予定ポイント**フィールドを無効化できます。これを行うには、各入力フィールドの右側にあるボタンをクリックします。そのフィールドはボタンと同様に灰色の表示になり、情報を入力できなくなります。これらの入力フィールドを有効化するには、灰色のボタンをクリックします。
9.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。
10. **タンクリスト**タブを選択します。
11.  ボタンをクリックします。
12. アプリケーションウィンドウの下部にタブが編集モードで表示されます。





SB5-2_BA00050SEN_0211_30

13. **割り当て**列の適切なチェックボックスをオンにして、タンクを集合タンクに割り当てます。
 タンクリストには、計画タイプが同じタンク (標準タンクまたはリサイクルタンク) のみが表示されます。**測定点の詳細**タブで、これらのタンクに測定点と、集合タンクに割り当てたものと同じ「単位 (アプリケーション)」を割り当てる必要があります。これらのタンクは、集合タンクにのみ追加できます。
14.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

15. **タンクグループ**タブを選択します。
16.  ボタンをクリックします。
17. タブが編集モードで表示されます。



S87_BA00050SEN_0211_30

18. **割り当て**列の**チェックボックス**をオンにして、タンクをタンクグループに割り当てます。
19.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

13.4.2 タンク形状図の選択および削除


詳細情報： → 101 ページ

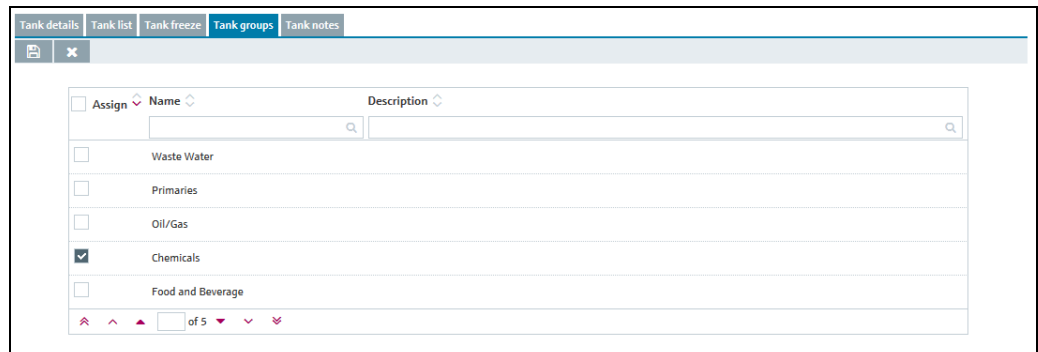
13.4.3 集合タンクに関するファイルおよび他の情報の追加、オープン、削除



タンクのメモタブを使用して、集合タンクの追加情報および最大 5 つのファイルを追加できます。ここで入力した情報および添付したファイルは、「ワークプレイス - タンク」ビューの**メモとファイル**タブにも表示されます。

ファイルの追加、オープン、保存、削除については、112 ページを参照してください。

13.4.4 集合タンク - タンクグループの割り当ての変更

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **集合タンク**メニュー項目をクリックします。
3. 概要テーブルで、割り当てを変更する集合タンクをクリックします。
4. **タンクグループ**タブを選択します。
5.  ボタンをクリックします。
6. タブが編集モードで表示されます。



7. **割り当て**列の**チェックボックス**をオンにして、集合タンクをタンクグループに割り当てます。割り当てを取り消す場合は、その**チェックボックス**をオフにします。
8.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

13.4.5 集合タンクの凍結イベントの設定

詳細情報： → 104 ページ

13.4.6 集合タンクの変更

詳細情報： → 26 ページ

13.4.7 集合タンクの削除

詳細情報： → 30 ページ

13.4.8 集合タンクのコピー

詳細情報： → 31 ページ


13.5 タンクタイプの管理

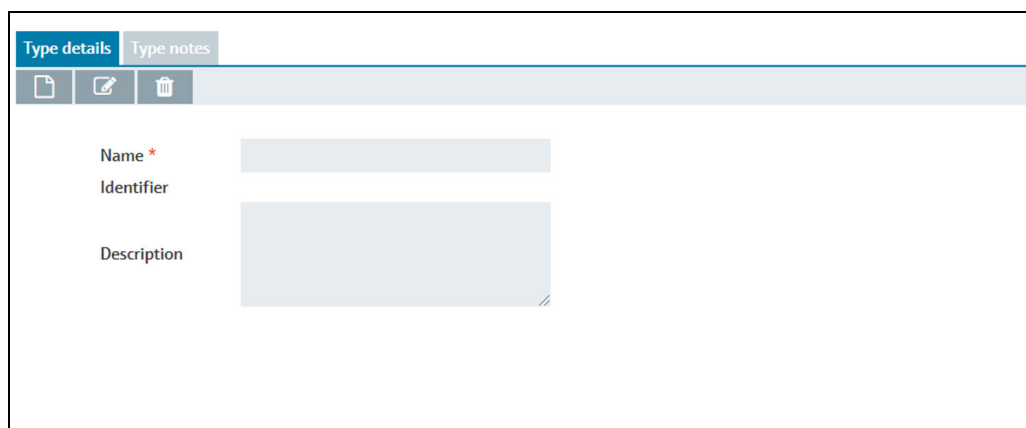
i タンクタイプを作成、変更、削除できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されているユーザーのみです。

タンク、サイロ、オブジェクトなどの既存のすべての容器のタンクタイプを管理できます。

13.5.1 タンクタイプの作成、変更、削除

タンクタイプの作成



1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンクタイプ**メニュー項目をクリックします。
3. アプリケーションウィンドウに詳細ビューが表示されます。
4. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**タイプの詳細**タブを選択します。
5.  ボタンをクリックします。
6. タブが編集モードで表示されます。




Tank_Type_1_BA00050EN_30_2321_V3_4_3_EN

7. ここでは、タンクタイプに関する以下のデータを入力または確認できます。

- **名前 (必須)**
- **識別名** : タンクタイプを識別するための一意の番号。自動的に作成されます。
- **説明** : ここには複数行の説明を入力できます。

8.  をクリックして変更内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。



タンクタイプの変更

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンクタイプ**メニュー項目をクリックします。
3. アプリケーションウィンドウに詳細ビューが表示されます。
4. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**タイプの詳細**タブを選択します。
5.  ボタンをクリックします。
6. タブが編集モードで表示されます。


Tank_Type_2_BA00050EN_30_2321_V3_4_3_EN

7. ここでは、タンクタイプに関する以下のデータを入力または確認できます。

- **名前** (必須)
- **識別名** : タンクタイプを識別するための一意の番号。自動的に作成されます。
- **説明** : ここには複数行の説明を入力できます。

8.  をクリックして変更内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

タンクタイプの削除

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンクタイプ**メニュー項目をクリックします。
3. アプリケーションウィンドウに詳細ビューが表示されます。
4. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**タイプの詳細**タブを選択します。
5.  ボタンをクリックします。
6. 「本当に削除してよろしいですか？」というプロンプトが表示されます。
7. **OK** をクリックしてタンクを削除します。プロセスを中止する場合は、**キャンセル** をクリックします。


13.5.2 タンクに関するファイルおよび他の情報の追加、オープン、削除

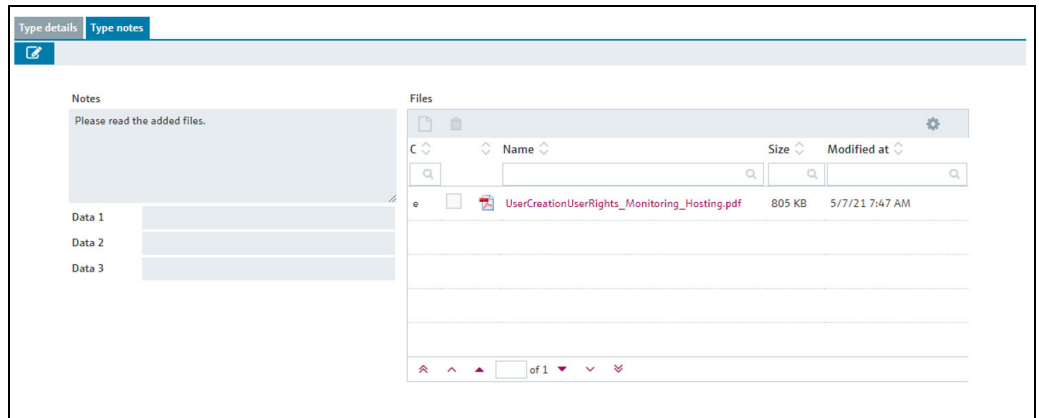
タイプのメモタブを使用して、タンクタイプの追加情報および最大 5 つのファイルを追加できます。

ファイルは、以下の要件を満たす必要があります。



- サポートされるファイル形式 : doc, xls, pdf, ppt, jpg, gif, png, bmp, txt
- 最大ファイルサイズ : 5 MB

ファイルの追加

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンクタイプ**メニュー項目をクリックします。
3. テーブルで、ファイルを追加するタンクをクリックします。
4. **タイプのメモ**タブを選択します。
5.  ボタンをクリックします。





Tank_Type_3_BA00050EN_30_2321_V3_4_3_EN



6. **タイプのメモ**タブが編集モードで表示されます。
7. **メモ**、**データ 1**、**データ 2**、**データ 3** フィールドの説明を入力します。
8. テーブルの  ボタンをクリックします。
9. **新規ファイルのアップロード**ダイアログボックスが表示されます。
10. **検索**ボタンをクリックします。
11. ディレクトリ内の**ファイル**を選択します。テーブルの**名前**列にファイル名が表示されます。
12. 必要な**分類**を選択します。
-  **分類**により、内部使用と外部使用を区別できます。
13. **新規ファイルのアップロード**ボタンをクリックします。
14. ファイル形式、ファイル名、ファイルサイズ、ファイルが最後に変更された日付に関する情報とともに、ファイルがテーブルに表示されます。





ファイルのオープン / 保存

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンクタイプ**メニュー項目をクリックします。
3. **タイプのメモ**タブを選択します。
4. テーブルの**名前**列で、**ファイル名** (ハイパーリンク) をクリックします。
5. ダイアログボックスが表示されます。ここでファイルを開くか、または保存するかを選択できます。
6. **OK** をクリックしてファイルを開くか、または保存します。プロセスを中止する場合は、**キャンセル** をクリックします。


ファイルの削除

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンクタイプ**メニュー項目をクリックします。
3. **タイプのメモ**タブを選択します。
4.  ボタンをクリックします。
5. **タイプのメモ**タブが編集モードで表示されます。
6. テーブルで、削除するファイルのチェックボックスをオンにします。
7.  ボタンをクリックします。
8. 「本当に削除してよろしいですか？」というプロンプトが表示されます。
9. **OK** をクリックして、ファイルを削除します。プロセスを中止する場合は、**キャンセル** をクリックします。


10.  をクリックして変更内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

  ボタンを押して変更内容を保存した場合にのみ、ファイルは削除されます。
 編集モードでは、**メモ**、**データ 1**、**データ 2**、**データ 3** フィールドの説明を変更または削除できます。 をクリックして変更内容を保存します。

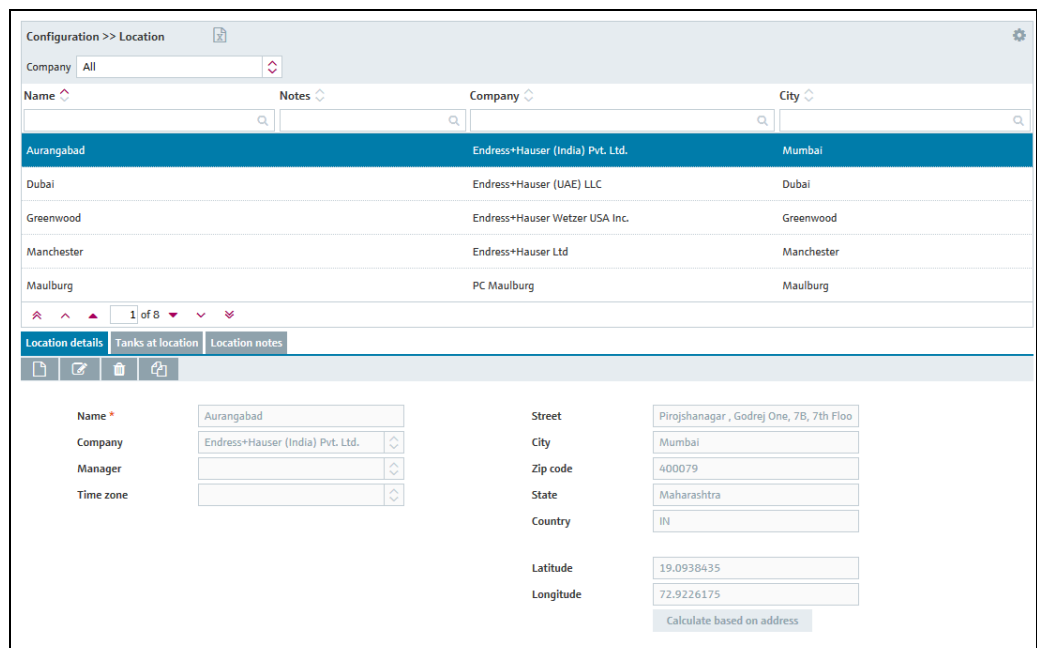
13.6 地域の管理

 地域を作成、変更、削除できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されているユーザーのみです。

13.6.1 地域の作成

 タンクを地域に割り当てるには、まずタンクを作成する必要があります。ただし、最初に地域を作成しておいて、後からタンクを地域に割り当てることもできます。

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **地域**メニュー項目をクリックします。
3. アプリケーションウィンドウに以下の詳細ビューが表示されます。




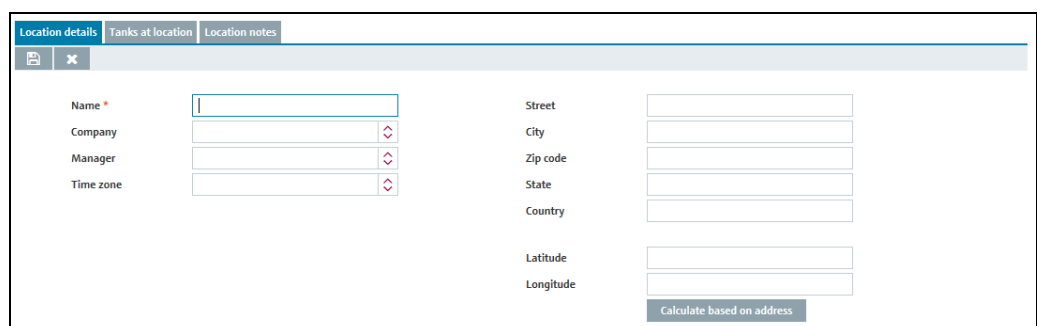
The screenshot shows the 'Configuration >> Location' interface. At the top, there's a 'Company' dropdown set to 'All'. Below is a table with columns for Name, Notes, Company, and City. The table lists several locations: Aurangabad, Dubai, Greenwood, Manchester, and Maulburg. Below the table, there are navigation icons and a '1 of 8' indicator. The 'Location details' tab is active, showing a form with the following fields:

Name *	Aurangabad	Street	Pirojshanagar , Godrej One, 7B, 7th Floor
Company	Endress+Hauser (India) Pvt. Ltd.	City	Mumbai
Manager		Zip code	400079
Time zone		State	Maharashtra
		Country	IN
		Latitude	19.0938435
		Longitude	72.9226175

At the bottom right of the form, there is a 'Calculate based on address' button.

Konfiguration_Standort_BA000505EN_30

4. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**地域の詳細**タブを選択します。
5.  ボタンをクリックします。
6. タブが編集モードで表示されます。



The screenshot shows the 'Location details' tab in edit mode. The form fields are empty, indicating that the user is ready to create a new location. The fields are:



Name *		Street	
Company		City	
Manager		Zip code	
Time zone		State	
		Country	
		Latitude	
		Longitude	

At the bottom right, there is a 'Calculate based on address' button.


S88-2_BA000505EN_0211_30

7. ここでは、以下に示すような地域に関するデータを入力できます。

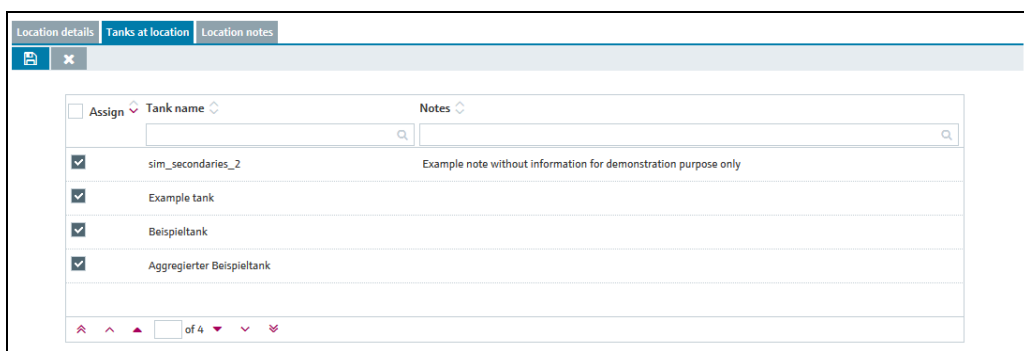
- **名前 (必須)** : 地域の固有の識別名
- **会社** : 選択リストから会社を選択します。
- **マネージャー**
- **タイムゾーン** : 選択リストから地域のタイムゾーンを選択します。
このタイムゾーンには、時間に関するすべてのデータ (特にこの地域にあるタンクの測定用タイムスタンプ) が表示されます。また、イベントの時間情報に使用される推奨タイムゾーンも表示されます。
- **番地**
- **市町村**
- **郵便番号**
- **都道府県**
- **国**
- **経度および緯度** : ここでは、この地域の地理座標を保存できます (→ 128 ページ)。
この座標は、概要マップ上の地域表示に使用されます (→ 86 ページ)。
- **住所を元に計算** : 経度と緯度が自動的に計算されます (→ 128 ページ)。
この座標は、概要マップ上の地域表示に使用されます (→ 86 ページ)。

8.  をクリックして変更内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

9. **地域のタンク**タブを選択します。

10.  ボタンをクリックします。



11. タブが編集モードで表示されます。



S89_BA00050SEN_0211_30

12. **割り当て**列の**チェックボックス**をオンにして、タンクを地域に割り当てます。

テーブルには、すでに地域に割り当てられているタンクまたはまだ地域に割り当てられていないタンクが表示されます。

13.  をクリックして変更内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

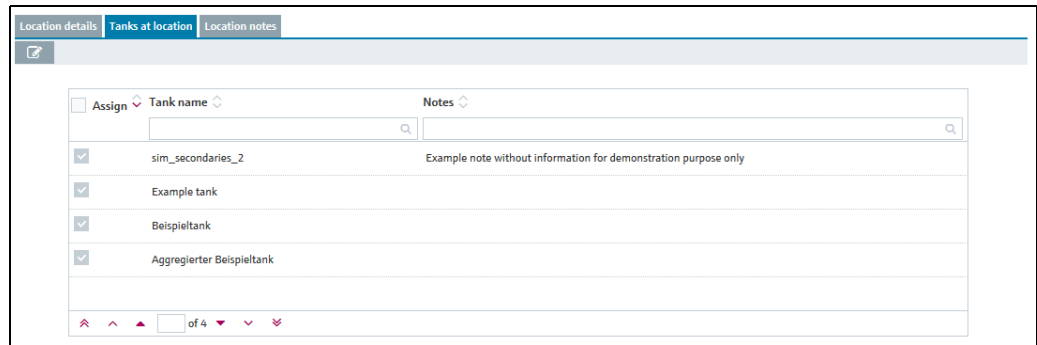
13.6.2 地域に関するファイルおよび他の情報の追加、オープン、削除

地域のメモタブを使用して、地域の追加情報および最大 5 つのファイルを追加できます。ここで入力した情報および添付したファイルは、「ワークプレイス-タンク」ビューの**メモとファイル**タブにも表示されます。


ファイルの追加、オープン、保存、削除については、112 ページを参照してください。

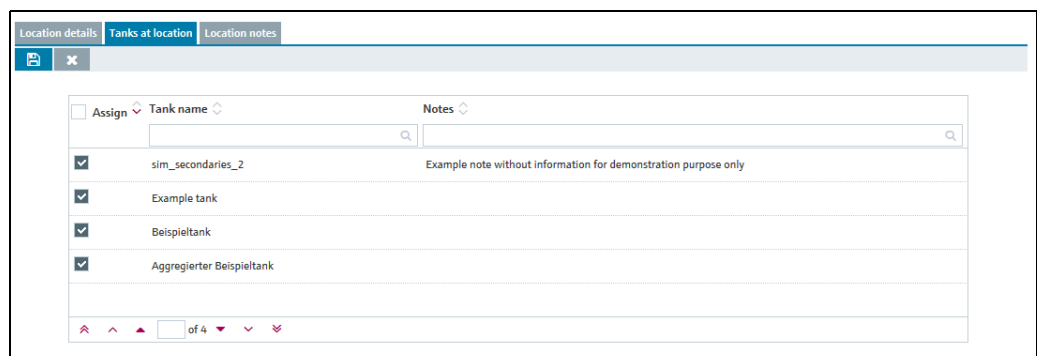
13.6.3 地域 - タンクの割り当ての変更

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **地域**メニュー項目をクリックします。
3. 概要テーブルで、割り当てを変更する地域をクリックします。
4. **地域のタンク**タブを選択します。





S90_BA00050SEN_0211_30


5.  ボタンをクリックします。
6. タブが編集モードで表示されます。



S89_BA00050SEN_0211_30


7. **割り当て**列の適切な**チェックボックス**をオンにして、タンクを選択した地域に割り当てます。割り当てを取り消す場合は、その**チェックボックス**をオフにします。
8.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

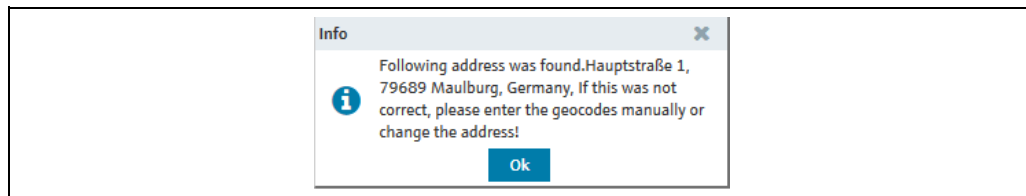
13.6.4 地域の自動計算または手動入力

1.  住所データを変更した場合、経度と緯度の情報も更新する必要があります。

入力した住所に基づいて経度と緯度を自動計算するか、またはこの情報を手動入力することができます。

地域の自動計算

1. **地域の詳細**タブを選択します。
2.  ボタンをクリックします。
3. タブが編集モードで表示されます。
4. **住所を元に計算**ボタンをクリックします。
5. 経度と緯度が自動的に計算され、ウィンドウに表示されます。



S91_BA00050SEN_0211_30

6. **OK** をクリックして経度と緯度を確定します。

住所の情報が不十分なために経度と緯度を計算できない場合は、「不明または不正なアドレスです。手動で入力してください」などのメッセージが画面に表示されます。

地域の手動入力

対応するフィールドに経度と緯度を入力します。

緯度は -85 ~ +85、経度は -180 ~ +180 の範囲で設定してください。小数点桁数が最大 16 桁の数字を入力できます。

13.6.5 マップでの地域の表示


詳細情報：→ 86 ページ

13.6.6 地域の変更

詳細情報：→ 26 ページ

13.6.7 地域の削除


詳細情報：→ 30 ページ

 地域を削除できるのは、その地域にタンクが割り当てられていない場合のみです。


13.6.8 地域のコピー


詳細情報：→ 31 ページ


13.7 製品の管理

 製品を作成、変更、削除できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されているユーザーのみです。

13.7.1 製品の作成


 製品をタンクに割り当てるには、まずタンクを作成する必要があります。

 ただし、最初に製品を作成しておいて、後からタンクを製品に割り当てることもできます。

 **製品名**、および **ID** と **ID 発行機関** フィールドの組合せはシステム内で一意である必要があります。

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **製品**メニュー項目をクリックします。
3. アプリケーションウィンドウに以下の詳細ビューが表示されます。



S92-2_BA00050SEN_0211_30

4. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**製品詳細**タブを選択します。
5.  ボタンをクリックします。
6. タブが編集モードで表示されます。

S92-2_BA00050SEN_0211_30

7. ここでは、以下に示すような製品に関するデータを入力できます。

- **製品名** (必須) : 製品の固有の識別名
- **ID** : CIDX レポートで使用される固有の製品 ID
- **ID 発行機関** (必須) : 会社の ID 管理を担当する組織を選択します。この選択は CIDX 基準に準拠したものです。CIDX レポートを作成するには、ID 発行機関が必要になります。
- **単位** (必須)
- **整合性**
- **密度** : 製品には密度を設定する必要があります (必須入力)。これはユーザーが質量ベースでタンク / 製品の予定作成および日常業務を行う場合に非常に役立ちます (総質量 = 正味標準体積 x 基準密度)。密度設定はオペレータが行い、製品の単位を質量 (kg、トンなど) として設定する必要があります。
- **式** : 製品の化学式
- **エイリアス** : 製品の別名 (商標名など)
- **説明** : ここには複数行の説明を入力できます。

8.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

13.7.2 製品の変更

詳細情報：→ 27 ページ

13.7.3 製品の削除

詳細情報：→ 30 ページ

i 製品を削除できるのは、その製品がタンクに割り当てられていない場合のみです。削除可能な製品にのみ **🗑️** シンボルが表示されます。

13.7.4 製品のコピー

詳細情報：→ 31 ページ

13.8 タンクグループの管理

i タンクグループを作成、変更、削除できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されているユーザーのみです。

i 設定内容に応じて、**タンクグループ**の代わりに**オブジェクトグループ**が表示されます。詳細については、システム管理者用のサービスマニュアルの該当する章を参照してください。

タンクグループは、タンクの整理および権限を持つユーザーをタンクに割り当てる場合に使用されます。


タンクの割り当てタブで、タンクグループを作成し、そのグループにタンクを割り当てます。**ユーザーの割り当て**タブを使用して、1人または複数のユーザーをタンクグループに割り当てることができます。また、**ユーザーの割り当て**タブでは、ユーザーが通知を受けるタンクイベントを指定することもできます。

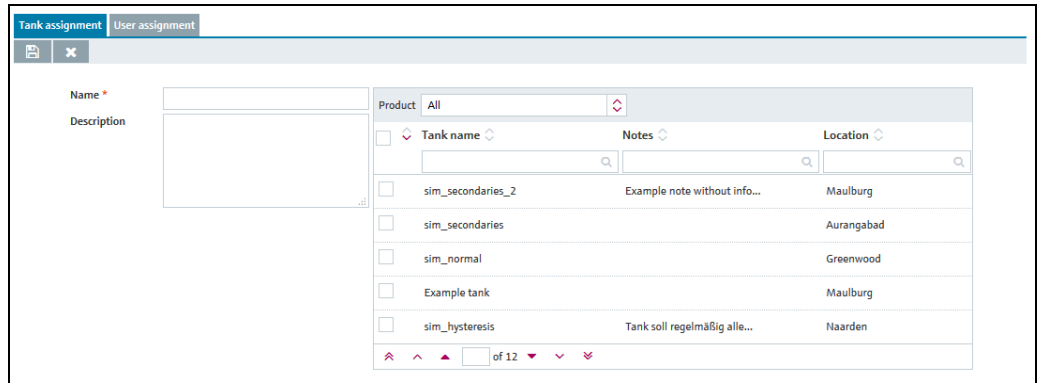
13.8.1 タンクグループの作成

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンクグループ**メニュー項目をクリックします。
3. アプリケーションウィンドウに以下の詳細ビューが表示されます。

Tank name	Notes	Location	
<input checked="" type="checkbox"/>	sim_secondaries_2	Example note without info...	Maulburg
<input checked="" type="checkbox"/>	Example tank		Maulburg
<input checked="" type="checkbox"/>	sim_tank_recycling_2		Mexiko City
<input checked="" type="checkbox"/>	Beispieltank		Maulburg
<input type="checkbox"/>	sim_secondaries		Aurangabad

S95_BA00050SEN_0211_30



4. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**タンクの割り当て**タブを選択します。
5.  ボタンをクリックします。
6. タブが編集モードで表示されます。




S96_BA00050SEN_0211_30

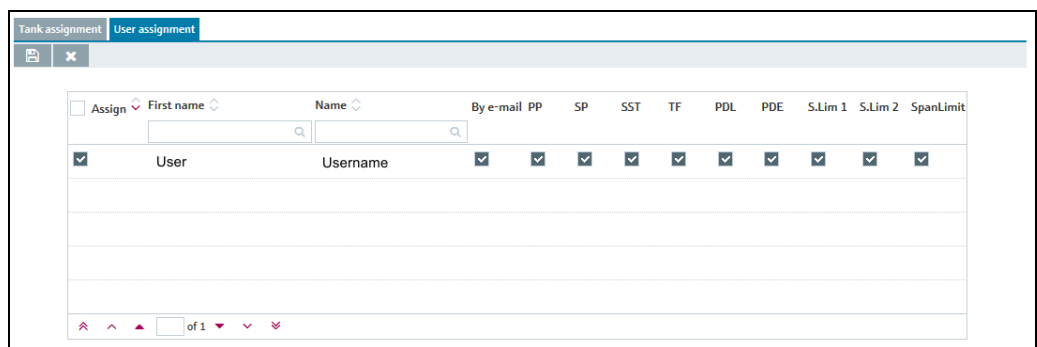
7. ここでは、以下に示すようなタンクグループに関するデータを入力できます。

- **名前 (必須)** : タンクグループの固有の識別名
- **説明** : ここには複数行の説明を入力できます。
- **割り当て** : このテーブルを使用して、**チェックボックス**をオンにて、対応するタンクをこのタンクグループに割り当てることができます。

8.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。
9. **ユーザーの割り当て**タブを選択して、タンクグループをユーザーに割り当てます (→ 132 ページ)。



13.8.2 タンクグループへのユーザーの割り当ておよびタンクイベント通知の設定

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンクグループ**メニュー項目をクリックします。
3. **ユーザーの割り当て**タブを選択します。
4.  ボタンをクリックします。
5. タブが編集モードで表示されます。



S96-2_BA00050SEN_0211_30

「ユーザーの割り当て」タブを使用して、1人または複数のユーザーをタンクグループに割り当てることができます。また、このタブでは、ユーザーが通知を受けるタンクイベントを指定することもできます。

6. **割り当て列のチェックボックス**をオンにして、ユーザーをタンクグループに割り当てます。割り当てを取り消す場合は、その**チェックボックス**をオフにします。割り当てられたタンクグループは、「ワークプレイス-タンク」ビューに表示されます。
7. また、そのユーザーがタンクイベントに関する通知をEメールで受け取るように設定する場合は、**Eメールによる**チェックボックスをオンにします。
8. ユーザーが通知を受ける必要があるイベントに対応した**チェックボックス**をオンにします。
 - **PP** (予定ポイント)
 - **SP** (出荷ポイント)
 - **SST** (安全在庫)
 - **TF/SF/OF** (タンクの凍結 / サイロの凍結 / オブジェクトの凍結) : タンクの凍結 / サイロの凍結 / オブジェクトの凍結の各イベントに関するすべての情報で構成されます。
 - **PDL** (予定された納品 / 廃棄ライフサイクル) : 予定されたまたは削除されたすべての新規納品 / 廃棄で構成されます。
 - **PDE** (予定された納品 / 廃棄イベント) : すべての納品短縮 / 早期廃棄、納品遅延 / 遅延廃棄、失敗した納品 / 廃棄、完了した納品 / 廃棄で構成されます。
 - **S.Lim1/S.Lim2** (セカンダリ制限 1/2)
9.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

13.8.3 タンクグループの変更

詳細情報 : → 26 ページ




13.8.4 タンクグループの削除

詳細情報 : → 30 ページ

13.8.5 タンクグループのコピー

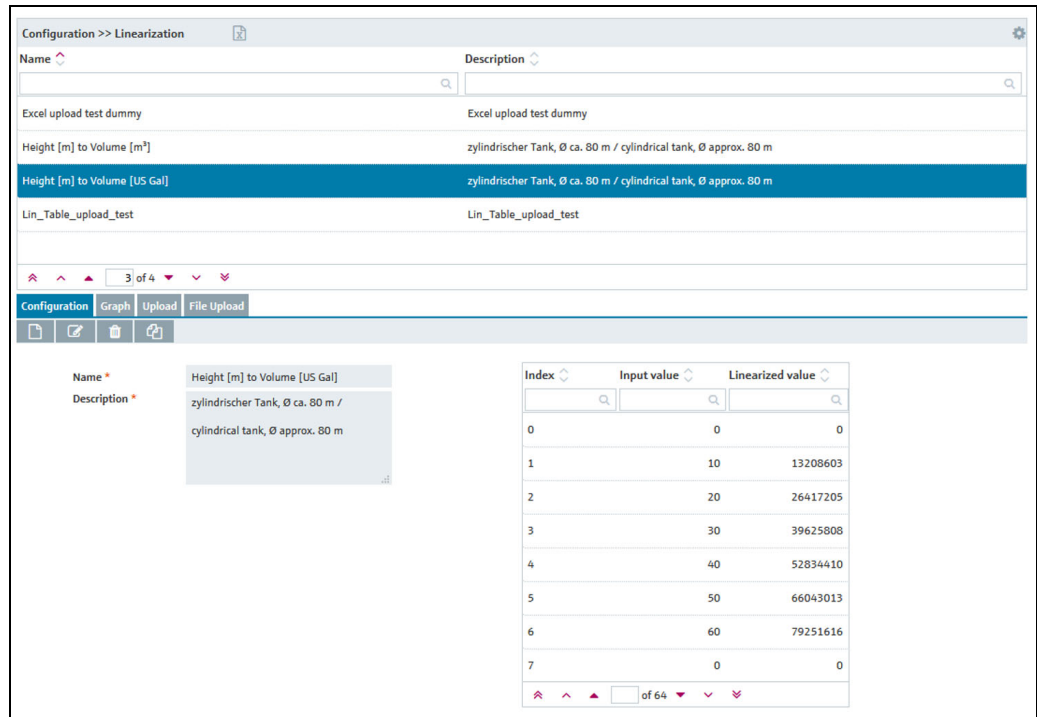
詳細情報 : → 31 ページ

13.9 リニアライゼーションテーブルの管理

-  リニアライゼーションテーブルを作成、変更、削除できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されているユーザーのみです。
-  ゲートウェイの設定メニューで、リニアライゼーションテーブルを機器に割り当てます。詳細については、サービスマニュアルを参照してください。
-  リニアライゼーションでは、予測はありません。設定範囲を超過した値は、最近点を使用してリニアライズされます。

リニアライゼーションテーブルを使用して、測定値 (X 値) が対応する Y 値 (体積値など) に割り当てられます。リニアライゼーションテーブルの最小点数は 2 で、最大点数は 64 です。点はインデックス、入力レベル (X 値)、入力体積 (Y 値) で構成されます。

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **リニアライゼーション**メニュー項目をクリックします。
3. アプリケーションウィンドウに以下の詳細ビューが表示されます。




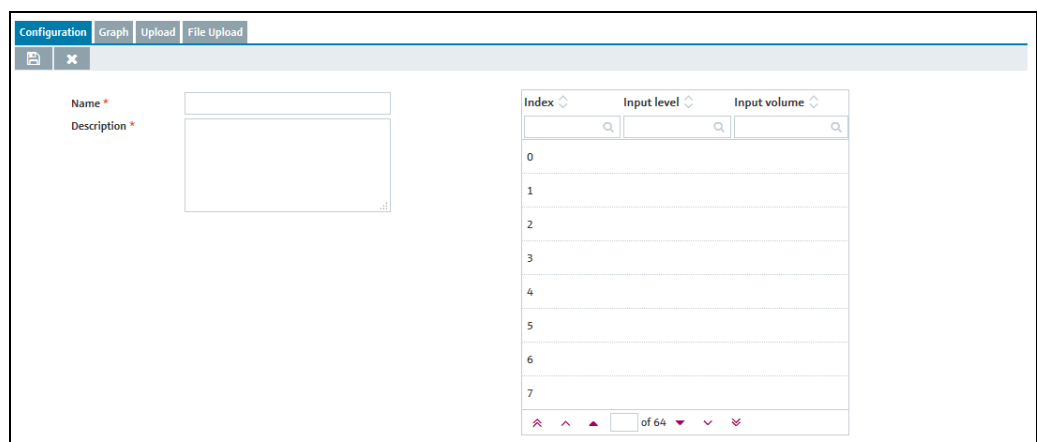
S41_SH00001SEN_0211_30

4. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**設定**タブを選択します。

13.9.1 リニアライゼーションテーブルの作成、変更、削除

リニアライゼーションテーブルの作成

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **リニアライゼーション**メニュー項目をクリックします。
3.  ボタンをクリックします。
4. アプリケーションウィンドウの下部のセクションにタブが編集モードで表示されます。





S42_SH00001SEN_0211_30

5. ここでは、以下に示すようなリニアライゼーションテーブルに関するデータを入力できます。

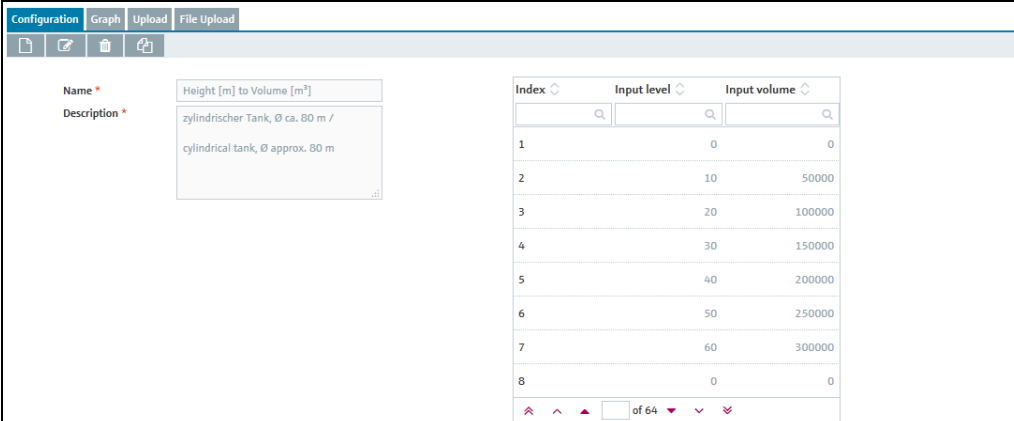
- **名前** (必須)
- **説明** (必須) : ここには複数行の説明を入力できます。

- **インデックス**：テーブルのインデックスを指定します。
- **入力レベル**：レベル値を入力します。
- **入力体積**：レベル値に対応する体積値を指定します。

6.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。
7. グラフタブを選択して、入力したリニアライゼーションテーブルをグラフとして表示します。


リニアライゼーションテーブルの変更

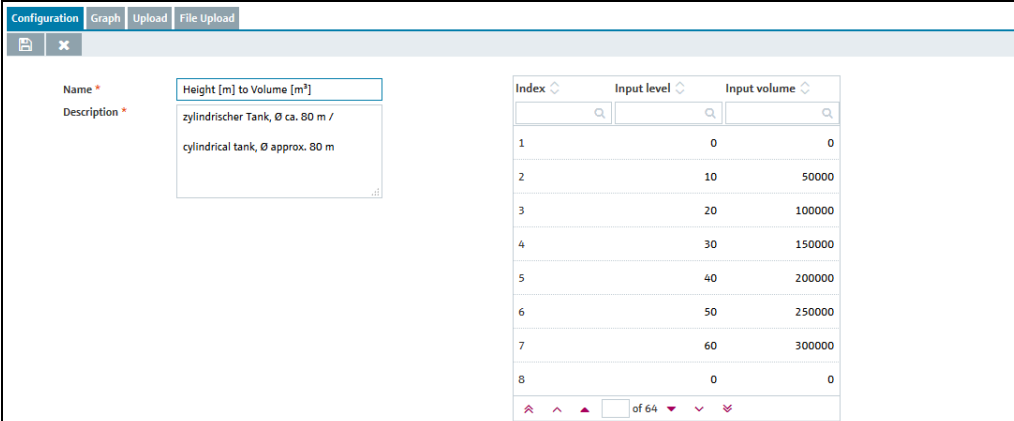
1. 概要テーブルで、変更するリニアライゼーションテーブルをクリックします。
2. 関連するタブがアプリケーションウィンドウの下部のセクションに表示されます。



Index	Input level	Input volume
1	0	0
2	10	50000
3	20	100000
4	30	150000
5	40	200000
6	50	250000
7	60	300000
8	0	0




S43_SH00001SEN_0211_30

3.  ボタンをクリックします。
4. タブが編集モードで表示されます。




Index	Input level	Input volume
1	0	0
2	10	50000
3	20	100000
4	30	150000
5	40	200000
6	50	250000
7	60	300000
8	0	0

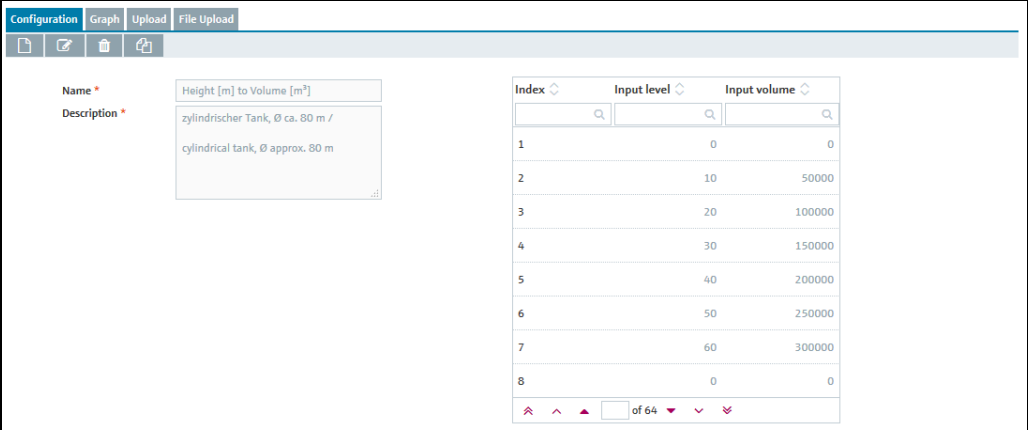
S43-2_SH00001SEN_0211_30

5. テーブルで、変更する値（入力レベルまたは入力体積）をクリックします。複数の値を連続して上書きするか、またはテーブルに値のペアを追加することができます。
-  テーブル行の入力 / 削除、および値ペアの順序変更を行うことはできません。
6. 必要な変更を行います。
7.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

リニアライゼーションテーブルの削除

 リニアライゼーションテーブルを削除できるのは、そのリニアライゼーションテーブルが計測機器に割り当てられていない場合のみです。


1. 概要テーブルで、削除するリニアライゼーションテーブルをクリックします。
2. 関連するタブがアプリケーションウィンドウの下部のセクションに表示されます。



The screenshot shows a configuration window with tabs for Configuration, Graph, Upload, and File Upload. The Configuration tab is active, displaying a table with columns for Name, Description, Index, Input level, and Input volume. The table contains 8 rows of data representing a linearization for a cylindrical tank.

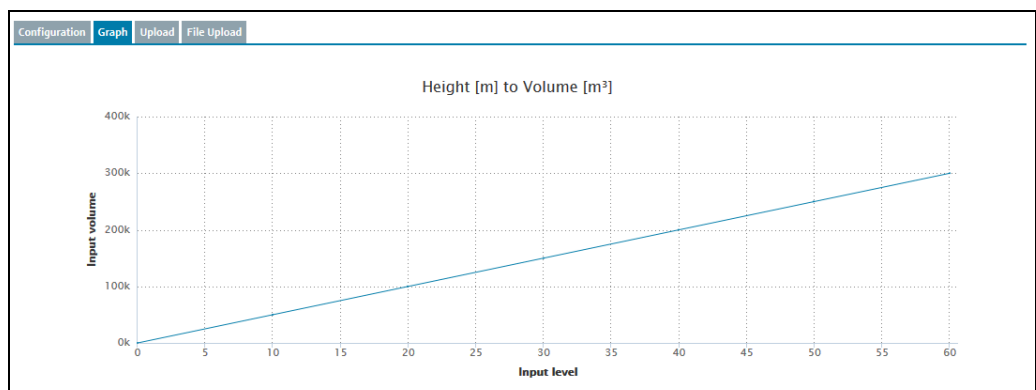
Name *	Description *	Index	Input level	Input volume
Height [m] to Volume [m ³]	zylindrischer Tank, Ø ca. 80 m / cylindrical tank, Ø approx. 80 m	1	0	0
		2	10	50000
		3	20	100000
		4	30	150000
		5	40	200000
		6	50	250000
		7	60	300000
		8	0	0

S43_SH00001SEN_0211_30

3.  ボタンをクリックします。
4. 「本当に削除してよろしいですか？」というプロンプトが表示されます。
5. **OK** ボタンをクリックして、リニアライゼーションテーブルを削除します。プロセスを中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。





13.9.2 リニアライゼーションテーブルのグラフ表示

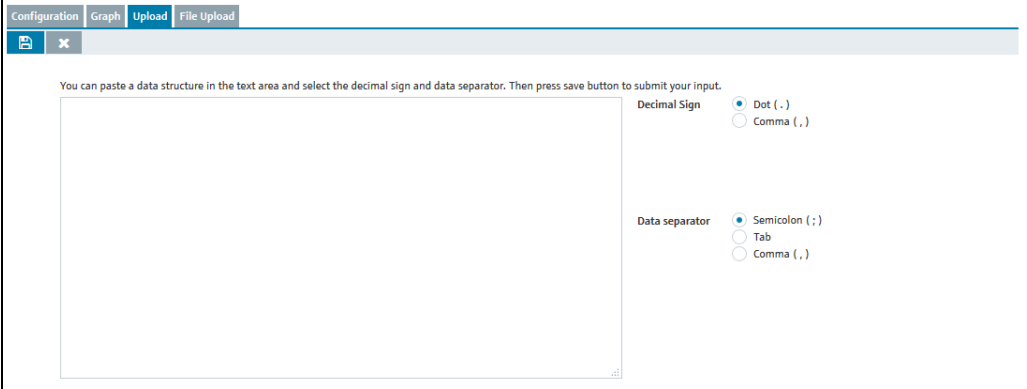
1. 概要テーブルで、グラフとして表示するリニアライゼーションテーブルをクリックします。
2. **グラフ**タブを選択します。
3. 選択したリニアライゼーションテーブルがグラフとして表示されます。



S44-2_SH00001SEN_0211_30

13.9.3 リニアライゼーションテーブルのアップロード

1. **設定**タブを選択します。
2.  ボタンをクリックします。
3. **設定**タブが編集モードで表示されます。
4. 以下のフィールドのデータを入力します。
-名前：リニアライゼーションテーブルの固有の名前
-名称
5.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。
6. **アップロード**タブを選択します。
7.  ボタンをクリックします。
8. タブが編集モードで表示されます。



Configuration | Graph | **Upload** | File Upload

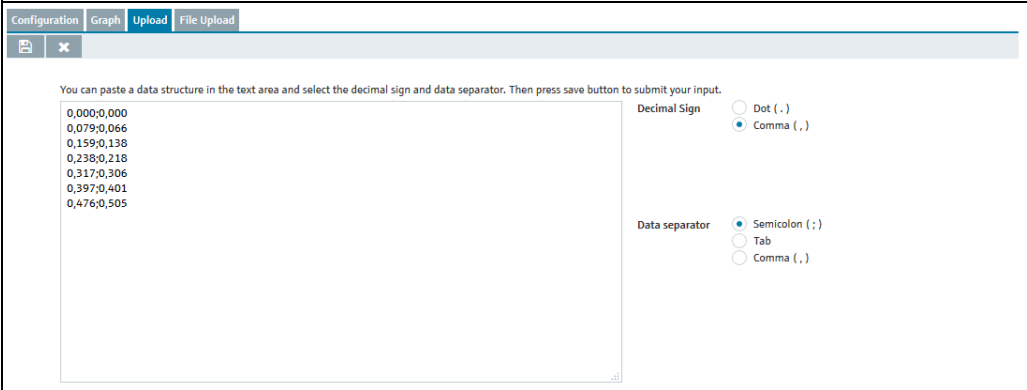
You can paste a data structure in the text area and select the decimal sign and data separator. Then press save button to submit your input.

Decimal Sign Dot (.)
 Comma (,)

Data separator Semicolon (;)
 Tab
 Comma (,)

S45_SH00001SEN_0211_30

9. データ構造をテキスト入力領域にコピーします。
10. **小数点記号およびデータの区切り記号**を指定します。



Configuration | Graph | **Upload** | File Upload



You can paste a data structure in the text area and select the decimal sign and data separator. Then press save button to submit your input.

0,000:0,000
0,079:0,066
0,159:0,138
0,238:0,218
0,317:0,306
0,397:0,401
0,476:0,505


Decimal Sign Dot (.)
 Comma (,)

Data separator Semicolon (;)
 Tab
 Comma (,)



S45-2_SH00001SEN_0211_30

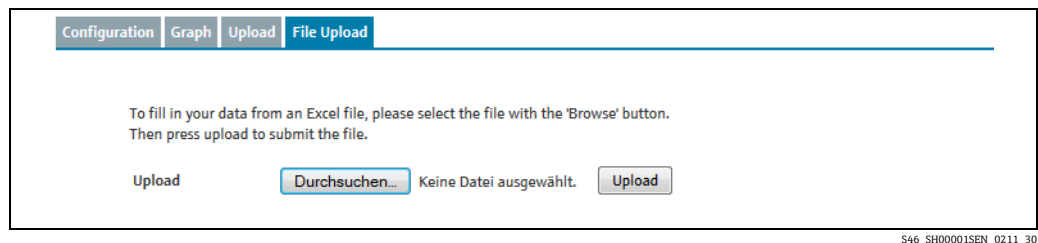
11.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。
12. 入力内容を保存すると、以下のメッセージが表示されます。
「リニアライゼーションデータは正常に保存されました」
13. アップロードした値をリニアライゼーションテーブルとして表示する場合は、**設定**タブを選択します。アップロードした値をグラフとして表示する場合は、**グラフ**タブを選択します。

13.9.4 リニアライゼーションテーブルを Excel ファイルとしてアップロード

1. **設定**タブを選択します。
2.  ボタンをクリックします。
3. **設定**タブが編集モードで表示されます。
4. 以下のフィールドのデータを入力します。

- **名前** : リニアライゼーションテーブルの固有の名前
- **名称**

5.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。
6. **ファイルアップロード**タブを選択します。
7. タブがアプリケーションウィンドウの下部のセクションに表示されます。





8. **参照**ボタンをクリックします。
9. ディレクトリ内の適切な **Excel** ファイルを選択します。
Excel ファイルは、以下に示す条件を満たす必要があります、次のように読み取られます。

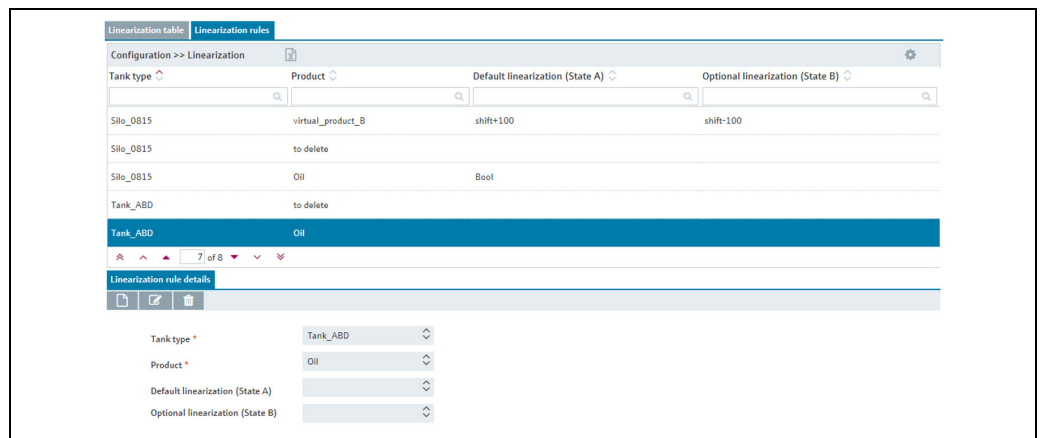
	A	B	C
1	%	short tons	
2	0	0	
3	10	5.2	
4	20	10.3	
5	30	15.6	
6	40	20.8	
7	50	30.1	
8	60	40.3	
9	70	50.4	
10	80	59.8	
11	90	70.1	
12	100	80.2	
13			

- 先頭行がヘッダーとして使用されていること。これらのデータは読み取られません。
- Excel ファイルが 2 列のみで構成されていること。1 列目の値は X 値として読み取られ、2 列目の値は Y 値として読み取られます。
- 各セルには数値が入力されていること。セルにテキストが入力されていると、エラーメッセージが出力されます。
- 値のペアが X 値と Y 値で構成されていること。空のセルがあると、エラーメッセージが出力されます。
- Excel ファイルが最大 64 組の値のペアで構成されていること。

10. **アップロード**ボタンをクリックします。
11. アップロードした値をリニアライゼーションテーブルとして表示する場合は、**設定**タブを選択します。アップロードした値をグラフとして表示する場合は、**グラフ**タブを選択します。


13.10 リニアライゼーションルールの管理

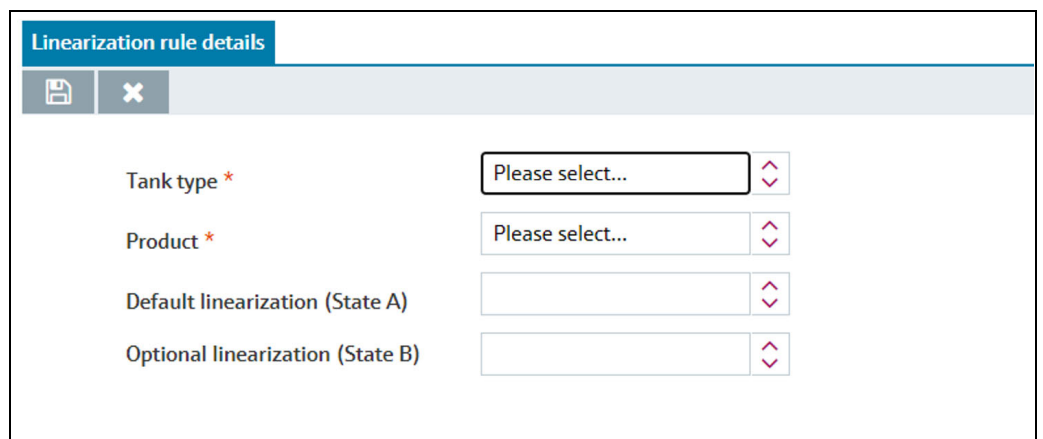
-  契約内容に応じて: 追加機能としてリニアライゼーションルールを使用できます。お求めの場合は、当社にお問い合わせください。
 -  リニアライゼーションルールを作成、編集、削除できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されているユーザーのみです。
1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
 2. **リニアライゼーション**メニュー項目をクリックします。
 3. **リニアライゼーションルール**タブを選択します。
 4. アプリケーションウィンドウに以下の詳細ビューが表示されます。



Linearisierungsregeln1_BA00050SEN_2321_V3_4_3_EN



13.10.1 新規リニアライゼーションルールの作成

1.  ボタンをクリックします。
2. ウィンドウの下部にタブが編集モードで表示されます。




Linearisierungsregeln2_BA00050SEN_2321_V3_4_3_EN




ここでは、以下のデータを選択または確認できます。





- **タンクタイプ**: (必須) 契約内で設定されているすべてのタンクタイプを含むドロップダウンリスト
 - **製品**: (必須) 契約内で現在設定されているすべての製品を含むドロップダウンリスト
 - **デフォルトのリニアライゼーション (状態 A)**: 契約で宣言されているすべてのリニアライゼーションを含むドロップダウンリスト
 - **オプションのリニアライゼーション (状態 B)**: 契約で宣言されているすべてのリニアライゼーションを含むドロップダウンリスト
3.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

13.10.2 リニアライゼーションルールの編集

1.  ボタンをクリックします。
2. ウィンドウの下部にタブが編集モードで表示されます。



Linearization rule details


Tank type *	Silo_0815 
Product *	virtual_product_B 
Default linearization (State A)	shift+100 
Optional linearization (State B)	shift-100 

Linearisierungsregeln3_BA00050SEN_2321_V3_4_3_EN


ここでは、以下のデータを選択または確認できます。

- **タンクタイプ** : (必須) 契約内で設定されているすべてのタンクタイプを含むドロップダウンリスト
 - **製品** : (必須) 契約内で現在設定されているすべての製品を含むドロップダウンリスト
 - **デフォルトのリニアライゼーション (状態 A)** : 契約で宣言されているすべてのリニアライゼーションを含むドロップダウンリスト
 - **オプションのリニアライゼーション (状態 B)** : 契約で宣言されているすべてのリニアライゼーションを含むドロップダウンリスト
3.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。


13.10.3 リニアライゼーションルールの削除


1.  ボタンをクリックします。
2. 「本当に削除してよろしいですか？」というプロンプトが表示されます。
3. **OK** をクリックして、リニアライゼーションルールを削除します。プロセスを中止する場合は、**キャンセル** をクリックします。

13.11 単位の管理

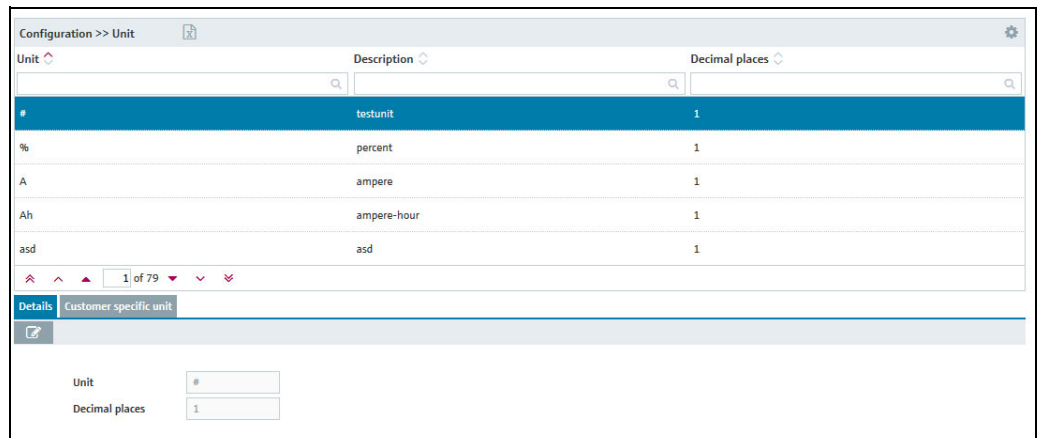
 単位の小数点以下の桁数を変更できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されているユーザーのみです。

単位メニュー項目では、各単位の小数点以下の桁数を指定します。

 **単位**メニュー項目には、すべての単位とその説明、小数点桁数、単位タイプが表示されます。「ユーザー固有」タイプの単位は他の単位に変換できません。ユーザー固有の単位は表示専用です。




テーブルヘッダーの  ボタンをクリックすると、コンテキストメニューが開きます。このコンテキストメニューを使用して、概要テーブルの**単位タイプ**列の表示 / 非表示を設定できます。

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **単位**メニュー項目をクリックします。
3. アプリケーションウィンドウに以下の詳細ビューが表示されます。







S99_BA00050SEN_0211_30

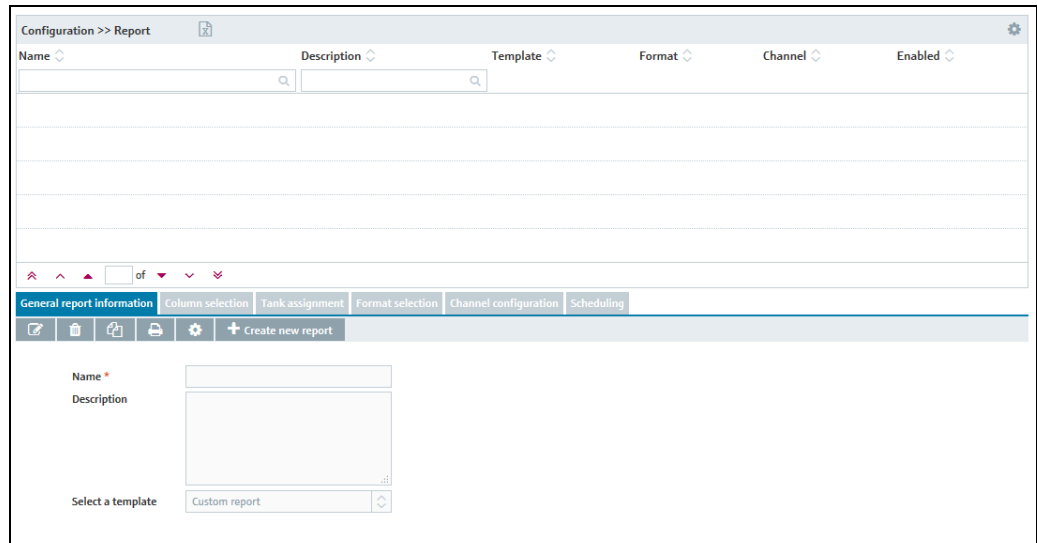
テーブルに、すべての単位とその説明および小数点以下の桁数が表示されます。

4. 小数点以下の桁数を変更する単位をテーブルで選択します。
5.  ボタンをクリックします。
6. ウィンドウの下部にタブが編集モードで表示されます。
7. **小数点桁数**フィールドに必要な数を入力します。
8.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

13.12 レポートの管理（CIDX および CSV レポートの使用）

-  レポートを設定できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されているユーザーのみです。
-  CIDX 形式の自動データ交換を使用する場合は、ファイルを受信するサーバーを受信側で設定する必要があります。受信側の URL、ユーザー名、パスワードを確認しておく必要があります。
-  最大 5 件のレポートをスケジュールできます。
-  **マニュアル値**には、常に **MAN** というテキストが付加されます。

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **レポート**メニュー項目をクリックします。
3. アプリケーションウィンドウに以下の詳細ビューが表示されます。



S100_BA00050SEN_0211_30

CIDX および CSV 形式

生成される CIDX および CSV ファイルの形式は以下のとおりです。

< 契約番号 >< レポート名 >_< タイムスタンプ 「yyyyMMdd_HHmss」 >.< 拡張子 >

例：1_report1_20100505_1634031.xml

CIDX：使用される CIDX 形式は「InventoryActualUsage, Version 4」です。

CSV ファイルの構造は以下のとおりです。

タンク名	タイムスタンプ	値	単位	最適値	予定ポイント	出荷ポイント	安全在庫
タンク 1	12.06.2009 17:20	920.0	l	1000	100	80	50

CIDX の検証

タンクをレポートグループに割り当てたら、検証を実施して設定が CIDX 仕様を満たしているかどうかを確認します。以下の項目を確認してください。

- ・ 供給者がタンクに割り当てられているか？
- ・ 購入者がタンクに割り当てられているか？
- ・ 地域がタンクに割り当てられているか？
- ・ 製品がタンクに割り当てられているか？
- ・ 会社が地域に割り当てられているか？
- ・ 購入者の ID と ID 発行機関が設定されているか？
- ・ 供給者の ID と ID 発行機関が設定されているか？
- ・ 製品の ID と ID 発行機関が設定されているか？
- ・ 地域の会社の ID と ID 発行機関が設定されているか？
- ・ 測定点がタンクに割り当てられているか？

13.12.1 レポートの作成

レポートウィザードを使用して、6つの容易なステップでレポートを作成できます。さまざまなレポートテンプレートを使用できます。

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **レポート**メニュー項目をクリックします。

3. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**一般レポート情報**タブを選択します。
4. **新規レポートの作成**ボタンをクリックします。**一般レポート情報**ダイアログボックスが表示されます。

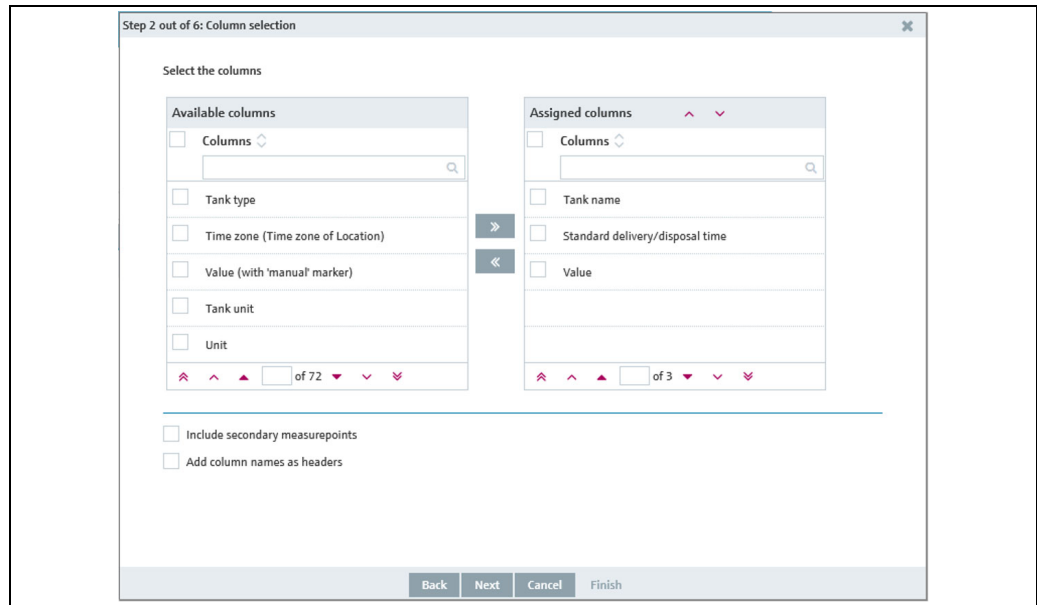
S101_BA00050SEN_0211_30

5. ここでは、以下に示すようなレポートに関する一般データを入力できます。

- **名前 (必須)** : 固有の識別名
- **説明** : ここには複数行の説明を入力できます。
- **テンプレートの選択** : ここではレポートのテンプレートを選択します。

i セカンダリ値用のレポートテンプレートとして**セカンダリレポート**が特別に設定されています。これを使用すると、セカンダリ値を1つのレポートにまとめることができます。このテンプレートでは、セカンダリ値に対応するすべてのパラメータ、およびすべてのセカンダリ値とプライマリ値が事前に選択されています。レポートからプライマリ値を除外することもできます。プライマリ値、セカンダリ値、パラメータの設定をまとめたレポートを保存して、これを再利用できます。

6. **次へ**ボタンをクリックします。**列の選択**ダイアログボックスが表示されます。



S102_BA00050SEN_0211_30

7. ここでは、レポートで分析する情報（列）を選択できます。

i レポートに**マニュアル値**も表示する場合は、**値 ('マニュアル' マーカー付き)** 列も追加で選択する必要があります。

- **使用可能な列**：ここにはレポートで分析可能なすべての列が表示されます。列を追加する場合は、対応する列の**チェックボックス**をオンにして **»** ボタンをクリックします。すべての列を選択する場合は、列の横にある最上部の**チェックボックス**をオンにします。
- **割り当てられた列**：ここにはレポートで分析されるすべての列が表示されます。列を削除する場合は、対応する列の**チェックボックス**をオンにして **«** ボタンをクリックします。すべての列を選択する場合は、列の横にある最上部の**チェックボックス**をオンにします。
列の順序を変更する場合は、対応する列を選択して **v** または **^** ボタンをクリックします。
- **セカンダリ値を含む**：セカンダリ値も表示されます。このオプションを選択すると、レポートからセカンダリ値を除外できなくなります。特定のセカンダリ値を選択する場合は、ステップ 1 で**セカンダリレポート**テンプレートを選択してください。
- **列名をヘッダーとして追加**：列名がヘッダーとして使用されます。
- **ヘッダー言語**：レポートのヘッダー内の列名に使用する言語を選択します。デフォルト言語としてユーザー設定の言語が使用されます。ユーザー設定で言語を選択していない場合は、列名に英語が使用されます。

8. **次へ**ボタンをクリックします。**タンクの割り当て**ダイアログボックスが表示されます。

Step 3 out of 6 : Tank assignment

Select the tanks

Assignment type: Tank

Tank group: All Location: All Product: All Supplier: All

<input type="checkbox"/>	Tank name	Notes	Location
<input type="checkbox"/>	Aggregierter Beispieltank		Maulburg
<input type="checkbox"/>	Beispieltank		Maulburg
<input type="checkbox"/>	Example tank		Maulburg
<input type="checkbox"/>	sim_hysteresis	Tank soll regelmäßig alle 3 Wochen gepr...	Naarden
<input type="checkbox"/>	sim_normal		Greenwood
<input type="checkbox"/>	sim_secondaries		Aurangabad
<input type="checkbox"/>	sim_secondaries_2	Example note without information for de...	Maulburg

of 12

Back Next Cancel Finish

S102-2_BA000505EN_0211_30

9. このテーブルを使用して、**チェックボックス**をオンにて、対応するタンクをこのレポートに割り当てることができます。
10. **次へ**ボタンをクリックします。CIDX および CSV レポートでは、検証が実行され、設定が仕様を満たしているかどうかチェックされます。**形式の選択**ダイアログボックスが表示されます。

Step 4 out of 6 : Format selection

Select the output format

XLS
 TXT
 PDF
 CSV - Semicolon ";"
 CSV - Comma ","
 CSV - TAB
 XML

Separator format

Thousands | Decimal Comma (,) | Period (.)

Back Next Cancel Finish

Report_Assistent_4_BA00055SEN_30

11. ここでは、レポートの出力形式を選択できます。

- **XLS** : Excel ファイル
- **TXT** : テキストファイル
- **PDF** : PDF ファイル
- **CSV - セミコロン「;」** : CSV ファイル (値はセミコロンで区切られます)
- **CSV - コンマ「,」** : CSV ファイル (値はコンマで区切られます)
- **CSV - TAB** : CSV ファイル (値はタブで区切られます)
- **XML** : XML ファイル

12. **完了**ボタンをクリックして、レポートを完了します。

13. 次へボタンをクリックして、チャンネルの設定に進みます。チャンネルの設定ダイアログボックスが表示されます。

S103-2_BA00050SEN_0211_30

14. チャンネルフィールドで納品チャンネルを選択します。
 15. 選択した納品チャンネルに応じて、追加のフィールドがタブに表示されます。

a) Eメールで納品

- 🔍 ボタンをクリックしてユーザーを選択します。選択したユーザーを削除する場合は、✖ ボタンをクリックします。

S104_BA00050SEN_0211_30

b) FTP で納品

A0041394-EN_300

ここでは、以下のデータを入力します。

- **FTP モード**：必要に応じて、FTP モードを選択します。デフォルト値：FTP アクティブ。選択項目：FTP パッシブ、FTPS パッシブ
- **URL (必須)**：選択したチャンネルのウェブサイト
- **ポート**：必要に応じて、別のポートを選択します。デフォルト値：21
- **ユーザー**
- **パスワード**
- **ユーザープロキシ**

i **FTP アクティブ**：アクティブ FTP を使用する場合、クライアントとサーバーの承認後に、FTP サーバーがデータチャンネルの構築を開始します。

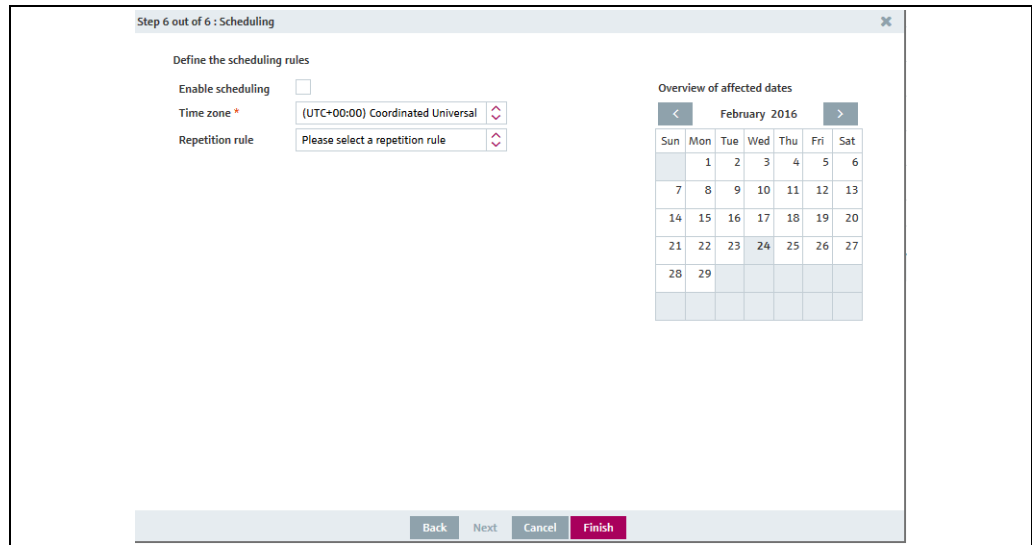
FTP パッシブ：パッシブ FTP を使用する場合、クライアントがデータチャンネルの構築を開始します。これは、ファイアウォールまたはルーター接続が、サーバー側からのデータチャンネルの確立を阻害してしまうことが多いためです。

FTPS パッシブ：パッシブ FTPS (**explicit**) の動作はパッシブ FTP と似ていますが、TLS 暗号化を使用して接続を確立します。

i **explicit** モードでパッシブ FTPS を使用して、クライアント側から接続を確立する場合、ポート 21 が使用されます。

データチャンネルの場合、サーバーではポート 10000 ~ 11000 を使用してください。それに従ってサーバーを適切に設定する必要があります。FTPS サーバーの IP アドレスを **Endress+Hauser** で登録し、接続の承認を得る必要があります。

16. **完了** ボタンをクリックして、レポートを完了します。**次へ** ボタンをクリックしてスケジューリングに進みます。**スケジューリング** ダイアログボックスが表示されます。

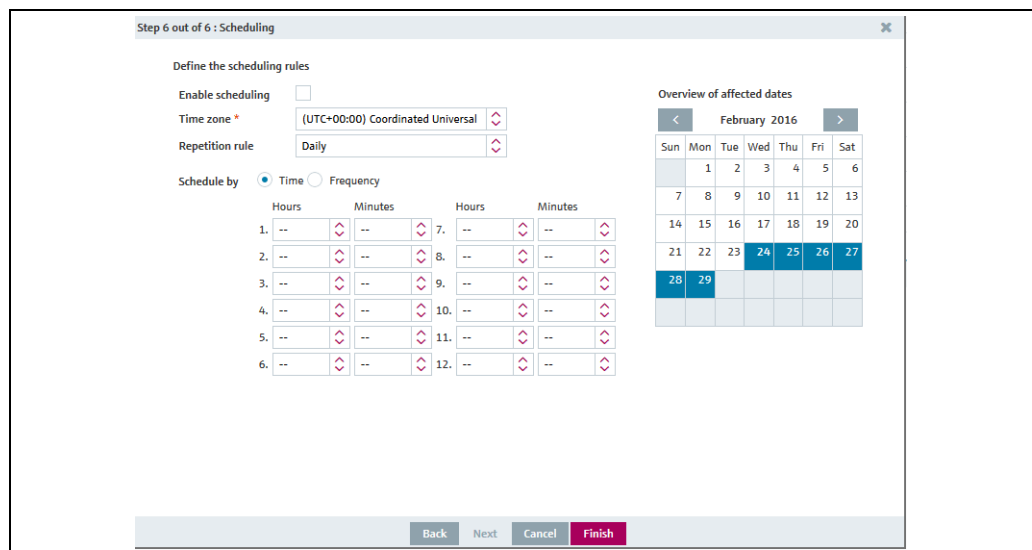


S105-2_BA00050SEN_0211_30

17. ここでは、以下に示すようなスケジューリングに関するデータを入力できます。

- **スケジューリングの有効化**：レポートの完了後、直ちにスケジューリングルールが有効化されます。
- **タイムゾーン**
- **繰り返しルール**：ここではルールを選択できます。
 - 毎日**：時間または周期でスケジュールできます。
 - 毎週各...**：特定の曜日を選択して時間または周期でスケジュールできます。
 - 毎月の特定日**：毎月レポートを作成する開始日時をスケジュールできます。
 - 毎月の最終日**：月の最終日に実行されます。毎月レポートを作成する時間をスケジュールできます。

スケジューリングルールが実行される日は、カレンダーに色付きで強調表示されます。カレンダーを月単位でスクロールすることができます。





S105-2_BA00050SEN_0211_30

18. **完了**ボタンをクリックして、レポートを完了します。

13.12.2 レポートを PDF ファイルとしてダウンロード


レポートを PDF ファイルとしてダウンロードし、お使いのファイルシステムに保存できます。


 モバイル機器：レポートを PDF 形式で印刷する前に、インターネットブラウザの広告ブロック機能を無効にしてください。広告ブロック機能が有効な場合、レポートを閉じることができなくなる可能性があります。この場合、ブラウザタブを更新するか、または SupplyCare Hosting をログオフしてからもう一度ログインします。

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **レポート**メニューをクリックします。
3. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、レポートを選択します。
4. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**一般レポート情報**タブを選択します。
5.  ボタンをクリックします。
6. レポートの完了後、**ファイルのダウンロード**ダイアログボックスが表示されます。
7. **開く**ボタンをクリックして、直ちにレポートを表示します。**保存**ボタンをクリックして、お使いのファイルシステムにレポートを保存します。プロセスを中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

13.12.3 レポートの作成および即時送信

スケジューリングルールに関係なく、いつでもレポートを作成して、チャンネルの設定で指定された受信者に送信できます。スケジューリングルールは変更されません。

 **CIDX** および **CSV** タイプのレポートでは、ステータス 0 の測定値のみが考慮されます。

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **レポート**メニューをクリックします。
3. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、レポートを選択します。
4. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**一般レポート情報**タブを選択します。
5.  ボタンをクリックします。
6. レポートがバックグラウンドで作成され、受信者に送信されます。これを示す通知メッセージが届きます。
7. **OK**をクリックして、この通知メッセージを確認します。

13.12.4 レポートの変更

詳細情報：→ 26 ページ

13.12.5 レポートの削除

詳細情報：→ 30 ページ

13.12.6 レポートのコピー

詳細情報：→ 31 ページ

13.13 照合レポート

13.13.1 説明

Reconciliation Report				
1	Report name:	UC1_A		
2	Description:			
3	Point name	Tank_UC1A	Tank_UC1A	Tank_UC1A
		Secondary[1]	Primary	Secondary[2]
4	Product	Product_A	Product_A	Product_A
5	2017-01-11 12:47:34	5000	2000	3000
	2017-01-12 12:47:34	5000	2000	3000
6	Measurement delta	0	0	0
	Input quantity delta:	0		
7	Stock quantity delta:	0		
	Output quantity delta:	0		
	Error delta:	0		
8	Error delta (%):	0		%
	Yield:	0		

図 3: xls 形式の照合レポートの例。このレポートでは、3つの測定点（入力、在庫、出力）の値が収集されます。

- 1 レポート名
- 2 説明
- 3 ポイント名：測定点の名前
- 4 製品
- 5 測定日時（開始 / 終了）
- 6 各測定点の測定値の差分
- 7 量の差分：特定タイプのすべての測定点の値の差分合計
- 8 誤差の差分：測定された製品損失（単位）；誤差の差分（%）；測定された製品損失（%）；
- 9 収穫量：プロセス効率の係数（理想値：1）

照合レポートでは、1つまたは複数のタンクの在槽状況を正確に表すレポートを作成できます。

タンクへの受入量（入力）およびタンクからの払出量（出力）の流量計の測定値を測定プロセスに追加することにより、レベル測定値（在庫）のみの場合と比較して精度が向上します。照合レポートは、これらの3つの値を関連付けて相互のバランスを比較できるため、整合性に欠けたデータが明確になります。

i 照合レポートの測定値は、「分析」ワークスペースの測定から得られる値よりも高精度です。このため、照合レポートの値は「分析」ワークスペースの値とは少し異なる場合があります。

受入量タイプ（入力）、在庫、払出量（出力）の各測定点ごとに、測定の開始時点と終了時点間の差分が計算されます。

また、照合レポートは、測定点が2つのみの場合でも計算できます。測定点の1つは**在庫**であることが必要です。

i レポート作成では、開始時間前および終了時間前の測定点の最終測定値がそれぞれ使用されます。

照合レポートを作成するには、いくつかの方法があります。

- 特別レポート：SupplyCare ユーザーの必要に応じて作成 → 78 ページ
- 定期レポート：可変的に定義可能な時間間隔に基づいて作成

13.13.2 照合レポートの設定

レポートの作成

レポートウィザードを使用して、レポートを作成できます。

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **レポート**メニュー項目をクリックします。
3. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**一般レポート情報**タブを選択します。
4. **新規レポートの作成**ボタンをクリックします。**一般レポート情報**ダイアログボックスが表示されます。


Konfig_Rep_Reco_1_BA000505EN_31

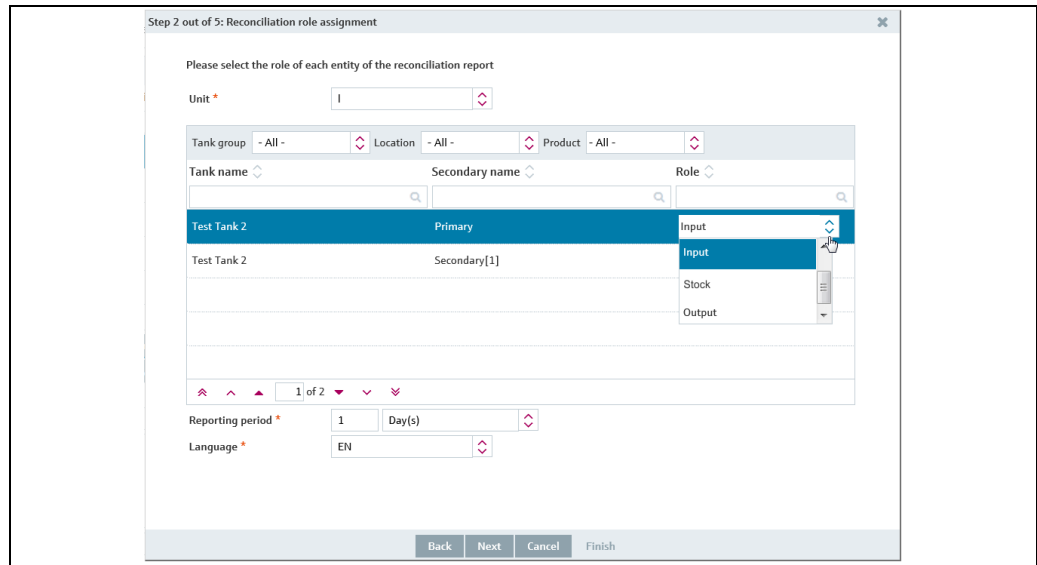
5. ここでは、以下に示すようなレポートに関する一般データを入力できます。

- **名前 (必須)** : 固有の識別名
- **説明** : ここには複数行の説明を入力できます。
- **テンプレートの選択** : ここでは**照合レポート**テンプレートを選択します。

6. **次へ**ボタンをクリックします。**照合ロールの割り当て**ダイアログボックスが表示されます。

ここでは、使用可能な測定点にロール（入力、在庫、または出力）を割り当てます。通常、プライマリ値とセカンダリ値は個別のロールに割り当てます。これらの測定値は在庫の照合に使用されます。

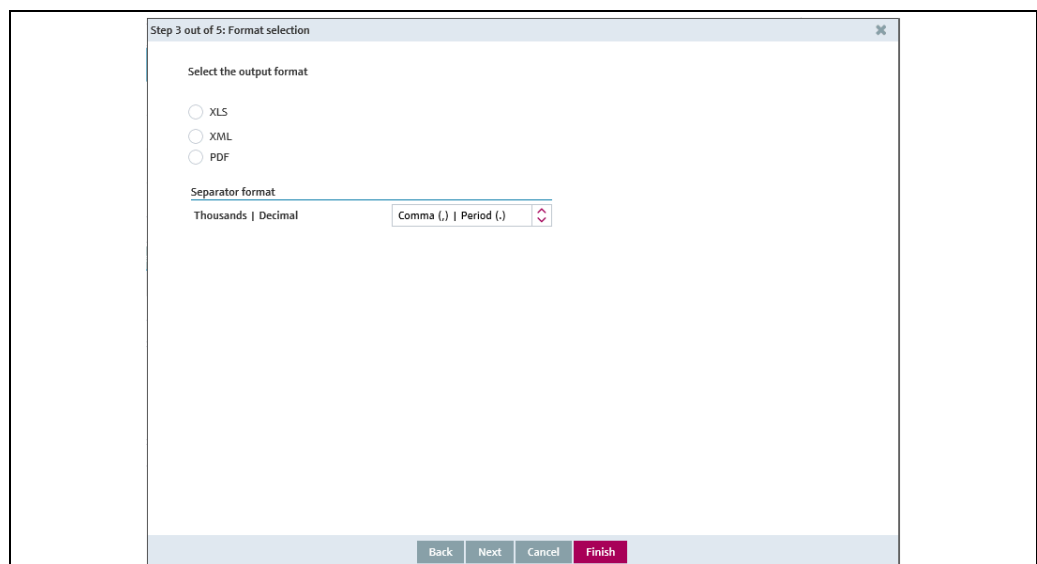
-  測定点がロールに割り当てられていない場合、その値は 0（デフォルト）になります。



Konfig_Rep_Reco_2_BA00050SEN_31

7. ここでは、タンクをタンクグループ、地域、製品でフィルタ処理できます。以下の情報およびパラメータを入力します。
 - **単位** (必須)。デフォルト単位は立方メートルです。ここで選択した単位と互換性のある単位が設定されているタンクのプライマリ値とセカンダリ値のみを計算できます。体積の単位または質量の単位は相互に互換性があります。
 - タンクの測定点を選択します。レポートには、2つ以上の測定点が必要です。測定点の1つは**在庫**であることが必要です。測定点ごとに、行が表示されます。行をクリックして測定点のロールを選択します。
 - 照合レポートの期間および言語を選択します。

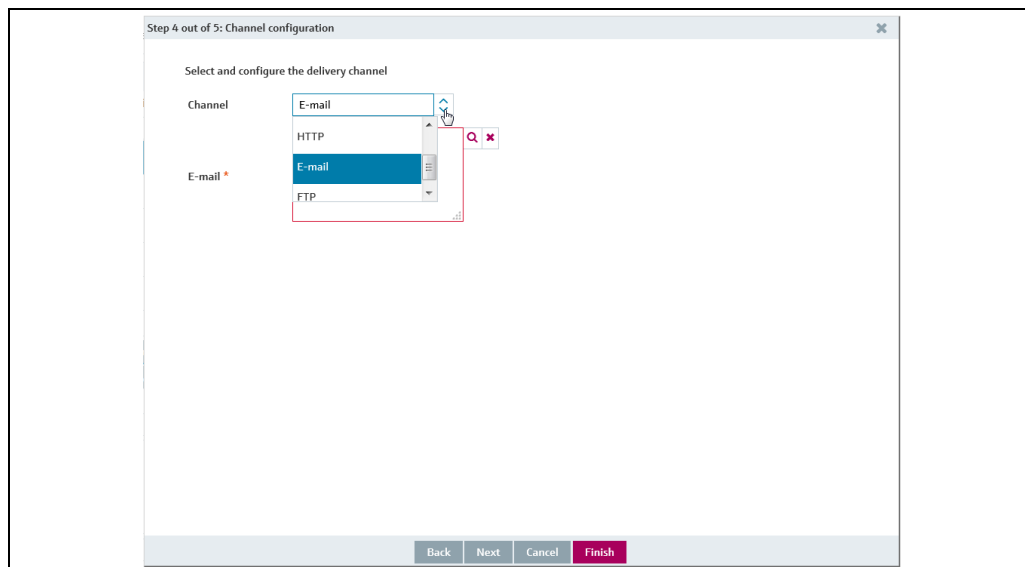
8. **次へ**ボタンをクリックします。**形式の選択**ダイアログボックスが表示されます。



Konfig_Rep_Reco_3_BA00050SEN_31

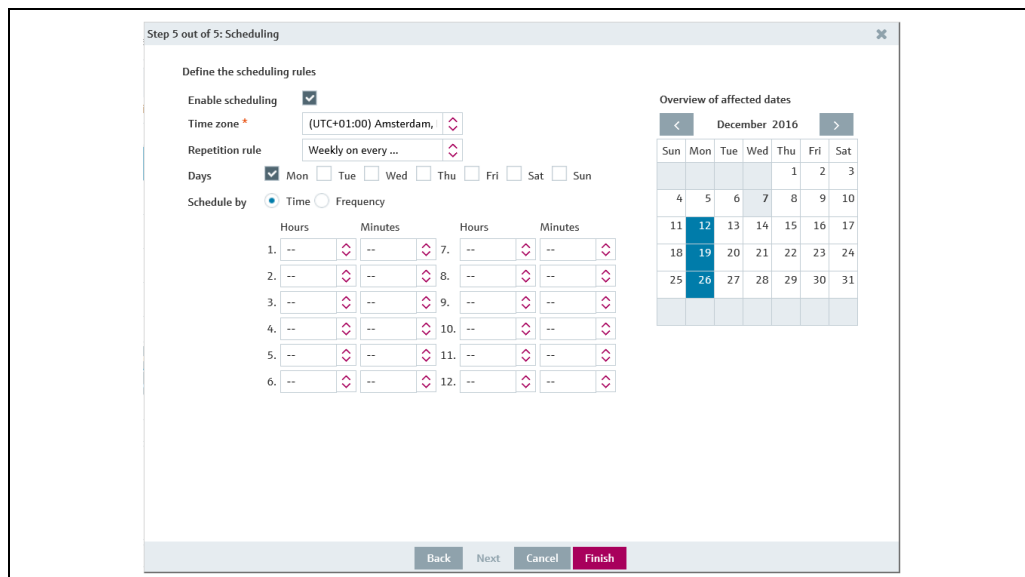
9. ここでは、レポートの出力形式を選択できます。
 - **XLS** : Excel ファイル
 - **XML** : XML ファイル
 - **PDF** : PDF ファイル

10. 次へボタンをクリックします。チャンネルの設定ダイアログボックスが表示されます。



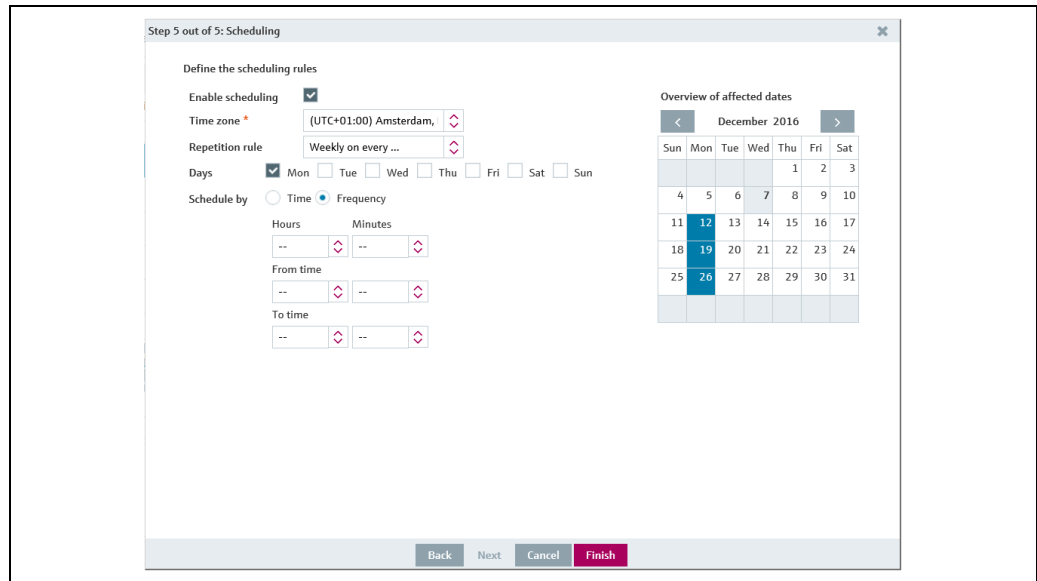
Konfig_Rep_Reco_4_BA00050SEN_31

11. チャンネルフィールドで納品チャンネルを選択します。選択した納品チャンネルに応じて、追加のフィールドがタブに表示されます。各チャンネルの詳細については、142 ページ を参照してください。
12. 次へボタンをクリックしてスケジューリングに進みます。スケジューリングダイアログボックスが表示されます。



Konfig_Rep_Reco_5_BA00050SEN_31

- 図 4: スケジューリングに時間を使用：ここでは1つまたは複数の時間を設定します。選択した各曜日の設定された時間に照合レポートが作成されます。



Konfig_Rep_Reco_6_BA00050SEN_31

図 5: スケジューリングに周期を使用：ここでは時間枠を設定します（開始時間、終了時間）。その時間枠内に複数の照合レポートが作成されます。その数は、選択した時間枠のサイズと周期に応じて異なります。

13. ここでは、以下に示すようなスケジューリングに関するデータを入力できます。

- **スケジューリングの有効化**：レポートの完了後、直ちにスケジューリングルールが有効化されます。
- **タイムゾーン**
- **繰り返しルール**：ここではルールを選択できます。
 - 毎日**：時間または周期でスケジュールできます。
 - 毎週各 ...**：特定の曜日を選択して時間または周期でスケジュールできます。
 - 毎月の特定日**：毎月レポートを作成する開始日時をスケジュールできます。
 - 毎月の最終日**：月の最終日に実行されます。毎月レポートを作成する時間をスケジュールできます。

スケジューリングルールが実行される日は、カレンダーに色付きで強調表示されます。カレンダーを月単位でスクロールすることができます。

14. **完了**ボタンをクリックして、レポートを完了します。

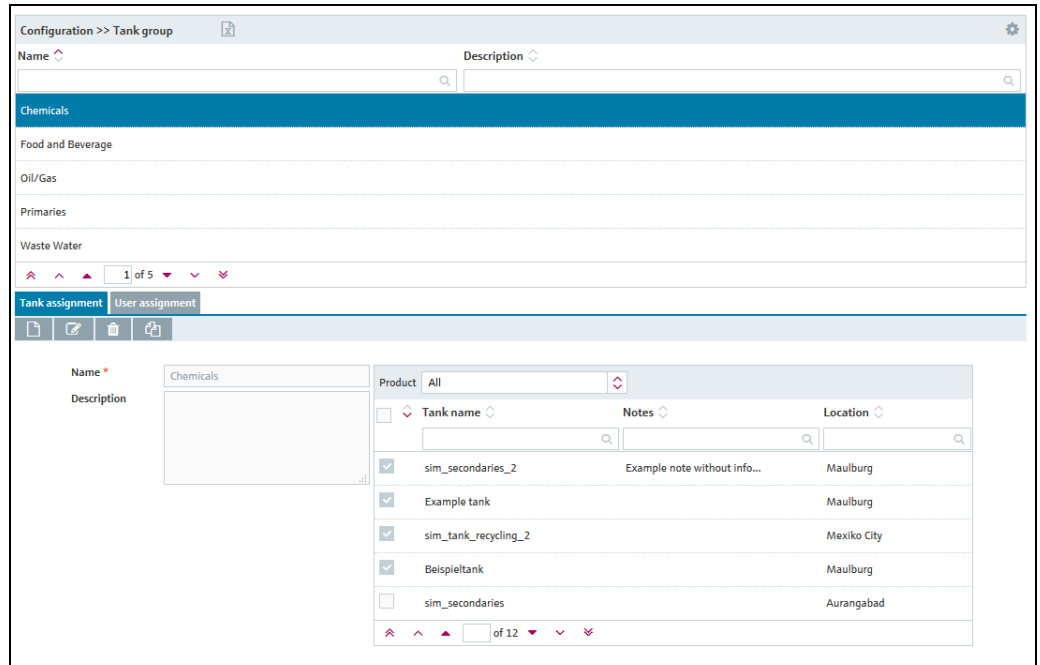
13.14 メッセージの設定

SupplyCare Hosting では、ユーザーにイベントを E メールでアクティブに通知できます。イベントの重み付けに応じて、さまざまなユーザーに通知できます。


- i** メッセージ通知を設定できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されているユーザーのみです。
- i** メッセージベースの通知を送信する対象として設定できるのは、ユーザーロールが**読み取り専用**、**スケジューラ**、または**オペレータ**に設定されているユーザーのみです。
- i** ユーザーが E メールで通知を受信できるようにするには、事前に SupplyCare の E メール接続を確立しておく必要があります。

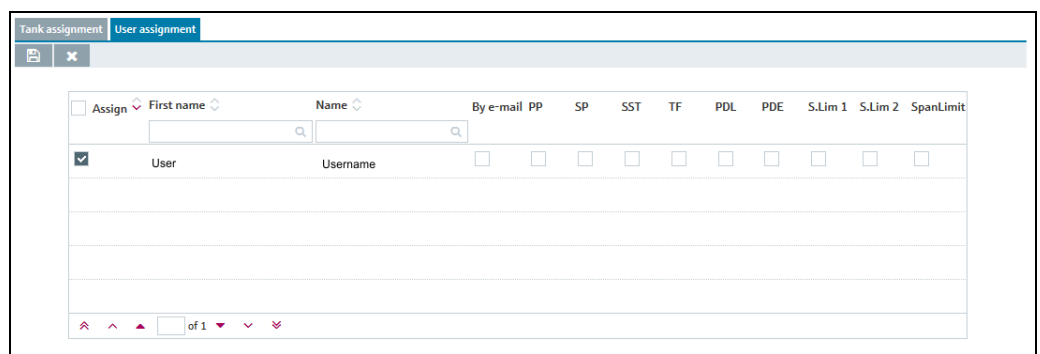
13.14.1 メッセージの設定

1. ナビゲーションウィンドウで**設定**メニューをクリックします。
2. **タンクグループ**メニューをクリックします。
3. アプリケーションウィンドウに以下の詳細ビューが表示されます。





S107_BA00050SEN_0211_30

4. 概要テーブルで、ユーザーを割り当てるタンクグループを選択します。
5. アプリケーションウィンドウの下部のセクションで、**ユーザーの割り当て**タブを選択します。
6.  ボタンをクリックします。
7. タブが編集モードで表示されます。




S108_BA00050SEN_0211_30

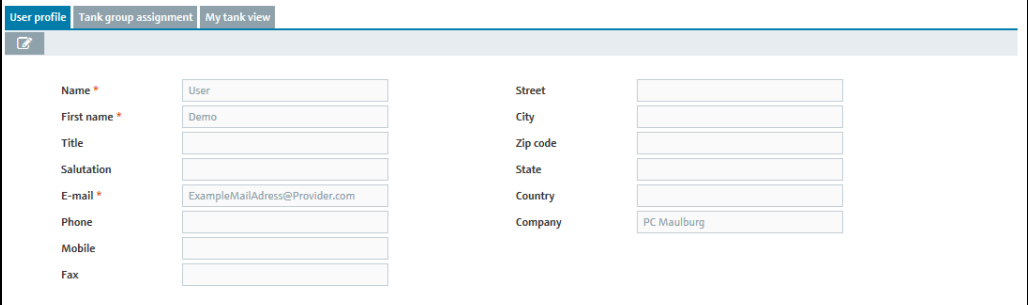
ユーザーロールが**読み取り専用**、**スケジューラ**、**オペレータ**であるすべてのユーザーがテーブルに表示されます。タンクグループおよびタンクに割り当てることができるのは、これらのユーザーのみです。

8. **割り当て**列を使用して、1つまたは複数のタンクグループをユーザーに割り当てることができます。これらのタンクグループは、「ワークプレイス - タンク」ビューに表示されます。
また、ユーザーが通知を受けるイベント、および通知をEメールで送信するかどうかも指定できます。
9.  をクリックして入力内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。




13.15 ユーザープロフィールの保守

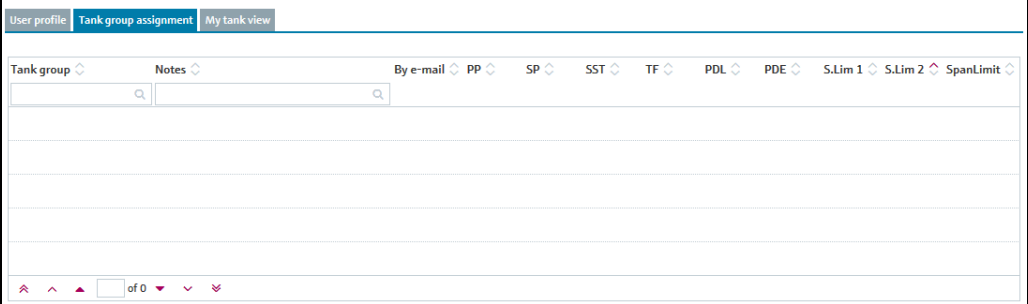
 各ユーザーは自分のユーザープロフィールを変更できます。

1. ナビゲーションウィンドウで、ユーザー名の横にある矢印をクリックします。
2. **ユーザープロフィール**メニュー項目をクリックします。
3. **ユーザープロフィール**タブを選択します。
4. アプリケーションウィンドウの表示例を以下に示します。




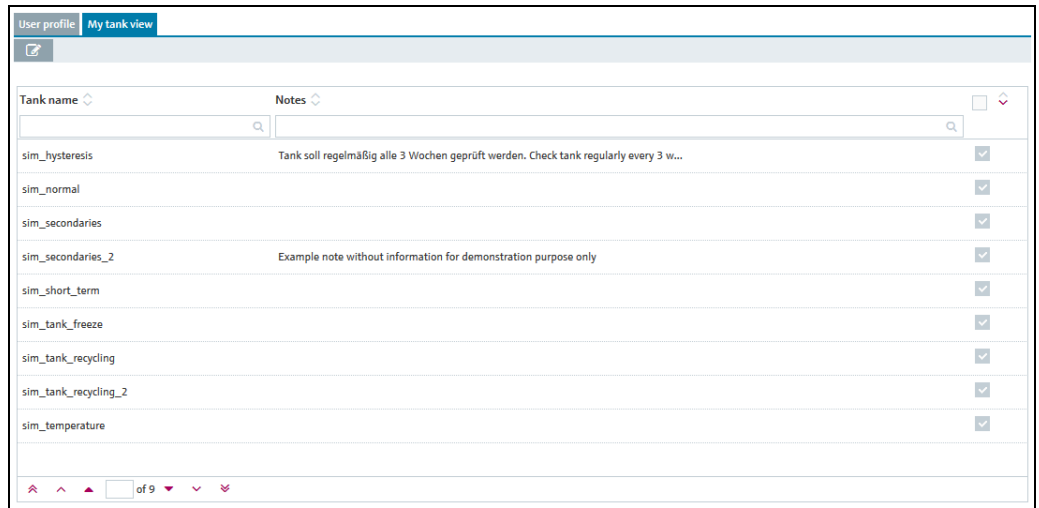
S109_BA00050SEN_0211_30

5.  ボタンをクリックします。
6. タブが編集モードで表示されます。
7. 必要な変更を行います。背景が白のフィールドを変更できます (**名前、メールアドレス**など)。
8.  をクリックして変更内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。
9. **タンクグループの割り当て**タブに、自分に割り当てられているタンクグループが表示されます。






S109-2_BA00050SEN_0211_30

10.  ユーザーロールが**マスターデータ**であるユーザーのみが、**タンクグループ**メニュー項目でタンクグループの割り当てを変更できます。
10. **マイタンクビュー**タブに、割り当てられたタンクグループからアクセスできるすべてのタンクおよび集合タンクが表示されます。



S110_BA00050SEN_0211_30

11.  ボタンをクリックします。
12. タブが編集モードで表示されます。
13. **マイタンクビュー**ワークプレイスに表示するタンクの**チェックボックス**をオンにします。
14.  をクリックして変更内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

13.16 ユーザー設定の選択および変更

i ユーザー設定を変更できるのは、ユーザーロールが**読み取り専用**、**スケジューラ**、または**オペレータ**に設定されているユーザーのみです。

1. ナビゲーションウィンドウで、ユーザー名の横にある矢印をクリックします。
2. **ユーザー設定**メニュー項目をクリックします。

Benutzereinstellungen_BA00050SEN_31

3. ボタンをクリックします。
4. タブが編集モードで表示されます。
5. 各フィールドの ボタンをクリックして項目を選択するか、または設定を変更します。
6. をクリックして変更内容を保存します。プロセスを中止する場合は、 をクリックします。

13.16.1 フィルタ（フィールド）の説明

「タイムゾーン」フィルタ

ここで選択した**タイムゾーン**は、プログラムの以下の領域で使用されます。

メニュー	説明
ワークプレイス - タンク	<ul style="list-style-type: none"> ▪ メモとファイルタブ ▪ イベントの詳細タブ
ワークプレイス - マイタンクビュー	<ul style="list-style-type: none"> ▪ タンク概要
ワークプレイス - イベント	<ul style="list-style-type: none"> ▪ イベントテーブル ▪ イベントの詳細タブ ▪ イベント履歴タブ
設定 - タンク	<ul style="list-style-type: none"> ▪ タンクのメモタブ
設定 - 集合タンク	<ul style="list-style-type: none"> ▪ タンクのメモタブ
設定 - 地域	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 地域のメモタブ

「デフォルトのタイムゾーンフィルタ」

ここで選択した**タイムゾーン**は、「タンク」、「マイタンクビュー」、「イベント」、「スケジュールリング」ワークプレイスの**タイムゾーン**選択リストに表示されます。以下の値を選択できます。

- **空** : 「タンク」、「マイタンクビュー」、「スケジュールリング」ワークプレイスには、「地域」の値が表示されます。「イベント」ワークプレイスには、「ユーザー設定」が表示されます。
- **地域** : 「地域」の値が表示されます。
- **ユーザー設定** : 選択したタイムゾーンが表示されます。タイムゾーンが空の場合、値「標準時 +00:00」が表示されます。
- **標準時** : 値「標準時 +00:00」が表示されます。「UTC」（標準時）は「Universal Time Coordinated」（協定世界時）の略語です。

単位フィルタ

タンクの単位として質量、体積、長さ、密度、圧力、または温度を選択した場合、ここで選択した単位がプログラムの多くの場所で使用されます。これらの場所を下表に示します。

メニュー	説明
ワークプレイス-タンク	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「タンク」テーブル ■ 在槽チャートタブ ■ タンク詳細タブ ■ イベントの詳細タブ ■ 履歴のダウンロードタブ
ワークプレイス-マイタンクビュー	<ul style="list-style-type: none"> ■ タンク概要 ■ 在槽チャートタブ ■ タンク詳細タブ ■ イベントの詳細タブ ■ 履歴のダウンロードタブ
ワークプレイス-イベント	<ul style="list-style-type: none"> ■ イベントの詳細タブ ■ 在槽チャートタブ ■ タンク詳細タブ、単位フィールド
ワークプレイス-スケジュールリング	<ul style="list-style-type: none"> ■ 予定の指定 ■ 納品 / 廃棄を予定タブ ■ 納品予定 / 廃棄予定タブ ■ 概要タブ
ワークプレイス-分析	<ul style="list-style-type: none"> ■ 分析テーブル ■ KPI タブ ■ 払出量 / 受入量タブ ■ 毎時チャートタブ ■ 日次チャートタブ

「言語」フィルタ


ここで選択した**言語**は、イベント通知と制限通知、およびレポートのヘッダーの列名に使用されます。

「デフォルトのホームページ」フィルタ


ここで選択した**デフォルトのホームページ**は、正常にログインした後のアプリケーションウィンドウに表示されます。アプリケーションウィンドウでスプラッシュ画面が使用されている場合は、**次へ**をクリックすると、デフォルトのホームページが表示されます。

14 エクスポートおよびレポート形式の区切り文字

この章では、SupplyCare のすべてのエクスポートまたはレポート機能で使用される千の位および小数点を表す区切り文字形式について説明します。

- **Excel 形式でダウンロード**  - ダウンロードは Excel 形式で実行されます (標準)。レポートを Excel で開くと、ローカルシステムの Excel 形式で表示されます。
- **履歴のダウンロード** - 千の位 / 小数点を表す区切り文字としてダウンロードで 사용되는文字は、ブラウザで選択した言語設定に応じて異なります。
- **通知** - 千の位 / 小数点を表す区切り文字として通知で 사용되는文字は、**ユーザー設定**で選択した言語設定に応じて異なります。
- **レポート** - 千の位 / 小数点を表す区切り文字としてレポートで使用される文字は、**レポートの設定**のドロップダウンリストから選択できます。

15 ユーザーロールおよび権限

 1人のユーザーに複数のユーザーロールを同時に割り当てることができます。

マスターデータ

ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されたユーザーには、以下の操作を実行する権限が与えられます。

- ユーザーを作成、変更、削除する
- ユーザーにユーザーロールを割り当てる
- ユーザーにタンクグループを割り当てる
- ユーザーに通知を割り当てる
- 自分のユーザープロフィールを変更する
- タンクを作成、変更、削除する
- タンクグループにタンクを割り当てる
- 集合タンクを作成、変更、削除する
- タンクグループに集合タンクを割り当てる
- タンクタイプを作成、変更、削除する
- 地域を作成、変更、削除する
- 地域にタンクを割り当てる
- 会社を作成、変更、削除する
- 製品を作成、変更、削除する
- 既存のリニアライゼーションテーブルをアップロードする
- リニアライゼーションテーブルを作成、変更、削除する
- タンクグループを作成、変更、削除する
- タンクに製品を割り当てる
- レポートを作成、変更、削除する
- 単位タイプの小数点桁数を変更する

読み取り専用

ユーザーロールが**読み取り専用**に設定されたユーザーには、以下の操作を実行する権限が与えられます。

- タンク（測定値）を表示する
- 個人用のタンクビューを表示する
- タンクをマップ（Google Maps）に表示する
- 測定値履歴を表示および保存する
- タンク詳細を表示する
- 地域の詳細を表示する
- タンクサービスのステータスを表示する
- イベントを表示する
- 合計を算出する
- 自分のユーザープロフィールを変更する
- ユーザー設定を行う

オペレータ

オペレータには、以下の操作を実行する権限が与えられます。

- タンク（測定値）を表示する
- 個人用のタンクビューを表示する
- タンクをマップ（Google Maps）に表示する
- 測定値履歴を表示および保存する
- 既存の測定値の履歴を分析する
- タンク詳細を表示する
- 地域の詳細を表示する
- タンクサービスのステータスを変更する
- イベントを表示および編集する
- イベント履歴を表示する
- 合計を算出する
- 自分のユーザープロフィールを変更する
- ユーザー設定を行う

スケジューラ

スケジューラには、以下の操作を実行する権限が与えられます。

- タンク（測定値）を表示する
- 個人用のタンクビューを表示する
- タンクをマップ（Google Maps）に表示する
- 測定値履歴を表示および保存する
- 廃棄予定 / 納品予定の通知およびステータスを表示する
- タンク詳細を表示する
- 地域の詳細を表示する
- タンクサービスのステータスを表示する
- イベントを表示および編集する
- 再提出日を設定する
- イベント履歴を表示する
- 納品 / 廃棄を予定する
- 合計を算出する
- 自分のユーザープロフィールを変更する
- ユーザー設定を行う

索引

数字

1日受入量	82
1日払出量	82
1日平均受入量	81, 82
1日平均払出量	81, 82

A

ADI (1日平均受入量)	81
ADO (1日平均払出量)	81

C

CIDX レポート	141
CSV レポート	141

D

DI (1日受入量)	81
DO (1日払出量)	81
DSST (安全在庫に達するまでの日数)	37

E

Eメール通知の設定	132
-----------	-----

K

KPI	82
-----	----

P

PD 量	37
PD (納品予定 / 廃棄予定)	37
PP (予定ポイント)	36

S

SDT (標準納期 (日数または時間))	39
SDT (標準納期 / 標準廃棄時間)	37
SP (出荷ポイント)	36
SST (安全在庫)	36

ア

アイコン	5, 19, 20, 22, 23
空き	36
値	36, 39
圧力の単位	159
アプリケーションウィンドウ	17
安全記号	5
安全在庫	39
安全在庫に達しました	83
安全在庫に達するまでの日数	37, 82

イ

緯度 / 経度 (GPS)	39
イベント	58, 59, 63
イベントシンボル	20
イベント停止の詳細	61
イベント凍結の詳細	42, 60
イベントの詳細	41, 60, 63
イベント履歴	62

ウ

受入量	83
-----	----

エ

エクスポートおよびレポート形式	160
エクスポートおよびレポート形式の区切り文字	160

オ

オーダーコード	8
オペレータ	16, 161
温度の単位	159

カ

開始日	37
会社	89
会社詳細	89
回転率	83
概要	17

キ

機器バージョン	8
機器マッピング	113
供給者	37

ケ

計画タイプ	39
言語	159
検索	24

コ

合計受入量	82
合計払出量	82
更新範囲	54, 71
構成タンク	39
購入者	37
購入者 ID	37
コピー	
納品	72
廃棄	72

サ

最小値	83
在槽管理	10
在槽チャート	37, 62
最大値	83
再提出日の設定	64
最適値	36, 39
削除	
タンク	118
マスターデータ	30

シ

時間単位	37
時間ベース	84
システム説明書	10
質量の単位	159
終了日	37
出荷ポイント	39
主要業績評価指標	82
詳細ビュー	17
商標	9
仕様変更	7
シンボル	5

ス

スケジューラ	16, 162
スケジューリング	68
ステータス	36
ステータス表示	20

セ

製品	36, 39, 81, 129
製品情報	130
セカンダリ	46, 102
セカンダリの設定	102
設定	134

ソ

測定不良	39
------	----

タ

体積の単位	159
タイプの詳細	123
タイプのメモ	124
タイムスタンプ	37, 39
タイムゾーン	37, 39, 81, 158
タブ	17
単位	36, 39, 81, 140
単位フィルタ	159
タンク	94
タンクイベント通知の設定	92
タンクグループ	91, 98, 102, 121, 122, 131
タンクグループの割り当て	156
タンク形状	121
タンクサービスのステータス	42
タンク詳細	38, 62, 97, 119
タンク設定ウィザード	94
タンクタイプ	36, 39, 123
タンクの監視	34
タンクの停止	109
タンクの凍結	104
タンクのメモ	112, 121
タンクの割り当て	132
タンクパートナー	40
タンク名	36, 39, 81
タンクリスト	120

チ

地域	36, 39, 81, 126
地域の詳細	41, 126
地域のタンク	128

ツ

通知	33
次の納品予定	82
次の廃棄予定	82

テ

データソース	36
--------	----

ト

凍結イベントの設定	104, 108
-----------	----------

ナ

長さの単位	159
ナビゲーションウィンドウ	15

ニ

目次ベース	85
-------	----

ノ

納入	
詳細	72
納品	
ステータス管理	65
納品回数	82
納品周期	82
納品予定量	37
納品を予定	54, 65, 68, 70

ハ

廃棄	
詳細	72
ステータス管理	65
廃棄回数	82
廃棄周期	82
廃棄予定量	37
廃棄を予定	54, 65, 68, 70
パスワード	13
パスワードを忘れてしまった場合	14
払出量	83

ヒ

非稼働	37, 39
ヒステリシス	36, 39, 100
標準タンク	38, 69
標準納期	37
標準廃棄時間	37

フ

フィルタ関数	24
プログラムの起動	12
プロファイル	156
分析	80

ヘ

平均安全在庫に達しました	83
平均在槽レベル	83
平均使用率	83
平均納品量	83
平均廃棄量	83
変更	
集合タンク - タンクグループの割り当て	122
タンク - タンクグループの割り当て	102
地域 - タンクの割り当て	128
マスターデータ	27

ホ

ポータルウィンドウ	15
ボタン	19

マ

マイタンクビュー	55
マスターデータ	16, 161

ミ

密度の単位	159
-------	-----

メ	
メッセージ	33
メッセージの設定	155
メニュー	
設定	16, 134
プロフィール	16
ワークプレイス	16
メニュー項目	16
メモ	36
メモとファイル	40
ユ	
ユーザー	90
ユーザーインターフェース	12
ユーザー詳細	91
ユーザー設定	158
ユーザーの割り当て	132, 155
ユーザープロフィール	156
ユーザーへのタンクグループの割り当て	92
ユーザーロール	92
ユーザーロールおよび権限	161
ヨ	
要素	18
用途	7
容量	36, 39
容量制限なし	39
予測値	50
短期予測	51
予定ポイント	39
読み取り専用	16, 161
リ	
リサイクルタンク	38, 69
リニアライゼーション	133
リニアライゼーションテーブル	133
アップロード	137
削除	136
作成	134
変更	135
リニアライゼーションルール	139
履歴データ	50
履歴のダウンロード	44
レ	
レベル	36
レポートグループ	141
レポートグループの作成	142
レポートグループの作成 / 設定	151
レポートグループの設定	142
ロ	
ログアウト	16
ワ	
ワークプレイス	
イベント	58
スケジューリング	65, 68
タンク	34
分析	80
マイタンクビュー	55
マップ	86



www.addresses.endress.com
